

桜丘西小学校校舎 1 号棟長寿命化改良本体工事

図面リスト			
図面番号	図面種別		図面種別
A-01	図面リスト		A-50 放送室・印刷室 平面詳細図・展開図(改修前・改修後)
A-02	建築工事仕様書 5-1		A-51 1階廊下展開図(1)(改修前・改修後)
A-03	建築工事仕様書 5-2		A-52 1階廊下展開図(2)(改修前・改修後)
A-04	建築工事仕様書 5-3		A-53 2階廊下展開図(1)(改修前・改修後)
A-05	建築工事仕様書 5-4		A-54 2階廊下展開図(2)(改修前・改修後)
A-06	建築工事仕様書 5-5		A-55 3階廊下展開図(改修前・改修後)
A-07	外壁改修工事特記仕様書(1)		A-56 4階廊下展開図(改修前・改修後)
A-08	外壁改修工事特記仕様書(2)		A-57 1階床伏図・天井伏図(改修後)
A-09	工事概要・工事区分・石綿含有材撤去特記仕様書		A-58 2階床伏図・天井伏図(改修後)
A-10	付近見取図・配置図兼仮設計画図		A-59 3階床伏図・天井伏図(改修後)
A-11	求積図(1期工事)		A-60 4階・R階 床伏図・天井伏図(改修後)
A-12	外部仕上表・内部仕上表(1)		A-61 1階・2階・3階 建具キープラン(改修前)
A-13	内部仕上表(2)		A-62 4階・PH階 建具キープラン(改修前)
A-14	内部仕上表(3)		A-63 建具表(1)(改修前)(1期工事)
A-15	1階 平面図(全体)		A-64 建具表(2)(改修前)(1期工事)
A-16	2階 平面図(全体)		A-65 建具表(3)(改修前)(1期工事)
A-17	3階 平面図(全体)		A-66 建具表(4)(改修前)(1期工事)
A-18	4階 平面図(全体)		A-67 1階・2階・3階 建具キープラン(改修後)
A-19	R階・PH階 平面図(全体)		A-68 4階・PH階 建具キープラン(改修後)
A-20	1階 平面図(改修前・改修後)		A-69 建具表(1)(改修後)(1期工事)
A-21	2階 平面図(改修前・改修後)		A-70 建具表(2)(改修後)(1期工事)
A-22	3階 平面図(改修前・改修後)		A-71 部分詳細図(1)
A-23	4階・R階 平面図(改修前・改修後)		A-72 部分詳細図(2)
A-24	立面図(1)		A-73 部分詳細図(3)
A-25	立面図(2)		A-74 部分詳細図(4)
A-26	立面図(3)		A-75 部分詳細図(5)
A-27	断面詳細図(改修前)		A-76 部分詳細図(6)
A-28	断面詳細図(改修後)		A-77 部分詳細図(7)
A-29	東側階段 1・2階 平面詳細図		A-78 部分詳細図(8)
A-30	東側階段 3・4階 平面詳細図		A-79 部分詳細図(9)
A-31	東側階段 R階 平面詳細図		A-80 部分詳細図(10)
A-32	東側階段 断面詳細図(改修前)		A-81 部分詳細図(11)
A-33	東側階段 断面詳細図(改修後)		A-82 部分詳細図(12)
A-34	出入口改修詳細図(改修前)		A-83 部分詳細図(13)
A-35	出入口改修詳細図(改修後)		A-84 部分詳細図(14)
A-36	昇降口(1)	平面詳細図・展開図(改修前・改修後)	A-85 部分詳細図(15)
A-37	玄関ホール・購買部	平面詳細図・展開図(改修前)	A-86 部分詳細図(16)
A-38	玄関ホール・購買部	平面詳細図・展開図(改修後)	A-87 部分詳細図(17)
A-39	X3-X5(1階)普通教室	平面詳細図・展開図(改修前・改修後)	A-88 部分詳細図(18)
A-40	X5-X7(3階)普通教室	平面詳細図・展開図(改修前・改修後)	A-89 部分詳細図(19)
A-41	X9-X11(3・4階)普通教室	平面詳細図・展開図(改修前・改修後)	
A-42	X5-X7(4階)・X11-X13(3・4階)普通教室	平面詳細図・展開図(改修前・改修後)	
A-43	主事室	平面詳細図・展開図(改修前・改修後)	
A-44	保健室	平面詳細図・展開図(改修前・改修後)	
A-45	校長室	平面詳細図・展開図(改修前・改修後)	
A-46	教育相談室	平面詳細図・展開図(改修前・改修後)	
A-47	事務室	平面詳細図・展開図(改修前・改修後)	
A-48	職員室	平面詳細図・展開図(改修前)	
A-49	職員室	平面詳細図・展開図(改修後)	

建 築 工 事 特 記 仕 様 書			特 記 事 項		特 記 事 項	
Ⅰ.工 事 概 要			適用		適用	
1. 工 事 名 称 桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事 2. 工 事 場 所 鹿児島市桜ヶ丘二丁目35番地 3. 工 事 種 目 (・ 新 築 ・ 増 築 ・ 改 築 ・ 改 修 ・ その他) 4. 工 事 期 間 令和 7 年 2 月 28 日まで			○ 14. 産業廃棄物収集運搬車に係る表示及び書面備え付けについて 両側面に「産業廃棄物の収集又は運搬に供する運搬車である旨」及び「排出事業者名」を表示するとともに、その運搬車に「産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車であることを証する書面」を備え付けること。 [表示例] <div>産業廃棄物収集運搬車</div> ←140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字 <div>〇〇株式会社</div> ←90ポイント(おおむね縦横30mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字 なお、産業廃棄物収集運搬許可業者に委託して収集又は運搬させる場合には、別途「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」に基づく、表示規定によること。		○ 26. ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入に当っては、以下の項目を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの棲息が確認された場合は、棲息状況等の調査報告書を監督員に提出し、まん延防止対策を講ずること。(※発生地については、鹿児島市ホームページで確認すること。) 1) 原則、土・樹木等は、発生地区からの搬出を極力おさえ、廃棄木材については、産業廃棄物の取扱いが可能な焼却施設にて、焼却処理を行うこと。 2) 工事区域周辺部への拡散防止のため、周辺部に薬物散布等の措置を行うこと。 3) やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合は、薬剤処理・薫蒸後、搬出を行うこと。 4) 発生地区に搬入した建設機材等は、付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出を行うこと。 5) 未発生地区においても、発生地区からの土・樹木等の搬入や、建設機材の移動等があった場合は、1)～4)の措置が講じられているかを確認すること。	
Ⅱ.建 築 工 事 仕 様			適用		適用	
○ 1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官						

章	項	目	特記事項	章	項	目	特記事項	章	項	目	特記事項																												
1 各章共通事項	○ 1. 適用基準等	◎ 建築工事標準詳細図： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・敷地調査共通仕様書： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和元年版) ・公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ・公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) ◎ 営繕工事写真撮影要領(平成31年版)・同解説 ◎ 工事写真撮影ガイドブック(建築工事及び解体工事編)： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施方針： 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定 ・営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施要領： 関東地方建設局営繕部作成			1 各章共通事項	18. 品質計画	建築基準法により定められた風速 Vo(※38・) 地表面粗度区分Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 適用工種 ・コンクリートブロック ・ALCパネル ・押出成形セメント板工事 ・防水工事 ・石工事 ・屋根及びとい工事 ・金属工事	6 コン クリ ート 工 事	○ 1. 一般事項	コンクリートの種類 ※Ⅰ類・Ⅱ類 (6.2.1) 気乾単位容積質量による種類 ※ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート (6.2.1) 設計基準強度(Fc) (6.2.2) <table><tr><td rowspan="2">種別</td><td colspan="7">普通コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)</td></tr><tr><td>15</td><td>18</td><td>21</td><td>24</td><td>27</td><td>30</td><td>36</td></tr><tr><td>部品</td><td colspan="7">土間</td></tr></table> 軽量コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm ²)・15・18・21・24・27・() (6.2.2) ※ 構造体強度補正値(普通ポルトランドセメント) その他のセメント種類は(表6.3.2)による コンクリート打込みから材齢28日までの予想平均気温θの範囲(℃) 0≤θ<8 8≤θ (6.3.2) <table><tr><td colspan="2">構造体強度補正値(N/mm²)</td><td>6</td><td>3</td></tr></table>			種別	普通コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)							15	18	21	24	27	30	36	部品	土間							構造体強度補正値(N/mm ²)		6	3
		種別	普通コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)																																				
	15		18	21	24	27	30	36																															
	部品	土間																																					
	構造体強度補正値(N/mm ²)		6	3																																			
	2. 電気保安技術者	※ 適用する (1.3.3)	3. 施工条件	(1.3.5)	○ 2. コンクリートの品質	普通コンクリート気乾単位容積質量 ※ 2.3t/m ³ 程度 ・ () (6.2.3) スランブ (6.2.4) <table><tr><td>打込み箇所</td><td>基礎、基礎梁、土間スラブ</td><td>柱、梁、スラブ、壁</td></tr><tr><td>所要スランブ(cm)</td><td>※ 15 ・ 18 ・</td><td>※ 18 ・</td></tr></table> 部材の位置及び断面寸法の許容差並びにその測定方法 ※ 6.2.5(1) ・ () (6.2.5) 合板使用打放し仕上げ種別 (6.2.5)(6.8.2) <table><tr><td>種別</td><td>適用箇所</td><td>J A S 種 別</td><td>合板厚さ</td><td>塗 装</td></tr><tr><td>・ A種</td><td></td><td>※ 表面加工品</td><td>※ B-C</td><td>※ 12 ・ 15</td><td>※ 有 ・ 無</td></tr><tr><td>・ B種</td><td></td><td>・ 表面加工品</td><td>※ B-C</td><td>※ 12 ・ 15</td><td>・ 有 ※ 無</td></tr><tr><td>・ C種</td><td></td><td>・ 表面加工品</td><td>※ B-C</td><td>※ 12 ・ 15</td><td>・ 有 ※ 無</td></tr></table> 平たんさ ※表6.2.5 ・ () (6.2.5)	打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁	所要スランブ(cm)	※ 15 ・ 18 ・	※ 18 ・	種別	適用箇所	J A S 種 別	合板厚さ	塗 装	・ A種		※ 表面加工品	※ B-C	※ 12 ・ 15	※ 有 ・ 無	・ B種		・ 表面加工品	※ B-C	※ 12 ・ 15	・ 有 ※ 無	・ C種		・ 表面加工品	※ B-C	※ 12 ・ 15	・ 有 ※ 無				
	打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ		柱、梁、スラブ、壁																																			
	所要スランブ(cm)	※ 15 ・ 18 ・		※ 18 ・																																			
	種別	適用箇所	J A S 種 別	合板厚さ	塗 装																																		
	・ A種		※ 表面加工品	※ B-C	※ 12 ・ 15	※ 有 ・ 無																																	
	・ B種		・ 表面加工品	※ B-C	※ 12 ・ 15	・ 有 ※ 無																																	
	・ C種		・ 表面加工品	※ B-C	※ 12 ・ 15	・ 有 ※ 無																																	
	○ 4. 技能士	・鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・コンクリート圧送施工 ・型枠施工 ◎とび ・ブロック建築 (1.5.2) ・鉄工・構造物鉄工作業 ・製缶作業 ・エーメルパネル施工 ・石材施工(石張り作業) ◎ 防水施工(◎ ウレタゴム系塗膜防水工事作業 ◎シーリング防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・アスファルト防水工事作業 ・アクリルゴム系塗装防水工事作業) ・タイル張り ・建築大工 ・かわらぶき ・建築板金(内外装板金作業) ◎ 左官 ◎ サッシ施工 ◎ ガラス施工 ・カーテンウォール施工 ◎ 建具製作(◎ 木製建具 手加工作業 ・アルミ製室内建具製作作業 ・木製建具 機械加工作業) ◎ 内装仕上げ施工(◎ ボード仕上げ工事作業 ◎ 鋼製下地工事作業 ◎ フラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業) ◎ 塗装(建築塗装作業) ・畳製作 ・表装 ・造園 ・熱絶縁施工(吹付硬質ウレタンフォーム断熱工事作業) ◎ 樹脂接着剤注入施工			2 仮 設 工 事	○ 1. 監督員事務所	※ 設ける(規模: ◎ 1号(10㎡程度) ・ 2号(20㎡程度) ・ 3号(35㎡程度) ・ 4号(65㎡程度) (2.3.1) ・ 5号(100㎡程度) ・ 設けない ・ 仮設便所 ・ 工事用電話 ・ 設置する備品等の種類及び数量(監督員との協議による) 仕上げは下表を標準とする。 <table><tr><td>部位等</td><td>仕 上 げ</td></tr><tr><td>床</td><td>合板張り又はビニル床シート張り</td></tr><tr><td>内壁、天井</td><td>合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り</td></tr><tr><td>屋根</td><td>塗装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td></tr></table>			部位等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニル床シート張り	内壁、天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り	屋根	塗装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																						
	部位等	仕 上 げ																																					
	床	合板張り又はビニル床シート張り																																					
内壁、天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り																																						
屋根	塗装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																						
○ 5. 工事実績情報の登録	受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報システム(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「通知書」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、(一財)日本建設情報総合センターに登録しなければならない。また、登録完了後は、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」を、監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。 (ただし、期間には、行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日は含まない)			3 土 工 事	○ 2. 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できない ◎ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) 構内既存の給水設備を利用する場合は、水道局へ臨時給水の申請を行い、水道メーターを設置すること。																																	
	○ 6. 建築材料等	本工事に使用する建築材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。また、評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとして行うことができる。				○ 3. 工事用電力	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)																																
		○ 7. 特別な材料の工法	建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。				○ 4. 敷地調査																																
			○ 8. 発生材の処理等					建設副産物の処理 (1.3.11) 1. 本工事より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するとともに、マニフェストシステムにより適正処理を行うこと。 2. 建設発生土及び建設廃棄物にあつては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。 3. 建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。 4. 建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。 5. 建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるコンクリート・アスファルト塊、金属くず、木くず等については、最寄りの再資源化施設(許可を受けた施設)へ搬出すること。 6. マニフェスト(管理票)の備考欄にせっこうボードの有無を明記するとともに、せっこうボードが含まれている場合は製造会社名等を明記すること。 7. 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は図示による。			○ 5. その他	※表示板の大きさ等 ※ 下図による。 設置位置は監督員との協議による。また、取付けは、強風等に対し安全な工法とする。 <div><div>市章 150×150程度</div><div>シブ[※]マーク 150×150程度以上</div><div>工事名 ○○○○○○○○新築本体工事</div><div>発注者 鹿児島市長</div><div>設計者 鹿児島市○○局○○部○○課</div><div>監理者 鹿児島市○○局○○部○○課</div><div>施工者 ○○○○建設株式会社 連絡先 ○○</div><div>工 期 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日</div><div>1800(900)程度</div></div>																											
○ 9. 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。			4 地 業 工 事	○ 1. 埋戻し及び盛土	種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3)(表3.2.1) 各層厚さ ※ 300mm程度ごとに締め固める																																	
	○ 10. 設備工事との取扱い	施工範囲 図示した鉄筋コンクリート梁の貫通孔及び鉄筋コンクリート部で、補強を必要とする貫通孔、開口部の補強、壁、天井の仕上材、下地材の補強、駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ並びに自動開閉装置取付け箇所の切込み及び補強は標準詳細図などのとおりとし、本工事とする。 なお、細部については監督員と協議する。 施工図 設備機器の位置、取扱いなどの検討のできる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。				2. 地 均 し	工事完了後の整地は建物周囲2m程度の範囲について水はけよく地均しを行う。 ただし、仮設等で使用した範囲については原形に復する。																																
							※(斜土建設機(春山))処分場へ搬出するものとする。その他処分場にて投棄処分を行う場合は、必ず処理場変更願承諾申請書を提出し、監督員にその承諾を得るものとする。 ・ 構内指示の場所にたい積 ・ 構内指示の場所に敷き均し																																
○ 11. 完成図等	・ 完成図等を提出する。 (1) データ i) データ提出媒体: 「CD-R」又は「DVD-R」とする。 ii) データ保存形式: CADデータ(国土交通省の「官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン〔営繕業務編〕」のCADデータ交換標準に対応したもの)及び画像データ。 ただし、原則に依りがたい場合は、事前に監督員の承諾を得るものとする。 (2) 2つ折製本(A3判)2部を監督員に提出する。装丁や文字の仕上げについては監督員と協議。 ・ 保全に関する資料 部数 1部(監督員の指定する様式)・取扱い説明書 部数 部 (建設戸数+2戸分)			5 鉄 筋 工 事	4. 山 留 め	・ 存置する ※ 存置しない (3.3.3)																																	
	○ 12. 工事写真	<table><tr><td>区 分</td><td>分類</td><td>規格</td><td>撮影枚数</td><td>部数</td><td>原画の大きさ</td><td>備 考</td></tr><tr><td>※ 着工前</td><td>※ カラー</td><td>※ L版程度</td><td></td><td>※ 1部</td><td>24×36以上</td><td></td></tr><tr><td>※ 工事中</td><td>※ カラー</td><td>※ L版程度</td><td></td><td>※ 1部</td><td>24×36以上</td><td></td></tr><tr><td>※ 完成時</td><td>※ カラー</td><td>※ L版程度</td><td>枚</td><td>※ 1部</td><td>・ 60×90以上 ・ 24×36以上</td><td>外観4面 主要内部</td></tr></table> ・ 実績報告用写真(2部)を監督員に提出する。 着工前と完成時の外観4面及び完成時の主要内部その他監督員の指示する工種の状況及び完成写真、その他監督員の指示する工種の状況及び完成写真				区 分	分類	規格	撮影枚数	部数	原画の大きさ	備 考	※ 着工前	※ カラー	※ L版程度		※ 1部	24×36以上		※ 工事中	※ カラー	※ L版程度		※ 1部	24×36以上		※ 完成時	※ カラー	※ L版程度	枚	※ 1部	・ 60×90以上 ・ 24×36以上	外観4面 主要内部	○ 1. 砂 利 地 業	材料 ◎ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利及び切込砕石 厚さ ※ 60 ・ () (4.6.2) (4.6.3)				
		区 分	分類			規格	撮影枚数	部数	原画の大きさ	備 考																													
		※ 着工前	※ カラー			※ L版程度		※ 1部	24×36以上																														
		※ 工事中	※ カラー			※ L版程度		※ 1部	24×36以上																														
※ 完成時	※ カラー	※ L版程度	枚	※ 1部	・ 60×90以上 ・ 24×36以上	外観4面 主要内部																																	
13. 竣工写真	竣工写真は下記業者の撮影とし、箇所及び方法については監督員の指示による。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。) 完成後(解体工事の場合は、着工前及び完成後)の航空写真及びその電子データを提出すること。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。)			○ 2. 砂 地 業	厚さ ※ 30 ・ (50) (4.6.3)																																		
					○ 3. 捨コンクリート地業	厚さ ※ 50 ・ (100) (4.6.2)(4.6.4)																																	
						○ 4. 床下防湿層	施工箇所 ※ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) (4.6.2)(4.6.5) 材料 ※ ポリエチレンフィルム ・ () 厚さ ※ 0.15 ・ () 重ね合せ及び基礎梁際の折り下がりは、250mm程度とする。																																
○ 14. 既存建物との取扱い	工事中、取合部その他本工事範囲外の部分に汚損又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。			○ 1. 鉄 筋 の 種 類	※JISG3112 ・ JIS3117 (5.2.1)(表5.2.1) <table><tr><td>種類の記号</td><td>呼 び 名 (mm)</td></tr><tr><td>◎ SD295</td><td>D16以下</td></tr><tr><td>・ SD345</td><td>D19以下</td></tr><tr><td>・ SD390</td><td>D29以下</td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr></table> ・高強度せん断補強筋(建築基準法第37条認定を受けたもの、種別、使用部位、加工: () ※ 図面による			種類の記号	呼 び 名 (mm)	◎ SD295	D16以下	・ SD345	D19以下	・ SD390	D29以下	・																							
	種類の記号	呼 び 名 (mm)																																					
◎ SD295	D16以下																																						
・ SD345	D19以下																																						
・ SD390	D29以下																																						
・																																							
○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。 また、指針値を上回った場合は、引渡しをするまでの間、換気の繰り返し又はベークアウト等により濃度の低下に努め、指針値以下になるようにすること。なお、住宅については「住宅の品質確保の促進等に関する法律」の評価方法基準第5の6-3の(3)の定めにより測定等を行うこと。 測定対象 ・ 住宅 (建設戸数の1割以上(10戸未満の場合は1戸以上)で、各住戸2室以上) ◎ 非住宅 (測定対象室(1階普通教室、保健室、職員室、3階普通教室1部屋、4階普通教室1部屋)) 測定項目 ・ 5項目(ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン) ◎ 6項目(上記5項目及びパラジクロロベンゼン)			6 最 上 階 柱 頭 補 強	○ 2. 溶 接 金 網	・鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径: ※ 図示による (5.2.2)																																	
						○ 3. 継 手 及 び 定 着	柱及び梁の主筋 (※ D19以上 ・) ・ 重ね継手 ※ ガス圧接 (5.3.4) その他の鉄筋 (※ D16以下 ・) ※ 重ね継手 ・ ()																																
16. 部分使用	・ 有(部分使用の場所等)			○ 4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	かぶり厚さは目地底から算定する。 ※(表5.3.6)による ・ 構造特記仕様書による ・ 図示による (5.3.5) ・ 耐久上不利な箇所及び鉄筋のかぶり厚さ <table><tr><td>施 工 箇 所</td><td>鉄筋のかぶり厚さ(mm)</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>			施 工 箇 所	鉄筋のかぶり厚さ(mm)																														
	施 工 箇 所	鉄筋のかぶり厚さ(mm)																																					
17. 指定部分	・ 有(範囲、時期については監督員の指示による)			5. 帯 筋	形の種別 ・ H形 ・ W-1形 ・ SP形(スハイル筋) ・ 丸形 (別図2.2)																																		
					6. 最上階柱頭補強	※ 行う ・ 行わない																																	
				7. 壁開口部の補強		一般壁 ・ A形 ※ B形 ・ 図示 (別図4.3)(表4.3)(表4.4) 耐震壁 ※ B形 ・ 図示																																	
					8. 土間コンクリート補強	補強箇所 ・ 土間 ・ 犬走り ・ ()																																	
				9. 梁貫通孔の補強形式		補強形式 ※ H形 ・																																	
					10. 圧接完了後の試験	検査方法 ・ 引張試験 ※ 超音波探傷試験 ※ 外観試験 (5.4.10)																																	
				○ 11. 各部配筋		図示のないものは、各部配筋参考図による。																																	
					株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘																																		
				桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事 建築工事特記仕様書 5-2 鹿児島市建設局建築部建築課 A-03 Ver.B60401																																			

章 通則	項 目	特 記 事 項	章 通則	項 目	特 記 事 項	章 通則	項 目	特 記 事 項
7 鉄骨工事	4. 溶 接 接 合	開先形状(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による) ・レ形 ・ K形 () (7. 6. 4) 余盛り高さ ※ 鉄骨精度検査基準による ・ () (7. 6. 7) ・鋼製エンドタブを切断する箇所及び範囲 () 溶接部の試験 (7. 6. 12) ※ 外観試験 (a)() (b)() ※ 超音波探傷試験 ※行う AOQL(工場溶接) ※ 4.0% ・ 2.5% 検査水準 ※第6水準 ・ ()	11 タイル工事	○ 1. 共 通 事 項	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11. 1. 3) 位置 外壁(※表11. 1. 1 ・ 図示による) 屋内(・) 寸法 ※9. 7. 3 ・ ()	12 木工事	○ 2. 防 腐 ・ 防 蟻 ・ 防 虫 処 理	しろあり防除工事 鹿児島県土木部建築監修課 鹿児島県しろあり防除工事特記仕様書により、社団法人日本しろあり対策協会鹿児島県支所登録施工業者が施工する。(使用薬剤は、非有機リン系薬剤とする) 土壌処理 ※行う(範囲: () ・ 行わない) 木材処理 ※行う(範囲:各階のFL+1m以下の下地材(合板等除く) ・ 行わない) 防腐・防蟻処理 ・ 薬剤の加圧注入による防腐 ・ 防蟻処理 (12. 3. 1) ○ 薬剤の塗布等による防腐 ・ 防蟻処理 防虫処理 ※行う ※行わない (12. 3. 2) 土壌処理、木材処理共に行った際は、受注者と白蟻防除工事施工業者連帯の5年保証書を提出する。 木材処理のみを行った際は、白蟻防除工事施工業者による施工証明書を提出する。
	○ 5. 錆 止 め 塗 装	耐火被覆材の接着する面の塗装範囲() (7. 8. 2) 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲() 種類 鋼製スリーブ内面(※ A種 ・ B種) (7. 8. 4)(表18. 3. 1) 耐火被覆材の接着面 () (7. 8. 4)		○ 2. 施 工 後 の 確 認 及 び 試 験	※ 外観の確認 ※ 打診による確認 ・ 引張接着試験 (11. 1. 7)		3. R/C造等の内部間仕切軸組及び床組	木材 間仕切軸組に用いる製材 ・ 杉 ・ 松 ・ () 床組に用いる製材(土間スラブ類の土台、転ばし根太) ・ ひのき ・ 保存処理木材 ・ () 床組に用いる製材(上記以外) ・ 杉 ・ 松 ・ ()
	6. 耐 火 被 覆	種類 () (7. 9. 2) 材料 () 工法 () 耐火性能() (7. 9. 3)		○ 3. 材 質	タイルの種類 (11. 2. 2)(11. 3. 2) 施工箇所 形状・寸法 耐凍害性 耐滑り性 役物 色 昇降口1 ・ 有 ○ 無 ○ 有 ・ 無 ・ 有 ○ 無 ○ 標準 ・ 特注 足洗い場 ・ 有 ○ 無 ・ 有 ○ 無 ○ 有 ・ 無 ○ 標準 ・ 特注 ・ 有 ・ 無 ・ 有 ・ 無 ・ 有 ・ 無 ・ 標準 ・ 特注 ・ 有 ・ 無 ・ 有 ・ 無 ・ 有 ・ 無 ・ 標準 ・ 特注 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。) タイル試験張り (・ 実施する ・ 実施しない) タイル見本焼き(・ 実施する ・ 実施しない)		○ 4. 窓、出入口その他	木材 窓、出入口、その他に用いる製材 吊元枠、水掛りの下枠、敷居 ※ひのき ・ () (12. 5. 1) その他 ・ 松 ※杉 ・ ()
	○ 7. 工 事 現 場 施 工	建方精度 ※ 鉄骨精度検査基準による ・ () (7. 10. 2) アンカーボルト ・ 構造用アンカーボルト 形状()寸法() (7. 10. 3) ・ アンカーフレーム 形状()寸法() ・ 建方用アンカーボルト 保持及び埋込工法(・ A種 ※ B種 ・ C種) (表7. 10. 1) 柱底均しモルタル工法 工法(※A種 ・ B種) 厚さ() (7. 11. 2) ボルト接合 ※ 普通ボルト接合 ・ ()	12 木工事	○ 4. セメントモルタルによるタイル張り	・ 既調合モルタル() (11. 2. 3) ・ 下地及びタイルごしらえ (・ MCR工法 ・ 目荒し工法(高压水洗)) (11. 2. 7)(表11. 2. 3) タイル張りの種別 () ・ () 工法 () ・ ()	12 1 軸組構法(壁構造系)工事	5. 床 板 張 り	木材 縁甲板、上がりがまちに用いる製材 ※ひのき ・ () ・ 図示による (12. 6. 1)
8 コンクリートブロック工事	9. 溶 融 垂 鉛 め っ き 工	垂鉛めっき (7. 12. 4)(表14. 2. 2) 垂鉛めっき種別 材 料 適用部位 A 種 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類 B 種 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類 C 種 最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類 普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類 高力ボルト接合摩擦面 ・ プラスト処理 ・ () (7. 12. 5)		5. 有 機 系 接 着 剤 に よ る タ イ ル 張 り	・ 外装タイルにおける目地詰め (・ 行う ・ 行わない) (11. 3. 3) ・ 下地及びタイルごしらえ (・ MCR工法 ・ 目荒し工法) (11. 3. 5)		○ 6. 壁及び天井下地	木材 ○ 杉 ・ 松 ・ () ・ 図示による (12. 7. 1)
	1. 補 強 コンクリートブロック造	ブロックの種類 () (8. 2. 2) モジュール呼び寸法() 正味厚さ () 各部の配筋 ※図示による (8. 2. 5)		○ 1. 材 料	木材 木材については、市内で生産・加工された木材の使用に努めること。市内産材の確保が (12. 2. 1) 難しい場合でも、可能な限り県産材の使用に努めること。 ・ 地域産材の場所 () 地域 ただし、次の部位については「認証かごしま材」又は「認証かごしま材」と同等の基準を満足している市内産材を使用すること。 なお、「認証かごしま材」同等材の使用にあたっては、下記の条件を満足したものとする。 ア. 認証かごしま材の品質(乾燥、寸法、面材品質)と同等の基準を満足している旨及び原木の生産地を記載した旨の出荷証明書が添付されたもの イ. 監督員の立会い検査により、上記アの品質が確認されたもの 指定部分 ・ 構造材全て ○ その他(下地材、造作材(中木、額縁、建具枠、見切縁)) 含水率 構造材 ※ 20%以下とする。 下地材 ※ A種 ・ B種 造作材 ※ A種 ・ B種 製材 「JAS1083J」による製材 下地用針葉樹製材 樹種、等級、寸法、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級 ・ 図示による ※ 2級 造作用針葉樹製材 樹種、寸法、等級、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 板類における等級 ※ 枠、額縁、敷居、かまこ、かまちの類の見え掛り面は上小節、それ以外は小節以上 ・ 図示による 広葉樹製材 樹種、寸法、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級 ※ 1等 ・ 図示による ・ () 含水率 ※ 10%以下 ・ 図示による ・ () 「JAS1083J」以外の製材 下地、造作及び仕上げに用いる製材 樹種、寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理 ※ 図示による 造作材の材面の品質の基準 ※ A種 ・ B種 (表12. 2. 2) 造作用集成材 「集成材のJAS」による造作用集成材 造作用集成材 品名、樹種、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 図示による 化粧ばり造作用集成材 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 図示による 化粧ばり構造用集成柱 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による 「集成材のJAS」以外の造作用集成材 造作用集成材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※ 15%以下 ・ 図示による ・ () 化粧ばり造作用集成材 樹種、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※ 15%以下 ・ 図示による ・ () 化粧ばり構造用集成柱 樹種、寸法、見付け材面の品質、化粧薄板の厚さ ※ 図示による 含水率 ※ 15%以下 ・ 図示による ・ () 造作用単板積層材 「JAS0701(単板積層材)」に基づく造作用単板積層材 品名、寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による 「JAS0701(単板積層材)」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による 含水率 ※ 14%以下 ・ 図示による ・ () JAS3079(直交集成板) 品名、曲げ強度、種別、接着性能(使用環境)、樹種及び寸法 ※ 図示による 合板等 下地用普通合板 品名、単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による 厚さ ※ 5. 5mm ・ 図示による 接着の程度 ※ 1類 ・ 図示による 板面の品質 ※ 2等以上(広葉樹) ※ C-D以上(針葉樹) ・ 図示による 下地用構造用合板 品名、単板の樹種名、保存処理、防虫処理、強度等級 ※ 図示による 厚さ ※ 12mm ・ 図示による 接着の程度 ※ 1類(湿潤箇所を除く) ※ 特類(湿潤箇所) ・ 図示による 等級 ※ 2級以上 ・ () 板面の品質 ※ C-D以上 ・ 図示による 化粧ばり構造用合板 品名、厚さ、単板の樹種名、接着の程度、防虫処理 ※ 図示による 湿潤状態となる場所に使用する場合の接着の程度 ※ 特類 ・ 図示による 天然木化粧合板 厚さ、接着の程度、化粧板に使用する単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による 特殊加工化粧合板 品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法、防虫処理 ※ 図示による パーティクルボード 表裏面の状態による区分、難燃性による区分及び厚さ ※ 図示による 曲げ強さによる区分、耐水性による区分、厚さ ※厚さ15mm、曲げ強さ13タイプ、耐水性MR1(M)又はMR2(P)タイプ 構造用パネル 品名、厚さ ※ 図示による MDF 表裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、接着剤による区分 ※ 図示による 難燃性による区分、厚さ ※ 図示による 接合具等 (12. 2. 2) 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し 諸金物の形状、寸法、材質 ※ 12. 2. 2(2)(ア)による ・ () ・ 図示による 諸金物の形状、寸法、材質 ※ 12. 2. 2(2)(ア)による ・ () ・ 図示による		2. 木 材	※ 公共建築木造工事標準仕様書(平成31年版)5章の規定による。 ※ 建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる軸組を用いて、同4項の壁量を満たす建築物 木構仕(5. 1. 1) 部材寸法、その他 木構仕(5. 2. 2) 柱 : (120×120) @ 950 間柱 : (120×60) @ 455 胴縁 : (13×45) @ 455 木摺 : (13

項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
14 金 属 工 事	○ 1. 一 般 事 項	あと施工アンカー施工後の確認引張試験 ・実施する ・実施しない (14. 1. 3)			○ 2. 鋼 製 建 具	(16. 4. 2,4,5)(表16. 4. 1,2)					◎ 耐候性塗料塗り(DP) ◎ 鉄鋼面上塗り塗料の等級 ・ 1級 ・ 2級 ◎ 3級 (18. 7. 2)(表 18. 7. 1) ・ 亜鉛めっき鋼面上塗り塗料の等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 (18. 7. 3)(表 18. 7. 2) ◎ コンクリート面・押出成形セメント板面上塗り塗料の等級 (18. 7. 4)(表 18. 7. 3) ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ◎ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) (18. 8. 2～5)(表 18. 8. 1～4) ◎ 塗り種別(下地:コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード等) ・ A種 ※ B種 ・ 塗り種別(下地:鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面) ・ A種 ※ B種 ・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) (18. 9. 2)(表 18. 9. 1) 塗り種別 ・ A種 ※ B種 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) (18. 10. 2)(表 18. 10. 1) 木部塗り種別(一般木部及びフローリングは1液形) ・ A種 ※ B種 ・ オイルステイン塗り(OS) (18. 11. 2)(表 18. 11. 1) 塗料 ・ () ・ 図示による ・ 木材保護塗料塗り(WP) (18. 12. 2)(表 18. 12. 1) 塗り別 ・ A種 ※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	○ 2. 表 面 処 理	・ アルミニウム及びアルミニウム合金 (14. 2. 1)(表14. 2. 1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		<table><tr><th>種 類</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ AB－1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・ AB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・ AC－1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・ AC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・ BA－1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・ BA－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>※ BB－1種(無着色)</td><td>アルミ建具</td></tr><tr><td>・ BB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・ BC－1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・ BC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・ C種</td><td></td></tr></table> 陽極酸化皮膜着色方法 ※ 二次電解着色 (色合:) ・ ()			種 類	施 工 箇 所	・ AB－1種(無着色)		・ AB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・ AC－1種(無着色)		・ AC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・ BA－1種(無着色)		・ BA－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		※ BB－1種(無着色)	アルミ建具	・ BB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・ BC－1種(無着色)		・ BC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	種 類	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ AB－1種(無着色)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ AB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ AC－1種(無着色)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ AC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ BA－1種(無着色)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ BA－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	※ BB－1種(無着色)	アルミ建具																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ BB－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ BC－1種(無着色)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ BC－2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	・ 鉄鋼の亜鉛めっき (14. 2. 2)(表14. 2. 2～4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	<table><tr><th>表面処理方法</th><th>種 類</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td><td>・ A種</td><td></td></tr><tr><td>・ B種</td><td></td></tr><tr><td>・ C種</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td><td>・ D種</td><td></td></tr><tr><td>・ E種</td><td></td></tr><tr><td>・ F種</td><td></td></tr></table>			表面処理方法	種 類	施 工 箇 所	溶融亜鉛めっき	・ A種		・ B種		・ C種		電気亜鉛めっき	・ D種		・ E種		・ F種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
表面処理方法	種 類	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
溶融亜鉛めっき	・ A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電気亜鉛めっき	・ D種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ E種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ F種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○ 3. 軽 量 鉄 骨 天 井 下 地	野縁等の種類 屋内 ※ 19形 ・ 25形 (14. 4. 2)(表14. 4. 1) 屋外 ・ 19形 ※ 25形 ・ 野縁受、吊ボルト及びビンサート間隔(屋外) () (14. 4. 3)(表14. 4. 2) ・ 野縁の間隔(屋外) () ・ ダクト等により吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※ 図示による ・ () (14. 4. 4) ・ 天井ふところが1.5m以上の補強方法 ※ 図示による ・ () ・ 屋外の軒・ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 ※ 図示による ・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○ 4. 軽 量 鉄 骨 壁 下 地	スタッド、ランナーの種類 (14. 5. 1～14. 5. 4)(表14. 5. 1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	<table><tr><th>種 類</th><th>部 材</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ 50形</td><td>・ スタッド ・ ランナ</td><td></td></tr><tr><td>・ 65形</td><td>・ スタッド ・ ランナ</td><td></td></tr><tr><td>・ 90形</td><td>・ スタッド ・ ランナ</td><td></td></tr><tr><td>◎ 100形 ◎ スタッド ◎ ランナ</td><td></td><td></td></tr></table>			種 類	部 材	施 工 箇 所	・ 50形	・ スタッド ・ ランナ		・ 65形	・ スタッド ・ ランナ		・ 90形	・ スタッド ・ ランナ		◎ 100形 ◎ スタッド ◎ ランナ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
種 類	部 材	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 50形	・ スタッド ・ ランナ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 65形	・ スタッド ・ ランナ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 90形	・ スタッド ・ ランナ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
◎ 100形 ◎ スタッド ◎ ランナ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
5. 金 属 成 形 板 張 り	(14. 6. 2)(14. 6. 3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	<table><tr><th>形 状</th><th>製 法</th><th>材 種</th><th>寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>表面処理</th></tr><tr><td rowspan="3">・ スパンドレル形</td><td>・ 押出し</td><td rowspan="3">※ アルミニウム製</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">(14.2.1～3、表14.2.1～2による)</td></tr><tr><td>・ ロール</td></tr><tr><td>・ パネル形</td></tr><tr><td colspan="2">伸縮調整継手 ※ 設けない ・ 設ける(施工箇所は図示)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			形 状	製 法	材 種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理	・ スパンドレル形	・ 押出し	※ アルミニウム製			(14.2.1～3、表14.2.1～2による)	・ ロール	・ パネル形	伸縮調整継手 ※ 設けない ・ 設ける(施工箇所は図示)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
形 状	製 法	材 種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・ スパンドレル形	・ 押出し	※ アルミニウム製			(14.2.1～3、表14.2.1～2による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	・ ロール																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ パネル形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
伸縮調整継手 ※ 設けない ・ 設ける(施工箇所は図示)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6. アルミニウム製 笠 木	(14. 7. 2)(14. 7. 3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	<table><tr><th>種 類</th><th>表 面 処 理</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ 250形</td><td>・ AB－1種 ・ AB－2種 ・ AC－1種 ・ AC－2種</td><td rowspan="4">・ 隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による</td></tr><tr><td>・ 300形</td><td>・ BA－1種 ・ BA－2種 ※ BB－1種 ・ BB－2種</td></tr><tr><td>・ 350形</td><td>・ BC－1種 ・ BC－2種 ・ C種</td></tr><tr><td>※ 工法は建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること</td><td></td></tr></table>			種 類	表 面 処 理	備 考	・ 250形	・ AB－1種 ・ AB－2種 ・ AC－1種 ・ AC－2種	・ 隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による	・ 300形	・ BA－1種 ・ BA－2種 ※ BB－1種 ・ BB－2種	・ 350形	・ BC－1種 ・ BC－2種 ・ C種	※ 工法は建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種 類	表 面 処 理	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 250形	・ AB－1種 ・ AB－2種 ・ AC－1種 ・ AC－2種	・ 隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 300形	・ BA－1種 ・ BA－2種 ※ BB－1種 ・ BB－2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 350形	・ BC－1種 ・ BC－2種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
※ 工法は建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 1. モ ル タ ル 塗 り	材料 (15. 3. 2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料(材料は監督員の承諾による) 防水モルタルの防水剤 製造所(監督員の承諾を得るものとする。) ・既製目地材 形状()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○ 2. 仕 上 塗 材 仕 上 げ	材料 (15. 6. 2)(表15. 6. 1～2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	JIS A 6909(建築用仕上塗材)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	<table><tr><th>種 類</th><th>呼 び 名</th><th>仕 上 げ 形 状 等</th></tr><tr><td>・ 薄付け仕上塗材</td><td>※ 外装薄塗材E</td><td>・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状</td></tr><tr><td>◎ 複層仕上塗材</td><td>※ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E</td><td>※ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 耐候性 ※ 耐候形3種 上塗材 溶 媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 樹 脂 ※ アクリル系 外 観 ※ つやあり ・ つやなし ・ メタリック ◎ 可とう形改修用仕上塗材 ◎ 可とう形改修塗材E ◎ ゆず肌、ローラー、シリコン系</td></tr></table>			種 類	呼 び 名	仕 上 げ 形 状 等	・ 薄付け仕上塗材	※ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状	◎ 複層仕上塗材	※ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E	※ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 耐候性 ※ 耐候形3種 上塗材 溶 媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 樹 脂 ※ アクリル系 外 観 ※ つやあり ・ つやなし ・ メタリック ◎ 可とう形改修用仕上塗材 ◎ 可とう形改修塗材E ◎ ゆず肌、ローラー、シリコン系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
種 類	呼 び 名	仕 上 げ 形 状 等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 薄付け仕上塗材	※ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
◎ 複層仕上塗材	※ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E	※ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 耐候性 ※ 耐候形3種 上塗材 溶 媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 樹 脂 ※ アクリル系 外 観 ※ つやあり ・ つやなし ・ メタリック ◎ 可とう形改修用仕上塗材 ◎ 可とう形改修塗材E ◎ ゆず肌、ローラー、シリコン系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○ 1. アルミニウム製 建 具	(16. 2. 2,4,5)(表16. 2. 1,2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	<table><tr><th>種 別</th><th>外 部 に 面 す る 建 具</th><th>内 部 建 具</th><th>枠見込み(mm)</th></tr><tr><td>※ 普通ドア</td><td>※ コンクリート系</td><td>◎ A種 ・ B種</td><td>※ 70 ・</td></tr><tr><td>セツト、サツ</td><td>鉄骨下地</td><td>・ C種</td><td>※ 100 ・ 図示</td></tr><tr><td></td><td>・ 木下地</td><td>・ D種 ・ E種</td><td>※ 70</td></tr><tr><td>・ 防音ドアセット</td><td>遮音性の等級()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 断熱ドアセット</td><td>断熱性の等級()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 耐震ドアセット</td><td>面内変形追随性の等級()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>表面処理(表14.2.1による)</td><td>※ BB－1種 ・</td><td>※ AC－1種 ・</td><td></td></tr></table> 網戸防虫網 ※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 (16. 2. 3) 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)			種 別	外 部 に 面 す る 建 具	内 部 建 具	枠見込み(mm)	※ 普通ドア	※ コンクリート系	◎ A種 ・ B種	※ 70 ・	セツト、サツ	鉄骨下地	・ C種	※ 100 ・ 図示		・ 木下地	・ D種 ・ E種	※ 70	・ 防音ドアセット	遮音性の等級()			・ 断熱ドアセット	断熱性の等級()			・ 耐震ドアセット	面内変形追随性の等級()			表面処理(表14.2.1による)	※ BB－1種 ・	※ AC－1種 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種 別	外 部 に 面 す る 建 具	内 部 建 具	枠見込み(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
※ 普通ドア	※ コンクリート系	◎ A種 ・ B種	※ 70 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
セツト、サツ	鉄骨下地	・ C種	※ 100 ・ 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・ 木下地	・ D種 ・ E種	※ 70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 防音ドアセット	遮音性の等級()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 断熱ドアセット	断熱性の等級()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 耐震ドアセット	面内変形追随性の等級()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
表面処理(表14.2.1による)	※ BB－1種 ・	※ AC－1種 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○ 1. ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り	(19. 2. 2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	接着剤 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、ビニル幅木に使用する接着剤は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする(水廻り及び湿度の高い箇所を除く)。 ビニル床シート <table><tr><th>種 類</th><th>色 柄</th><th>厚 さ</th><th>工 法</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※ FS</td><td>◎ 無地</td><td>※ 2.0</td><td>※ 熱溶接</td><td>◎ 防滑性ビニル床シート</td></tr><tr><td>・</td><td>◎ 模様</td><td>・</td><td>・ 突付け</td><td>・</td></tr></table> ビニル床タイル <table><tr><th>種 類</th><th>色 柄</th><th>厚 さ(mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ 単層ビニル床タイル(TT)</td><td>・ 無地</td><td>※ 2</td><td rowspan="2">・ 防滑性床タイル</td></tr><tr><td>・ 複層ビニル床タイル(FT)</td><td>・ 模様</td><td>・ 3</td></tr><tr><td>・ コンポジションビニル床タイル(KT)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 特殊機能床材 帯電防止床シート又は床タイル 種類() 性能() 厚さ() 視覚障害者用床タイル 種類() 形状() 耐動荷重性床シート 種類() 厚さ() ビニル幅木 厚さ(※ 1.5mm以上 ・) 高さ(※ 60mm ◎ 75mm) 種類 () ゴム床タイル 種類() 厚さ() 色柄() 寸法() 下地がセメント系及び木質系以外の場合の接着剤種別 ビニル床シート、タイル() ゴム床タイル() 2. カーペット敷き ・ 織じゅうたん 種類 (・ A種 ・ B種 ・ C種) 織り方() (19. 3. 2～3)(表19. 3. 1～2) バイル形状 (・ カットバイル ・ ループバイル ・) 帯電性(人体帯電圧 ※ 3kv以下 ・) ・ タフテッドカーペット バイル形状 (・ カットバイル ・ ループバイル ・) バイル長() 帯電性(人体帯電圧 ※ 3kv以下 ・) 工法 (・ グリッパバー ・ 全面接着) ・ タイルカーペット 種類 (※ 第1種 ・) バイル形状(※ ループバイル ・) 寸法 (※ 500mm角 ・) 総厚さ(※ 6.5mm ・) 平場敷き方 (※ 市松敷き ・) 階段敷き方 (※ 模様流し ・) 下敷き材 (※ JIS L 3204 第2種2号 呼び厚さ8mm ・) 取付け用付属品 見切り 材質 () 種類() 形状() 押え金物 材質 () 種類() 形状() 3. 合 成 樹 脂 塗 床 (19. 4. 2～3)(表19. 4. 4～8) <table><tr><th>材 料</th><th>種 類</th><th>仕 上 げ の 種 類</th></tr><tr><td rowspan="2">・ 厚膜型塗床材</td><td>・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材</td><td>※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</td></tr><tr><td>・ エポキシ樹脂系塗床材</td><td>・ 薄膜流しのペ工法 (※ 平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流しのペ工法 (※ 平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル工法 (※ 平滑 ・ 防滑)</td></tr><tr><td>・ 薄膜型塗床材</td><td>・ エポキシ樹脂系塗床材</td><td>・ 平滑仕上げ</td></tr></table> 4. フローリング張り (19. 5. 2～7)(表19. 5. 1～5) <table><tr><th rowspan="2">工 法</th><th rowspan="2">※ 釘留め工法 (接着剤併用)</th><th rowspan="2">※ 根太張り工法</th><th rowspan="2">フローリング種類</th><th rowspan="2">単層</th><th rowspan="2">複合</th><th rowspan="2">寸 法 等</th><th rowspan="2">樹 種</th></tr><tr></tr><tr><td rowspan="4">・ 直張り工法</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">※ フローリングボード</td><td rowspan="4">単層</td><td rowspan="4">複合</td><td rowspan="4">※ フローリングボード</td><td rowspan="4">表19. 5. 1 表19. 5. 2 表19. 5. 3 表19. 5. 4 表19. 5. 5 表19. 5. 6</td></tr><tr></tr><tr></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ 接着工法</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングブロック</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td><td rowspan="2">複合</td><td rowspan="2">※ 図示による</td><td rowspan="2">・ なら ・ さくら ・</td></tr><tr></tr><tr><td rowspan="2">・ フローリングボード</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">※ フローリングボード</td><td rowspan="2">単層</td></tr></table>			種 類	色 柄	厚 さ	工 法	備 考	※ FS	◎ 無地	※ 2.0	※ 熱溶接	◎ 防滑性ビニル床シート	・	◎ 模様	・	・ 突付け	・	種 類	色 柄	厚 さ(mm)	備 考	・ 単層ビニル床タイル(TT)	・ 無地	※ 2	・ 防滑性床タイル	・ 複層ビニル床タイル(FT)	・ 模様	・ 3	・ コンポジションビニル床タイル(KT)				・				材 料	種 類	仕 上 げ の 種 類	・ 厚膜型塗床材	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	・ エポキシ樹脂系塗床材	・ 薄膜流しのペ工法 (※ 平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流しのペ工法 (※ 平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル工法 (※ 平滑 ・ 防滑)	・ 薄膜型塗床材	・ エポキシ樹脂系塗床材	・ 平滑仕上げ	工 法	※ 釘留め工法 (接着剤併用)	※ 根太張り工法	フローリング種類	単層	複合	寸 法 等	樹 種	・ 直張り工法			※ フローリングボード	単層	複合	※ フローリングボード	表19. 5. 1 表19. 5. 2 表19. 5. 3 表19. 5. 4 表19. 5. 5 表19. 5. 6	・ 接着工法			※ フローリングブロック	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・	・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層
種 類	色 柄	厚 さ	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※ FS	◎ 無地	※ 2.0	※ 熱溶接	◎ 防滑性ビニル床シート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・	◎ 模様	・	・ 突付け	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 類	色 柄	厚 さ(mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 単層ビニル床タイル(TT)	・ 無地	※ 2	・ 防滑性床タイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 複層ビニル床タイル(FT)	・ 模様	・ 3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ コンポジションビニル床タイル(KT)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
材 料	種 類	仕 上 げ の 種 類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 厚膜型塗床材	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ エポキシ樹脂系塗床材	・ 薄膜流しのペ工法 (※ 平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流しのペ工法 (※ 平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル工法 (※ 平滑 ・ 防滑)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 薄膜型塗床材	・ エポキシ樹脂系塗床材	・ 平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
工 法	※ 釘留め工法 (接着剤併用)	※ 根太張り工法	フローリング種類	単層	複合	寸 法 等	樹 種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 直張り工法			※ フローリングボード	単層	複合	※ フローリングボード	表19. 5. 1 表19. 5. 2 表19. 5. 3 表19. 5. 4 表19. 5. 5 表19. 5. 6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 接着工法			※ フローリングブロック	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層	複合	※ 図示による	・ なら ・ さくら ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ フローリングボード			※ フローリングボード	単層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

19

内装工事

○

6. せっこうボード、その他ボード及び合板張り

せっこうボード、その他ボード類

(19. 7. 2～3) (表 19. 7. 1～5)

種 類	種 別	張 り 方		厚 さ	備 考
○ せっこうボード	○ GB-R ○ GB-S ○ GB-F ・ GB-L	○ 下地張り	※ 突付け ・ 継目処理	・ 突付けV目地 ・ 目透し	※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・
	○ 突付け ・ 継目処理		・ 突付けV目地 ・ 目透し	※ 9.5 ③ 12.5 ・ 15.0 ・	
○ 化粧せっこうボード	GB-D	・ 上張り	※ 突付け ・ 継目処理	・ 突付けV目地 ・ 目透し	※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・
	○ トラバーチン模様 (GB-D) ・ 木目模様 (裏残付) (GB-D)		・ 突付け ・ 継目処理	・ 突付けV目地 ・ 目透し	※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・
○ 無石綿けい酸カルシウム板			○ 突付け ○ 継目処理	・ 突付けV目地 ・ 目透し	※ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12 ・
・ 木毛セメント板	・ 難燃木毛セメント板 (2級以上) ・ 断熱木毛セメント板	・ 30分耐火以上 ・ 準不燃	・ 継目用金物		・ 15 ・ 20 ※ 25 ・ 30 ・ 40 ・ 50

合板類

材 種	樹 種 など	厚 さ(mm)			工 法
○ 普通合板	・ 生地のまま又は透明塗料塗りの場合 (・ ラウン ○ しな ・)	・ 5.5	・ 9	・ 12	○ 図示
	・ 不透明塗料塗りの場合 (・ ラウン ・ しな ・)	・ 5.5	・ 9	・ 12	・ A種 ※ B種
・ 特殊合板	・ 天然木化粧合板の化粧単板 (・ ラウン ・ しな ・)	化粧単板厚	※ 0.3未満	・	・ A種 ※ B種
	・ 特殊加工化粧合板の仕上りの種類 (・)	板厚	・ 4.2	・	・ A種 ※ B種

下地

○ 軽量鉄骨下地

・ 木下地

・

21

排水工事

○

6. 階段滑り止め

材種

※ SUS ・ ()

(20. 2. 7)

形状

※ ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ ゴムタイヤなし

両端フラットエンド

・ 無 ※ 有

幅(mm)

・ 35 ※ 40

取付け工法

※ 接着工法

・ 埋込み工法(溶接)

○

7. 床目地棒

床仕上の異なる箇所には目地棒を入れる。

(20. 2. 8)

・ 黄銅製 4×12

・ ステンレス製 4×12

※ ステンレス製 〇型 (幅40 内外厚さ2)

○

8. 黒板及びホワイトボード

	種 類	寸 法(mm)	色 彩	備 考
○ 黒板	※ 研出し		※ 緑 ・ 黒	※ 曲面 ・ スクリーン付引分け
○ 焼付け	※ 焼付け		※ 緑 ・ 黒	
○ ホワイトボード	※ ほうろう白板		※ 白	○ 曲面 ・ スクリーン付引分け
			※ 白	

黒板及びホワイトボードについて5年保証書を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。

(製品には、製造年月、製作所記名プレートを取り付ける。)

9. 鏡

厚さ

※ 5mm

・

(20. 2. 10)

○

10. 表示

・ 対人衝突防止表示

※ 図示 (市販品

※ ステンレス製

径約30mm

・)

・ 無し

○ 誘導標識、非常用進入口等の表示は消防法に適合する市販品とし、その他は共通詳細図による。

(20. 2. 11)

○ 室名表示

※ 図示による

11. ブラインド

形 式	スラットの材種	開 閉 方 式	スラットの幅 (mm)	ヘッドボックス及びボトムレール
・ 横形	※ アルミニウム合金	※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ 25	・ ※ 鋼製
・ 縦形	・ アルミスラット ・ クロススラット	※ 2本操作コード式	・ 80	・ 100

○

12. カーテン及びカーテンレール

レール、ブラケットの強さによる区分

※ 10-90

・ ()

(20. 2. 16) (表 20. 2. 1)

カーテンレール

※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成型材 (アルマイト仕上げ)

・ ステンレス製

工法

暗幕用カーテン両端、上部及び召合せ重なり

※ 300mm以上

・

21

排水工事

1. 屋外雨水排水

材料

※ 図示による

2. 縁石及び側溝

材料

※ 図示による

1. 路盤

・ 厚さ:

※ 図面による

(22. 3. 2)

・ 材料:

※ 再生クラッシュランRC-40

・ クラッシュランC-40

・ 図面による

(22. 3. 3)

2. アスファルト舗装

・ 構成及び厚さ:

※ 図面による

(22. 4. 2)

・ 再生アスファルトの種類

・ 60～80

・ 80～100

・ ()

・ シールコート の適用:

・ 行う

※ 行わない

(22. 4. 3)

・ 表層の加熱アスファルトの混合物の種類:

・ ()

(22. 4. 4)

・ 切取り検査:

・ 行う

※ 行わない

(22. 4. 6)

・ アスファルト混合物等の抽出試験:

・ 行う

※ 行わない

3. コンクリート舗装

・ 構成及び厚さ:

※ 図面による

(22. 5. 2)

・ 寒冷期に施工する場合で早強セメントを用いる場合:

※ 用いない

・ 用いる

(22. 5. 3)

・ 注入目地材料のタイプ:

※ 低弾性タイプ

・ ()

・ 溶接金網の網目の形状寸法、鉄線の径:

※ 鉄線径 6mm

網目 150mm

4. 透水性アスファルト舗装

・ 構成及び厚さ:

※ 図面による

(22. 7. 2)

・ 路盤材料:

フィルター層は良質なシラスとする

5. ブロック系舗装

・ 種類:

・ コンクリート平板舗装

・ インターロッキングブロック舗装

・ 舗石舗装

(22. 8. 1)

・ 構成及び厚さ:

※ 図面による

(22. 8. 2)

・ ブロックの敷設パターン:

※ 監督員の指示による

・ ()

6. 砂利敷き

・ 構成及び厚さ:

※ 図面による

(22. 9. 2)

・ 種別:

・ A種

・ B種

20

ユニット及びその他の工事

1. フリーアクセスフロア

床面から仕上材天端までの寸法

※ 100

・ 110

・

(20. 2. 2)

表面仕上材

※ カーペット

・ 帯電防止ビニル床タイル (・ 置敷タイプ ・ パネル一体タイプ)

床パネルの材質

※ アルミ合金ダイカスト製

・ スチール製又は複合材等

・

寸法

※ 450角以上、600角以下

・

適用地震時水平震度(Ks)

(1階及び地階)

※ 0.6以上

・

(中間階)

※ 0.6以上、1.0以下

・

(最上階)

※ 1.0以上

・

耐荷重性能

※ 3,000N(製造所は評価名簿による)

・ 5,000N

・

空調用孔あきパネル

枚数 ()

材質 ()

コンセント開口

適用室 ()

コンセント部分以外にフリーアクセスフロア内からフロア面上へ配線取り出し開口を全パネルに有すること。

試験方法は、JIS A 1450(フリーアクセスフロア試験方法)による。

特記以外の仕様は製造所の仕様とする。

2. 可動間仕切 (既製間仕切)

構 造 形 式	表面板及び厚さ	パ ネ ル 仕 上 げ	パ ネ ル 見 込 み
※ パネル式	鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上	・	※ 焼付塗装(常備色程度)
・ スタッド式			・ 60以上
・ スタッドパネル式	鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上	・	※ 焼付塗装(常備色程度)
	スタッド アルミニウム製 40角	・	・ 30以上

品質

JIS A 6512

又は

評価名簿による

3. 移動間仕切 (スライディングウォール)

パネル操作方法

()

(20. 2. 4)

パネル表面材の材質

(※ 鋼板

・)

パネル表面材仕上

(・ 焼付け塗装

・ 壁紙張り

・)

パネル圧接装置操作方法

()

遮音性能 (・ 一般タイプ(36dB未満) ・ 遮音タイプ(36dB以上))

ハンガーレール

取付下地補強方法 (※ 20. 2. 4(3)(ウ)

・

固定方法 (・ あと施工アンカー(材質:

・

・ 寸法:

・)

・

製造所

評価名簿による

4. トイレブース

表面仕上材

※ メラミン樹脂系化粧板同等品以上(標準色

アルミ製コーナーエッジ付き)

(20. 2. 5)

・ ポリエステル樹脂系化粧板

脚部

※ 幅木タイプ

・ 足金物型

製造所

評価名簿による

○

5. 手すり及びタラップ

種 類	材 料 の 種 別	表面処理(14.2.1～3、表14.2.1～2 による)	
・ 手すり	※ ステンレスSUS304	※ HL程度	
	・ 鉄(亜鉛めっき)	(外部) ※ C種	
	・ アルミ	(外部) ・ (内部) ・	
・ タラップ	※ ステンレスSUS304	※ 研磨無し	
	・ 鉄(亜鉛めっき)	(内外部) ※ C種	・

ステンレスSUS430を使用する箇所 ()

株式会社 田代設計工房

一級建築士 第 145118 号

田代 昌弘

桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事

建築工事特記仕様書 5ー5

鹿児島市建設局建築部建築課

Aー06

Ver.B60401

外壁改修工事特記仕様書

I. 外 壁 仕 上 塗 材 除 去 工 事

1. 分 析 状 況

- 既存仕上塗材における石綿含有の有無
- ・ 未調査(以下の既存仕上塗材について石綿含有の分析調査を行い、監督員に結果を報告すること。石綿が含有されている場合は、施工範囲や工法等について監督員と協議すること。) 調査箇所(計〇か所)
 - 調査済
 - ・ 有 【使用箇所】 外壁・上裏:() 庇の天端・見付:()
 - 無

2. 適 用 範 囲

コンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁における浮き、欠損、爆裂、ひび割れ、の劣化改修工事に先立ち行う石綿含有仕上塗材の除去工事に適用する。

3. 法 令 等 の 遵 守

大気汚染防止法、労働安全衛生法及び石綿障害予防規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守するとともに、関係機関等と協議を行い、必要に応じて手続き等を遺漏なく適正に行うこと。
大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を掲示板により公衆及び作業員の見やすい箇所に掲示すること。また、必要に応じて周辺住民等へ掲示等で周知すること。

4. 事前調査

除去作業に先立ち、事前調査を実施し、結果について工事現場に備え置くとともに、発注者へ書面により説明を行うこと。

5. 施 工 計 画

除去作業に先立ち、施工計画書(除去作業管理組織図、除去作業方法、掲示方法、産業廃棄物処理方法等)を作成して監督員に提出すること。施工計画にあたり、令和3年3月厚労省及び環境省作成「建築物等の解体等作業に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和3年3月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)」を参考とすること。
作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないよう留意すること。

6. 除 去 作 業

1) 共通事項

- ① 石綿作業主任者・・・処理作業にあたって石綿障害予防規則に基づき選任すること。
- ② 処理作業従事者・・・石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者とする。
- ③ 作業箇所に近接する室内の開口部等に粉塵が入らないよう窓を閉め、養生及び立入禁止措置を講ずること。
- ④ 作業箇所は、作業環境に応じてプラスチックシート等で適切に養生を行うこと。
- ⑤ 除去作業後、石綿作業主任者が目視により取り残しがないことを確認すること。
- ⑥ 除去完了後、作業箇所及びその周辺(ベランダ内部を含む)をHEPAフィルター付真空掃除機で清掃すること。
- ⑦ 除去した仕上塗材及び養生材、保護衣等は、排出形態に応じて適切に保管・運搬・処分を行うこと。

2) 除去作業

- ① 除去工法は、以下の石綿障害予防規則第6条の2第2項ただし書きに基づく隔離養生及び湿潤化と同等以上の効果を有すること。それ以外の工法とする場合は監督員と協議すること。
 - 剥離剤併用手工具ケレン工法
 - ・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
- ② 使用する剥離剤については環境配慮型とし、使用前に事前試験を行い、適正条件を確認してから本施工すること。

II. 一 般 事 項

1. 適 用 範 囲

本特記の範囲は、設計図書に示した外壁のうちコンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁を対象とし、これらの浮き、欠損、爆裂、ひび割れの劣化を改修する工事に適用する。その他の仕上げ外壁については、監督員と協議し、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編)(令和4年版)に基づき施工する。

※ **仕上塗材が石綿含有の場合は、各工法において下線部分を遵守すること。**

2. 打診調査及び調査報告書

外壁の改修範囲については、施工前に建築仕上診断技術者(ビルディングドクター)による全面打診調査を行い、その結果に基づき、数量表及び図面(A3サイズ紙とJW-CADデータ)で構成する「調査報告書」を作成し、監督員に提出すること。

なお、調査にあたってはマーキングを行い、監督員の打診検査後、全ての改修箇所について番号を表示すること。

3. 検 査

施工数量調査のマーキング後、監督員による打診検査を受けること。また、外壁改修完了後は吹付工事前に監督員の完了検査を受けること。
なお、施工中に、設計図書に明示のない箇所又は判断出来ない箇所が発見された場合は、監督員と協議を行い、施工すること。

4. 試 験

ポリマーセメントモルタル充填工法による改修箇所のうち監督員の指示する箇所について、表面引張り試験を監督員立会いのうえ実施し、その試験成績書を完成書類に添付すること。

5. 工 事 施 工

浮き部、ひび割れ部の樹脂注入工事に際しては、樹脂接着剤注入施工技能士を1名以上選任し、当該工事作業中自ら作業をするとともに他の技能者の作業指導を行い、施工品質の向上に努めるものとする。左官、塗装工事は技能士を適用する。

6. 施 工 報 告 書

改修工事完了後、施工数量表及び施工図面(A3)で構成する「施工報告書」を作成し、完成書類に添付すること。

7. 工 事 写 真

改修工事を行った部分については、工程(工法・状態別に各2ヶ所)、完了後の写真を提出すること。
工事写真はすべてカラーとし、サイズはL版程度とする。

※ 撮影箇所及び方法等は、監督員と協議の上、決定すること。

8. 電子ファイリングデータ

- 1) 提出データ : 施工報告書、工事写真(完了後)
 - 2) データ提出媒体: データ提出用は、「CD-R」または「DVD-R」とする。
 - 3) データ保存形式: 図面データは、国土交通省の「官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕業務編】」の標準形式とする。
写真データは、JPEG(写真帳等にまとめる場合はPDF)とする。
- ※ 原則に依りがたい場合は、事前に監督員の承諾を得るものとする。

9. 保 証 書

改修工事の施工については、保証書(3年)を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。

※ マーキング、調査報告書、施工報告書、完成写真に付与する番号(面毎の通し番号)は統一すること。

III. 特 記 事 項

1. ポリマーセメントモルタル充填工法

① 適 用 範 囲

コンクリート打放しの欠損、爆裂の改修で全ての部位に適用し、モルタル塗り仕上げ面の欠損、爆裂、落下の恐れのある浮き(※1)の補修で下記の部位に適用する。ただし、0.25㎡未満で塗厚が30mmを超える場合は、監督員と協議の上、工法を決定すること。

- イ) パラペット ロ) 庇鼻 ハ) 窓面台及び笠木 ニ) 揚裏 ホ) 全ての部位の爆裂部
- ヘ) 柱壁、だき、まぐさの0.25㎡未満の部分

※ **改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。(補修範囲及び周囲5cm部分)**

② 材 料

- 1) ポリマーセメントモルタルは、合成ゴム系、アクリル系とし既調合とする。なお、製品については次の品質基準に適合するものとする。
曲げ強さ: 6N/mm²、 圧縮強さ: 20N/mm²、 接着強さ: 1N/mm²
- 2) 被着面に塗布するプライマーは、ポリマーセメントモルタルの製造所の指定する製品とし、ポリマーセメントモルタルの付着に支障のないものとする。
- 3) 防錆材等は、製造所の指定する製品とする。
- 4) 鉄筋及びコンクリート面に塗布する防錆材等は、ポリマーセメントモルタルの付着に支障のないものとする。

③ 工 法

- 1) テストハンマーの打撃により、はがれ、剥落のおそれのある部分を確認し、補修範囲について監督職員と協議する。
- 2) 欠損部及び塗替部周辺の脆弱部は、健全部にカッターを入れ、他の部分の浮きを誘発することのないよう内側のモルタルをハンマー等により除去し、欠損部の状況を目視で確認する。
- 3) 下地部分はワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除去、清掃を行う。又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつり落とし、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去し、防錆材等を塗布して防錆処理を行う。
- 4) プライマーを被着面に刷毛を用いて塗布する。
- 5) 各層の塗り厚は7mm程度とし、養生期間は1週間以上とする。ただし、製造所の仕様等により期間を短縮する場合は、資料を監督員に提出し承諾を受けること。
- 6) ポリマーセメントモルタルの面積が0.25㎡以上で塗厚が厚い(厚さ25mm以上)場合は、ポリマーセメントモルタルの下塗りに先立ち、ステンレスアンカーピンを縦横200mm間隔程度に躯体コンクリートに固定し、ステンレスなまし線を張り、足がかりをよくしてからポリマーセメントモルタル塗りを行う。ステンレスアンカーピンは塗厚に応じて長さを変えること。
- 7) 表面は金コテ又は刷毛引き仕上げとする。
- 8) 各層とも急激な乾燥を避け、適切に養生する。
- 9) 各工程に伴う作業は、製造所の仕様を準用する。

④ 確 認

下地の脆弱部分の除去と堅固な下地を確認する。

2. モルタル塗替工法

① 適 用 範 囲

モルタル塗り仕上げ面の欠損、落下の恐れのある浮き(※1)の改修で下記の部位及び他工法により施工ができない部分に適用する。

- イ) 柱壁、だき、まぐさの0.25㎡以上の部分 ロ) 庇天端

※ **改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。(改修範囲及び周囲5cm部分)**

② 材 料

- 1) ポリマーセメントモルタル、ポリマーセメントペースト用の混和材料は、JIS A 6203(セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂)の規格に適合したもので監督員の承諾を受けたものとする。
- 2) 保水剤は、メチルセルロースの類とし、使用量等の資料を監督員に提出し承諾を受けること。

③ 工 法

- 1) テストハンマーの打撃により、はがれ、剥落のおそれのある部分を確認し、補修範囲について監督員と協議する。
- 2) 欠損部及び塗替部周辺の脆弱部は、健全部にカッターを入れ、他の部分の浮きを誘発することのないよう内側のモルタルをハンマー等により除去し、欠損部の状況を目視で確認する。
- 3) コンクリート面等の下地及び各塗り層は、清掃のうえ適度の水湿しを行った後、次の層を塗る。
- 4) 下地部分はワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除去、清掃を行う。又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつり落とし、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去し、防錆材等を塗布して防錆処理を行う。
- 5) コンクリート下地には、モルタルとの付着力を大きくするためにセメントペースト(1mm程度、保水剤使用)又は、製造所の指定する吸水調整材を薄く塗付け、引き続き下塗りを行う。
- 6) モルタルの塗厚が厚い(厚さ25mm以上)場合は、モルタルの下塗りに先立ち、ステンレスアンカーピンを縦横200mm間隔程度に躯体コンクリートに固定し、ステンレスなまし線を張り、足がかりをよくしてから接着剤混入モルタル塗りを行う。ステンレスアンカーピンは塗厚に応じて長さを変えること。
- 7) 現場調査ポリマーセメントモルタルの調査は、公共建築改修工事標準仕様書「4.4.9」による。
- 8) 各層の塗厚は、7mm程度とし、下塗りの養生期間は2週間以上とすること。(中塗り以降は乾燥次第随時塗付け可)

④ 確 認

下地の脆弱部分の除去と堅固な下地を確認する。

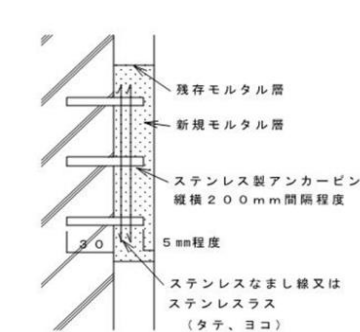


図-2 塗厚が25mmを超える場合



図-1 鉄筋露出の場合(ポリマーセメントモルタル充填工法)

桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事		
外壁改修工事特記仕様書(1)		A-07
鹿児島市建設局建築部建築課		
Ver.B60401		

3. アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

① 適用範囲

モルタル塗り仕上げ面で落下の恐れのない(※2)浮き部に適用する。

② 材料

- 1) エポキシ樹脂は、JISA6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に適合するものとする。
2) アンカーピンの材質は、ステンレス鋼(SUS304)とし、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

③ 工法

- 1) テストハンマーを用いて浮き部を確認し、チョーク等で明示の上、注入範囲について監督員と協議すること。
2) 浮き部分に対するアンカーピン本数は、一般部分(壁面等)は16本/㎡、指定部分(揚裏、パラペット)は25本/㎡、狭幅部は幅中央に5本/㎡とする。又、所定の本数が浮き部分に対して均等に配置されるよう穿孔位置をマーキングする。
3) 穿孔はコンクリート用ドリルを用い、使用するアンカーピンの直径より約2mm大きい直径とし、壁面に対し直角に穿孔する。穿孔はマーキングに従って行い、構造体コンクリート中に30mm程度の深さに達するまで行う。穿孔後は、十分孔内を清掃して、接着の妨げとなる切粉等を除去する。(清掃は電気ブロー器具同等以上の清掃器具を使用すること。)
※石綿含有仕上塗材の穿孔にあたっては、粉じん飛散防止のため、水循環式ドリル又は集じん装置(HEPAフィルター)ドリル使用とすること。
4) アンカーピン固定用エポキシ樹脂を手動式注入器を用い、注入口の最深部より徐々に充填する。充填量は、挿入孔1箇所当たり25mlとする。
5) アンカーピンを挿入孔最深部まで挿入し、パテ状エポキシ樹脂等で仕上げる。
6) 注入部以外に付着した材料は、適切な方法で除去し、清掃する。

④ 確認

アンカーピン固定部のエポキシ樹脂の広がり、固着状況について全数をテストハンマーの打診により確認する。

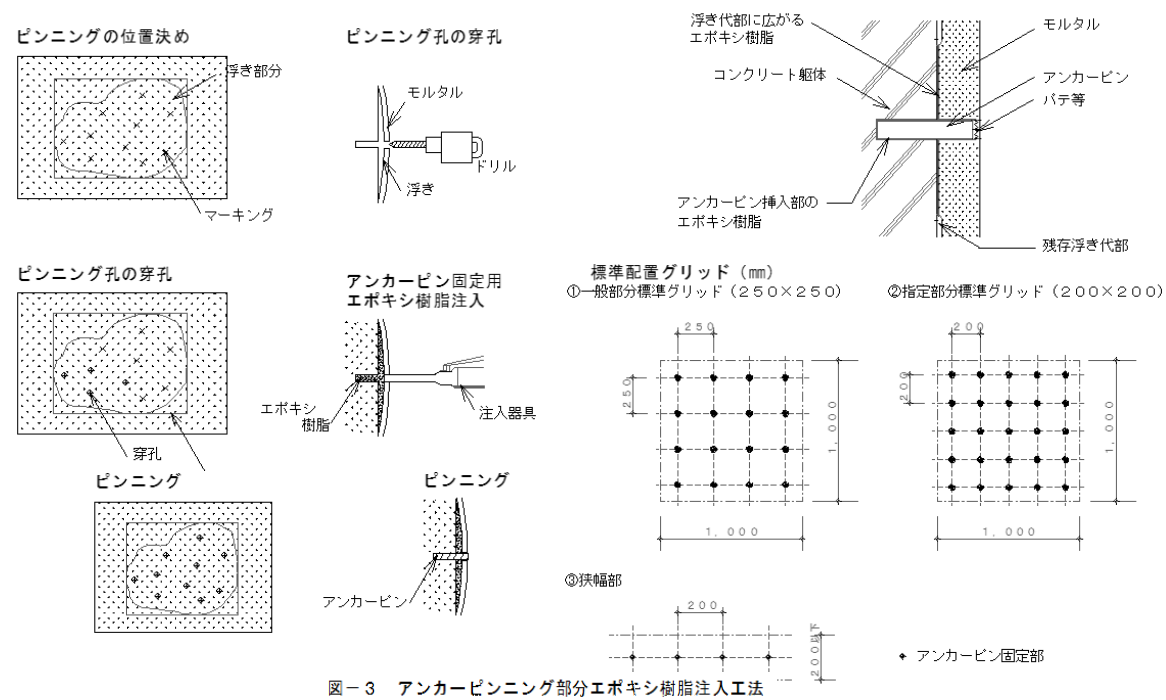


図-3 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

4. 防水モルタル塗替工法

① 適用範囲

モルタル塗り仕上げ面の改修で監督員の指定する部分。

※改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。(改修範囲及び周囲5cm部分)

② 材料

防水剤は、JISA1404に適合するものとする。

③ 工法

- 1) テストハンマーの打撃により、はがれ、剥落のおそれのある部分を確認し、補修範囲について監督員と協議する。
2) 欠損部及び塗替部周辺の脆弱部は、健全部にカッターを入れ、他の部分の浮きを誘発することのないよう内側のモルタルをハンマー等により除去し、欠損部の状況を目視で確認する。
3) コンクリート面等の下地及び各塗り層は、清掃のうえ適度の水湿しを行った後、次の層を塗る。
4) 下地部分はワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除去、清掃を行う。又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつり落とし、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去し、防錆材等を塗布して防錆処理を行う。
5) コンクリート下地には、モルタルとの付着力を大きくするためにセメントペースト(1mm程度 保水剤使用)を薄く塗付け、引き続き下塗りを行う。
6) 防水モルタルの塗厚が厚い(厚さ25mmを超える)場合は、防水モルタルの下塗りに先立ち、ステンレスアンカーピンを縦横200mm間隔程度に躯体コンクリートに固定し、ステンレスなまし線を張り、足がかりをよくしてから防水モルタル塗りを行う。
ステンレスアンカーピンは塗厚に応じて長さを変えること。
7) 防水モルタルの調合は、防水剤製造所の仕様による。
8) 各層の塗厚は、15mm以下とし、下塗りの養生期間は2週間以上とすること。(中塗り以降は乾燥次第随時塗付け可)

④ 確認

下地の脆弱部分の除去と堅固な下地を確認する。

5. 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

① 適用範囲

コンクリート打放し仕上げ及びモルタル塗り仕上げのひび割れ幅が、0.2～1.0mm以下のひび割れ部について適用する。

② 材料

- 1) エポキシ樹脂はJISA6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に適合するものとする。
2) シール材は、注入材料製造所の指定する製品とし、既存の塗材、塗料等又は新規の塗材、塗料等に支障のないものとする。

③ 工法

- 1) ひび割れに沿って幅50mm程度の汚れを除去し、清掃する。
※石綿含有仕上塗材の清掃にあたっては、粉じん飛散防止のため、飛散の恐れがあるワイヤブラシ等によるケレンは行わないこと。
※コケ等汚れにより清掃が困難な場合は、監督員と協議を行い、改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。
2) 注入孔位置をスケール等で測定し、チョーク等でその位置のマーキングを行う。
3) 注入孔間隔は250mm程度とする。
4) 注入器具又は台座をひび割れが中心にくるようにして、仮止めシール材等で取り付ける。
5) 混練りしたエポキシ樹脂を注入器具に入れ、ゴム、パネ、空気圧等により注入圧を0.4N/mm²以下として注入する。
6) 注入時は、台座やシール部からの漏れをチェックし、注入器具内のエポキシ樹脂の減量状態を確認して、足りない場合は補充する。なお、注入完了後は、注入器具を取り付けたまま硬化養生をする。
7) エポキシ樹脂注入材の硬化を見計らい、仮止めシール材及び注入器具を適切な方法で撤去し、清掃を行う。

④ 確認

注入時の確認は一つ上の注入器具から漏出することを確認する。注入後の確認は注入が行われたか否かを目視する。

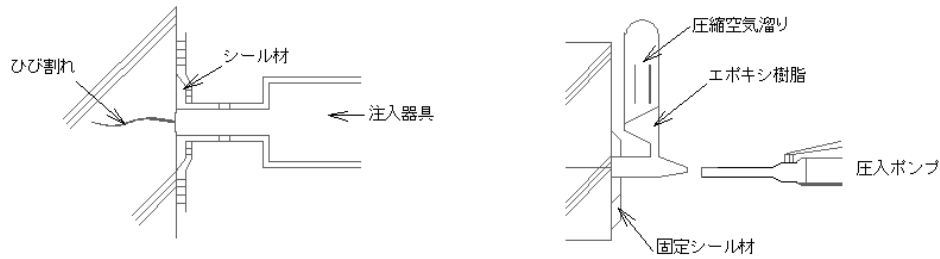


図-4 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

6. Uカットシーリング材充填工法

① 適用範囲

コンクリート打放し仕上げ及びモルタル塗り仕上げのひび割れ幅が1.0mmを超え、かつ挙動されるひび割れ部をUカットシーリング用材を充填しポリマーセメントモルタルを塗り込む場合に適用する。

※改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。(ひび割れ沿いの幅5cm部分)

② 材料

- 1) シーリング材は、JISA5758(建築用シーリング材)に適合するものとする。
2) プライマーは、主材製造所の製品とし、被着体(塗装してある場合は塗料)に適したものとする。
3) バックアップ材は、合成樹脂又は合成ゴム製でシーリング材と接着しないものとし、使用箇所に適した形状で大きさが目地幅より2mm程度広いものとする。

③ 工法

- 1) ひび割れ状況について確認し、補修範囲について監督員と協議すること。
2) ひび割れ部に沿って電動カッター等を用いて幅10mm程度、深さ10～15mm程度にU字型の溝を設ける。
3) Uカット溝内部に付着している切片、粉塵等はワイヤーブラシ、はけ等で除去する。
4) 被着体に適したプライマーを溝内部に塗残しのないよう均一に塗布する。
5) プライマー塗布後、ごみ・ほこり等が付着した場合又は当日充填が出来ない場合は再清掃し、プライマーを再塗布する。
6) プライマー塗布後、シーリング材を隅々まで行きわたるようにコーキングガン(ノズル)をUカット溝に当て、加圧しながら空隙、打残しがないように充填し、コンクリート表面から3～5mm程度低めに充填し、充填後はへらで押え、下地と密着させて表面を平滑に仕上げる。
7) ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面に合わせて平滑に塗り込む。

④ 確認

シーリング材の充填状況を目視により確認する。

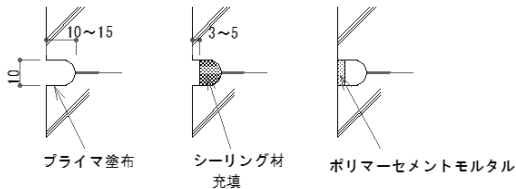


図-5 Uカットシーリング材充填工法

7. その他

① 以下の場合については、監督員と協議の上工法を決定すること。

- イ) 構造耐力に関するコンクリートの劣化ある場合
ロ) 漏水がある場合
ハ) その他、施工方法について、判断出来ない箇所が発見された場合

② 発注時の外壁改修数量は推計値によるものである。

③ **石綿含有仕上塗材の高圧洗浄にあたっては、粉じん飛散防止のため、高圧水洗工法(15MPa 以下)とすること。**

※1 通常レベルの打撃力によってはく落する恐れのあるモルタル浮き

※2 通常レベルの打撃力によってはく落する恐れのないモルタル浮き

桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事

外壁改修工事特記仕様書(2)

鹿児島市建設局建築部建築課

A-08

□ 敷地・建物概要

工事名：桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事
地名地番：鹿児島市桜ヶ丘二丁目3番地
道路：42条1項1号道路
主要用途：小学校
構造/階数：鉄筋コンクリート造 4階建て
工事種目：長寿命化改良工事（※設備工事は別途）
改良面積：1期－1367.07㎡ 2期－1351.29㎡
用途地域：第一種低層住居専用地域
防火地域：法22条地域
備考：大規模の修繕、大規模の模様替えには該当せず

□ 工事概要(今回工事範囲)

○ 長寿命化改良工事

外部：外壁改修工事

内部：内装(床・壁・天井・各下地)の改修工事

内部間仕切り壁、家具等の改修工事

教室―廊下間の間仕切り壁の改修工事(木製間仕切に改修)

○ 環境対策工事

内部：窓ガラスの遮熱化…全面窓のガラスの取替え
(アタッチメント付ペアガラスの採用)

□ 工事区分（電気設備、給排水設備、冷房設備は別途工事）

工事項目		建築工事	電気設備 工事	給排水・機械 設備工事	冷房設備 工事
1	仮囲い	○			
2	仮設仕切壁	○			
3	外部仮設足場	○			
4	外壁改修・塗装	○			
5	室内仕切壁	○			
6	天井改修	○			
7	天井点検口	○			
8	天井点検口・埋込天井開口補強	○			
9	流し台（ＢＬタイプ）	○			
10	1階土間ハツリ・復旧	○			
11	衛生器具面台	○			
12	屋上防水（昇降口）	○			
13	アルミパネル改修	○			
14	衛生器具（補強裏板共）			○	
15	水栓類			○	
16	給湯器（リモコン無し）			○	
17	発信機・表示灯		○		
18	分電盤類撤去後の穴埋め補修		○		
19	シャワーユニット（排水トラップ共）	○			
20	シャワーユニット用換気扇	○			
21	シャワーユニット用ダクト			○	
22	シャワーユニット用シャワー水栓	○			
23	天井換気設備			○	
24	壁掛換気設備		○		
25	既設配管撤去後の配管貫通部穴埋め		○	○	○
26	屋外配管用土間及びアスファルトハツリ・復旧		○	○	○

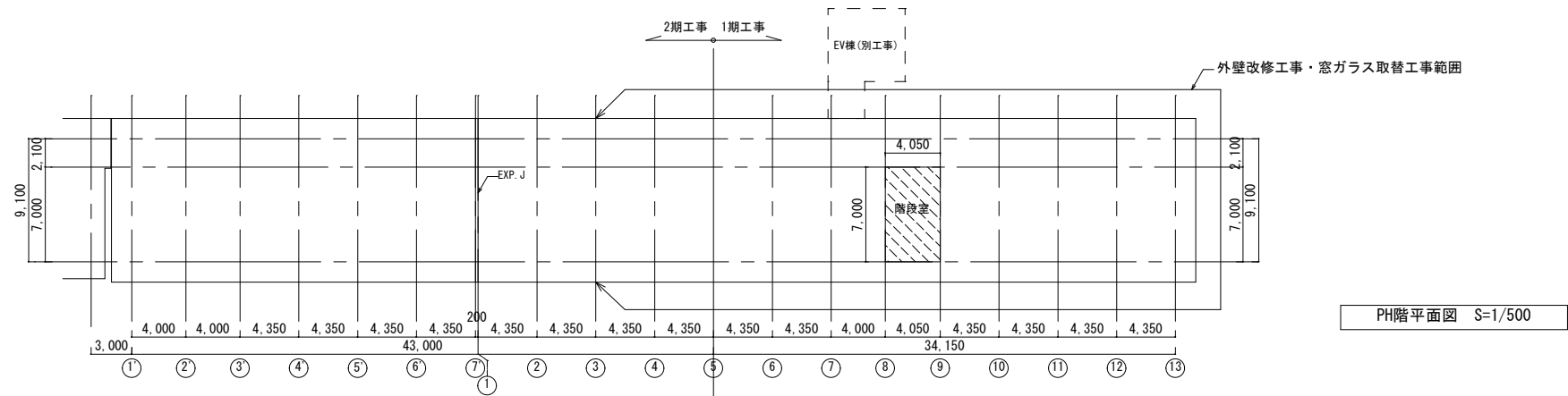
◎内装仕上塗材等の除去について

1. 分析状況
既存仕上塗材における石綿含有の有無
・ 未調査（以下の既存仕上塗材について石綿含有の分析調査を行い、監督員に結果を報告すること。
石綿が含有されている場合は、施工範囲や工法等について監督員と協議すること。）
調査箇所（計 箇所）
・ 調査済
○ 有 【使用箇所】 内壁ＡＥＰ塗装（下地調整材）部
※使用箇所のとりこわし及び改修工事に先立ち、石綿含有仕上塗材の除去工事を行うこと。
※別工事のEV棟増築工事でとりこわす部分の石綿含有仕上塗材の除去工事を行うこと。
・ 無
2. 法令等の遵守
大気汚染防止法、労働安全衛生法及び石綿障害予防規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守するとともに、関係機関等と協議を行い、必要に応じて手続き等を遺漏なく適正に行うこと。
大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を掲示板により公衆及び作業員の見やすい箇所に掲示すること。
また、必要に応じて周辺住民等へ掲示等で周知すること。
3. 事前調査
除去作業に先立ち、事前調査を実施し、結果について工事現場に備え置くとともに、発注者へ書面により説明を行うこと。
4. 施工計画
除去作業に先立ち、施工計画書（除去作業管理組織図、除去作業方法、掲示方法、産業廃棄物処理方法等）を作成して監督員に提出すること。
施工計画にあたり、令和3年3月厚労省及び環境省作成「建築物等の解体等作業に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和3年3月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)」を参考とすること。
作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないよう留意すること。
5. 除去作業
1) 共通事項
① 石綿作業主任者・・・処理作業にあたって石綿障害予防規則に基づき選任すること。
② 処理作業従事者・・・石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者としてすること。
③ 作業を行う作業場所を、それ以外の作業を行う作業場所からビニールシート等で隔離し、立入禁止措置を講ずること。
④ 除去作業後、石綿作業主任者が目視により取り残しがないことを確認すること。
⑤ 隔離の解除に当たっては、あらかじめ隔離空間の内部をHEPAフィルター付真空掃除機で清掃すること。
⑥ 除去した仕上・下地塗材及び養生材、保護具等は、排出形態に応じて適切に保管・運搬・処分を行うこと。
2) 除去作業
① 除去工法は、以下の 処理工法とすること。それ以外の工法とする場合は監督員と協議すること。
・剥離剤併用手工具ケレン工法
・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
② 使用する剥離剤については環境配慮型とし、使用前に事前試験を行い、適正条件を確認してから本施工すること。
6. その他
除去作業中に以下の表に基づき石綿粉塵濃度を測定すること。

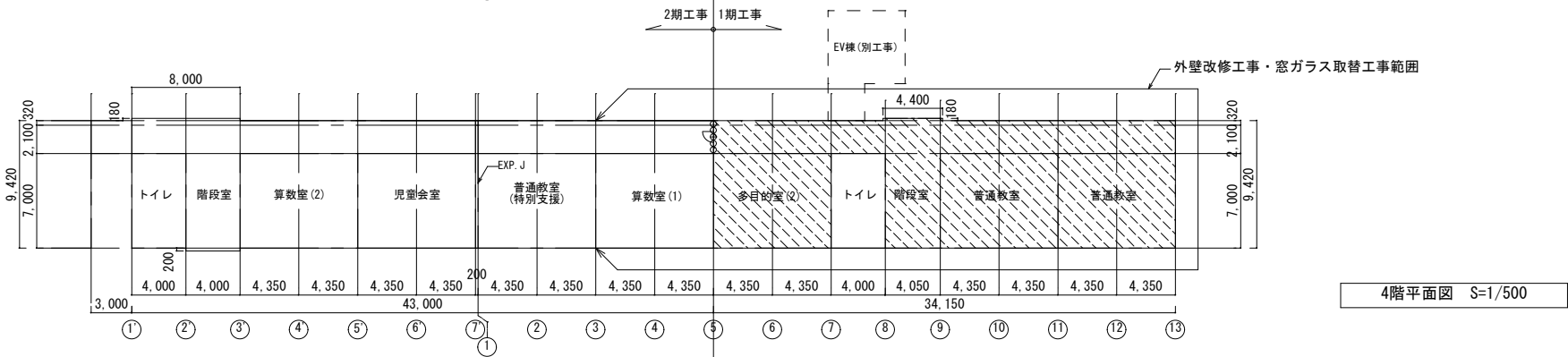
□防火材料・不燃材料等一覧表

名称	品質・規格・寸法など	認定番号
1時間耐火間仕切り壁	LGS(W=100)下地 下張り：強化石膏ボード t=12.5 上張り：ケイ酸カルシウム板 t=6.0	FP060NP-0384
不燃材料・準不燃材料		
ケイ酸カルシウム板	t=6.0 （無石綿）	NM-2773（同等品以上）
石膏ボード（不燃）	t=12.5	NM-8619（同等品以上）
石膏ボード（準不燃）	t=9.5	QM-9828（同等品以上）
耐水石膏ボード（準不燃）	t=9.5、t=12.5	QM-9826（同等品以上）
強化石膏ボード（不燃）	t=12.5	NM-8615（同等品以上）
塗料	EP、EPG、VE、SOP	基材同等 第0001号

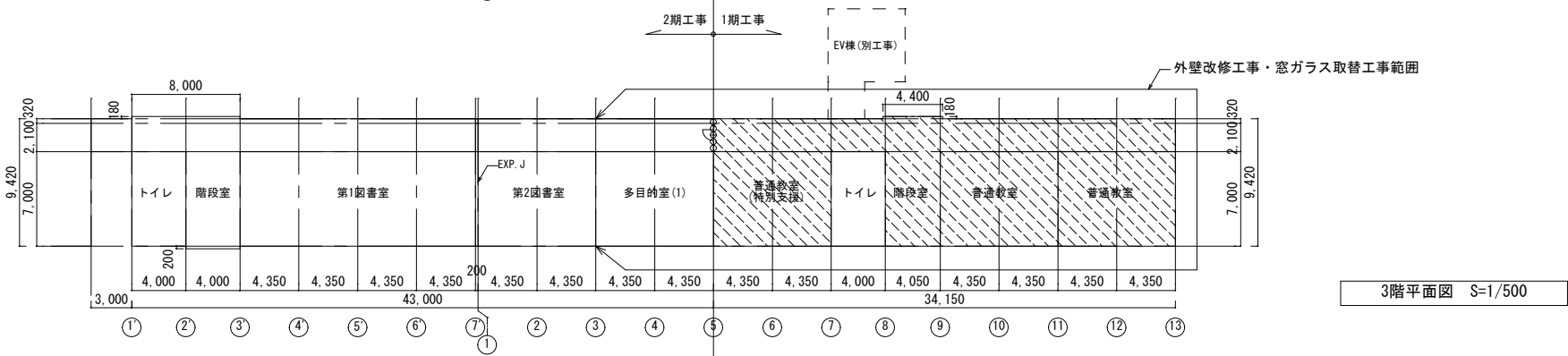
株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘	桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事	
	工事概要・工事区分	A－O 9
	石綿含有材建材撤去特記仕様書	
鹿児島市建設局建築部建築課		



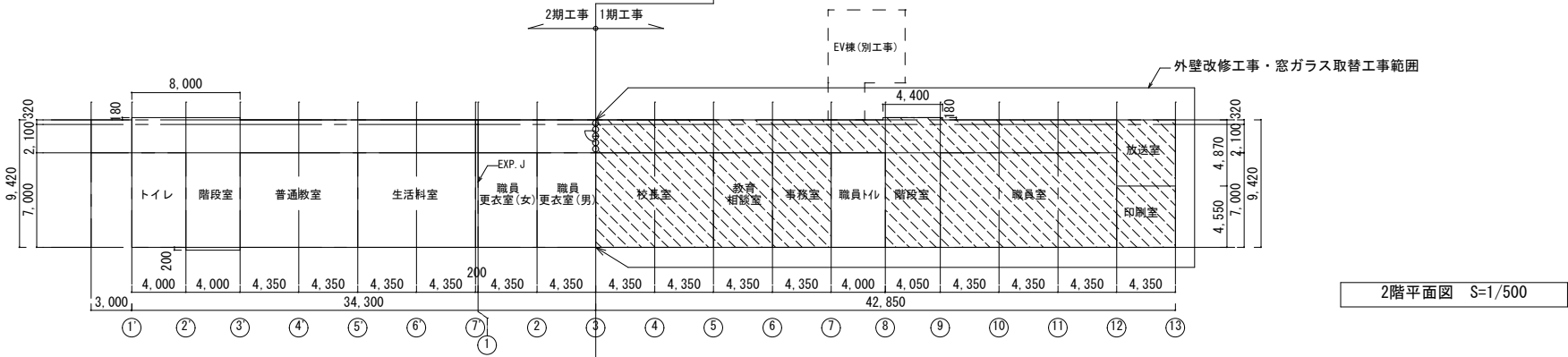
PH階平面図 S=1/500



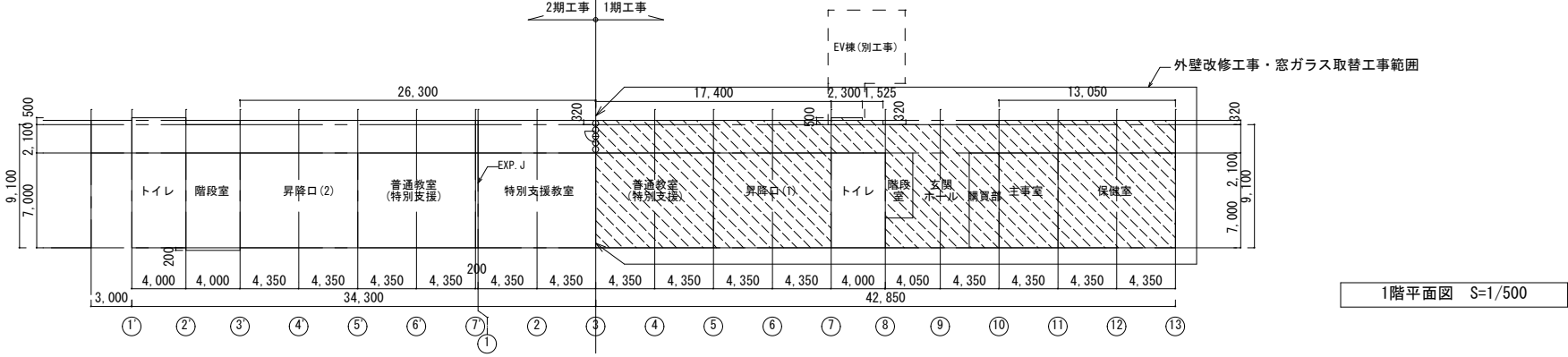
4階平面図 S=1/500



3階平面図 S=1/500



2階平面図 S=1/500



1階平面図 S=1/500

床面積		
1期工事		
PH階	内部改修床面積	m ²
	4.05 × 7.00	28.350
4階	PH階床面積	28.350
	内部改修床面積	m ²
	34.15 × 9.42	321.693
	4.40 × 0.18	0.792
	(トイレ改修済) 4.00 × 7.00	(-28.000)
3階	4階床面積	294.485
	内部改修床面積	m ²
	34.15 × 9.42	321.693
	4.40 × 0.18	0.792
	(トイレ改修済) 4.00 × 7.00	(-28.000)
2階	3階床面積	294.485
	内部改修床面積	m ²
	42.85 × 9.42	403.647
	4.40 × 0.18	0.792
	(職員トイレ改修済) 4.00 × 7.00	(-28.000)
1階	2階床面積	376.439
	内部改修床面積	m ²
	42.85 × 9.10	389.935
	2.30 × 0.50	1.15
	1.525 × 0.32	0.488
	13.05 × 0.32	4.176
1階	17.40 × 0.32	5.568
	(トイレ改修済) 4.00 × 7.00	(-28.000)
	1階床面積	373.315
	床面積合計	1367.076
床面積		1367.07
< 凡例 >		
【内部仮設間仕切】		
仕様 (両面仕上げ) LGS下地 (H=65) 強化PB t=12.5+ケイ酸カルシウム板 t=6.0 (両面) アルミ製片開きフラッシュ戸 750×1,800程度 (鍵付)		
※X3-X13通りの外壁改修工事及び外壁面のガラス交換については、1期工事で行う		
株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘		桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事
求積図 (1期工事)		A - 1 1
鹿児島市建設局建築部建築課		

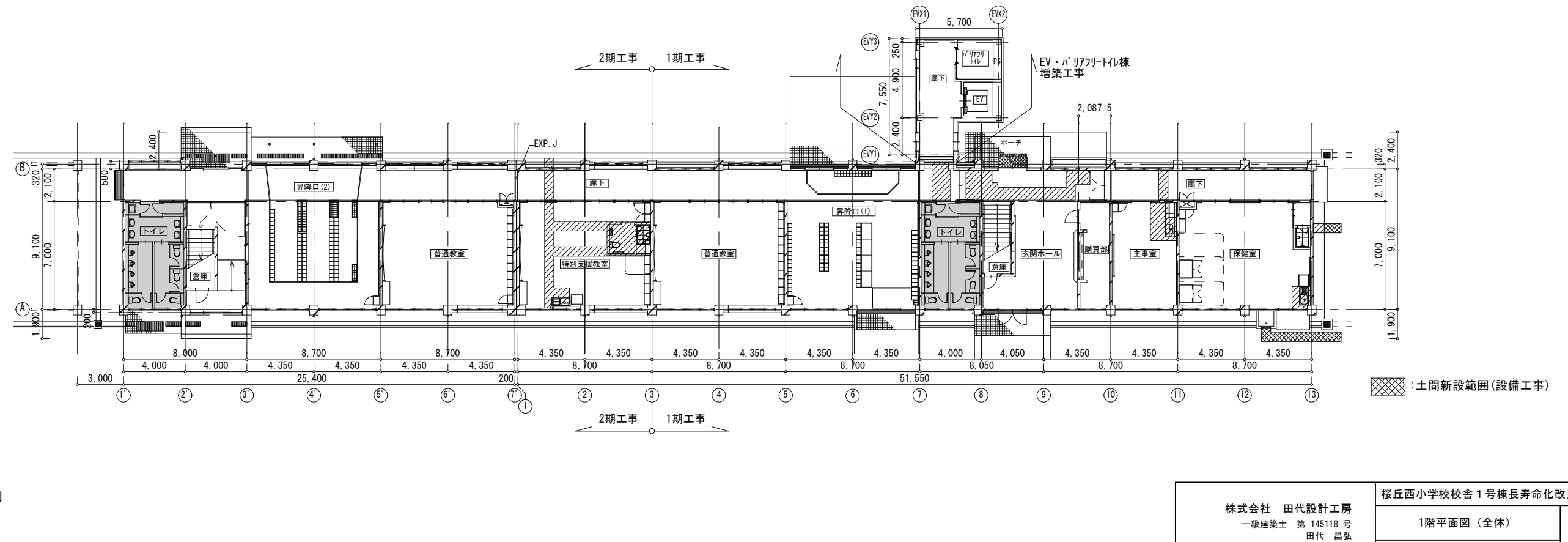
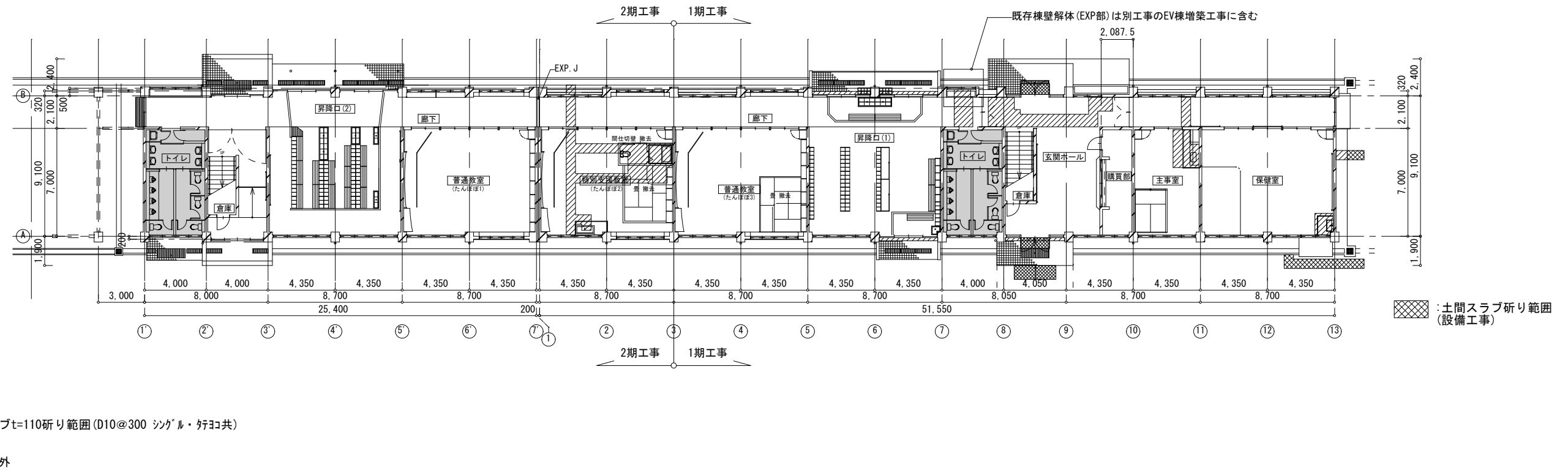
□外部仕上表				
	構造	屋根	外壁・巾木	軒裏
改修後	管理教室棟RC造	—	外壁：既存高圧水洗浄(15MPa)の上、シリコン系可とう形改修塗材E 巾木：既存高圧水洗浄(15MPa)の上、DP塗(ポリウレタン樹脂)	軒裏：既存高圧水洗浄(15MPa)の上、アクリル系軒天用仕上塗材
			その他	
			縦樋：素地ごしらえ(RC種)の上、DP塗(ポリウレタン樹脂)	

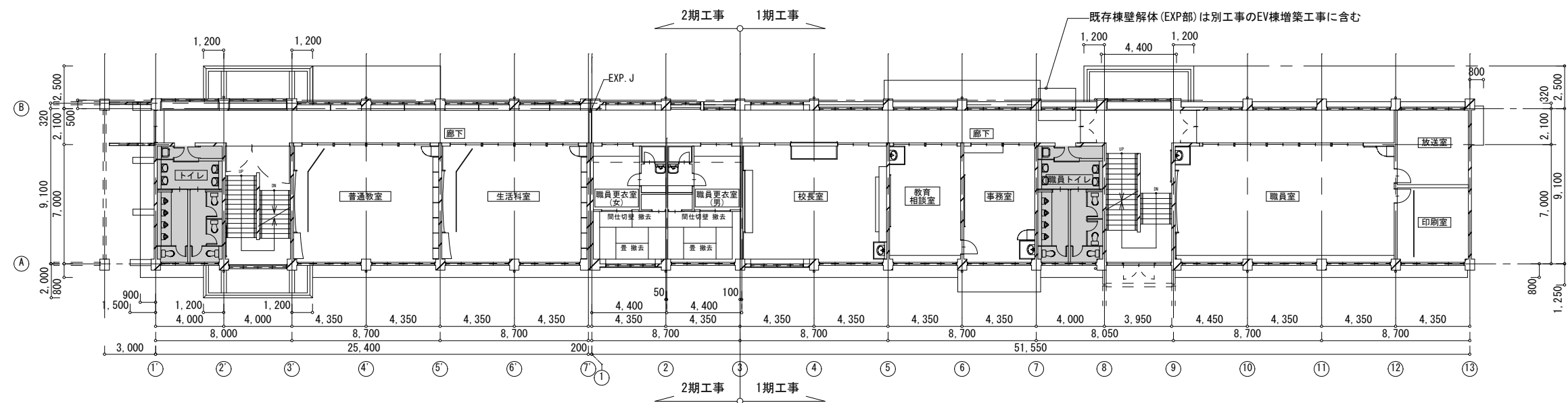
□内部仕上表							
階	改修の前後	室名	床	巾木	壁	天井	CH
1 階	改修前	普通教室 (たんぼぼ3) X3-X5	クッションシートt=2.0+構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0 一部、畳敷きt=55	木製巾木 OP塗装 H=70	ベニヤ t=5.5目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装 耐震補強部：LGS下地、ケイカル板t=8.0の上、EPG塗装	軽天下地 岩綿吸音板t=9.0 梁型：モルタルコテ押え AEP塗装	2,970
	改修後	普通教室 X3-X5	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、掲示板(黒板) (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 耐震補強部：(壁)既存ケイカル板下地調整の上 EPG塗替 (腰壁)既存ケイカル板の上 杉板t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)既存下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法) EPG塗装	3,000
	改修前	昇降口(1) X5-X7	ビニル床シートt=2.0(ノンスリップタイプ) 一部、モザイクタイル (50角)	木製巾木 OP塗装 H=90 モルタル巾木 SOP塗装 H=90	ケイカル板 t=8.0 EPG塗装 北面・南面：モルタル金コテ押え AEP塗装+EPG塗装	軽天下地 ジブトーンt=9.0 梁型：モルタルコテ押え AEP塗装+EPG塗装	3,000 (一部2,690)
	改修後	昇降口(1) X5-X7	既存撤去後、アンダーレイシートt5.0+防滑性ビニル床シート t=2.0 一部、既存撤去後、土間コンクリート増し打ちの上 モルタル下地、100角磁器質タイル	モルタル巾木 EPG塗装 H=90 ビニル巾木 H=75	既存下地調整の上 EPG塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装	3,000 (一部2,690)
	改修前	玄関ホール	モルタル金コテ押え下地 ビニル床シートt=2.0(ノンスリップタイプ)	モルタル巾木 AEP塗装 H=90	モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天下地 PB t=9.0、着色ヒル石吹付 階段上裏・梁型：モルタル刷毛引き下地、シリカ系リシン吹付 階段上裏・梁型：着色ヒル石吹付	3,090 (一部2,500)
	改修後	玄関ホール	既存撤去後下地調整の上、 アンダーレイシートt=5.0+防滑性ビニル床シートt=2.0	モルタル巾木 EPG塗装 H=90	既存下地調整の上 EPG塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 階段上裏：内装薄塗材E吹付 梁型：既存下地調整後、EPG塗装	3,090 (一部2,500)
	改修前	倉庫 (階段下)	モルタルコテ押え	—	モルタル金コテ押え	モルタル刷毛引	—
	改修後	倉庫 (階段下)	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—
	改修前	購買部	モルタル金コテ押え下地 モザイクパーケット	木製巾木 AEP塗装 H=90	モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天下地 岩綿吸音板t=9.0	2,680
	改修後	購買部	既存撤去後下地調整の上、 アンダーレイシートt=5.0+ビニル床シートt=2.0	ビニル巾木 H=75	既存下地調整の上 EPG塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃)	2,680
	改修前	主事室	クッションシートt=2.0+構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0 一部、木床組下地 畳敷き 流し台・コンロ部：ビニル床シートt=2.0	木製巾木 OP塗装 H=70	モルタル金コテ押え AEP塗装 流し台・コンロ部：100角タイル	軽天下地 岩綿吸音板t=9.0	2,660
	改修後	主事室	既存撤去後下地調整の上、 アンダーレイシートt=5.0+ビニル床シートt=2.0	ビニル巾木 H=75	既存下地調整の上 EPG塗装 RC部(教室間)：木胴縁下地新設、PB t=9.5の上、EPG塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法) EPG塗装	2,680
	改修前	保健室	クッションシートt=2.0+構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0 流し部：47角モザイクタイル	木製巾木 OP塗装 H=70	ベニヤ t=5.5目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装 流し部：100角タイル	軽天下地 岩綿吸音板t=9.0 梁型：モルタルコテ押え AEP塗装	2,970
	改修後	保健室	既存撤去後下地調整の上、 アンダーレイシートt=5.0+ビニル床シートt=2.0 ※脱衣室部分各仕上については、平面詳細図参照のこと。	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0の上、珪藻土塗 間仕切部(脱衣室)：LGS(W=100)下地、耐水PB t=9.5の上、珪藻土塗 RC部：既存下地調整の上、珪藻土塗 RC部(脱衣室内)：既存下地調整の上、EPG塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 珪藻土塗 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法) 珪藻土塗	3,000 (脱衣室内2,400)

※床下地調整はポリマーセメントモルタルとする。	※室・教室-廊下間の間仕切壁は防火上主要な間仕切壁とし、スラブ下まで達せしめる。	※階段上裏は全面打診調査を行い、改修の必要性について監督員と協議すること。	株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘	桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良改本体工事	
※防滑性ビニル床シート：フラットタイプ(粒子入り)	※AEP塗装：アスベスト含有の為、除去の上施工すること。	※ケイカル板：ケイ酸カルシウム板		外部仕上表・内部仕上表 (1)	A－1 2
※腰壁杉板張り：杉羽目板 t=12.0(本実)縦張り	※4階天井裏には、グラスウール(24kg/m3)を充填すること。			鹿児島市建設局建築部建築課	
※玄関・昇降口・外部ポーチの100角磁器質タイルはノンスリップタイルとする。	※2階のX3通り、X6通り(木製建具穴埋め部)のLGSには、グラスウール(24kg/m3)を充填すること。				

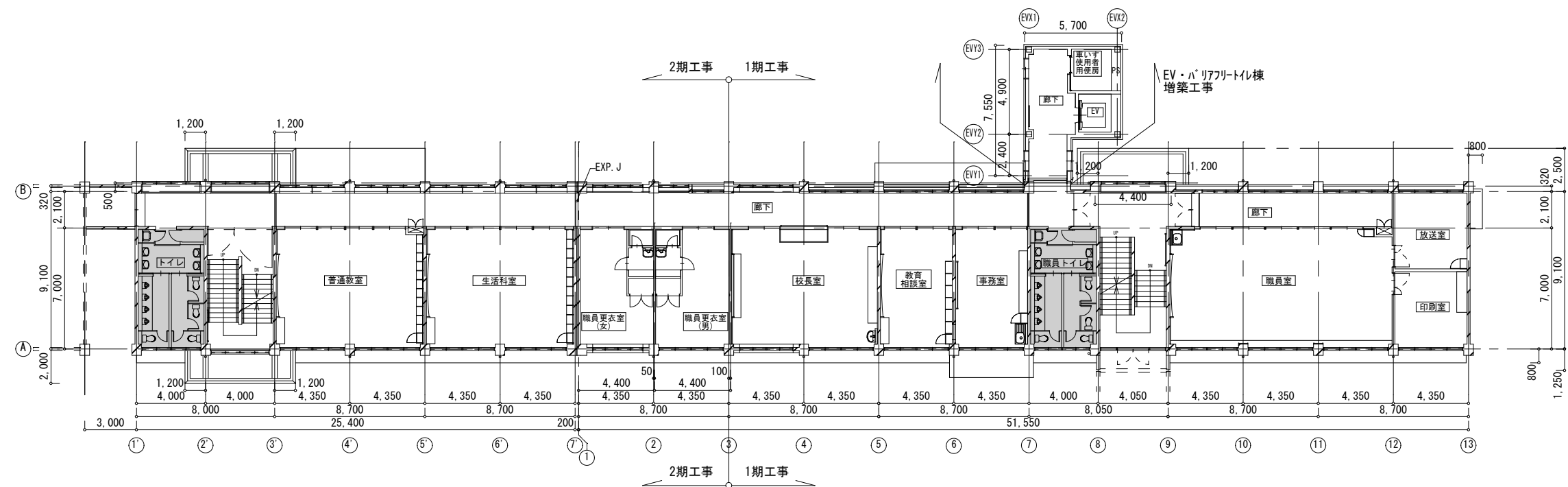
階	改修の 前後	室名	床	巾木	壁	天井	CH	備考			
2 階	改修前	校長室	木床組下地、構造用合板 t=12.0+集成フローリングt=15.0 流し部：構造用合板t=12.0二重張りの上、複合ビニル床シート t=2.8 金庫置き場：土間コンクリートt=80の上、複合ビニル床シート t=2.8 出入口下：100×80 コンクリート打設	木製巾木 SOP塗装 H=75	シオジ銘木合板 t=5.5 外壁側：モルタル金コテ押えAEP塗装の上、シオジ銘木合板 t=5.5 更衣室側：LGS下地、ケイカル板下地の上シオジ銘木合板 t=5.5 流し部：CB積みt100の上、100角タイル 耐震補強部：LGS下地、ベニヤ t=9.0の上シオジ銘木合板 t=5.5	軽天下地 岩綿吸音板t=9.0 梁型：モルタル金コテ押えAEP塗装の上、シオジ銘木合板 t=5.5	2,920	室名札、行事黒板、掲示板、掃除用具入、洗面器(設備工事)、面台、壁掛レール 木製カーテンボックス(レール)、落下防止手摺、書棚			
	改修後	校長室	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 間仕切部(更衣室側)：(壁)既存LGS(W=65)下地、(ｸﾞﾗｽｰﾙ充填24kg/m3)、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0の上 EPG塗装 (腰壁)既存LGS(W=65)下地、(ｸﾞﾗｽｰﾙ充填24kg/m3)、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 +杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教育相談室側)：(壁)木胴縁下地新設、PB t=9.5の上 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)PB t=9.5(直張工法) EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装 耐震補強部：(壁)LGS下地、PB t=9.5 EPG塗装 (腰壁)LGS下地、PB t=9.5の上、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：PB t=9.5(直張工法) EPG塗装	3,000	室名札、校長室棚、行事黒板(一時撤去、復旧・張替え・枠塗替え)、掲示板(張替え)、 掃除用具入、書棚、落下防止手摺、壁掛けレール、洗面器(設備工事)、面台、 アルミカーテンボックス(Wレール)、ステンレスコーナー見切り			
	改修前	教育相談室	ビニル床シート t=2.0 流し部：47角モザイクタイル	木製巾木 OP塗装 H=90	プリント合板 3×6 t=4.0 流し部：100角タイル	軽天下地 ジブトーンt=9.0	2,680	室名札、行事黒板、掲示板、洗面器(設備工事)、窓下書棚、木製カーテンボックス(レール)			
	改修後	教育相談室	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、(掲示板、黒板) (事務室側：一部LGS下地(グラスウール(24kg/m3)充填)+強化PB t=12.5+杉板 t=6.0) (腰壁)木胴縁下地新設の上、杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)既存下地調整 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設の上、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃)	3,000	室名札、曲面黒板、掲示板、掃除用具入、 児童用ロッカー、教師用ロッカー、落下防止手摺、アルミカーテンボックス(Wレール)			
	改修前	事務室	モザイクパーケット 流し部：47角モザイクタイル	木製巾木 OP塗装 H=90	ベニヤ t=5.5目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装 流し部：100角タイル	軽天下地 岩綿吸音板t=9.0	2,680	室名札、掃除用具入、カウンター、行事黒板、木製カーテンボックス(レール)、洗面器			
	改修後	事務室	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0	ビニル巾木 H=75	間仕切部(廊下側)：LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 RC部(教育相談室側)：木胴縁新設、PB t=9.5 EPG塗装(掲示板、黒板) (一部LGS下地(ｸﾞﾗｽｰﾙ(24kg/m3)充填)+強化PB t=12.5+杉板 t=6.0 RC部(職員トイレ側)：既存下地調整、EPG塗装 RC部(外壁側)：既存下地調整、EPG塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法) EPG塗装	2,680	室名札、掃除用具入、行事黒板(一時撤去、復旧・張替え・枠塗替え)、掲示板、 流し台(BLタイプ)、面台、落下防止手摺、書棚、アルミカーテンボックス(Wレール)			
	改修前	職員室	モザイクパーケット 流し部：100角タイル	木製巾木 OP塗装 H=90	ベニヤ t=5.5目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装 流し部：100角タイル	軽天下地 岩綿吸音板t=9.0 梁型：モルタルコテ押え AEP塗装	3,000	室名札、掃除用具入、掲示板、曲面(行事)黒板、行事黒板、洗面器(設備工事)、窓下書棚、 木製カーテンボックス(Sレール)			
	改修後	職員室	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0	ビニル巾木 H=75	間仕切部(廊下側)：LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 RC部(廊下側)：(上部)掲示板、(下部)耐水合板 t=12.0(直張工法)メラミン不燃化粧板 間仕切部(放送室・印刷室間)：LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 RC部(外壁側)：既存下地調整、EPG塗装 RC部(階段側)：木胴縁下地新設、PB t=9.5 EPG塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法) EPG塗装	3,000	室名札、掃除用具入、掲示板、曲面(行事)黒板(一時撤去、復旧張替え)、行事黒板、 書棚、流し台(BLタイプ)、面台、アルミカーテンボックス(Wレール)			
	改修前	放送室	モザイクパーケット	木製巾木 OP塗装 H=90	有孔ベニヤ t=5.5目透かし貼 AEP塗装(グラスウール t=50充填)	軽天下地 PB t=9.0、着色ヒル石吹付	2,680	室名札、収納棚、木製カーテンボックス(Sレール)			
	改修後	放送室	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0	木製巾木 CL塗装 H=90	RC部(外壁側)：木胴縁新設(グラスウール(24kg/m3)t=50 寒冷紗押え)、 有孔化粧板t=9.0 目透かし貼 CL塗装 間仕切部(印刷室間)：LGS下地(W=100)(グラスウール(24kg/m3)t=50 寒冷紗押え)、 有孔化粧板t=9.0 目透かし貼 CL塗装 間仕切部(職員室間)：LGS下地(W=100)、強化PB t=12.5+杉板 t=6.0の上、木胴縁新設 (グラスウール(24kg/m3)t=50 寒冷紗押え)、有孔化粧板t=9.0 目透かし貼 CL塗装	LGS下地、PB t=9.5(準不燃)の上岩綿吸音板t=9.0	2,680	室名札、掃除用具入、収納棚、アルミカーテンボックス(Wレール)			
	改修前	印刷室	モザイクパーケット	木製巾木 OP塗装 H=90	ベニヤ t=5.5目透かし貼 OP塗装 東・南面：モルタル金コテ押え AEP塗装 耐震補強部：LGS下地、ケイカル板 t=8.0の上 EPG塗装	軽天下地 岩綿吸音板t=9.0	2,680	室名札、木製カーテンボックス(Sレール)、カーテンレール(Sレール)			
	改修後	印刷室	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0	ビニル巾木 H=75	RC部(外壁側)：既存下地調整の上 EPG塗装 間仕切部(職員室間)：LGS下地(W=100)、強化PB t=12.5+ケイカル t=6.0 EPG塗装 間仕切部(放送室間)：LGS下地(W=100)、PB t=9.5 EPG塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法) EPG塗装	2,680	室名札、書棚、アルミカーテンボックス(Wレール)、落下防止手摺			
3 階	改修前	第2図書室 X5-X7	クッションシートt=2.0+構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0	木製巾木 OP塗装 H=70	ベニヤ t=5.5目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装 耐震補強部：LGS下地、ケイカル板 t=8.0の上 EPG塗装	軽天下地 岩綿吸音板t=9.0 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	2,970	室名札、曲面黒板、掲示板、掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、 木製カーテンボックス(Sレール)、落下防止手摺			
	改修後	普通教室 (特別支援) X5-X7	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、掲示板(黒板) (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 耐震補強部：(壁)既存ケイカル板下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)既存ケイカル板の上 杉板t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)既存下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法) EPG塗装	3,000	室名札、曲面黒板(一時撤去、ホワイトボードに張替え・枠塗替え)、掲示板、 掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、アルミカーテンボックス(Wレール)、 落下防止手摺			
	改修前	普通教室 (2-1) X9-X11	クッションシートt=2.0+構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0	木製巾木 OP塗装 H=70	ベニヤ t=5.5目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天下地 岩綿吸音板t=9.0 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	2,970	室名札、曲面黒板、掲示板、掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、 木製カーテンボックス(Sレール・Wレール)、落下防止手摺			
	改修後	普通教室 X9-X11	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、掲示板(黒板) (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)既存下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法) EPG塗装	3,000	室名札、曲面黒板(一時撤去、復旧・張替え・枠塗替え)、掲示板、掃除用具入、 児童用ロッカー、教師用ロッカー、アルミカーテンボックス(Wレール)、落下防止手摺			
※床下地調整はポリマーセメントモルタルとする。			※室・教室・廊下間の間仕切壁は防火上主要な間仕切壁とし、スラブ下まで達せしめる。			※階段上裏は全面打診調査を行い、改修の必要性について監督員と協議すること。			株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘	桜丘小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事	
※防滑性ビニル床シート：フラットタイプ(粒子入り)			※AEP塗装：アスベスト含有の為、除去の上施工すること。			※ケイカル板：ケイ酸カルシウム板				内部仕上表 (2)	
※腰壁杉板張り：杉羽目板 t=12.0(本実)縦張り			※4階天井裏には、グラスウール(24kg/m3)を充填すること。							A-13	
※玄関・昇降口・外部ポーチの100角磁器質タイルはノンスリップタイルとする。			※2階のX3通り、X6通り(木製建具穴埋め部)のLGSには、グラスウール(24kg/m3)を充填すること。							鹿児島市建設局建築部建築課	

階	改修の 前後	室名	床	巾木	壁	天井	CH	備考		
3 階	改修前	普通教室 (2-2) X11-X13	クッションシートt=2.0+構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0	木製巾木 OP塗装 H=70	ベニヤ t=5.5目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天地下 岩綿吸音板t=9.0 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	2.970	室名札、曲面黒板、掲示板、掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、 木製カーテンボックス(Wレール)、落下防止手摺		
	改修後	普通教室 X11-X13	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、掲示板(黒板) (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)既存下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法) EPG塗装	3.000	室名札、曲面黒板(一時撤去、復旧・張替え・枠塗装替え)、掲示板、掃除用具入、 児童用ロッカー、教師用ロッカー、アルミカーテンボックス(Wレール)、落下防止手摺		
4 階	改修前	多目的室(2) X5-X7	クッションシートt=2.0+構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0	木製巾木 OP塗装 H=70	ベニヤ t=5.5目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天地下 岩綿吸音板t=9.0 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	2.970	室名札、曲面黒板、掲示板、掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、 木製カーテンボックス(Sレール・Wレール)、落下防止手摺		
	改修後	普通教室 X5-X7	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、掲示板(黒板) (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)既存下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法) EPG塗装	3.000	室名札、曲面黒板(一時撤去、復旧・張替え・枠塗装替え)、掲示板、掃除用具入、 児童用ロッカー、教師用ロッカー、アルミカーテンボックス(Wレール)、落下防止手摺		
	改修前	普通教室 (3-2) X9-X11	クッションシートt=2.0+構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0	木製巾木 OP塗装 H=70	ベニヤ t=5.5目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天地下 岩綿吸音板t=9.0 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	2.970	室名札、曲面黒板、掲示板、掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、 木製カーテンボックス(Sレール・Wレール)、落下防止手摺		
	改修後	普通教室 X9-X11	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、掲示板(黒板) (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)既存下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法) EPG塗装	3.000	室名札、曲面黒板(一時撤去、復旧・張替え・枠塗装替え)、掲示板、掃除用具入、 児童用ロッカー、教師用ロッカー、アルミカーテンボックス(Wレール)、落下防止手摺		
	改修前	普通教室 (3-3) X11-X13	クッションシートt=2.0+構造用合板t=12.0+集成フローリングt=15.0	木製巾木 OP塗装 H=70	ベニヤ t=5.5目透かし貼 OP塗装 南面：モルタル金コテ押え AEP塗装	軽天地下 岩綿吸音板t=9.0 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	2.970	室名札、曲面黒板、掲示板、掃除用具入、児童用ロッカー、教師用ロッカー、 木製カーテンボックス(Sレール・Wレール)、落下防止手摺		
	改修後	普通教室 X11-X13	既存撤去後下地調整の上、ビニル床シートt=2.0(木目調)	木製巾木 CL塗装 H=90	間仕切部(廊下側)：(壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁)LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5+ケイカル板 t=6.0+杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(教室間)：(壁)木胴縁下地新設、掲示板(黒板) (腰壁)木胴縁下地新設、杉板 t=12.0 CL塗装 RC部(外壁側)：(壁)既存下地調整の上 EPG塗装 (腰壁)木胴縁下地新設、杉板t=12.0 CL塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) 梁型：既存下地調整の上 EPG塗装 梁型(外壁側)：PB t=9.5(直張工法) EPG塗装	3.000	室名札、曲面黒板(一時撤去、復旧・張替え・枠塗装替え)、掲示板、掃除用具入、 児童用ロッカー、教師用ロッカー、アルミカーテンボックス(Wレール)、落下防止手摺		
共通	改修前	廊下	長尺塩ビシート(ノンスリップタイプ)t=2.0	モルタルコテ押え AEP塗装 H=90 木製巾木 H=90 ビニル巾木 H=75	モルタル金コテ押え AEP塗装 南面：ベニヤ t=5.5目透かし貼 OP塗装 耐震補強部：LGS下地、ケイカル板t=8.0の上、EPG塗装	軽天地下 岩綿吸音板t=9.0 一部ジブトーンt=9.0	2.690	ステンレス流し、面台、消火栓(設備工事)、ステンレス床見切り、掲示板 収納棚、雑巾がけ、中央区分線、		
	改修後	廊下	既存撤去後、アンダーレイシートt=5.0 + 防滑性ビニル床シートt=2.0(1階) 既存撤去後、防滑性ビニル床シートt=2.0(2～4階)	モルタル巾木 既存下地調整の上、 EPG塗装 H=90 ビニル巾木 H=75	RC部：既存下地調整の上 EPG塗装 間仕切部：LGS(W=100)下地、強化PB t=12.5の上、ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 耐震補強部：既存下地調整の上、EPG塗装	LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃)	2.680 (一部2.690)	ステンレス流し(既存のまま)、消火栓(設備工事)、掲示板、面台 消火器ボックス、ステンレス床見切り、収納棚、雑巾がけ、中央区分線		
	改修前	東側階段室	ビニル床シート(ノンスリップタイプ)t=2.0 (R階のみ)人造石コテ押え センターライン：モザイクタイル	モルタルコテ押え AEP塗装	モルタル金コテ押え AEP塗装	上裏：モルタル刷毛引 シリカ系リシン吹付 1F：モルタル刷毛引 着色ヒル石吹付 (一部：軽天地下 PB t=9.0の上着色ヒル石吹付)	—	ビニル製手すり、掲示板		
	改修後	東側階段室	既存撤去後下地調整の上、防滑性ビニル床シートt=2.0 段鼻：ステンレスノンスリップ	モルタル巾木 既存下地調整の上、 EPG塗装	既存下地調整の上 EPG塗装	上裏：内装薄塗材E吹付 1F一部：LGS下地化粧PB t=9.5(準不燃) ※上裏は全面打診調査を行い、改修の必要性について 監督員と協議すること。	—	ビニル製手すり(既存のまま)、掲示板、中央区分線		
※床下地調整はポリマーセメントモルタルとする。			※室・教室・廊下間の間仕切壁は防火上主要な間仕切壁とし、スラブ下まで達せしめる。			※階段上裏は全面打診調査を行い、改修の必要性について監督員と協議すること。		株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘	桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事	
※防滑性ビニル床シート：フラットタイプ(粒子入り)			※AEP塗装：アスベスト含有の為、除去の上施工すること。			※ケイカル板：ケイ酸カルシウム板			内部仕上表 (3)	
※腰壁杉板張り：杉羽目板 t=12.0(本実)縦張り			※4階天井裏には、グラスウール(24kg/m3)を充填すること。						A－1 4	
※玄関・昇降口・外部ポーチの100角磁器質タイルはノンスリップタイルとする。			※2階のX3通り、X6通り(木製建具穴埋め部)のLGSには、グラスウール(24kg/m3)を充填すること。						鹿児島市建設局建築部建築課	



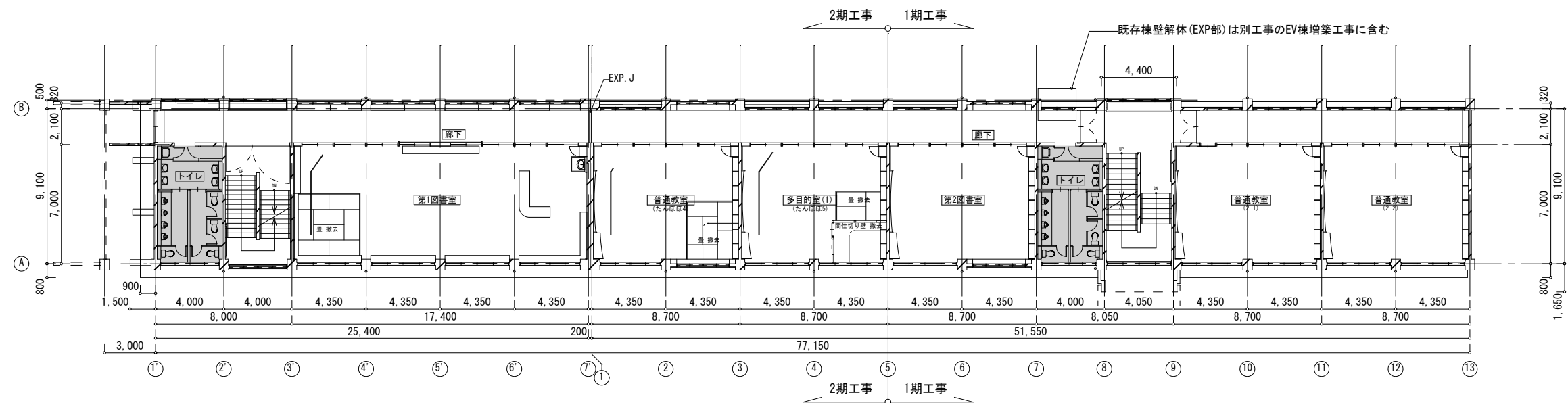


工事対象外

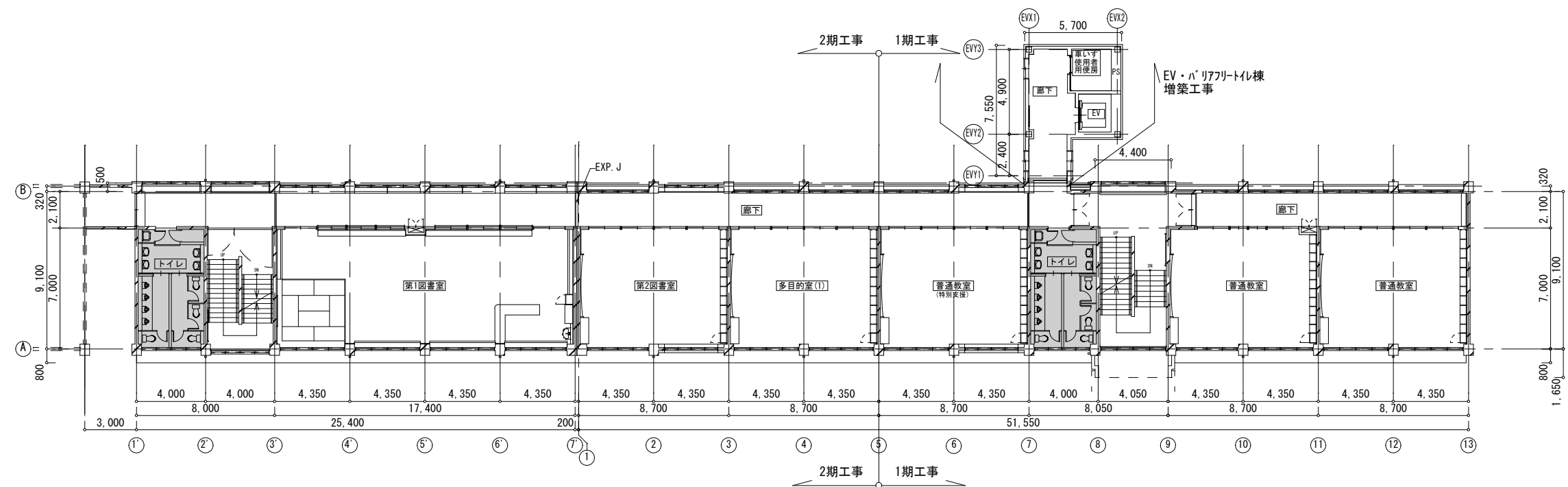


工事対象外

改修前 3階平面図 S=1/300

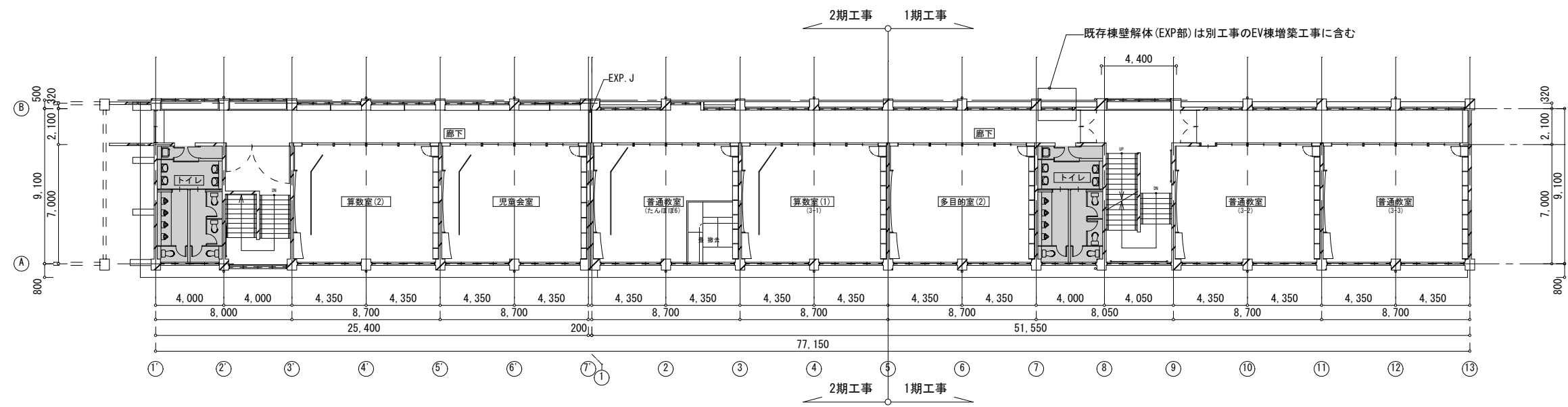


改修後 3階平面図 S=1/300



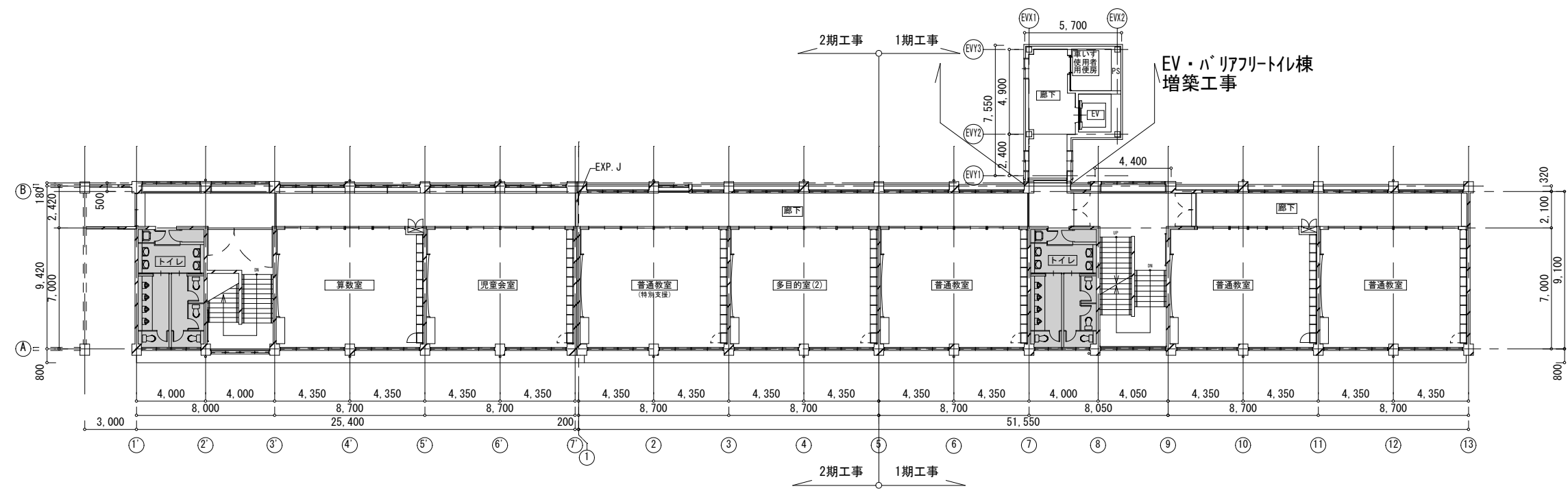
株式会社 田代設計工房
一級建築士 第 145118 号
田代 昌弘

改修前 4階平面図 S=1/300



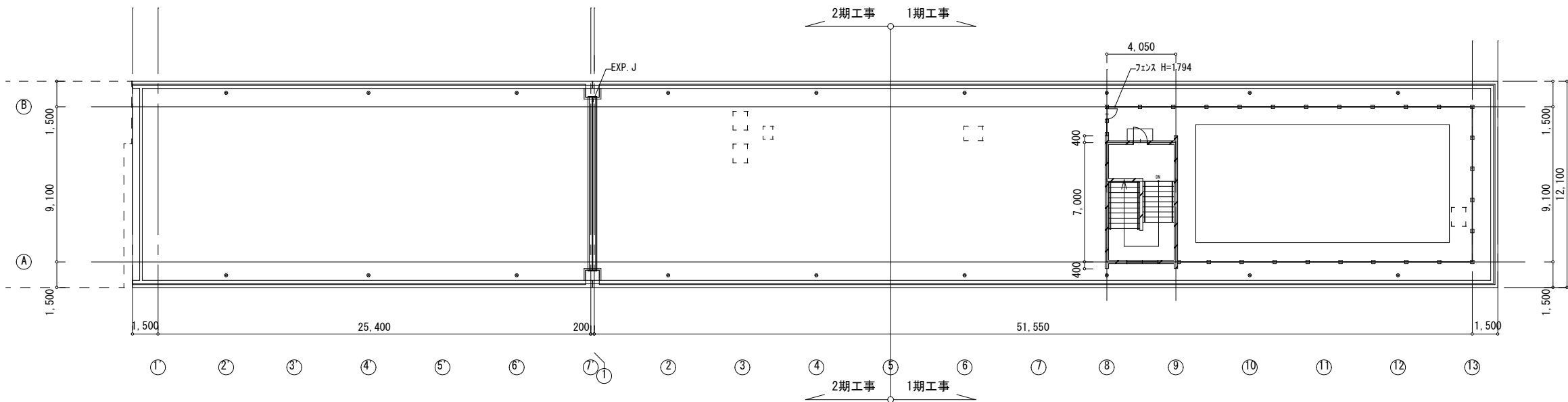
工事対象外

改修後 4階平面図 S=1/300

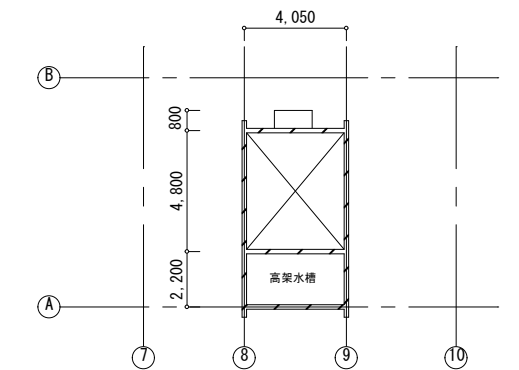


工事対象外

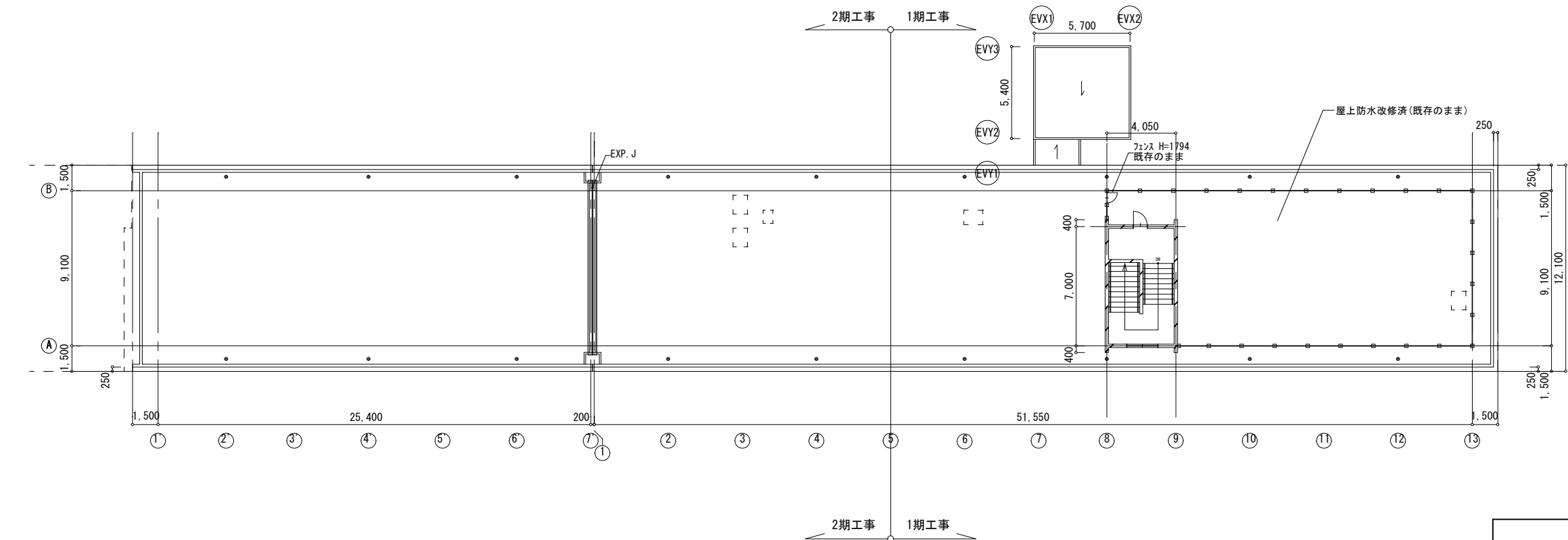
改修前 R階平面図 S=1/300



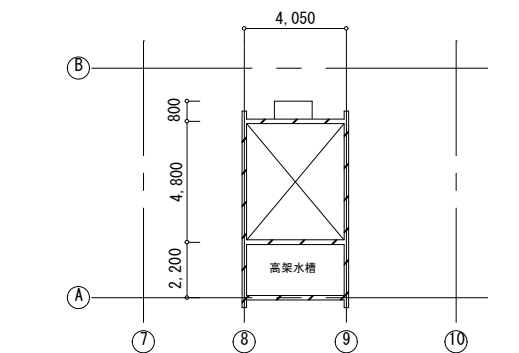
改修前 PH階平面図



改修後 R階平面図 S=1/300



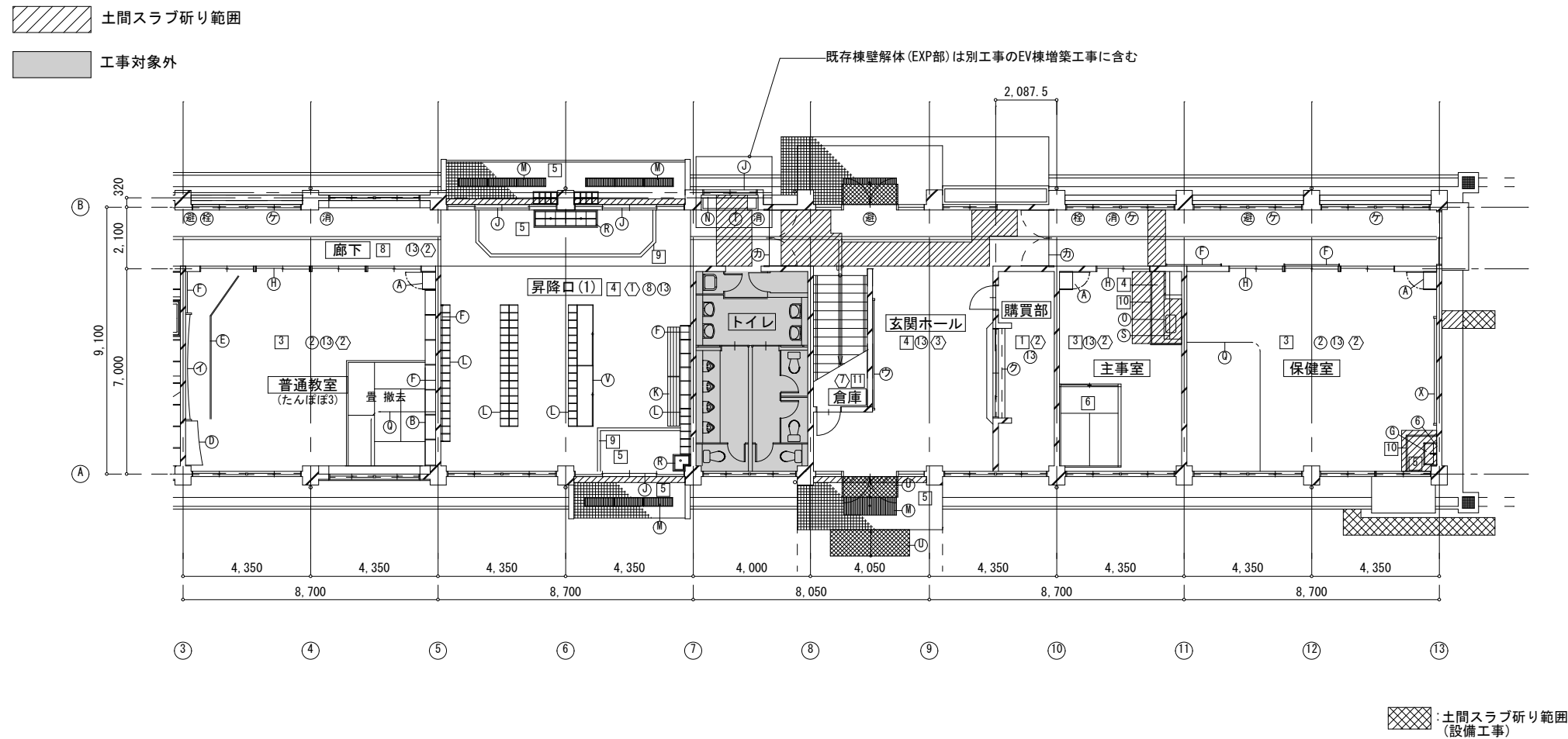
改修後 PH階平面図



株式会社 田代設計工房
一級建築士 第 145118 号
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事
R階・PH階平面図(全体)
鹿児島市建設局建築部建築課

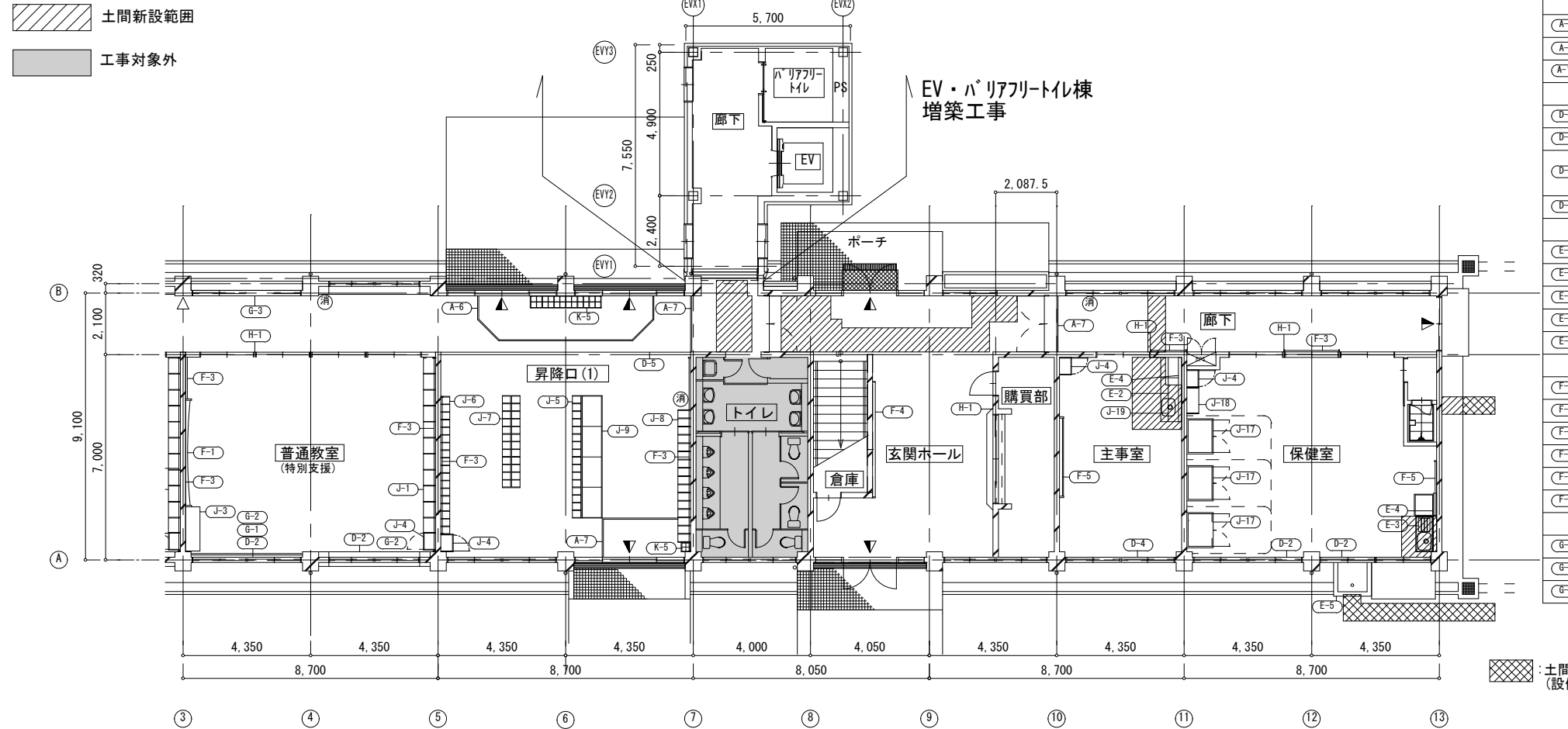
改修前 1階平面図 S=1/200



番号	部分名称	番号	部分名称
1	床: モザイクパーケット	A	掃除具入
2	床: 集成材フローリング (木床組共)	B	児童用ロッカー
3	床: 集成材フローリング (t12構造用合板下地)	C	給食用ロッカー
4	床: 長尺塩ビシート t=2.0	D	教師用ロッカー
5	床: モザイクタイル	E	地図掛けレール
6	床: 畳 (木床組共)	F	掲示板
7	床: 塗床	G	洗面台・洗面器 (設備工事)
8	床: 長尺塩ビシート (中央部ライン張り分け)	H	木製学校間仕切 (木建具共)
9	床: 人造石板	I	鋼製建具
10	床: ステンレス床見切り	J	アルミ製建具
11	床: モルタル金コチ押え (既存のまま)	K	欠番
12	床: シナベニヤ t=5.5	L	下足棚
13	床: 人造石	M	鋼製マット・グレーチング
1	壁: ベニヤ目透かし貼 (木胴縁下地撤去) 木軸組	N	面台
2	壁: ベニヤ目透かし貼 (木胴縁下地撤去) RC躯体	O	流し台
3	壁: 有孔ベニヤ目透かし貼 (寒冷紗下地) 木軸組	P	本棚
4	壁: 有孔ベニヤ目透かし貼 (寒冷紗下地) RC躯体	Q	吊りカーテンレール (ホテレル)
5	壁: ビニルクロス貼 (PB下地)	R	傘立て
6	壁: タイル (モルタル下地撤去)	S	棚 (書棚・収納棚)
7	壁: シナベニヤ目透かし貼	T	ステンレス流し
8	壁: ケイ酸カルシウム板 目透かし貼	U	鋼製スロープ
9	壁: プリント合板 t=4.0 (木胴縁下地撤去) 木軸組	V	飾り棚
10	壁: プリント合板 t=4.0 (木胴縁下地撤去) RC躯体	W	カウンター
11	壁: ショージ銘木合板 t=5.5 (木胴縁下地撤去) 軽天下地	X	行事黒板・ホワイトボード
12	壁: ショージ銘木合板 t=5.5 (木胴縁下地撤去) RC躯体	Y	木製手摺
13	壁: AEP塗装 RC躯体	Z	シャワーユニット
1	天井: t=9.0 ジブトーン貼 (軽天下地共)	1	既存避難誘導標識位置を示す
2	天井: t=9.0 岩綿吸音板 (軽天下地共)	2	EXP, J (床・壁・天井)
3	天井: 着色ヒル石吹付 (PB下地共)	3	曲面黒板 (張替え) 木枠
4	天井: t=9.0 化粧石膏ボード (柱目) (軽天下地共)	4	掲示板 (張替え) 木枠
5	天井: モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付	5	行事黒板 (張替え) 木枠
6	天井: モルタル刷毛引 シリカ系リシン吹付	6	手摺 (塗替え)
7	天井: モルタル刷毛引 (既存のまま)	7	防火戸 (塗替え)
8	天井: シナベニヤ目透かし貼 t=4.0	8	ステンレス流し (既存のまま)
9	天井: 浴室用硬質成型板 (軽天下地共)	9	シャッター (塗替え)
		10	棚 (塗替え)
		11	既存消火器位置を示す
		12	既存屋内消火栓位置を示す
		13	既存フック位置を示す
		14	既存避難器具位置を示す

番号	部分名称
A	掃除具入
B	児童用ロッカー
C	給食用ロッカー
D	教師用ロッカー
E	地図掛けレール
F	掲示板
G	洗面台・洗面器 (設備工事)
H	木製学校間仕切 (木建具共)
I	鋼製建具
J	アルミ製建具
K	欠番
L	下足棚
M	鋼製マット・グレーチング
N	面台
O	流し台
P	本棚
Q	吊りカーテンレール (ホテレル)
R	傘立て
S	棚 (書棚・収納棚)
T	ステンレス流し
U	鋼製スロープ
V	飾り棚
W	カウンター
X	行事黒板・ホワイトボード
Y	木製手摺
Z	シャワーユニット
1	既存避難誘導標識位置を示す
2	EXP, J (床・壁・天井)
3	曲面黒板 (張替え) 木枠
4	掲示板 (張替え) 木枠
5	行事黒板 (張替え) 木枠
6	手摺 (塗替え)
7	防火戸 (塗替え)
8	ステンレス流し (既存のまま)
9	シャッター (塗替え)
10	棚 (塗替え)
11	既存消火器位置を示す
12	既存屋内消火栓位置を示す
13	既存フック位置を示す
14	既存避難器具位置を示す

改修後 1階平面図 S=1/200



部分名称	部分名称	部分名称
A-6 磁器質タイル貼り	H-1 室名札・ピクトサイン	K-5 傘立て
A-7 ステンレス床見切り		
A-11 コーナー床見切り (シート巻上)	J-1 児童用ロッカー	M-2 落下防止手摺 既存流用
	J-1' 児童用ロッカー	M-3 落下防止手摺 既存流用 (耐震補強部)
D-2 アルミ製カーテンボックス (木製額縁上枠新設)	J-2 児童用ロッカー (教育相談室)	M-4 落下防止手摺 新設
D-3 アルミ製カーテンボックス (木製額縁上枠新設) ※放送室	J-3 教師用ロッカー	
D-4 アルミ製カーテンボックス (木製額縁上枠新設) ※主事室・印刷室・事務室・更衣室	J-4 掃除用具入	7 既存フックのまま
D-5 天井下がり部分	J-5 児童用下足入	
	J-6 児童用下足入	
	J-7 児童用下足入	
E-1 流し台 (BLタイプ) W900	J-8 教師・来客用下足入	
E-2 流し台+コンロ台 (BLタイプ) W2,200	J-9 飾り棚	
E-3 流し台 (BLタイプ) W1200	J-10 校長室棚	
E-4 ライニング面台	J-11 書棚	
E-5 足洗い場	J-16 書棚 (職員室)	
	J-17 布団収納棚	
F-1 曲面黒板 (既存張替え)	J-18 薬品庫	
F-2 行事黒板 (既存張替え)	J-19 吊戸棚	
F-3 掲示板 (新設)	J-21 書棚	
F-4 掲示板 (既存張替え)	J-22 書棚	
F-5 平面黒板 (新設)		
F-6 曲面黒板 (新設)		
G-1 木製額縁下枠新設		
G-2 教室フック取付用意下枠		
G-3 廊下フック取付用意下枠		

符号	名称	備考
▲	避難誘導標識 (避難口用 防火戸用)	アクリル樹脂 t=5.0
▲	避難誘導標識 (避難口用 サッシ中横用)	アクリル樹脂 t=5.0
△	避難誘導標識 FL+1,000以下 (避難通路用 壁付)	アクリル樹脂 t=5.0
消	消火器ボックス設置位置	消火器表示シール (102×240)

※木製額縁 特記なき限りSOP塗替えとする。
※掲示板・家具等と壁面の間に著しい隙間が生じる際はシーリング充填のこと。

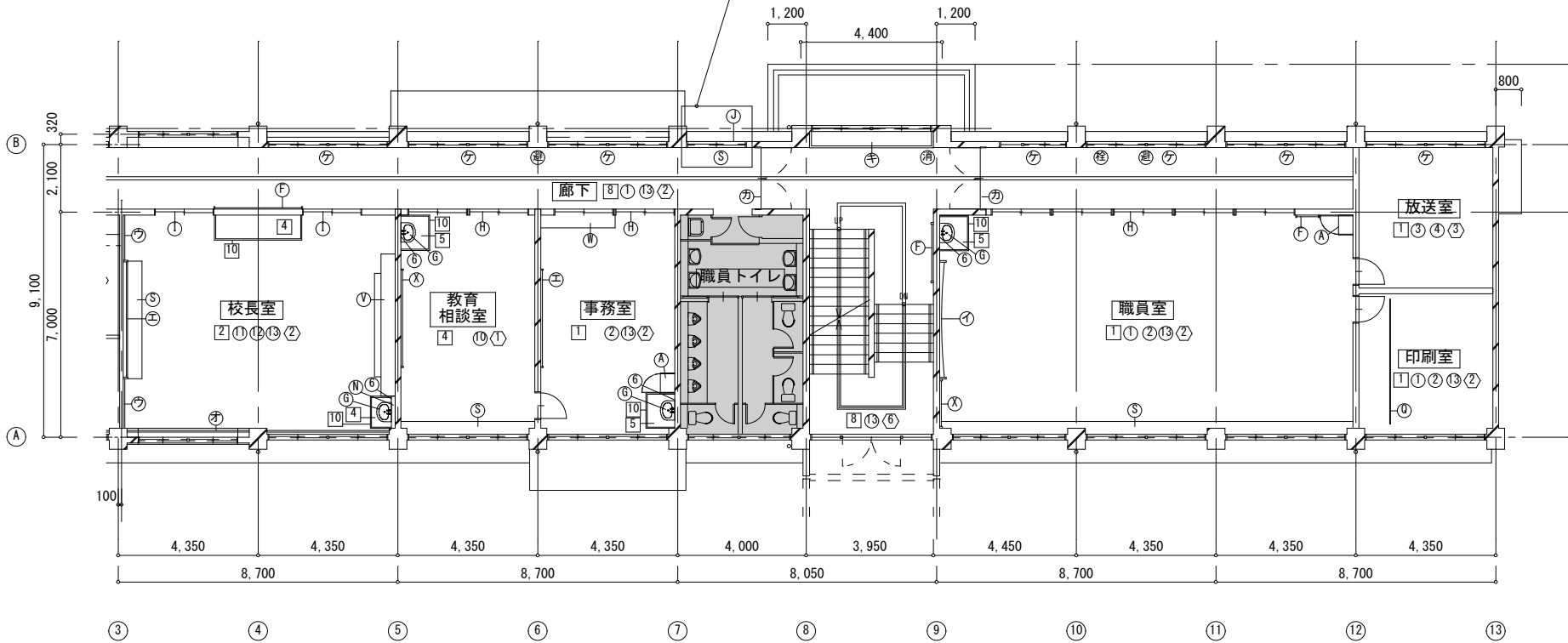
株式会社 田代設計工房
一級建築士 第 145118 号
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事
1階平面図 (改修前・改修後)
鹿児島市建設局建築部建築課
A-20

改修前 2階平面図 S=1/200

工事対象外

既存棟壁解体 (EXP部) は別工事のEV棟増築工事に含む



番号	部分名称	番号	部分名称
1	床: モザイクパーケット	A	掃除具入
2	床: 集成材フローリング (木床組共)	B	児童用ロッカー
3	床: 集成材フローリング (t12構造用合板下地)	C	給食用ロッカー
4	床: 長尺塩ビシート t=2.0	D	教師用ロッカー
5	床: モザイクタイル	E	地図掛けレール
6	床: 畳 (木床組共)	F	掲示板
7	床: 塗床	G	洗面台・洗面器 (設備工事)
8	床: 長尺塩ビシート (中央部ライン張り分け)	H	木製学校間仕切 (木建具共)
9	床: 人造石板	I	鋼製建具
10	床: ステンレス床見切り	J	アルミ建具
11	床: モルタル金コテ押え (既存のまま)	K	欠番
12	床: シナベニヤ t=5.5	L	下足棚
13	床: 人造石	M	鋼製マット・グレーティング
1	壁: ベニヤ目透かし貼 (木胴縁下地撤去) 木軸組	N	面台
2	壁: ベニヤ目透かし貼 (木胴縁下地撤去) RC躯体	O	流し台
3	壁: 有孔ベニヤ目透かし貼 (寒冷紗下地) 木軸組	P	本棚
4	壁: 有孔ベニヤ目透かし貼 (寒冷紗下地) RC躯体	Q	吊りカーテンレール (タテレール)
5	壁: ビニルクロス貼 (PB下地共)	R	傘立て
6	壁: タイル (モルタル下地撤去)	S	棚 (書棚・収納棚)
7	壁: シナベニヤ目透かし貼	T	ステンレス流し
8	壁: ケイ酸カルシウム板 目透かし貼	U	鋼製スロープ
9	壁: プリント合板 t=4.0 (木胴縁下地撤去) 木軸組	V	飾り棚
10	壁: プリント合板 t=4.0 (木胴縁下地撤去) RC躯体	W	カウンター
11	壁: ショージ銘木合板 t=5.5 (木胴縁下地撤去) 軽天下地	X	行事黒板・ホワイトボード
12	壁: ショージ銘木合板 t=5.5 (木胴縁下地撤去) RC躯体	Y	木製手摺
13	壁: AEP塗装 RC躯体	Z	シャワーユニット
		1	既存避難誘導標識位置を示す
		ア	EXP. J (床・壁・天井)
		イ	曲面黒板 (張替え) 木枠
		ウ	掲示板 (張替え) 木枠
		エ	行事黒板 (張替え) 木枠
		オ	手摺 (塗替え)
		カ	防火戸 (塗替え)
		キ	ステンレス流し (既存のまま)
		ク	シャッター (塗替え)
		ケ	棚 (塗替え)
		コ	既存消火器位置を示す
		セ	既存屋内消火栓位置を示す
		ソ	既存フック位置を示す
		タ	既存避難器具位置を示す

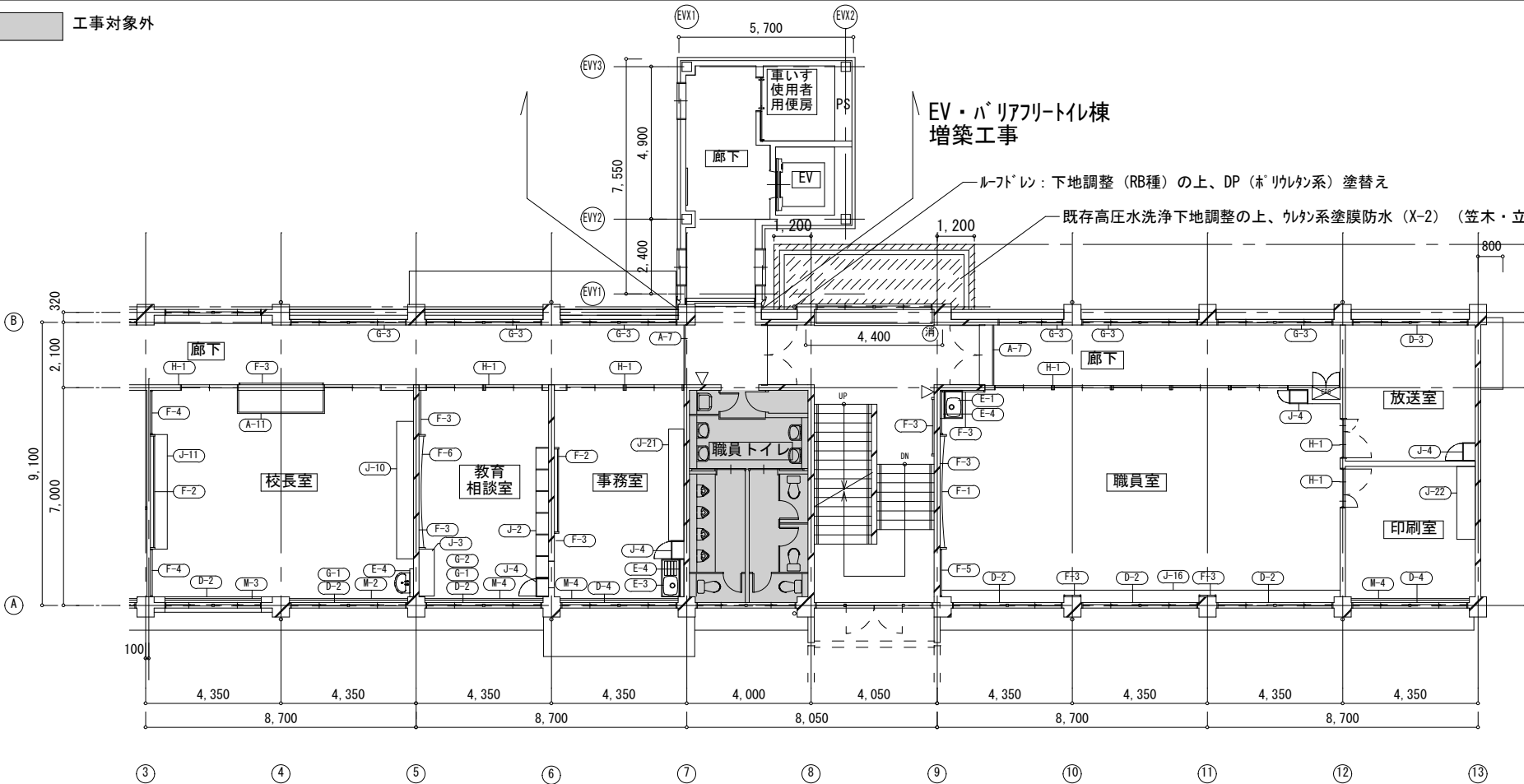
改修後 2階平面図 S=1/200

工事対象外

EV・バリアフリー棟
増築工事

ルーフ・ドレン: 下地調整 (RB種) の上、DP (ポリウレタン系) 塗替え

既存高圧水洗浄下地調整の上、ウレタン系塗膜防水 (X-2) (笠木・立上りまで)



部分名称	部分名称	部分名称
A-6 磁器質タイル貼り	H-1 室名札・ピクトサイン	K-5 傘立て
A-7 ステンレス床見切り		
A-11 コーナー床見切り (シート巻上)	J-1 児童用ロッカー	M-2 落下防止手摺 既存流用
	J-1' 児童用ロッカー	M-3 落下防止手摺 既存流用 (耐震補強部)
D-2 アルミ製カーテンボックス (木製額縁上枠新設)	J-2 児童用ロッカー (教育相談室)	M-4 落下防止手摺 新設
D-3 木製カーテンボックス (木製額縁上枠新設) ※放送室	J-3 教師用ロッカー	
D-4 アルミ製カーテンボックス (木製額縁上枠新設) ※主事室・印刷室・事務室・更衣室	J-4 掃除用具入	7 既存フックのまま
D-5 天井下がり部分	J-5 児童用下足入	
	J-6 児童用下足入	
E-1 流し台 (BLタイプ) W900	J-7 児童用下足入	
E-2 流し台+コンロ台 (BLタイプ) W2,200	J-8 教師・来客用下足入	
E-3 流し台 (BLタイプ) W1200	J-9 飾り棚	
E-4 ライニング面台	J-10 校長室棚	
E-5 足洗い場	J-11 書棚	
	J-16 書棚 (職員室)	
F-1 曲面黒板 (既存張替え)	J-17 布団収納棚	
F-2 行事黒板 (既存張替え)	J-18 薬品庫	
F-3 掲示板 (新設)	J-19 吊戸棚	
F-4 掲示板 (既存張替え)	J-21 書棚	
F-5 平面黒板 (新設)	J-22 書棚	
F-6 曲面黒板 (新設)		
G-1 木製額縁下枠新設		
G-2 教室フック取付用窓下枠		
G-3 廊下フック取付用窓下枠		

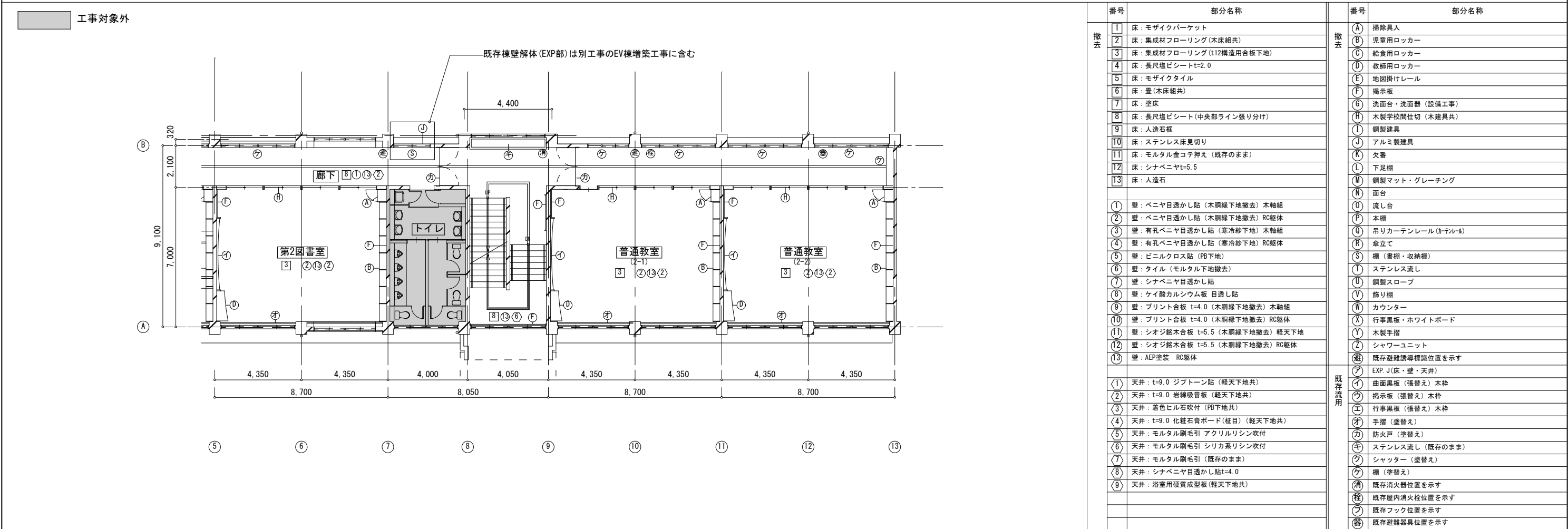
符号	名称	備考
▲	避難誘導標識 (避難口用 防火戸用)	アクリル樹脂 t=5.0
▲	避難誘導標識 (避難口用 サッシ中横用)	アクリル樹脂 t=5.0
△	避難誘導標識 FL+1,000以下 (避難通路用 壁付)	アクリル樹脂 t=5.0
消	消火器ボックス設置位置	消火器表示シール (102×240)

※木製額縁 特記なき限りSOP塗替えとする。
※掲示板・家具等と壁面の間に著しい隙間が生じる際はシーリング充填のこと。

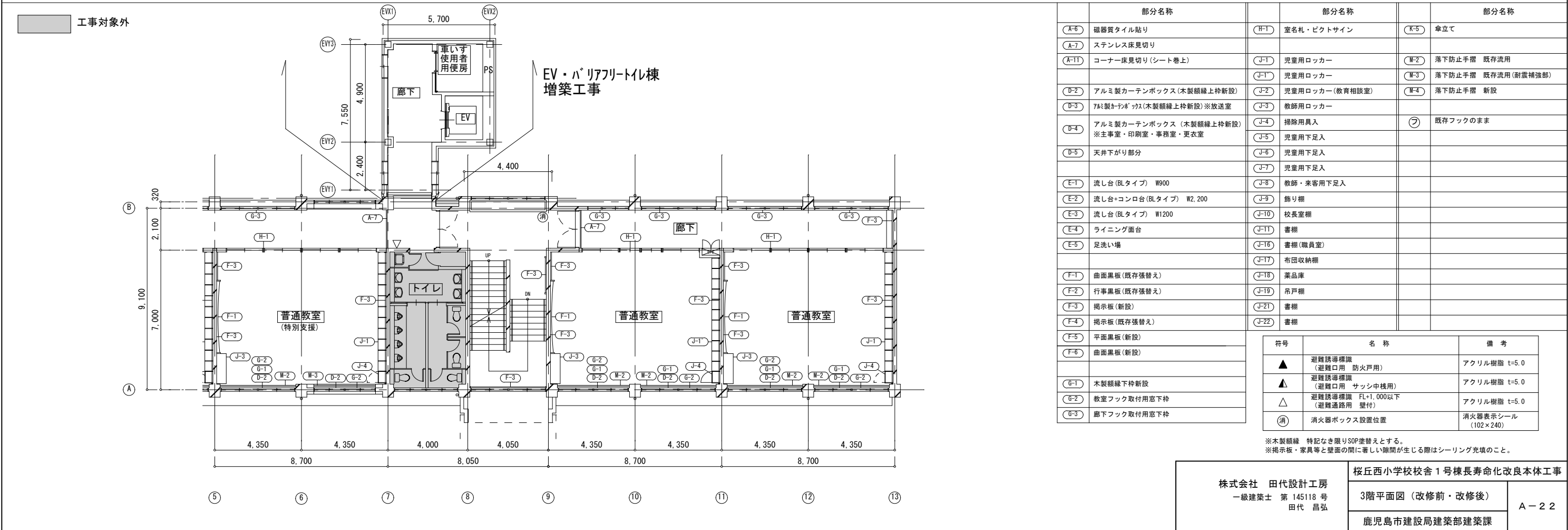
株式会社 田代設計工房
一級建築士 第 145118 号
田代 昌弘

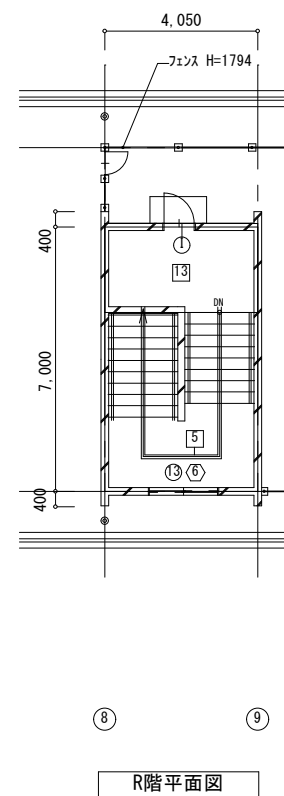
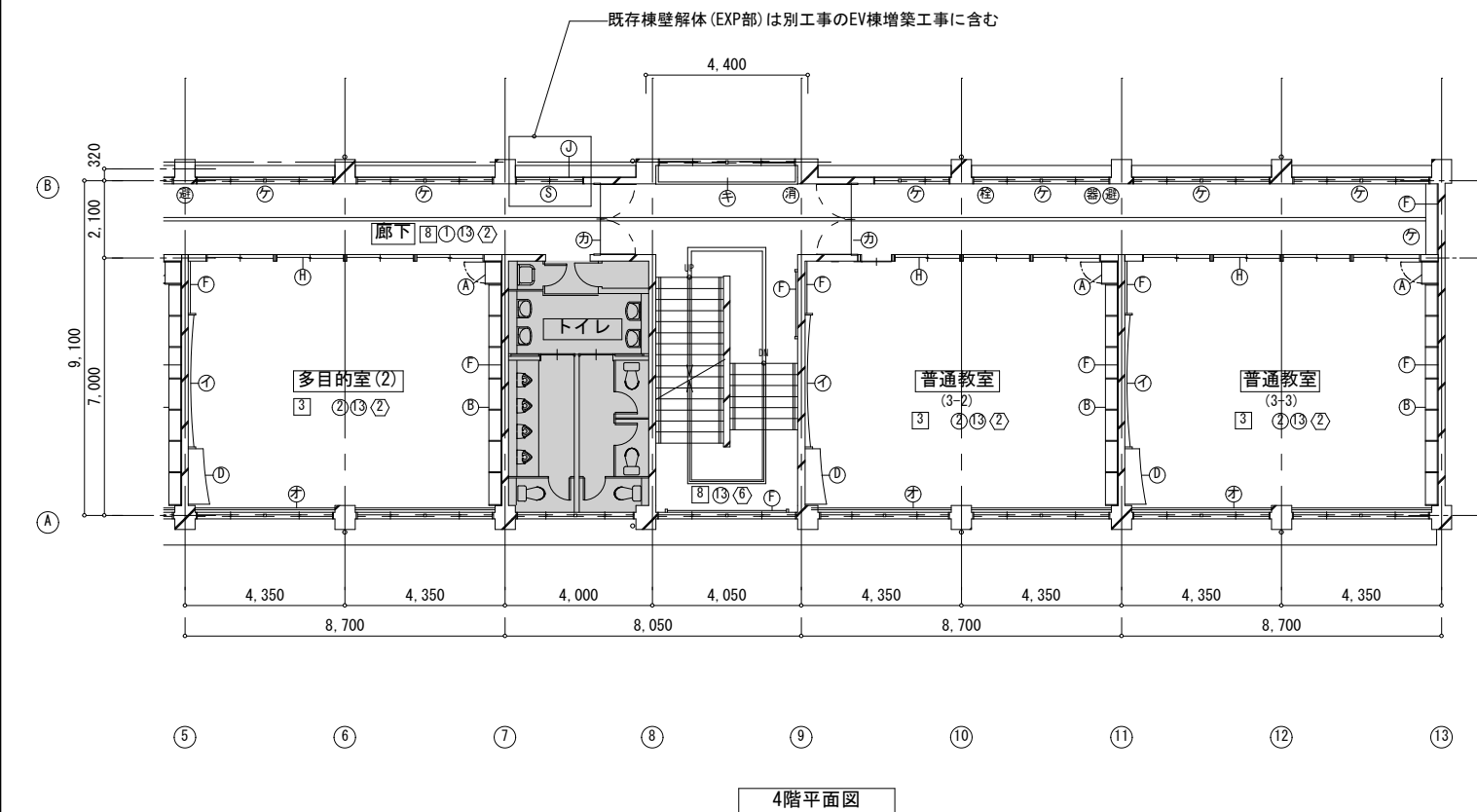
桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事
2階平面図 (改修前・改修後)
鹿児島市建設局建築部建築課
A-2 1

改修前 3階平面図 S=1/200

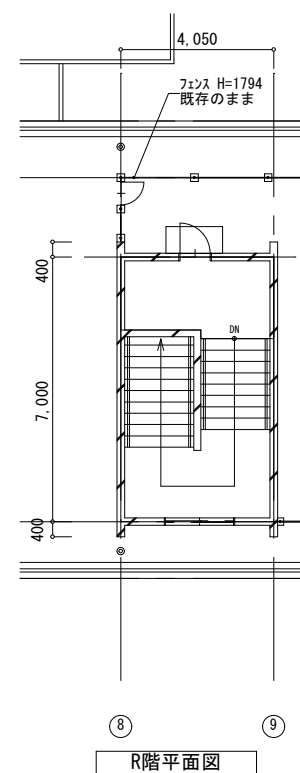
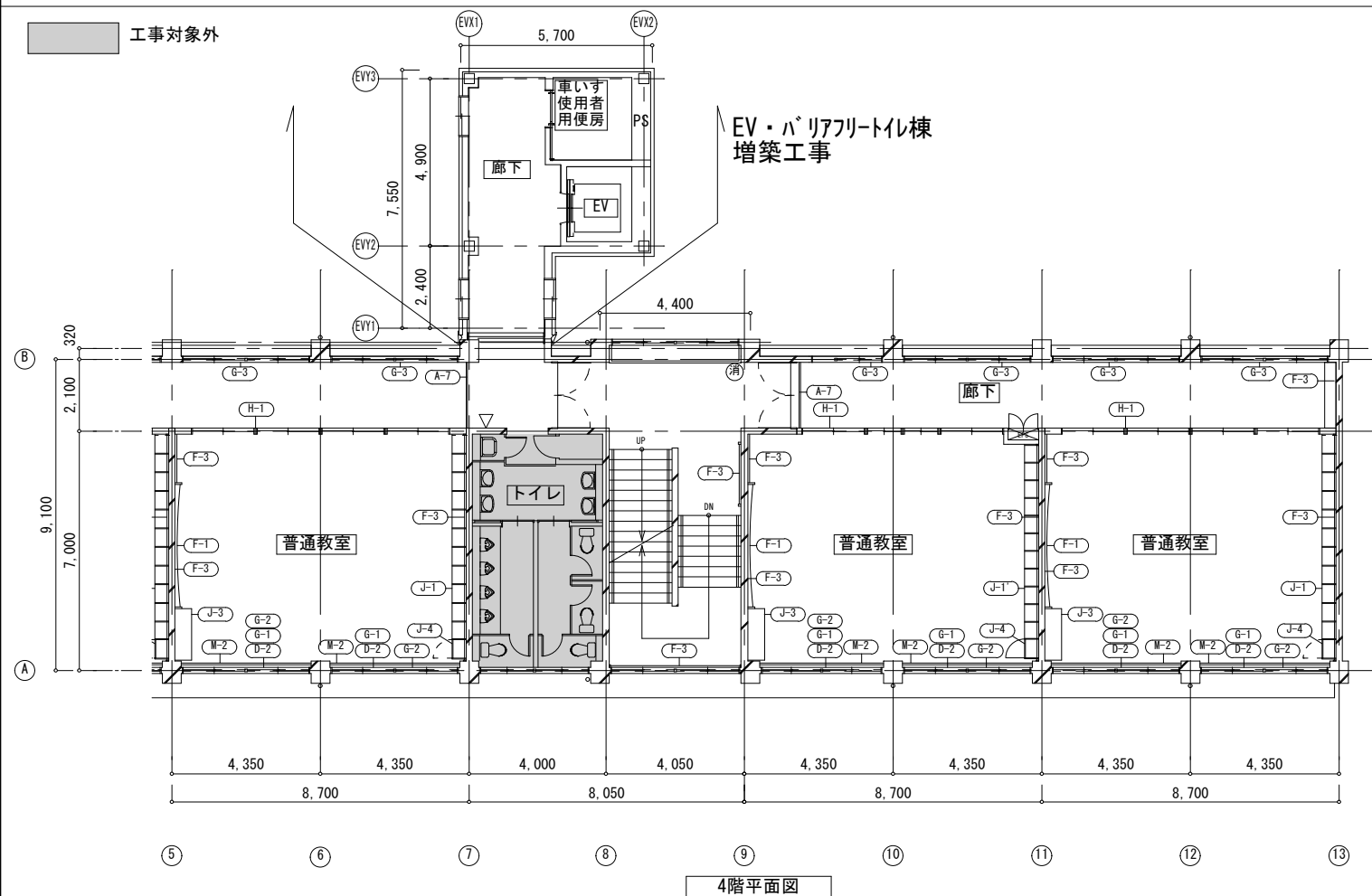


改修後 3階平面図 S=1/200





撤去			既存・流用		
番号	部分名称		番号	部分名称	
1	床：モザイクパーケット	撤去	A	掃除具入	撤去
2	床：集材材フローリング(木床組共)		B	児童用ロッカー	
3	床：集材材フローリング(t12構造用合板下地)		C	給食用ロッカー	
4	床：長尺塩ビシートt=2.0		D	教師用ロッカー	
5	床：モザイクタイル		E	地図掛けレール	
6	床：畳(木床組共)		F	掲示板	
7	床：塗床		G	洗面台・洗面器(設備工事)	
8	床：長尺塩ビシート(中央部ライン張り分け)		H	木製学校間仕切(木建具共)	
9	床：人造石框		I	鋼製建具	
10	床：ステンレス床見切り		J	アルミ製建具	
11	床：モルタル金コテ押え(既存のまま)		K	欠番	
12	床：シナベニヤt=5.5		L	下足棚	
13	床：人造石		M	鋼製マット・グレーチング	
			N	面台	
1	壁：ベニヤ目透かし貼(木胴縁下地撤去)木軸組		O	流し台	
2	壁：ベニヤ目透かし貼(木胴縁下地撤去)RC躯体		P	本棚	
3	壁：有孔ベニヤ目透かし貼(寒冷紗下地)木軸組		Q	吊りカーテンレール(ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ)	
4	壁：有孔ベニヤ目透かし貼(寒冷紗下地)RC躯体		R	傘立て	
5	壁：ビニルクロス貼(PB下地)		S	棚(書棚・収納棚)	
6	壁：タイル(モルタル下地撤去)		T	ステンレス流し	
7	壁：シナベニヤ目透かし貼		U	鋼製スロープ	
8	壁：ケイ酸カルシウム板目透し貼		V	飾り棚	
9	壁：プリント合板 t=4.0(木胴縁下地撤去)木軸組		W	カウンター	
10	壁：プリント合板 t=4.0(木胴縁下地撤去)RC躯体		X	行事掲示板・ホワイトボード	
11	壁：シオジ銘木合板 t=5.5(木胴縁下地撤去)軽天下地		Y	木製手摺	
12	壁：シオジ銘木合板 t=5.5(木胴縁下地撤去)RC躯体		Z	シャワーユニット	
13	壁：AEP塗装 RC躯体		遊	既存遊具誘導導線位置を示す	
			ア	EXP. J(床・壁・天井)	
1	天井：t=9.0 ジブトーン貼(軽天下地共)	既存・流用	イ	曲面奥板(張替え)木枠	
2	天井：t=9.0 岩綿吸音板(軽天下地共)		ウ	掲示板(張替え)木枠	
3	天井：着色ヒモ石吹付(PB下地共)		エ	行事奥板(張替え)木枠	
4	天井：t=9.0 化粧石膏ボード(柱目)(軽天下地共)		オ	手摺(張替え)	
5	天井：モルタル剛毛引 アクリルリシン吹付		カ	防火戸(塗替え)	
6	天井：モルタル剛毛引 シリカ系リシン吹付		キ	ステンレス流し(既存のまま)	
7	天井：モルタル剛毛引(既存のまま)		ク	シャッター(塗替え)	
8	天井：シナベニヤ目透かし貼t=4.0		棚	(塗替え)	
9	天井：浴室用硬質成型板(軽天下地共)		消	既存消火器位置を示す	
			栓	既存屋内消火栓位置を示す	
			フ	既存フック位置を示す	
			器	既存避難器具位置を示す	



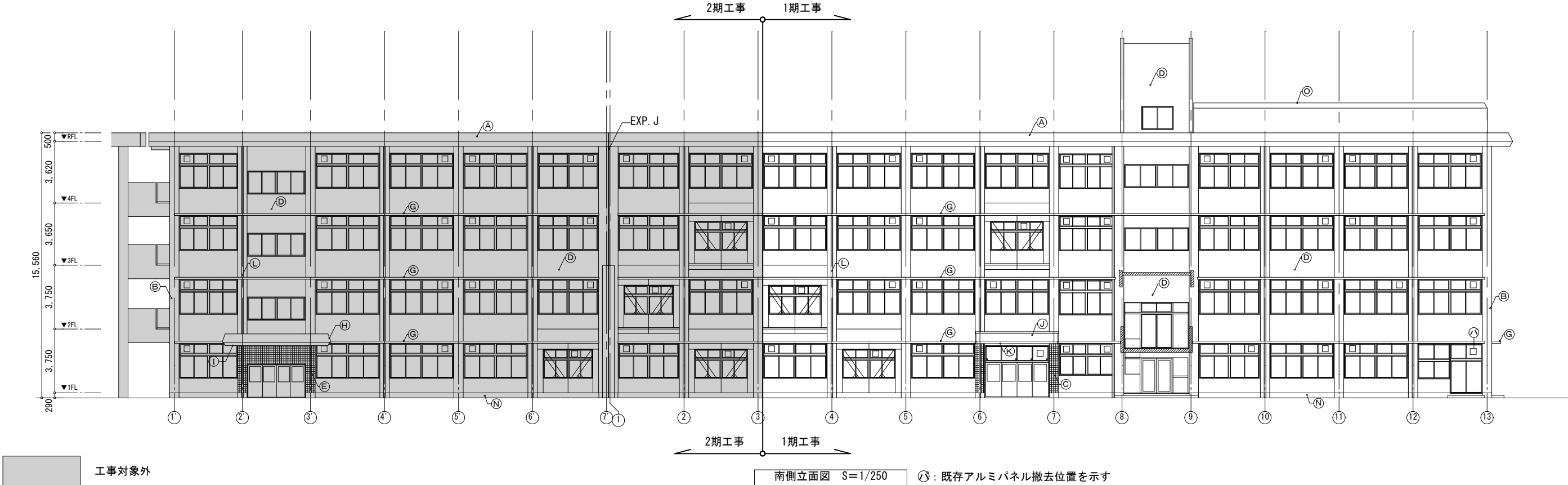
部分名称		部分名称		部分名称	
(A-6)	磁器質タイル貼り	(H-1)	室名札・ビクトサイン	(K-5)	傘立て
(A-7)	ステンレス床見切り				
(A-11)	コーナー床見切り(シート巻上)	(J-1)	児童用ロッカー	(W-2)	落下防止手摺 既存流用
		(J-1')	児童用ロッカー	(W-3)	落下防止手摺 既存流用(耐震補強部)
(D-2)	アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)	(J-2)	児童用ロッカー(教育相談室)	(W-4)	落下防止手摺 新設
(D-3)	7段製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)※放送室	(J-3)	教師用ロッカー		
(D-4)	アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設) ※主事室・印刷室・事務室・更衣室	(J-4)	掃除用具入	フ	既存フックのまま
		(J-5)	児童用下足入		
(D-5)	天井下がり部分	(J-6)	児童用下足入		
		(J-7)	児童用下足入		
(E-1)	流し台(BLタイプ) W900	(J-8)	教師・来客用下足入		
(E-2)	流し台+コンロ台(BLタイプ) W2,200	(J-9)	飾り棚		
(E-3)	流し台(BLタイプ) W1200	(J-10)	校長室棚		
(E-4)	ライニング台面	(J-11)	書棚		
(E-5)	足洗い場	(J-16)	書棚(職員室)		
		(J-17)	布回収納棚		
(F-1)	曲面黒板(既存張替え)	(J-18)	薬品庫		
(F-2)	行事黒板(既存張替え)	(J-19)	吊戸棚		
(F-3)	掲示板(新設)	(J-21)	書棚		
(F-4)	掲示板(既存張替え)	(J-22)	書棚		
(F-5)	平面黒板(新設)				
(F-6)	曲面黒板(新設)				
(G-1)	木製額縁下枠新設				
(G-2)	教室フック取付用意下枠				
(G-3)	廊下フック取付用意下枠				

符号	名 称	備 考
▲	避難誘導標識 (避難口用 防火戸用)	アクリル樹脂 t=5.0
▲	避難誘導標識 (避難口用 サッシ中横用)	アクリル樹脂 t=5.0
△	避難誘導標識 (避難通路用 FL+1,000以下 壁付)	アクリル樹脂 t=5.0
⊙	消火器ボックス設置位置	消火器表示シール (102×240)

※木製額縁 特記なき限りSOP塗替えとする。
※掲示板・家具等と壁面の間に著しい隙間が生じる際はシーリング充填のこと。

改修前

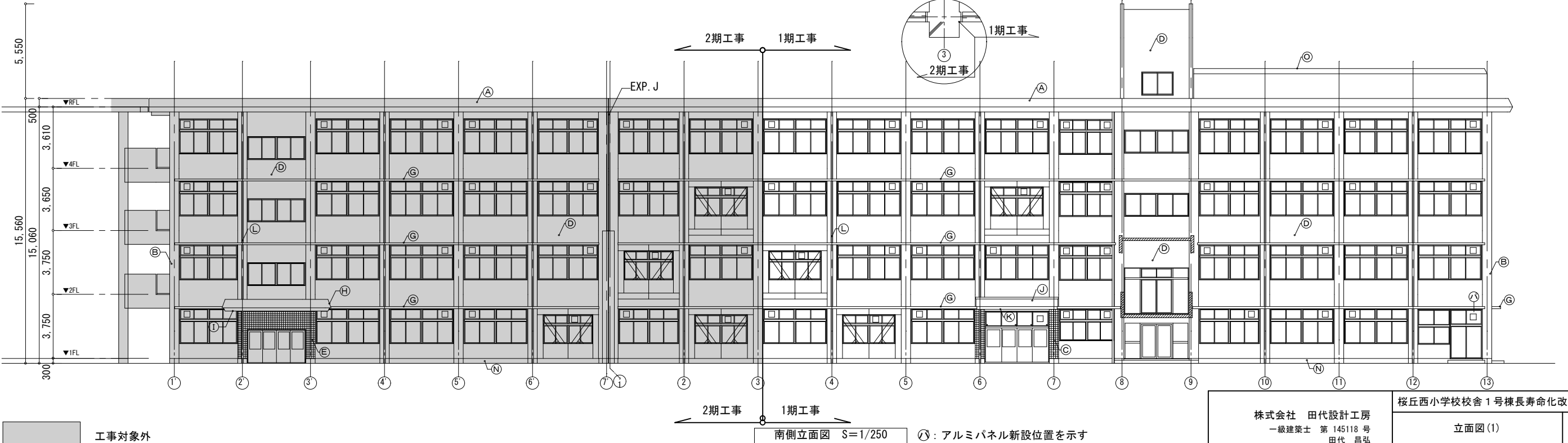
Ⓐ	パラペット：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓑ	柱型：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓒ	柱型：47角モザイクタイル貼	Ⓓ	壁：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓔ	壁：47角モザイクタイル貼
Ⓕ	梁型：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓖ	庇：(天端・鼻)防水モルタルコテ押え、(下端)モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付	Ⓗ	庇鼻(玄関庇)：モルタル刷毛引きエポキシ吹付タイルローラー押え	Ⓘ	軒天(玄関庇)：ビニトップスバンドレル	Ⓙ	庇鼻(玄関庇)：カラーアルミパネル張り(焼付塗装)
Ⓚ	軒天(玄関庇)：アルミスバンドレル	Ⓛ	縦樋：VU 100φ硬質塩化ビニールパイプVP掘金物	Ⓜ	面台：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓝ	巾木：モルタルコテ押え	Ⓞ	PCフェンス：H=1,500+忍び返し付き



改修後

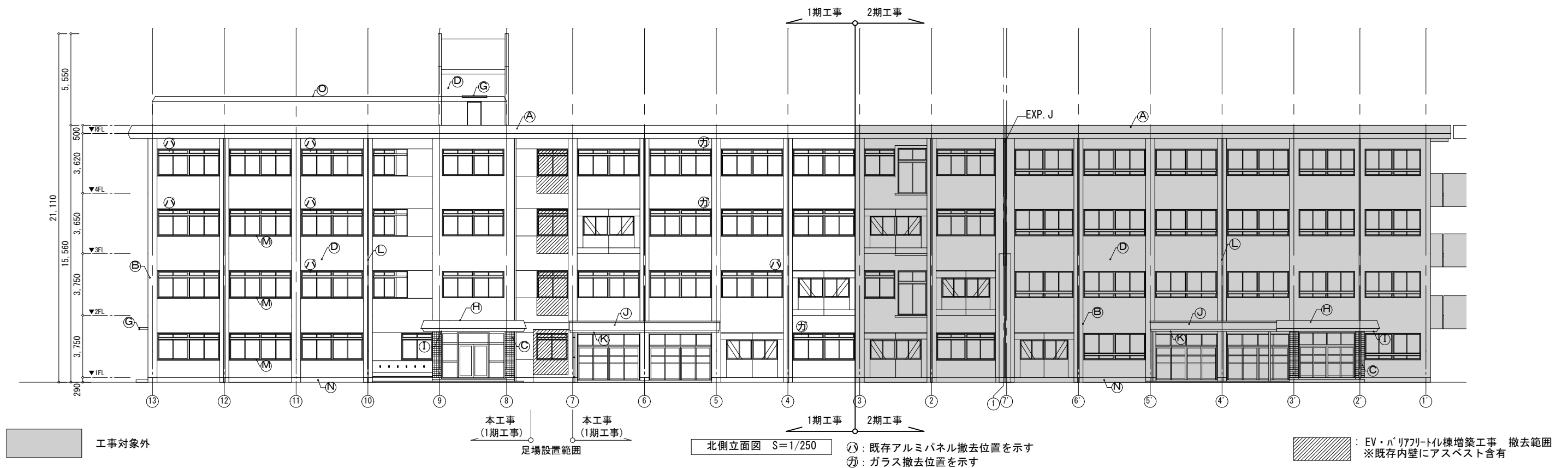
Ⓐ	パラペット：既存高圧水洗浄の上、シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓑ	柱型：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓒ	柱型(タイル)：既存高圧水洗浄	Ⓓ	壁：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓔ	壁(タイル)：既存高圧水洗浄
Ⓕ	梁型：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓖ	庇：(天端・鼻・下端)既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓗ	庇鼻(玄関庇)：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓘ	軒天(玄関庇)：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装	Ⓙ	庇鼻(玄関庇)：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装
Ⓚ	軒天(玄関庇)：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装	Ⓛ	縦樋：既存下地調整の上 DP(ポリウレタン)塗替え、掘み金物：既存のまま	Ⓜ	面台：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓝ	巾木：既存高圧水洗浄の上 DP塗装	Ⓞ	PCフェンス：既存のまま

外部改修	1期工事	1期工事範囲内の建具(アルミパネル・ガラス) 一部アルミ製建具 撤去新設 1期工事範囲内の外壁・庇・パラペット等の劣化部分補修・全面塗替え (屋上の平場・立上り・笠木は防水改修済)	2期工事	2期工事範囲内の建具(アルミパネル・ガラス) 撤去新設 2期工事範囲内の外壁・庇・パラペット等の劣化部分補修・全面塗替え(屋上の平場・立上り・笠木は防水改修済)
------	------	---	------	---



改修前

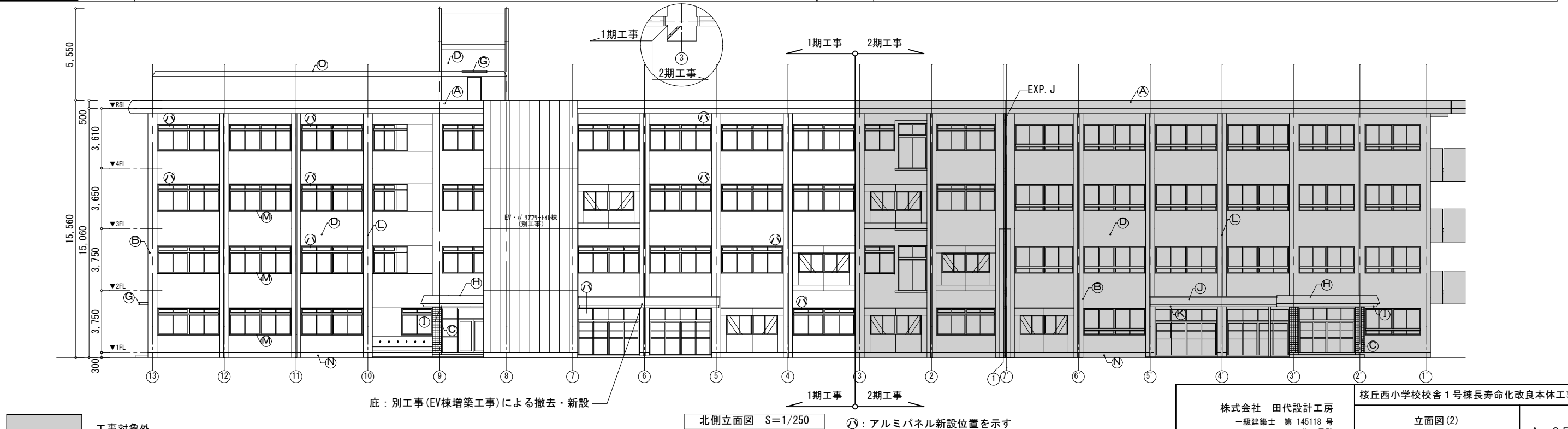
㊦ バラベット：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	㊧ 柱型：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	㊨ 柱型：47角モザイクタイル貼	㊩ 壁：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	㊪ 壁：47角モザイクタイル貼
㊦ 梁型：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	㊧ 庇：(天端・鼻)防水モルタルコテ押え、(下端)モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付	㊨ 庇鼻(玄関庇)：モルタル刷毛引きエポキシ吹付タイルローラー押え	㊩ 軒天(玄関庇)：ビニトップスバンドレ	㊪ 庇鼻(玄関庇)：カラーアルミパネル張り(焼付塗装)
㊦ 軒天(玄関庇)：アルミスバンドレ t=0.8	㊧ 堅樋：VU 100φ硬質塩化ビニールパイプ掘金物	㊨ 面台：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	㊩ 巾木：モルタルコテ押え	㊪ PCフェンス：H=1,500+忍び返し付き



改修後

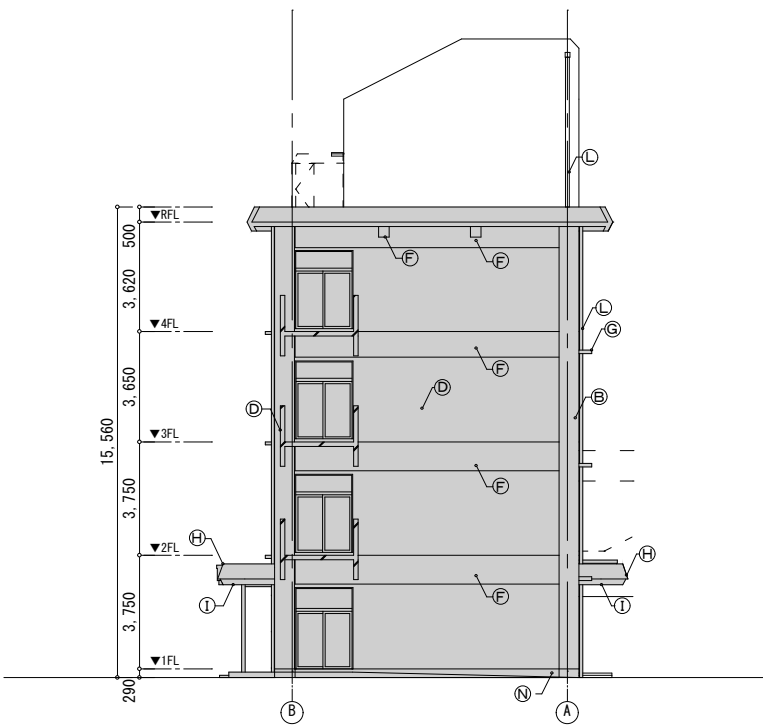
Ⓐ バラベット：既存高圧水洗浄の上、シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓑ 柱型：既存高圧水洗浄の上、シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓒ 柱型（タイル）：既存高圧水洗浄	Ⓓ 壁：既存高圧水洗浄の上、シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓔ 壁（タイル）：既存高圧水洗浄
Ⓕ 梁型：既存高圧水洗浄の上、シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓖ 庇：（天端・鼻・下端）既存高圧水洗浄の上、シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓗ 庇鼻（玄関庇）：既存高圧水洗浄の上、シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓙ 軒天（玄関庇）：素地ごしらえ（RB種）の上、DP塗装	Ⓚ 庇鼻（玄関庇）：素地ごしらえ（RB種）の上、DP塗装
Ⓚ 軒天（玄関庇）：素地ごしらえ（RB種）の上、DP塗装	Ⓛ 壁腰：既存下地調整の上、DP（ポリウレタン）塗替え、握み金物：既存のまま	Ⓜ 面台：既存高圧水洗浄の上、シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓝ 巾木：既存高圧水洗浄の上、DP塗装	Ⓞ PCフェンス：既存のまま

外部改修	<div>1期工事</div> 1期工事範囲内の建具（アルミパネル・ガラス）・一部アルミ製建具 撤去新設 1期工事範囲内の外壁・庇・パラペット等の劣化部分補修・全面塗替え（屋上の平場・立上り・笠木は防水改修済）	<div>2期工事</div> 2期工事範囲内の建具（アルミパネル・ガラス）撤去新設 2期工事範囲内の外壁・庇・パラペット等の劣化部分補修・全面塗替え（屋上の平場・立上り・笠木は防水改修済）
------	--	--

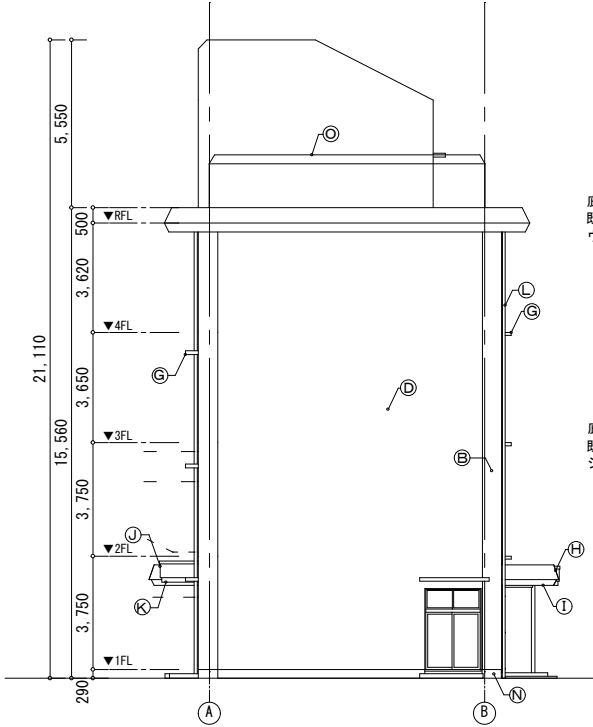


改修前

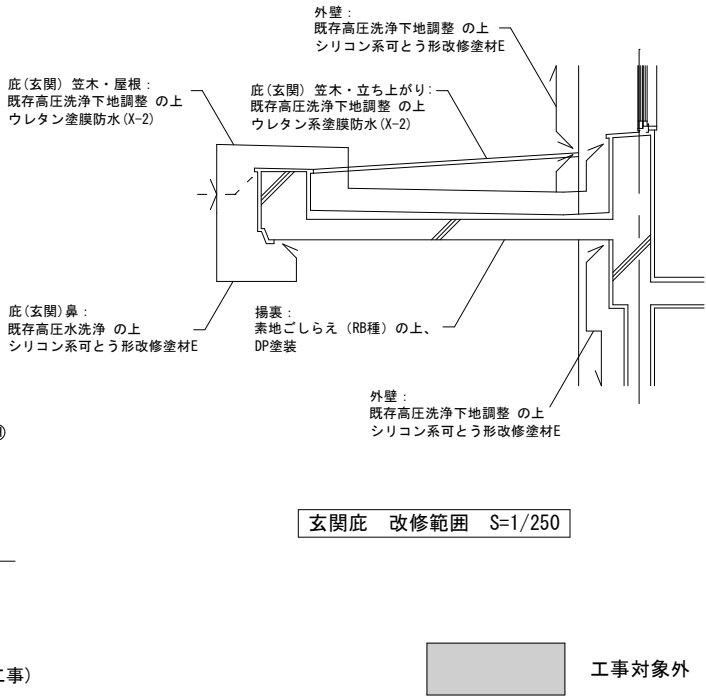
Ⓐ	パラペット：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓑ	柱型：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓒ	柱型：47角モザイクタイル貼	Ⓓ	壁：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付
Ⓔ	壁：47角モザイクタイル貼	Ⓕ	梁型：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓖ	庇：(天端・鼻)防水モルタルコテ押え、(下端)モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付	Ⓗ	庇鼻(玄関庇)：モルタル刷毛引きエポキシ吹付タイルローラー押え
①	軒天(玄関庇)：ビニトップスバンドレル	④	庇鼻(玄関庇)：カラーアルミパネル張り(焼付塗装)	Ⓚ	軒天(玄関庇)：アルミスバンドレル t=0.8	Ⓛ	縦樋：VU 100 硬質塩化ビニールパイプVP掘金物
Ⓜ	面台：モルタル刷毛引きの上、アクリルリシン吹付	Ⓝ	巾木：モルタルコテ押え	ⓐ	PCフェンス：H=1,500+忍び返し付き		



西側立面図 S=1/250 (2期工事)



東側立面図 S=1/250 (1期工事)

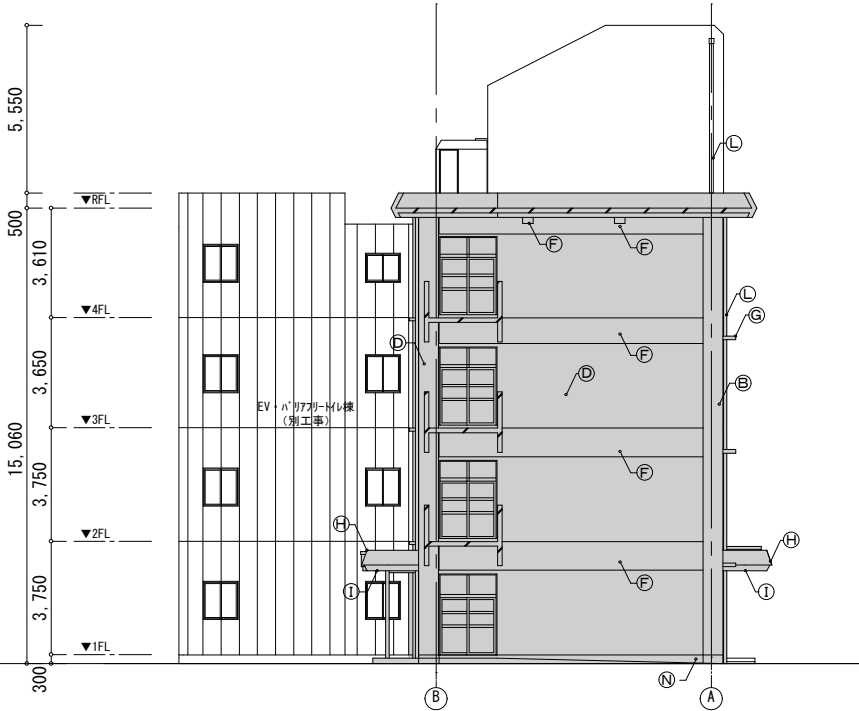


工事対象外

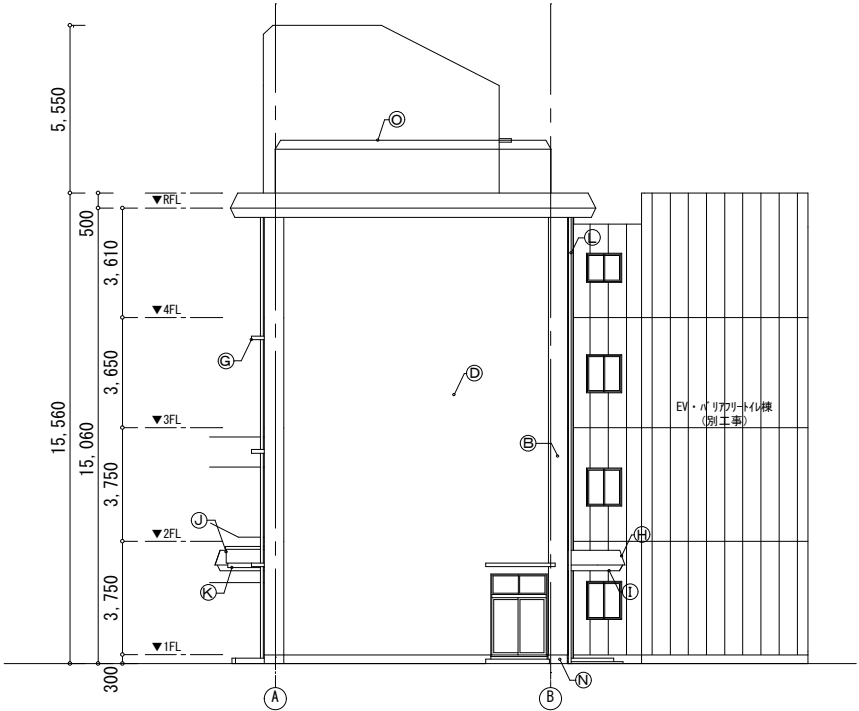
改修後

Ⓐ	パラペット：既存高圧水洗浄の上、シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓑ	柱型：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓒ	柱型(タイル)：既存高圧水洗浄	Ⓓ	壁：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E
Ⓔ	壁(タイル)：既存高圧水洗浄	Ⓕ	梁型：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓖ	庇：(天端・鼻・下端)既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓗ	庇鼻(玄関庇)：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E
①	軒天(玄関庇)：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装	④	庇鼻(玄関庇)：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装	Ⓚ	軒天(玄関庇)：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗装	Ⓛ	縦樋：既存下地調整の上 DP(ポリウレタン)塗替え、掘み金物：既存のまま
Ⓜ	面台：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E	Ⓝ	巾木：既存高圧水洗浄の上 DP塗装	ⓐ	PCフェンス：既存のまま		

1期工事	1期工事範囲内の建具(アルミパネル・ガラス)・一部アルミ製建具 撤去新設 1期工事範囲内の外壁・庇・パラペット等の劣化部分補修・全面塗替え(屋上の平場・立上り・笠木は防水改修済)	2期工事	2期工事範囲内の建具(アルミパネル・ガラス) 撤去新設 2期工事範囲内の外壁・庇・パラペット等の劣化部分補修・全面塗替え(屋上の平場・立上り・笠木は防水改修済)
------	--	------	---



西側立面図 S=1/250 (2期工事)



東側立面図 S=1/250 (1期工事)



外壁改修工事 概要

- ①外壁改修
- ・外壁仕上げの不良箇所（浮き部、ひび割れ等）について、特記仕様書に基づく工法にて改修を行うこと。

< 外壁改修工事工法一覧表 >

工 法	部 位	数量(推計値)
ポリマーセメントモルタル充填工法 (PBL)	爆裂部 柱壁	30 m
アンカビッド部分球状樹脂注入工法 (A16)	浮き部	1,439 本
自動式低圧球状樹脂注入工法 (H)	ひび割れ部	74.9 m

※施工数量は上表に依らず、全面打診調査後、監督員と協議の上決定するものとし、設計変更の対象とする。

- ②防水改修(シーリング打替)
- ・既存建具廻りシーリング打替 (MS-2)10×10
 - ・耐震補強部アルミパネル周囲シーリング打替 (MS-2)15×10
 - ・耐震スリット部シーリング打替 内外共 (PU-2)30×15
 - ・打継・誘発目地シーリング打替 (PU-2)20×10

- ③塗装改修
- ・既存高圧水洗浄(15MPa)の上、仕上げ材塗り

部 位		塗 装 種 別
壁・柱	一般	シリコン系可とう形改修塗材E ローラー
梁	一般・天端	シリコン系可とう形改修塗材E ローラー
	上裏	※1 シリコン系可とう形改修塗材E ローラー
巾木	一般	DP塗(C-2種)
開口部	だき・面台	シリコン系可とう形改修塗材E ローラー
	まぐさ	※1
パラペット	笠木	既存のまま
	立上り	内部 既存のまま
		外部 シリコン系可とう形改修塗材E ローラー
		返し・上裏 アクリル系軒天用仕上塗材
庇	天端・鼻	シリコン系可とう形改修塗材E ローラー
	上裏	アクリル系軒天用仕上塗材

※1 庇、パラペット上裏等と一体となっている場合は、庇、パラペット上裏等の仕様による。
※2 既存がモルタル仕上げ等(塗装なし)及びタイル仕上の場合は、塗装は行わないものとする。

- ・縦樋：素地ごしらえ(RC種)の上、DP塗
※外部配管等について、塗膜が劣化している場合は、監督員に報告すること。
なお、電線類は養生し塗装しない。
- ・昇降口鉄部見え掛かり：素地ごしらえ(RB種)の上、DP塗
※アルミパネル・上裏・屋根銅板

- ③その他
- ※既設樋の樋受け金物について、腐食又は外れている等、安全上支障のある場合は、監督員に報告すること。
 - ※定置する足場は、別契約の関連する工事の関係者にも使用させること。
なお、設置・撤去時期については、調整を図ること。

庇防水工事 概要

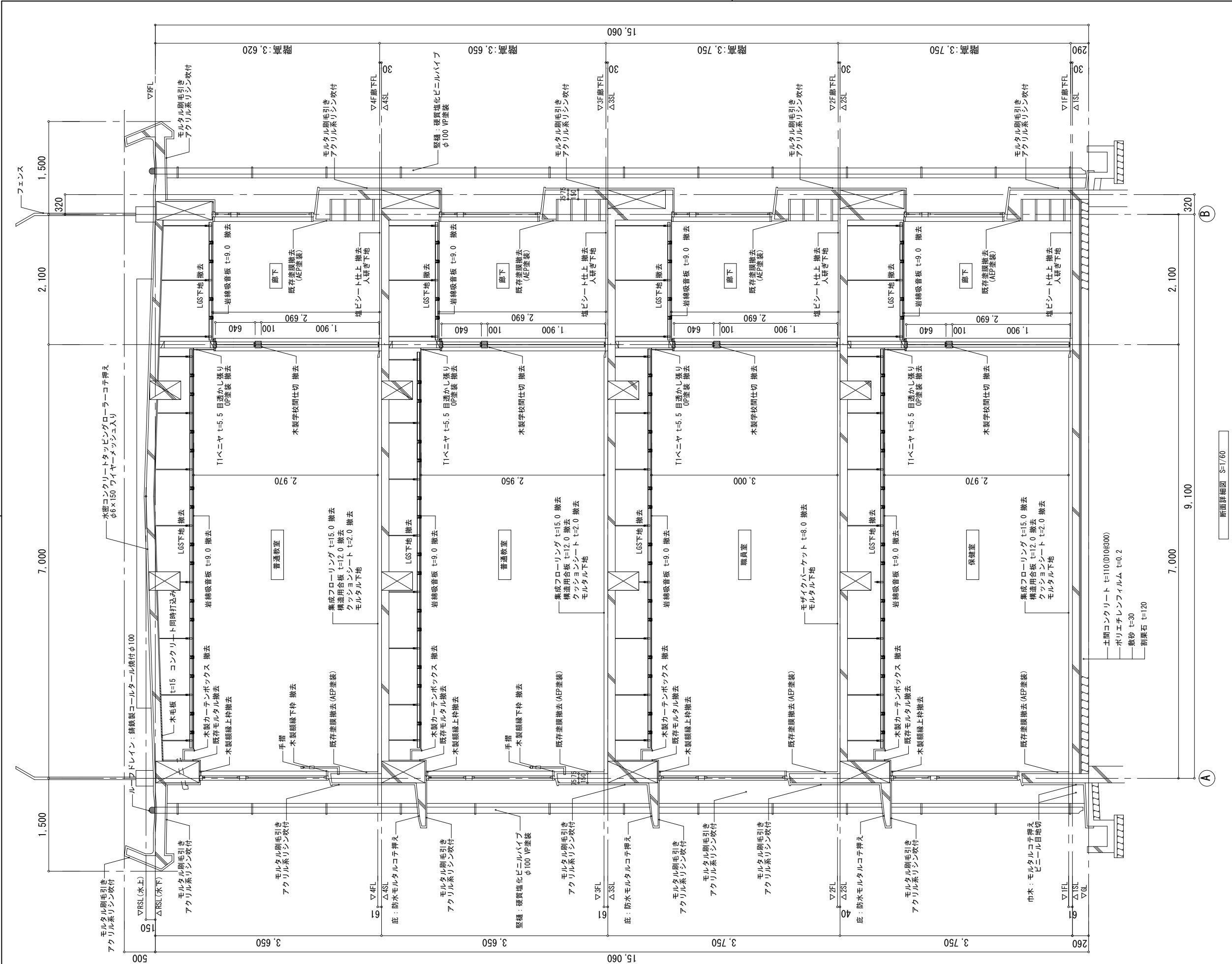
- ①玄関・昇降口・昇降口北側庇 防水改修
- ・屋根面：
高圧水洗浄(15MPa)、下地調整(ポリマーセメントモルタル)の上、ウレタン系塗膜防水(X-2)
 - ・笠木・立ち上がり：
高圧水洗浄(15MPa)、下地調整(ポリマーセメントモルタル)の上、ウレタン系塗膜防水(X-2)
 - ・その他：
塗膜防水の端部納まり及び重ね幅 Wについては、主材料製造所の仕様とすること。

□ 特記事項

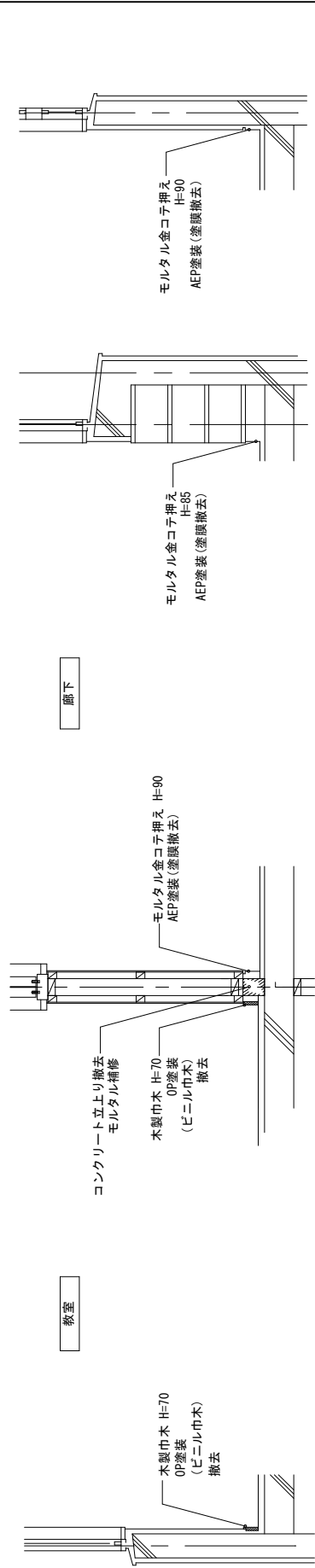
※外部配管などについて、塗膜が劣化している場合は監督員に報告すること。
なお、電線類は養生し塗装しない。

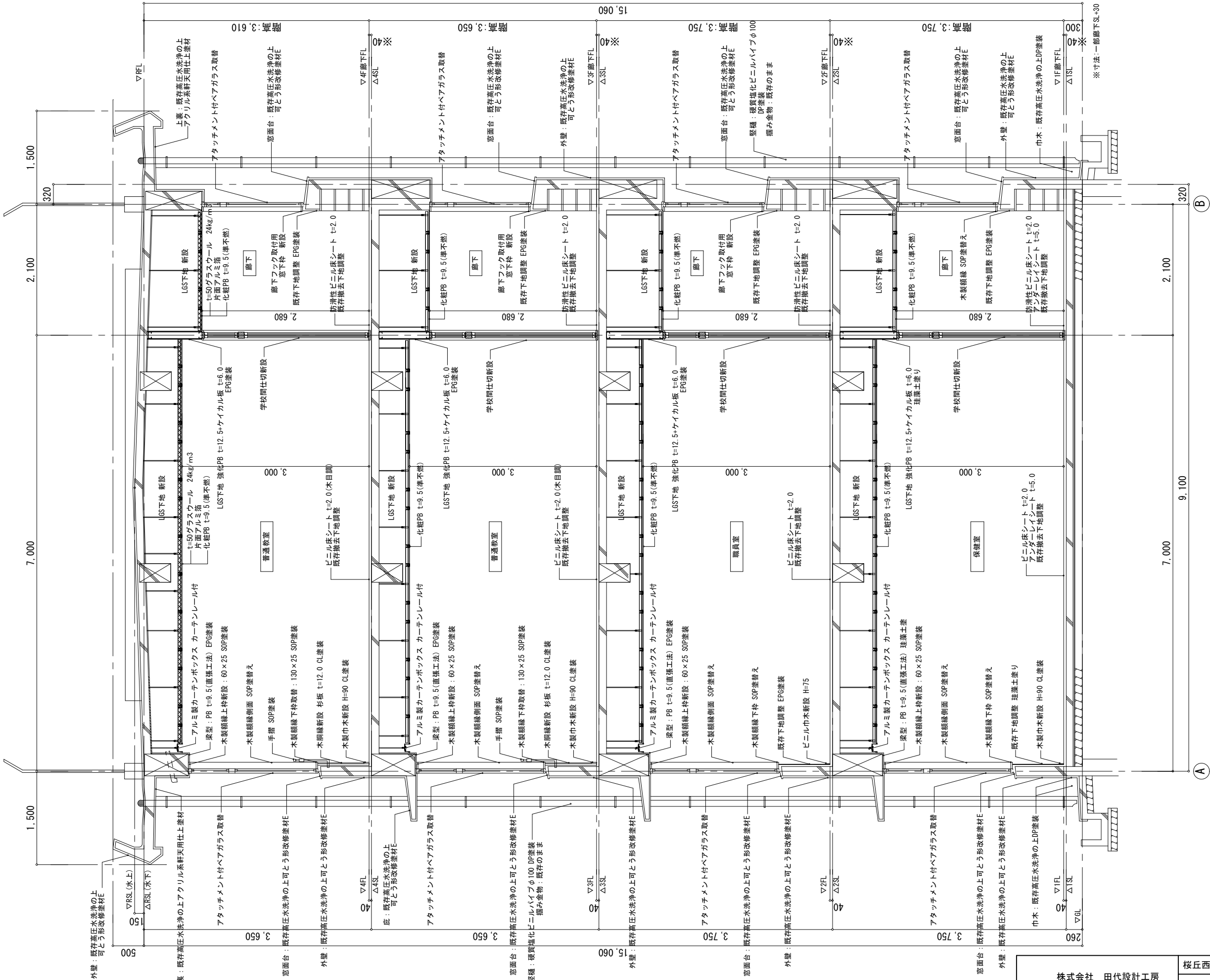
※施工年月日、施工会社、連絡先、工法を記入したプレートを設置すること。(A4版程度)

株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘	桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事
立面図(3)	A-26
鹿児島市建設局建築部建築課	

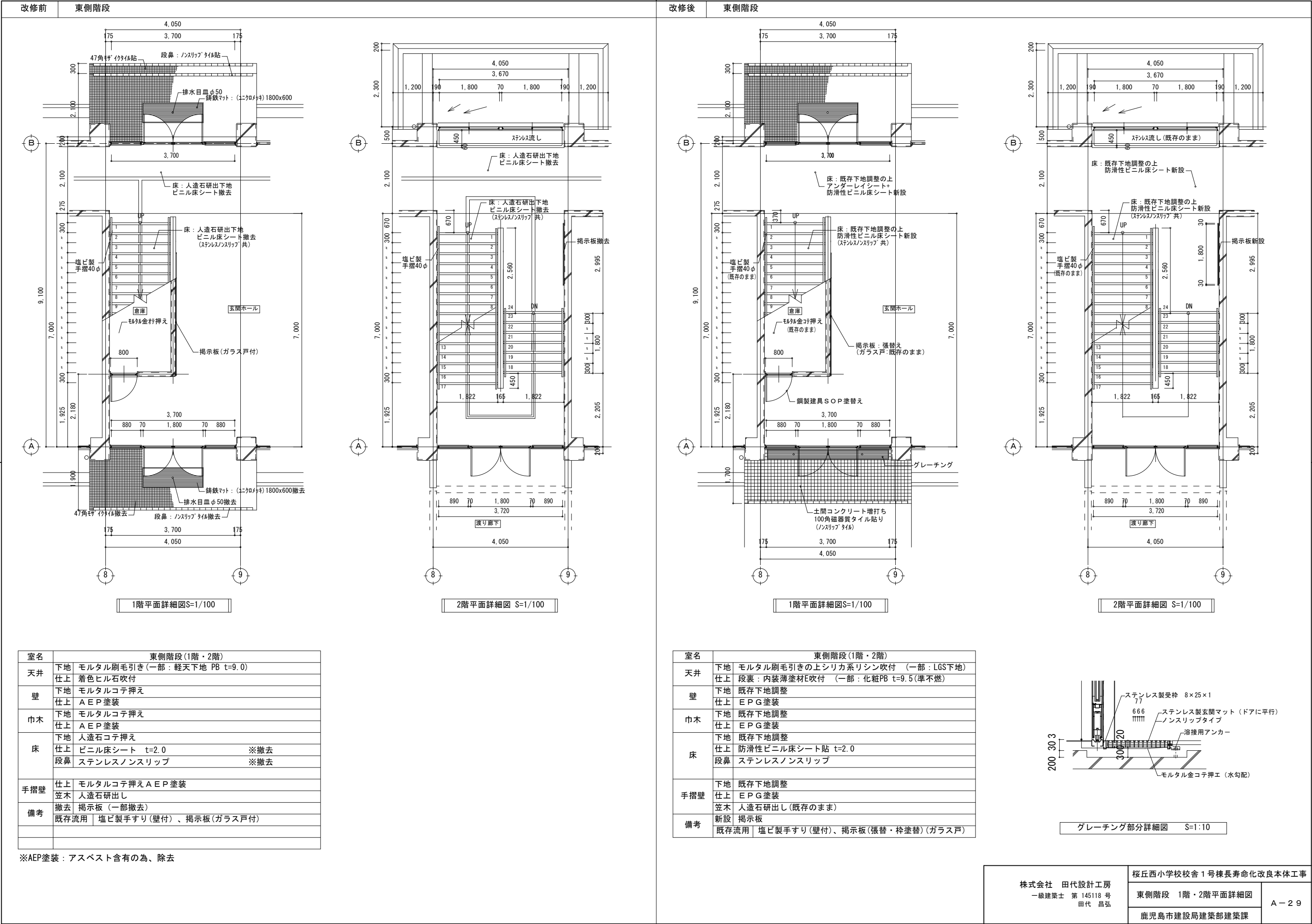


中木部詳細図 (1/40) 断面詳細図 S-1/60





株式会社 田代設計工房
一級建築士 第145118号
田代 昌弘



改修前

東側階段

3階平面詳細図 S=1/100

4階平面詳細図 S=1/100

室名	東側階段 (3階・4階)		
天井	下地	モルタル刷毛引き	
	仕上	シリカ系リシン吹付	
壁	下地	モルタルコテ押え	
	仕上	AEP塗装	
巾木	下地	モルタルコテ押え	
	仕上	AEP塗装	
床	下地	人造石コテ押え	
	仕上	ビニル床シート t=2.0	※撤去
	段鼻	ステンレスノンスリップ	※撤去
手摺壁	仕上	モルタルコテ押えAEP塗装	
備考	撤去	揭示板	
	既存流用	塩ビ製手すり (壁付)	

※AEP塗装：アスベスト含有の為、除去

改修後

東側階段

3階平面詳細図 S=1/100

4階平面詳細図 S=1/100

室名	東側階段 (3階・4階)		
天井	下地	モルタル刷毛引きの上シリカ系リシン吹付	
	仕上	段裏：内装薄塗材E吹付	
壁	下地	既存下地調整	
	仕上	EPG塗装	
巾木	下地	既存下地調整	
	仕上	EPG塗装	
床	下地	既存下地調整	
	仕上	防滑性ビニル床シート貼 t=2.0	
	段鼻	ステンレスノンスリップ	
手摺壁	下地	既存下地調整	
手摺壁	仕上	EPG塗装	
	下地	既存下地調整	
手摺壁	仕上	EPG塗装	
	笠木	人造石研出し (既存のまま)	
備考	新設	揭示板	
	既存流用	塩ビ製手すり (壁付)	

株式会社 田代設計工房

一級建築士 第 145118 号

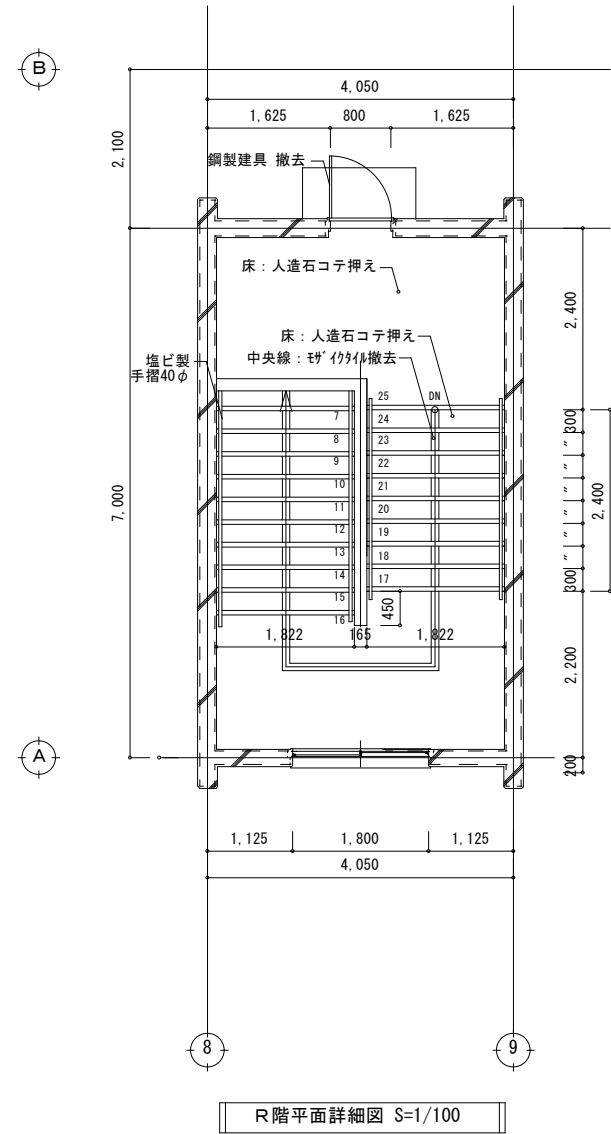
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事

東側階段 3階・4階平面詳細図

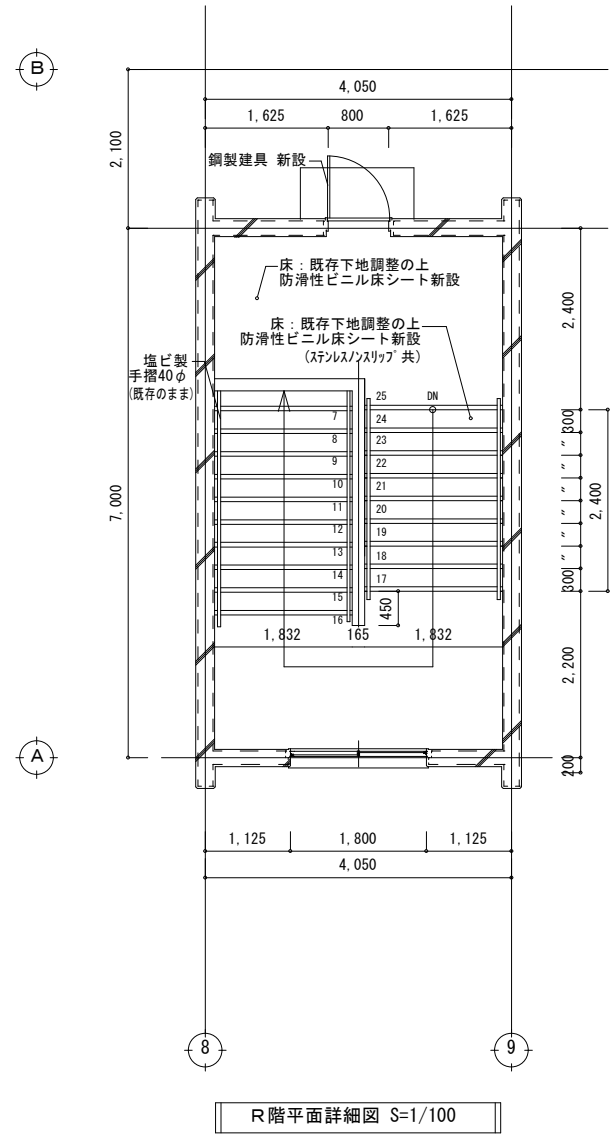
鹿児島市建設局建築部建築課

A-30

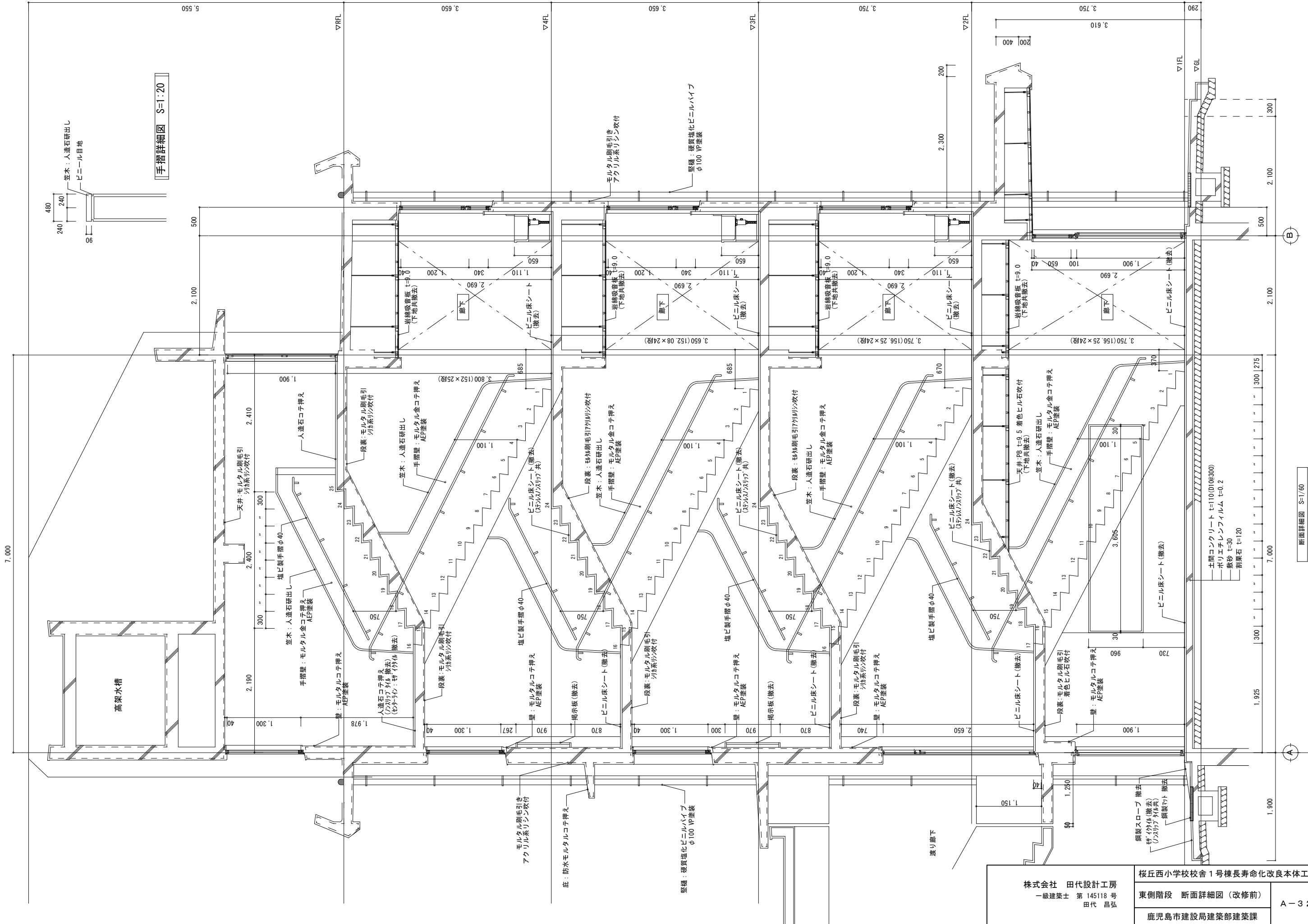


室名		東側階段 (R階)	
天井	下地	モルタル刷毛引き	
	仕上	シリカ系リシン吹付	
壁	下地	モルタルコテ押え	
	仕上	A E P 塗装	
巾木	下地	モルタルコテ押え	
	仕上	A E P 塗装	
床	下地	コンクリート	
	仕上	人造石コテ押え	※撤去
	段鼻	ノンスリップタイル貼 (撤去)	※撤去
	センターライン	モザイクタイル貼	
手摺壁	仕上	モルタルコテ押え A E P 塗装	
	笠木	人造石研出し	
備考	撤去		
	既存流用	手すり (壁付)	

※AEP塗装：アスベスト含有の為、除去

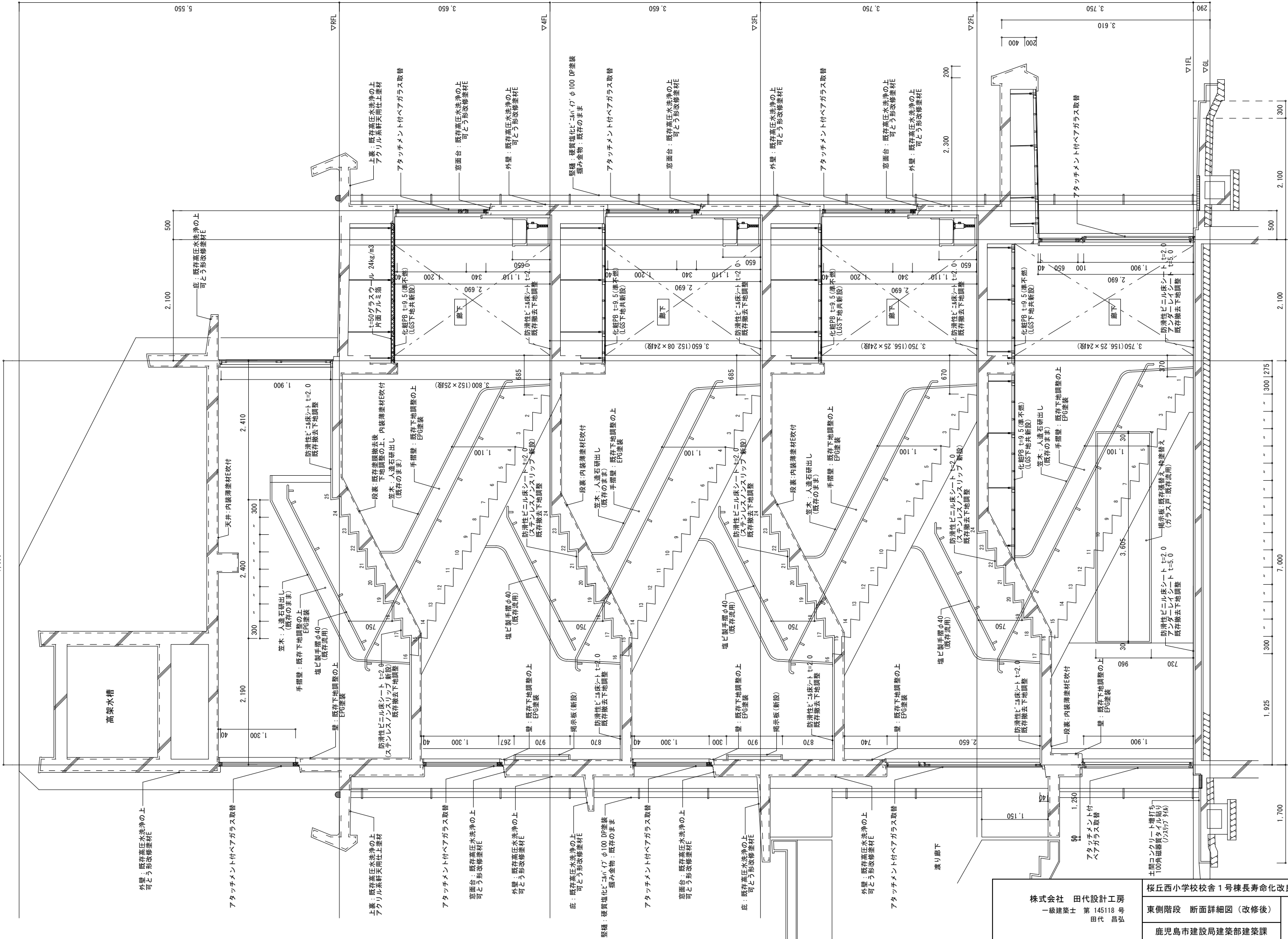


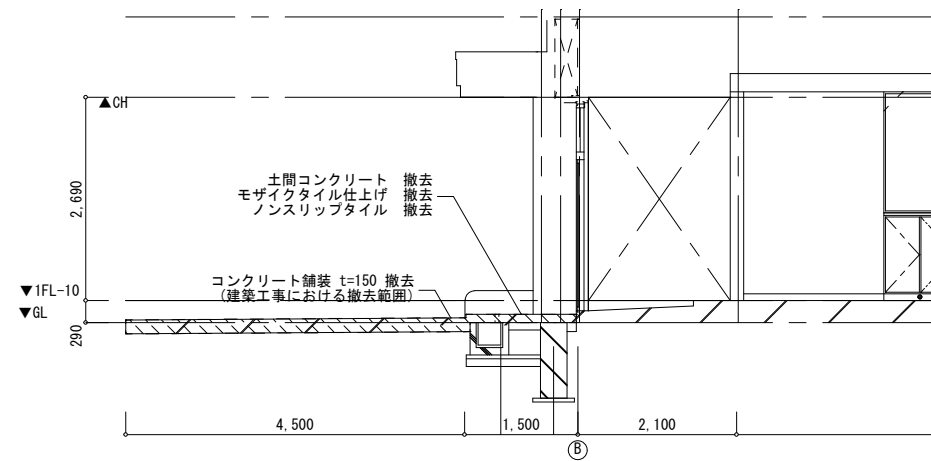
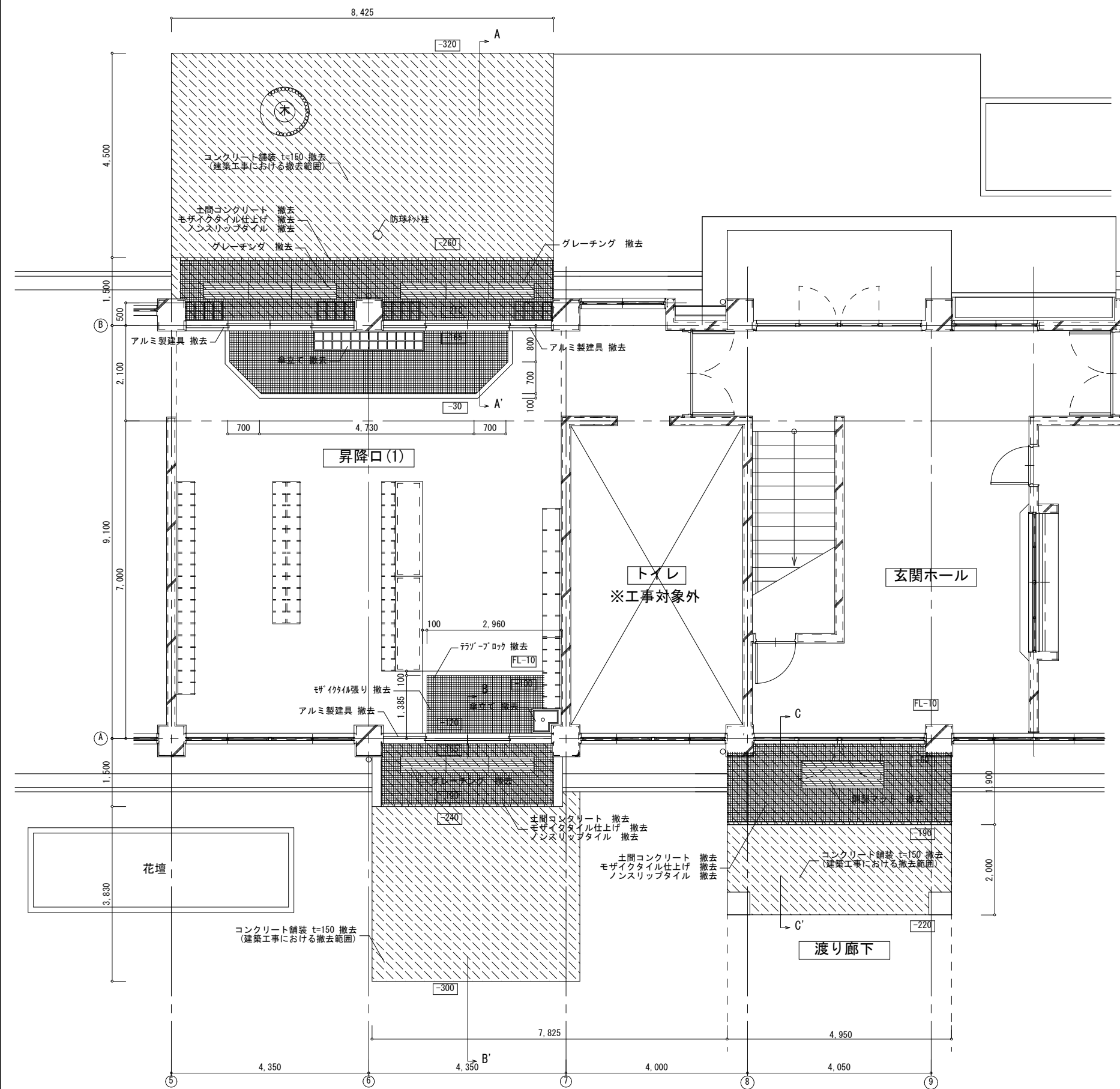
室名		東側階段 (R階)	
天井	下地	モルタル刷毛引きの上シリカ系リシン吹付	
	仕上	段裏：内装薄塗材E吹付	
壁	下地	既存下地調整	
	仕上	E P G 塗装	
巾木	下地	既存下地調整	
	仕上	E P G 塗装	
床	下地	既存下地調整	
	仕上	防滑性ビニル床シート貼 t=2.0	
	段鼻	ステンレスノンスリップ	
手摺壁	下地	既存下地調整	
	仕上	E P G 塗装	
備考	撤去	人造石研出し (既存のまま)	
	新設		
		既存流用	塩ビ製手すり (壁付)



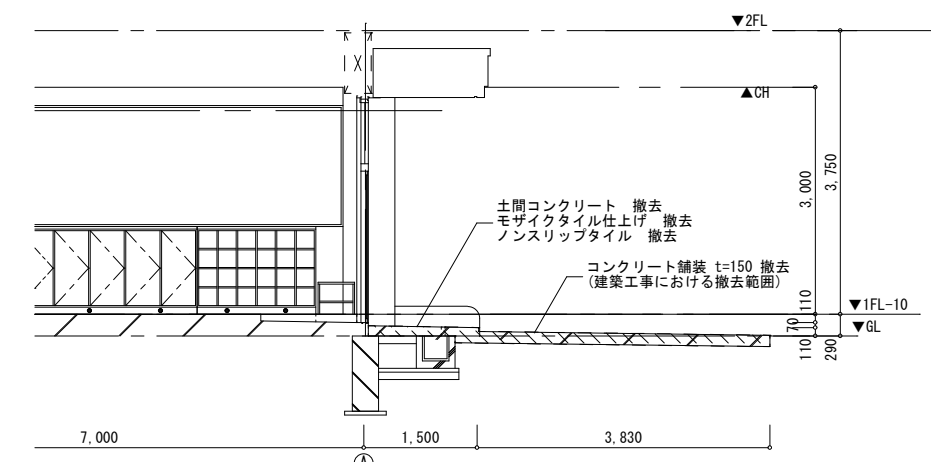
株式会社 田代設計工房
一級建築士 第 145118 号
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事
東側階段 断面詳細図 (改修前)
鹿児島市建設局建築部建築課

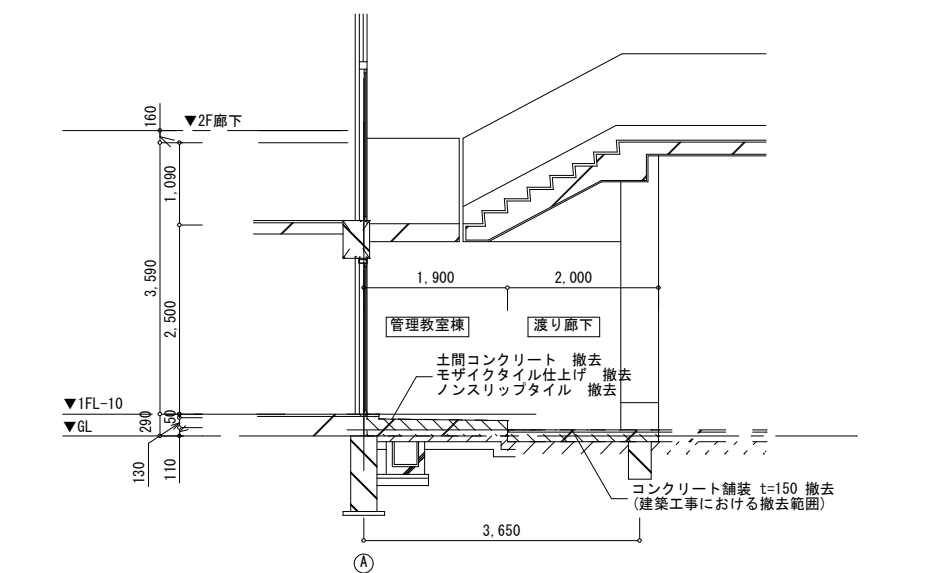




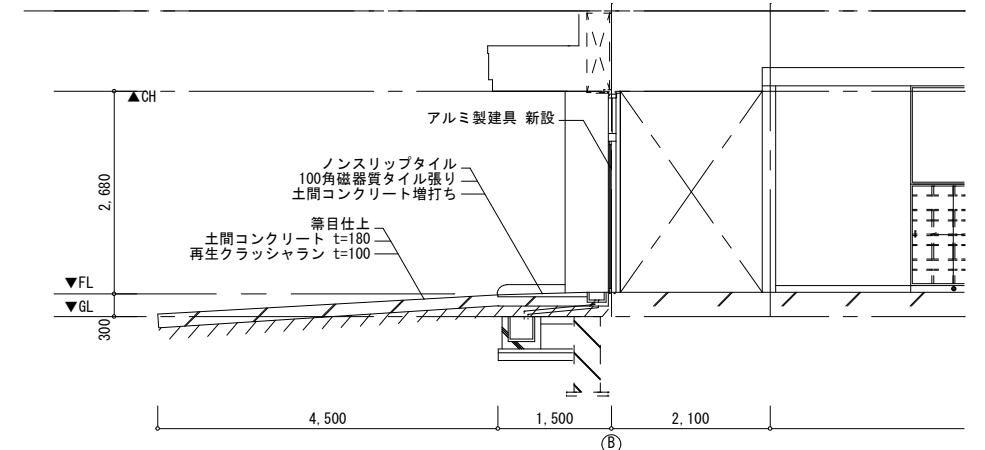
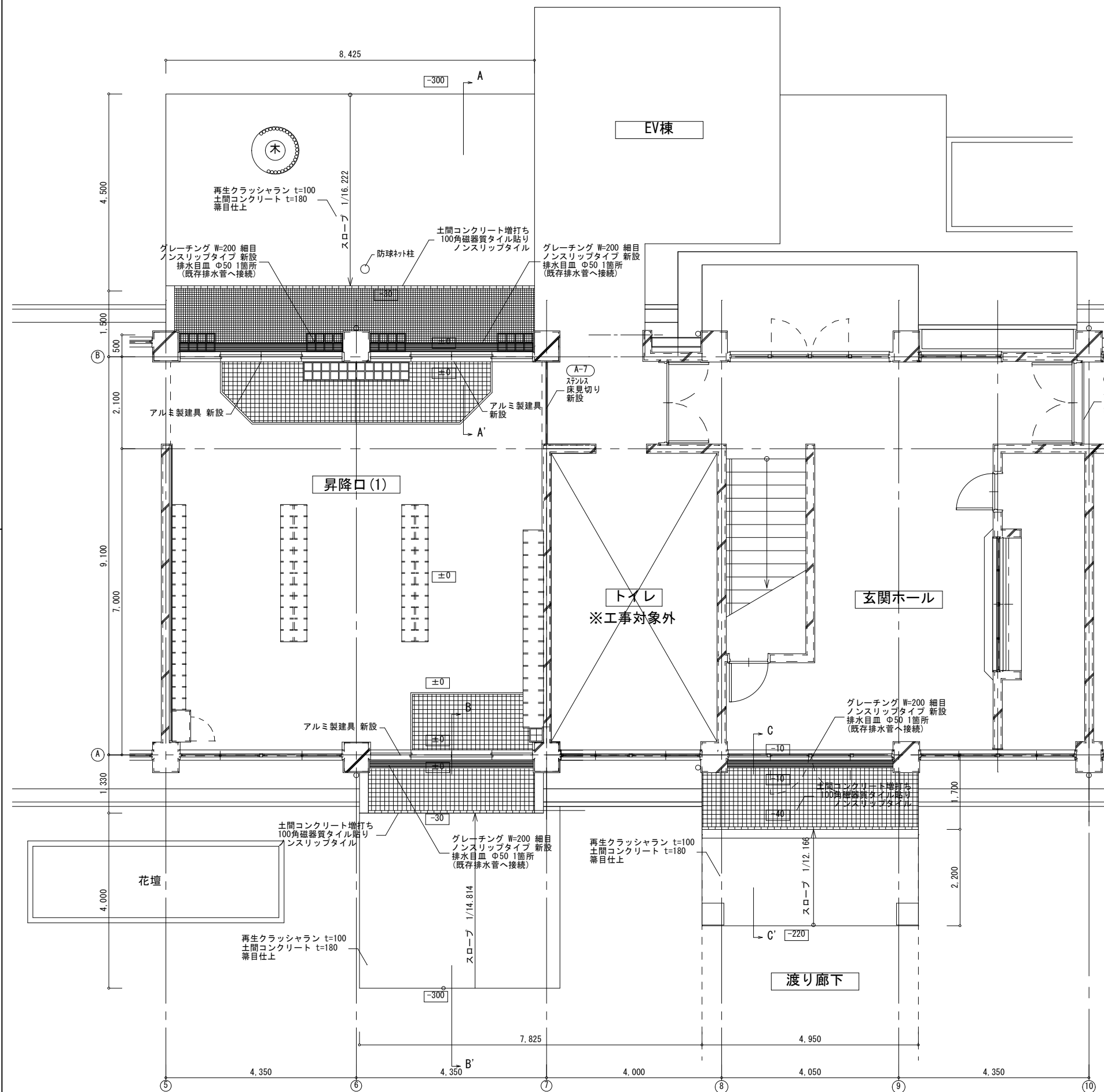
A-A' 断面図 S=1/100



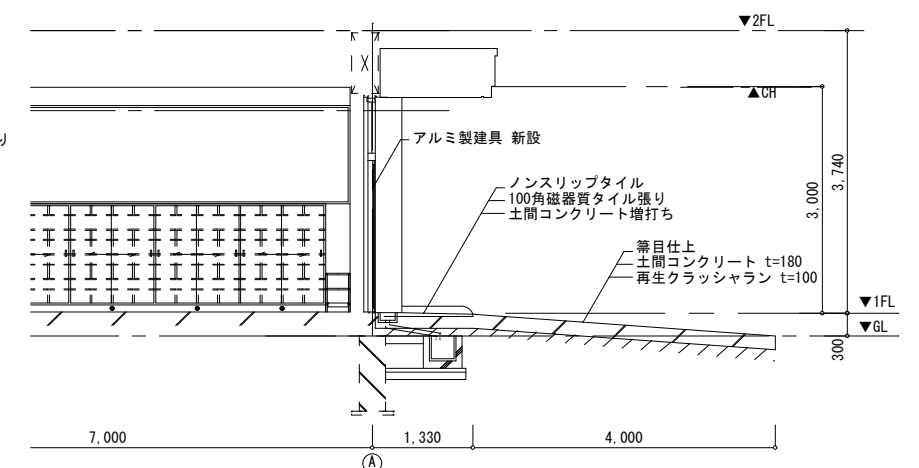
B-B' 断面図 S=1/100



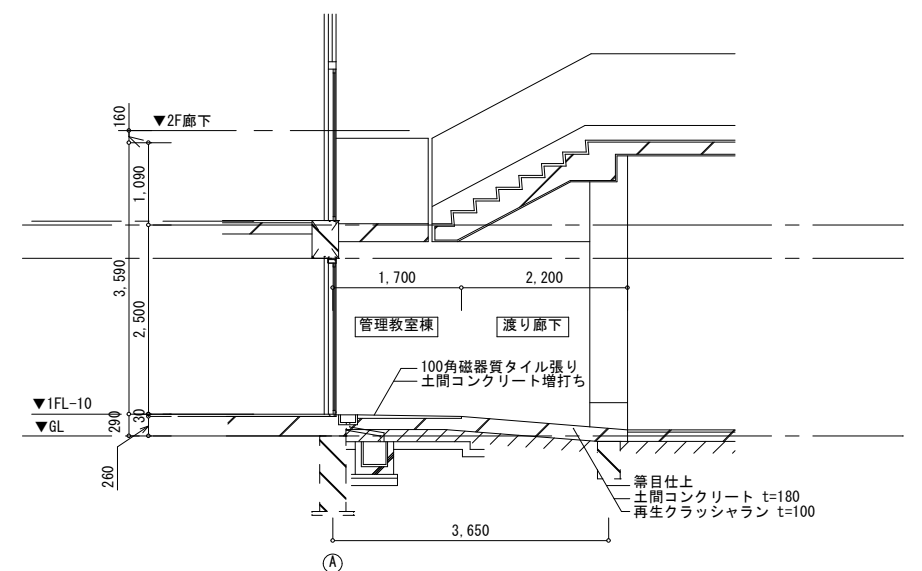
C-C' 断面図 S=1/100



A-A' 断面図 S=1/100



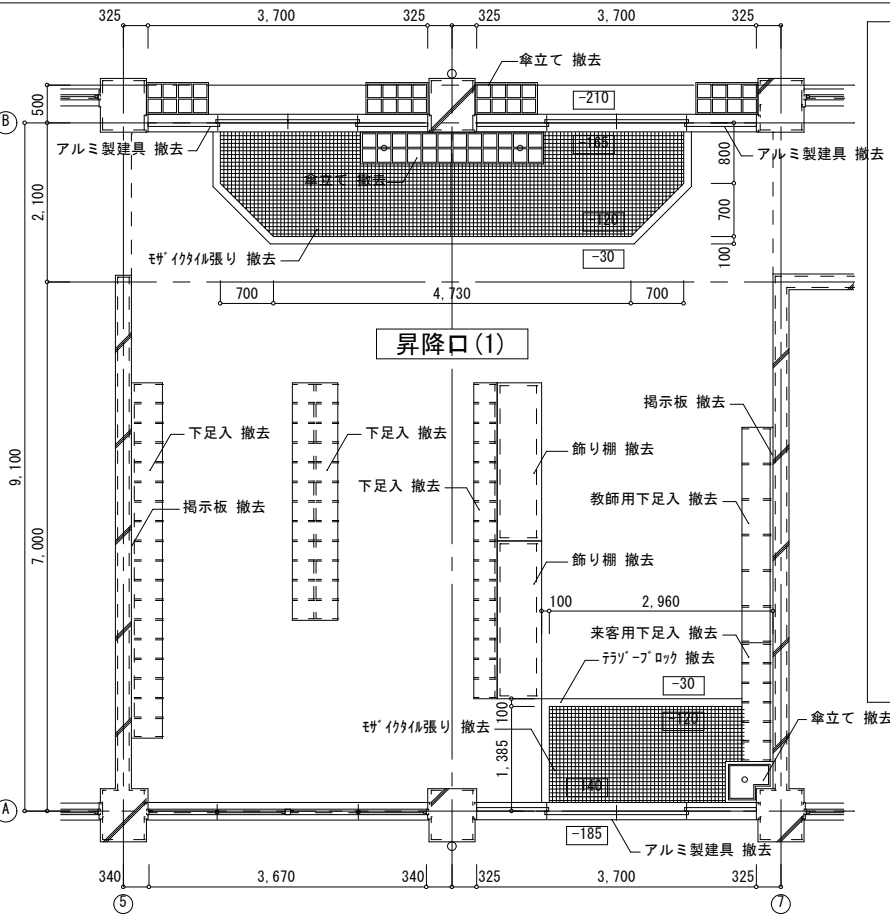
B-B' 断面图 S=1/100



C-C' 断面图 S=1/100

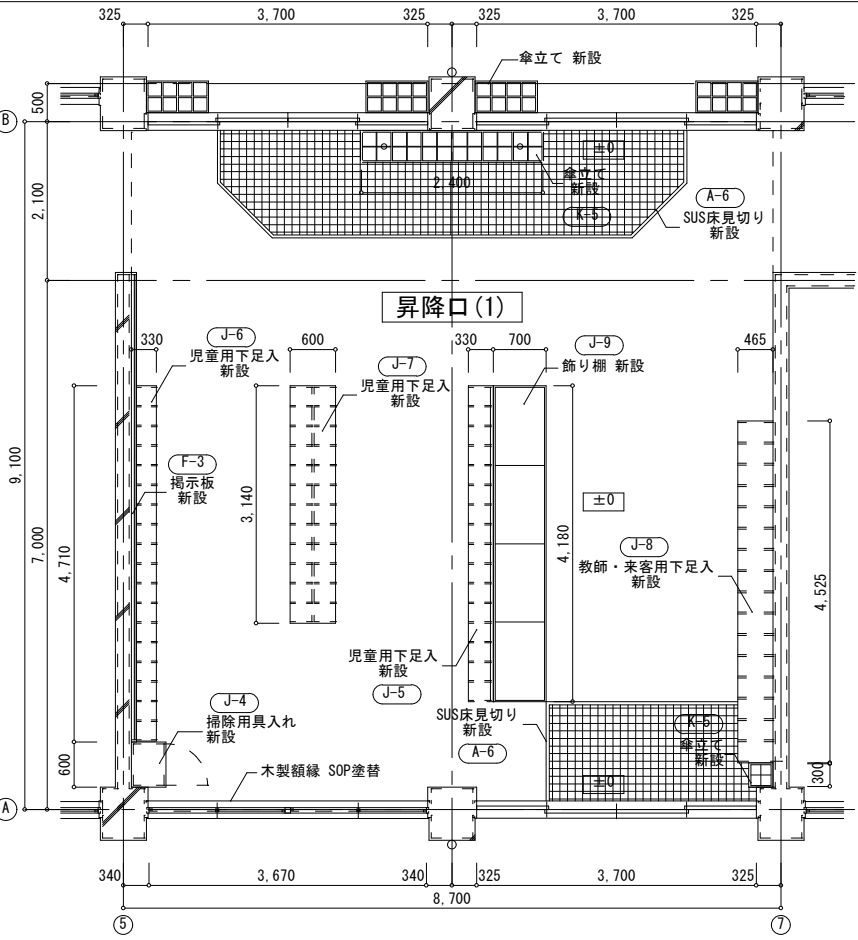
※土間コンクリート仕様
土間コンクリート t=180(18-15-20)
D10-@250 タテヨコ共

改修前 平面詳細図 昇降口(1)



室名	昇降口(1)
天井	仕上 t=9.0 ジプトーン貼 (撤去) 下地 軽天下地 (撤去)
壁	仕上 A・C面 モルタル金コテ押え EPG塗装 B・D面 揭示板 ※木脚縁下地共撤去 t=8.0 ケイカル板張り EPG塗装 ※木脚縁下地共撤去 柱・梁型 モルタル金コテ押え AEP塗装 + EPG塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=90 OP塗装 ※撤去 モルタル巾木 H=90 SOP塗装
床	仕上 ビニル床シート t=2.0 ※撤去 一部:モザイクタイル張り ※撤去 下地 モルタルコテ押え下地 一部:土間コンクリート (744mm×150mm×6)
備考	※AEP塗装: アスベスト含有の為除去

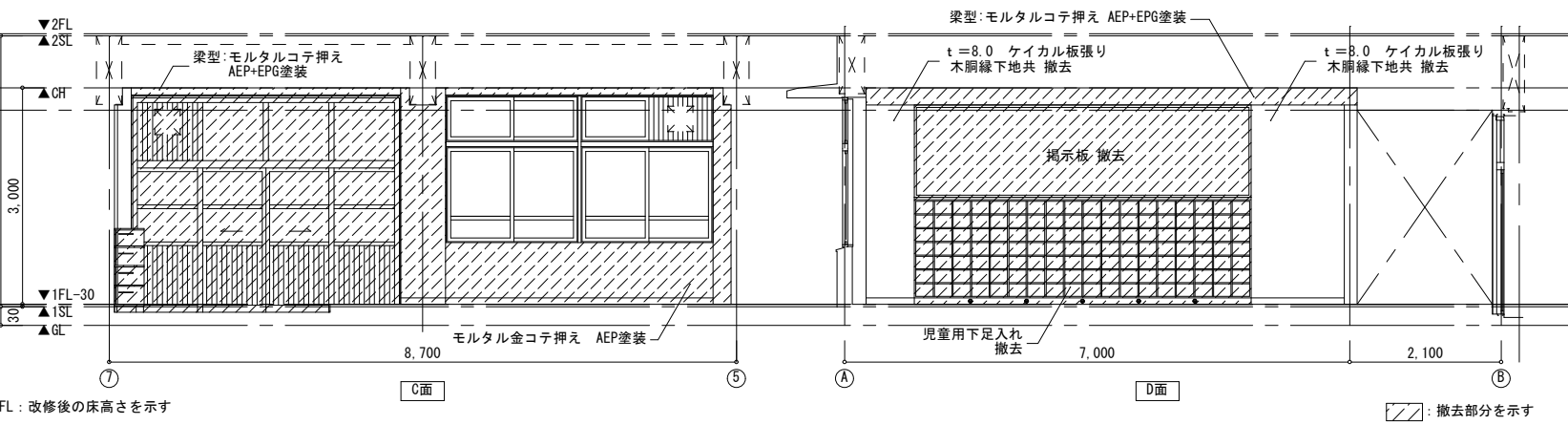
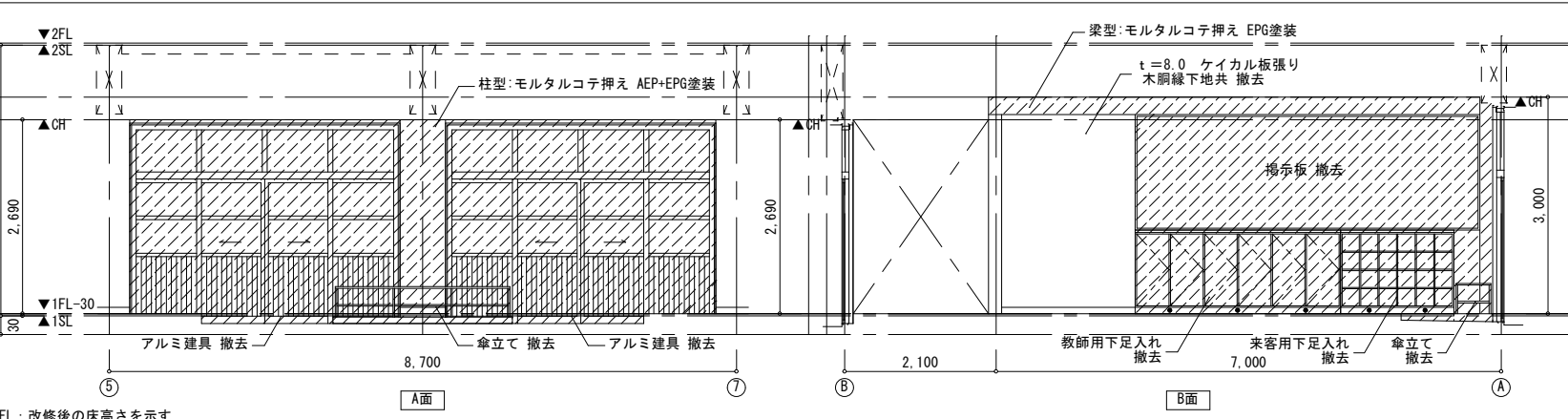
改修後 平面詳細図 昇降口(1)



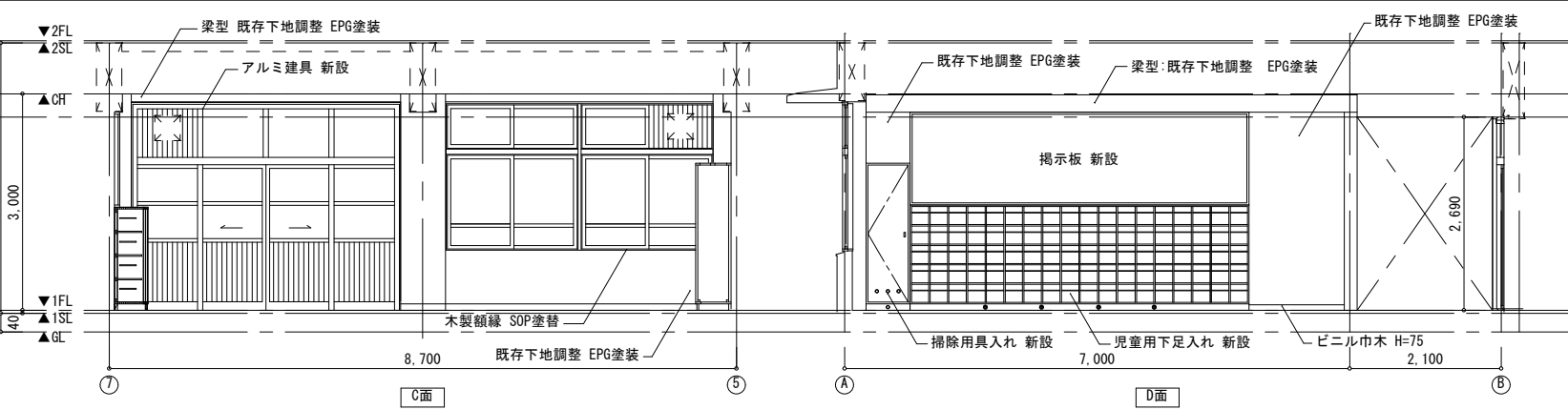
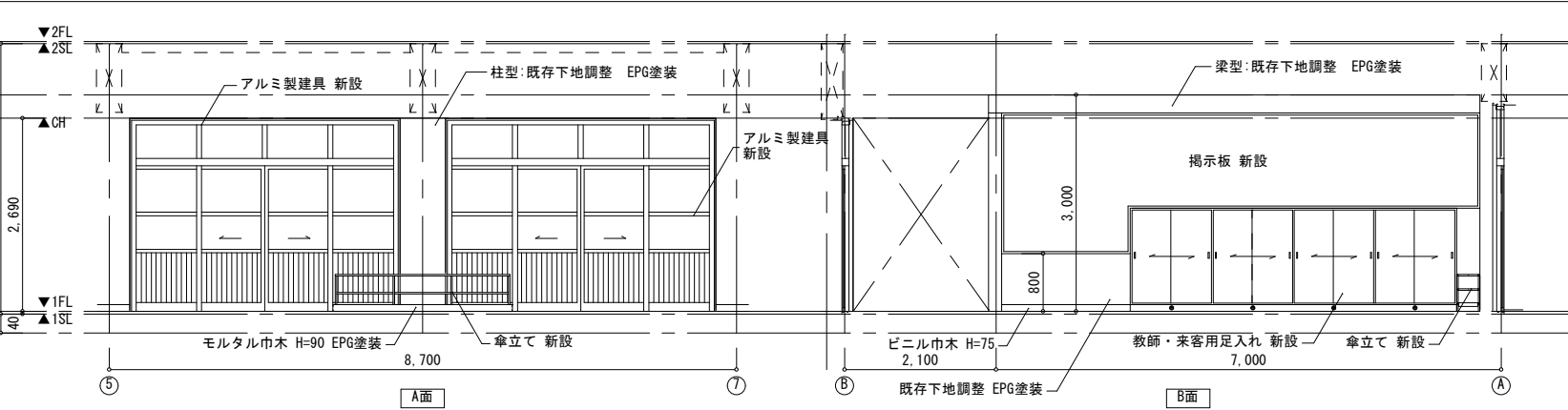
室名	昇降口(1)
天井	仕上 化粧PB t=9.5 (準不燃) 下地 LGS下地
壁	仕上 A・C面 既存下地調整 EPG塗装 B・D面 揭示板 既存下地調整 EPG塗装 柱・梁型 既存下地調整 EPG塗装
巾木	仕上 モルタル巾木 H=90 EPG塗装 ビニル巾木 H=75
床	仕上 アンダーレイシート t=5.0 + 防滑性ビニル床シート t=2.0 一部:土間コンクリート増し打ちの上 モザイク下地 100角磁器質タイル 下地 既存下地調整
備考	



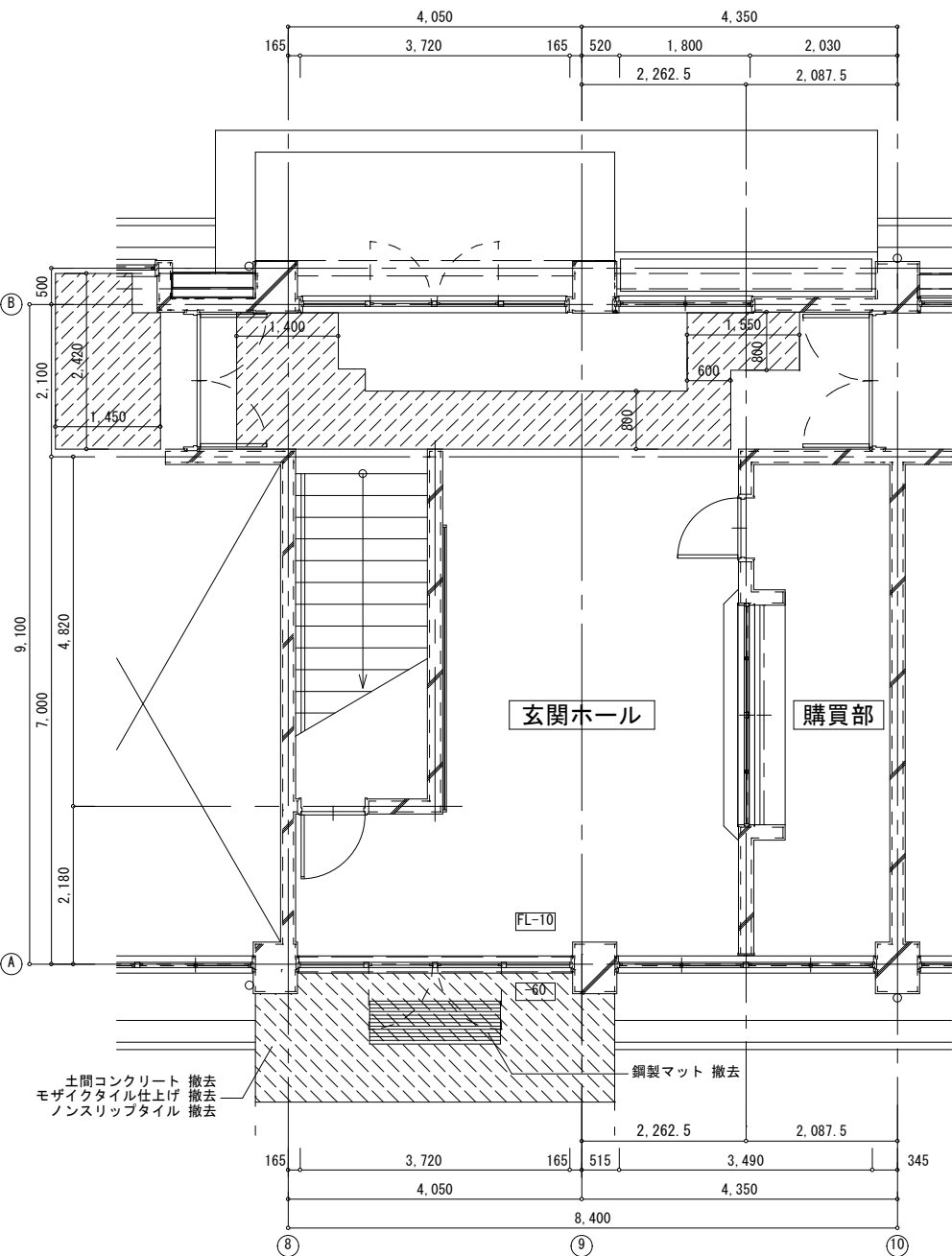
改修前 展開図 昇降口(1)



改修後 展開図 昇降口(1)



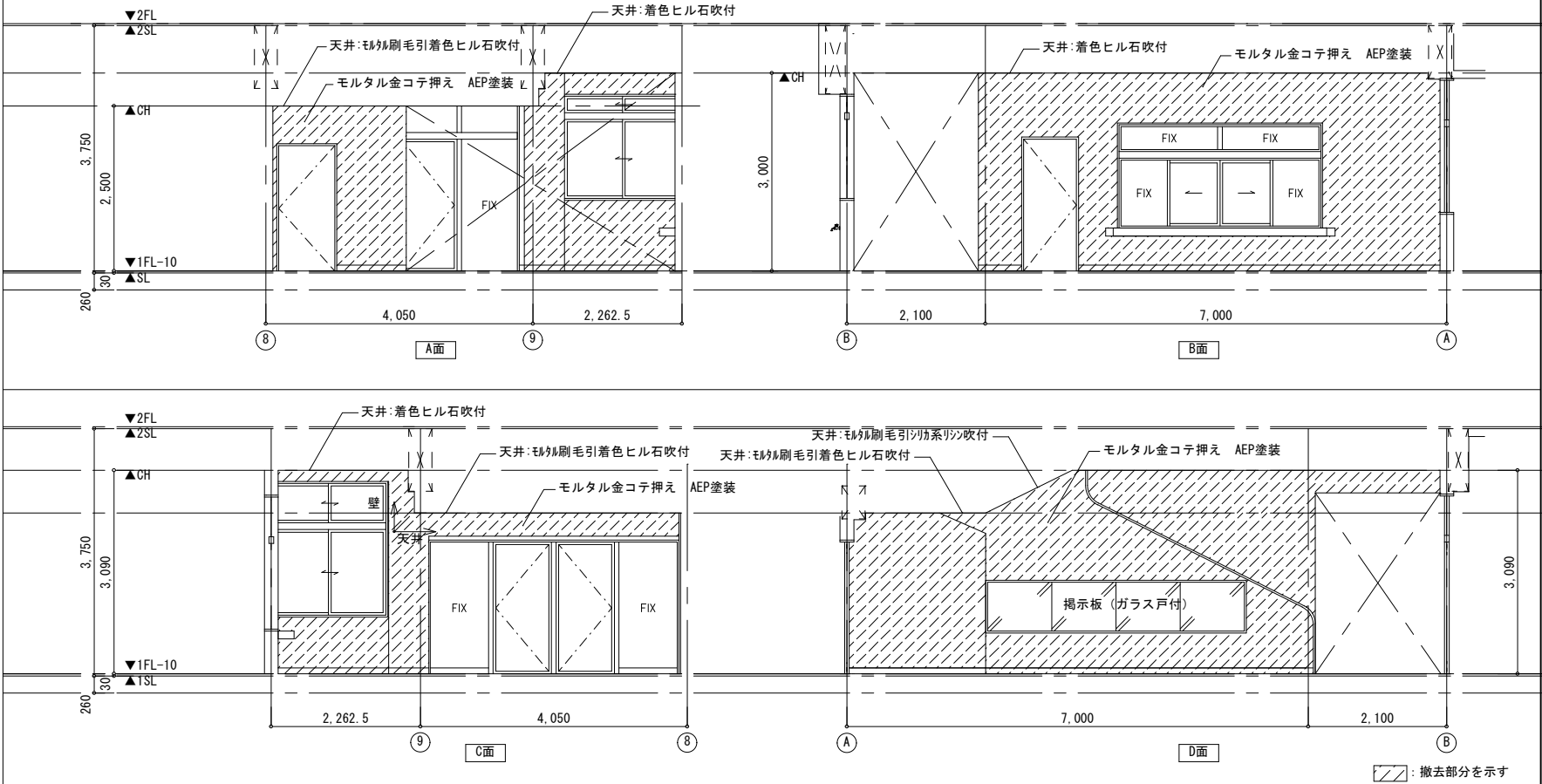
改修前 平面詳細図 玄関ホール・購買部 S=1/100



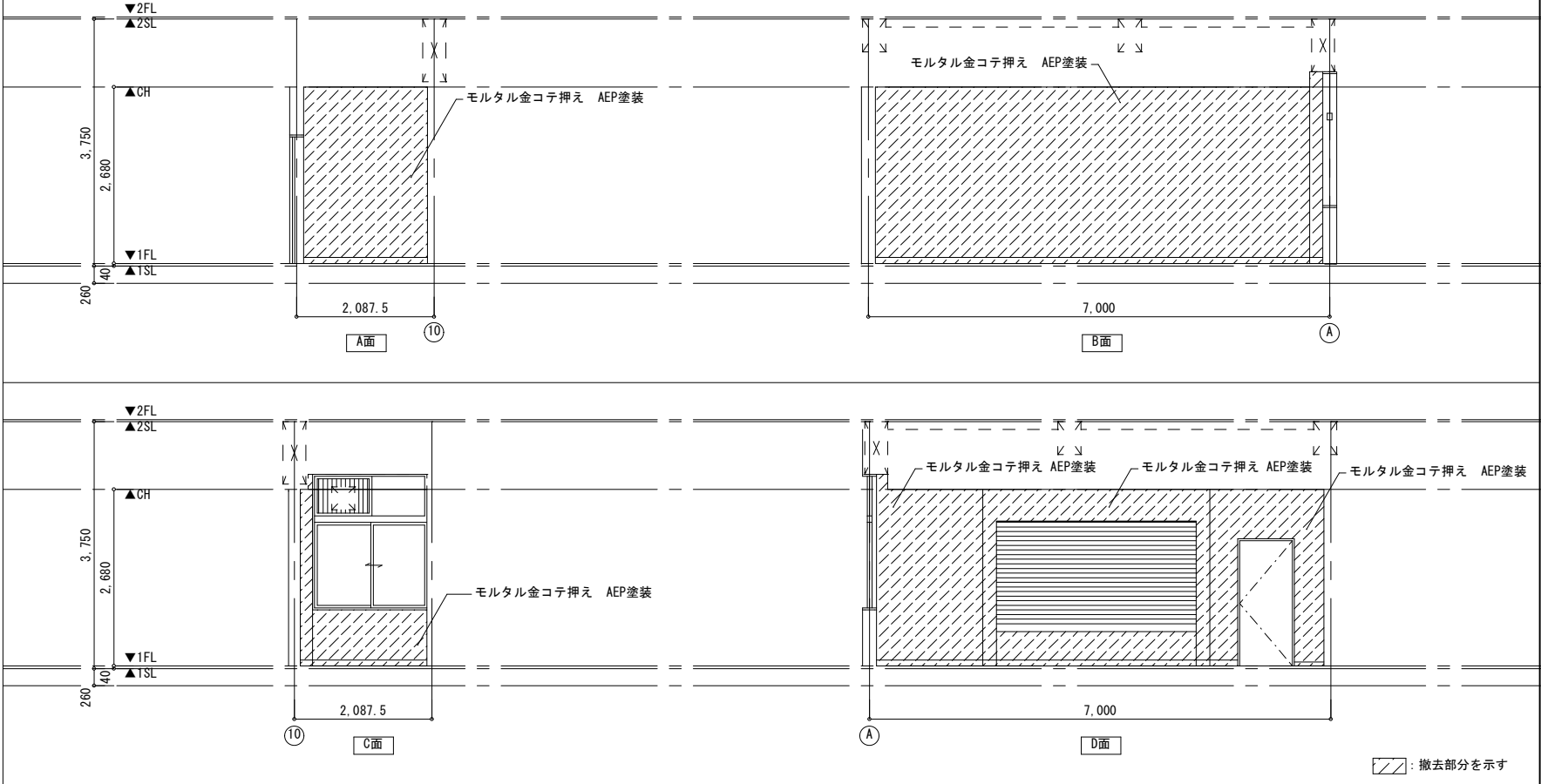
室名	玄関ホール
天井	仕上 着色ヒル石吹付 (撤去) (階段上裏) 珪藻土引込系引込吹付 下地 (軽天下地) t=9.5 PB (撤去)
壁	仕上 A・B・C・D面 モルタル金コテ押え AEP塗装 D面 掲示板 (ガラス戸付) 柱・梁型 モルタル金コテ押え AEP塗装
巾木	仕上 モルタル巾木 H-90 AEP塗装
床	仕上 ビニル床シート t=2.0 ※撤去 下地 モルタル金コテ押え下地
備考	※AEP塗装：アスベスト含有の為除去

室名	購買部
天井	仕上 t=9.0 岩綿吸音板 (撤去) 下地 軽天下地 (撤去)
壁	仕上 A・B・C・D面 モルタル金コテ押え AEP塗装 柱・梁型 モルタル金コテ押え AEP塗装
巾木	仕上 木製巾木 H-90 AEP塗装
床	仕上 モザイクパーケット貼 フロアオイル 2回塗 ※撤去 下地 モルタル金コテ押え下地
備考	※AEP塗装：アスベスト含有の為除去

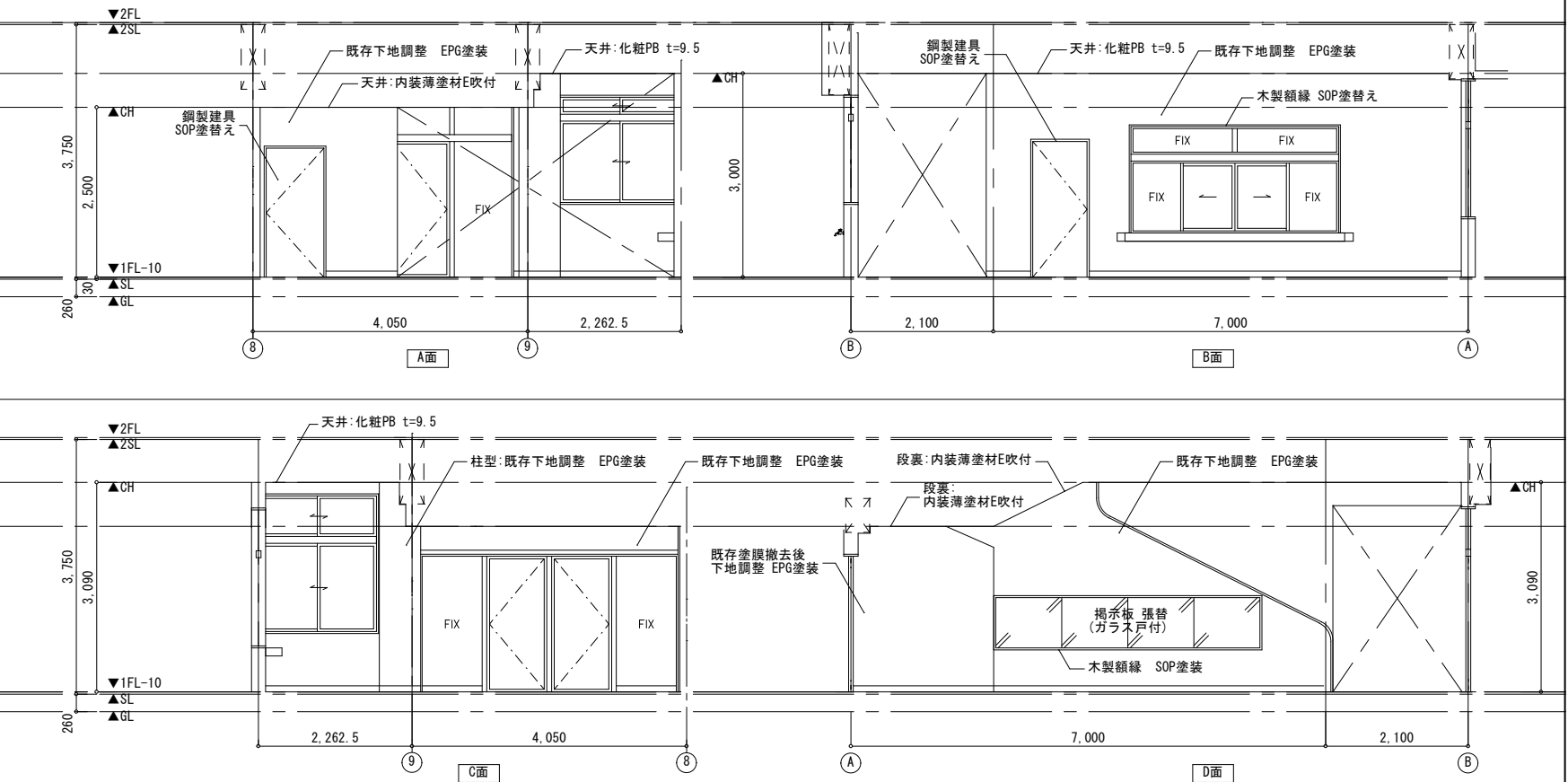
改修前 展開図 玄関ホール S=1/100



改修前 展開図 購買部 S=1/100



改修後 展開図 玄関ホール S=1/100



The architectural drawings show the layout of the second floor (2F) and the first floor (1F). The drawings include dimensions, level markers, and labels for various components.

Second Floor (2F) Layout:

- Dimensions: 3,750 (width), 2,680 (depth), 2,087.5 (width of the main area).
- Level Markers: ▼2FL, ▲2SL, ▲CH, ▼FL, ▲SL, ▲GL.
- Labels: カテンレール(S) 新設 (New Katen Rail (S)), 既存下地調整 EPG塗装 (Existing Substrate Adjustment EPG Coating), 木製額縁 SOP塗替え (Wooden Picture Frame SOP Repainting).

First Floor (1F) Layout:

- Dimensions: 7,000 (width).
- Labels: シャッター SOP塗替え (Shutter SOP Repainting), 既存下地調整 EPG塗装 (Existing Substrate Adjustment EPG Coating), 鋼製建具 SOP塗替え (Steel Hardware SOP Repainting).

室名	普通教室（特別支援）		
天井	仕上	t=9.0 岩綿吸音板（撤去）	
	下地	軽天下地（撤去）	
壁	仕上	A面	木下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木下地共撤去
		B面	掲示板 ※木胴縁下地共撤去
		C面	モルタル金コテ押え AEP塗装 （耐震補強部） LGS下地 t=8.0 ケイカル板EPG塗装
		D面	木胴縁下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木胴縁下地共撤去 掲示板 ※木胴縁下地共撤去
		梁型	モルタル金コテ押え AEP塗装
巾木	仕上	木製巾木 H=70 OP塗装 ※撤去	
床	仕上	t=15.0 集成フローリング かた2回塗り ※撤去 一部：t=55.0 畳敷 ※撤去	
	下地	t=2.0 クッションシート張の上、 t=12.0 構造用合板 ※撤去	
備考	※AEP塗装：アスベスト含有の為除去		



室名	普通教室（特別支援）	
天井	仕上	化粧PB t=9.5（準不燃）
	下地	LGS下地
壁	仕上	A面 （壁） LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 （腰壁） LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイカル板 t=6.0 + 杉板 t=12.0 CL塗装 B面 木調縁新設 揭示板 C面 （壁） 既存下地調整 EPG塗装 （腰壁） 木調縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装 （耐震補強部 壁） 既存ケイカル板下地調整 EPG塗装 （耐震補強部 腰壁） 既存ケイカル板 杉板 t=12.0 CL塗装 D面 （壁） 木調縁新設 揭示板・黒板 （腰壁） 木調縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装 梁型・柱型 既存下地調整 EPG塗装 梁型（外壁側） PB t=9.5（直張工法） EPG塗装
		巾木
床	仕上	ビニル床シート t=2.0 （木目調）
	下地	既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切壁は スラフ下まで達せしめること ※既存流用：曲面黒板 （一時撤去・復旧・張替え・枠塗装替え） ※設備備品取付下地は打合せのこと	



Architectural section drawing of a building facade, showing a window and a door. The drawing includes dimensions and annotations for construction details.

Dimensions:

- Overall height: 3.750
- Height from ground level (FL±5) to the top of the window frame: 2.970
- Height from ground level (FL±5) to the bottom of the window frame: 450
- Overall width: 8.700

Annotations and Details:

- 木製カーテンBOX 撤去** (Remove wooden curtain box)
- 木製カーテンBOX** (Wooden curtain box)
- 量置き 撤去** (Remove quantity)
- ケイカル板 EPG塗装** (Keikaku board EPG coating)
- 木製額縁上下枠 撤去** (Remove wooden frame top and bottom frame)
- モルタル金コテ押え AEP塗装** (Mortar gold coating push AEP coating)

Other Labels:

- CH (Ceiling Height)
- FL±5 (Floor Level ±5)
- SL (Sill Level)
- C面 (C Face)

▼2FL
▲2SL
▼CH
▼FL
▲SL

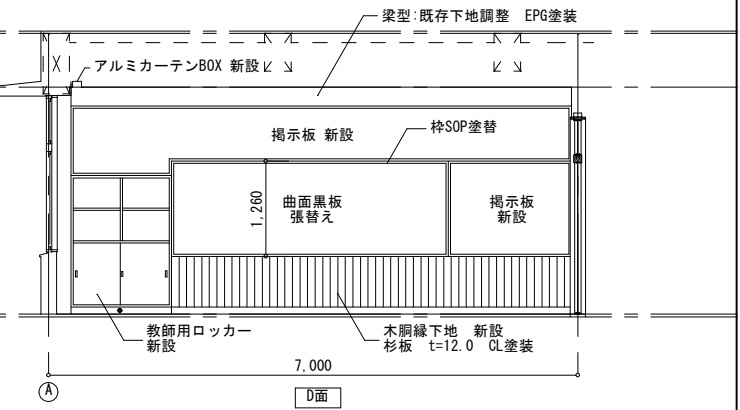
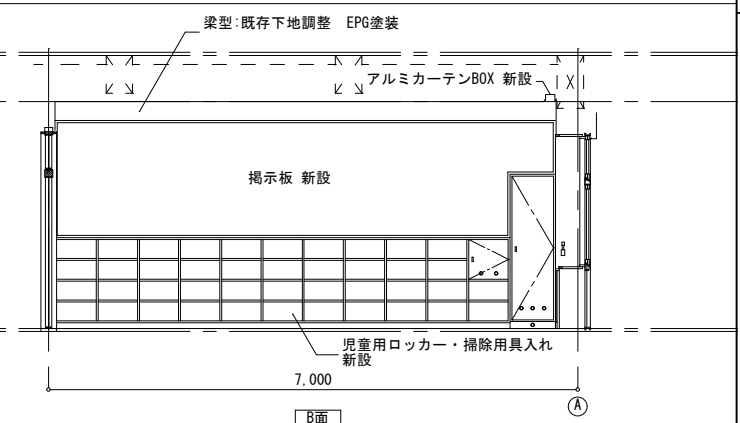
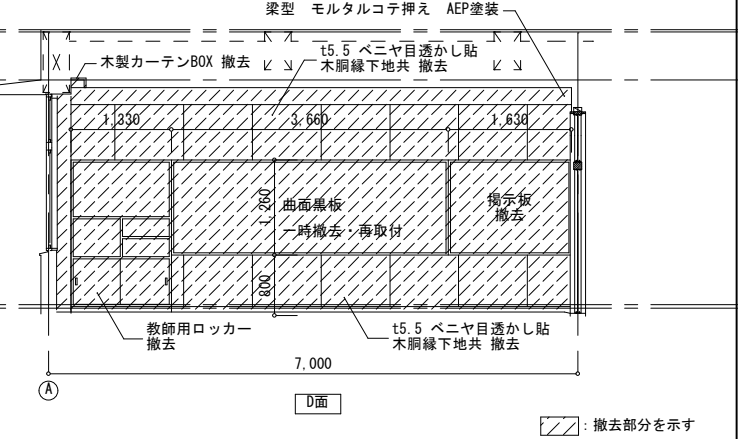
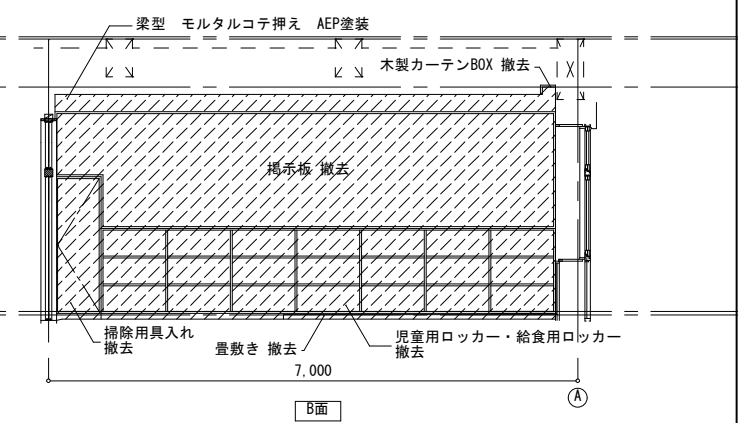
カーテンレール (S) 新設

木製学校間仕切 新設

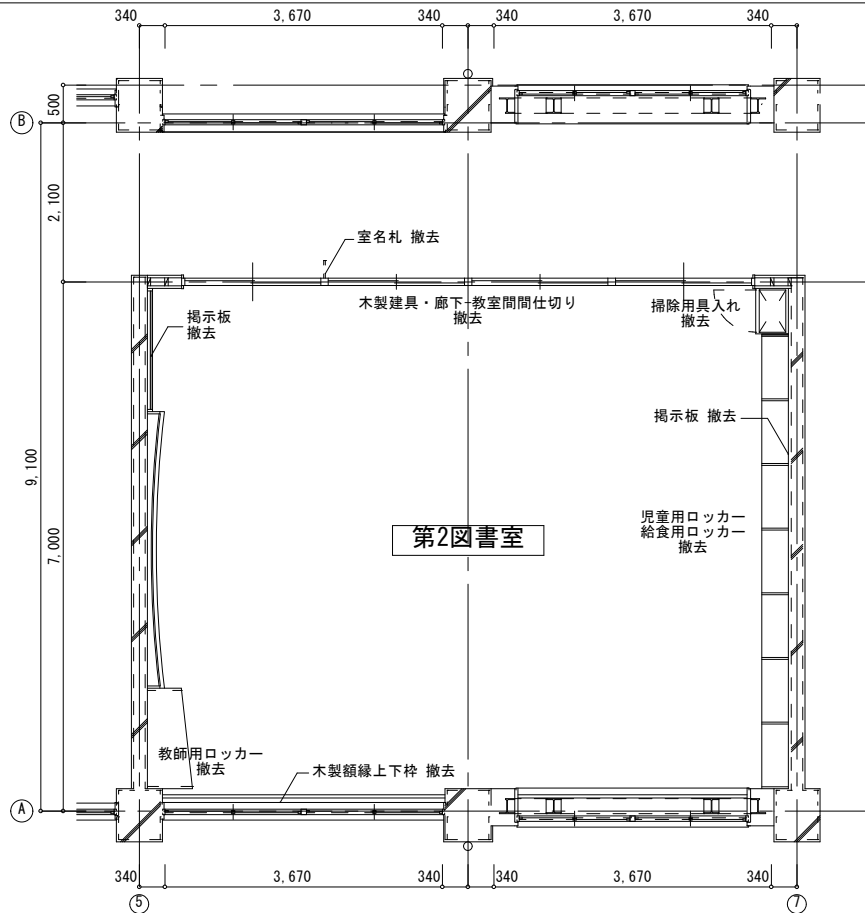
3,750
3,000
40

8,700

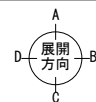
A面



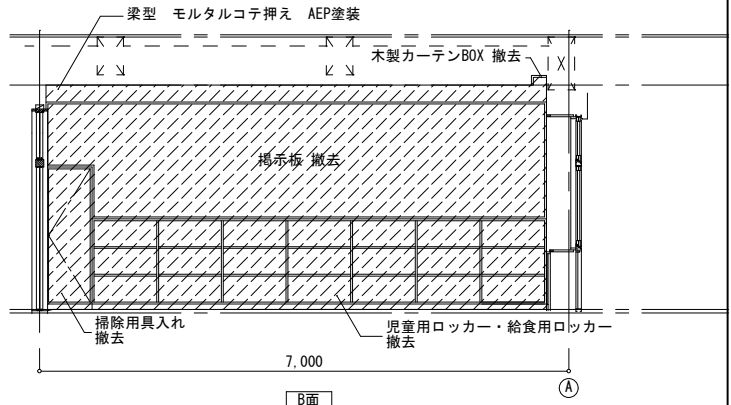
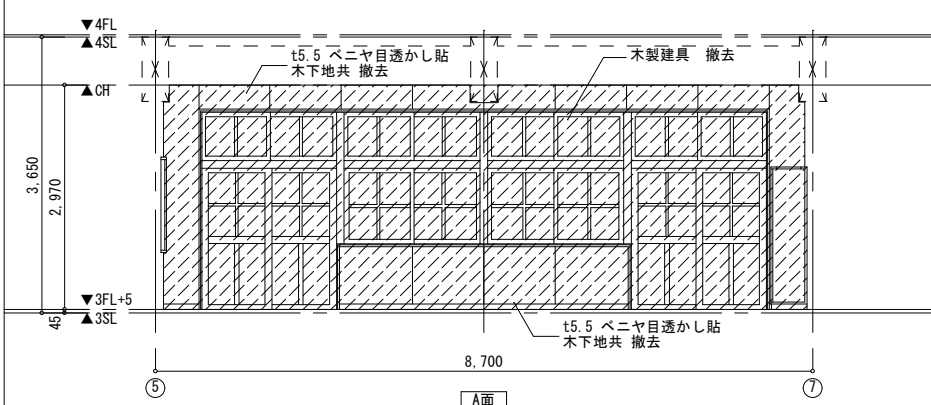
室名	第2図書室		
天井	仕上	t=9.0 岩綿吸音板（撤去）	
	下地	軽天下地（撤去）	
壁	仕上	A面 木下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木下地共撤去	
		B面 揭示板 ※木胴縁下地共撤去	
		C面 モルタル金コテ押え AEP塗装 （耐震補強部） LGS下地 t=8.0 ケイカル板EPG塗装	
		D面 木胴縁下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木胴縁下地共撤去 揭示板 ※木胴縁下地共撤去 梁型 モルタル金コテ押え AEP塗装	
巾木	仕上	木製巾木 H=70 OP塗装 ※撤去	
床	仕上	t=15.0 集成フローリング クラン2回塗り ※撤去	
	下地	t=2.0 クッションシート張の上、 t=12.0 構造用合板 ※撤去	
備考	※AEP塗装：アスベスト含有の為除去		



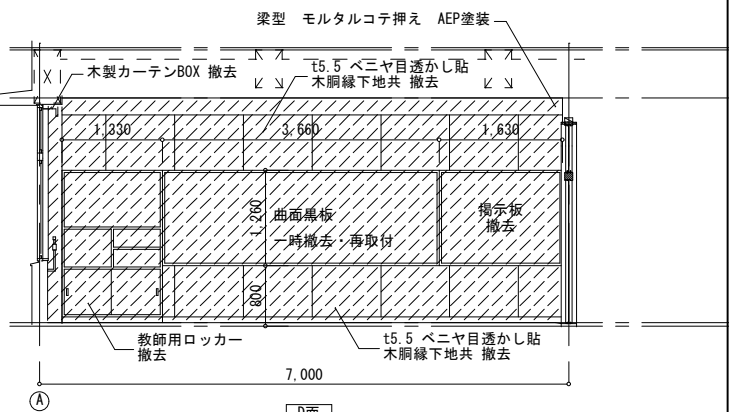
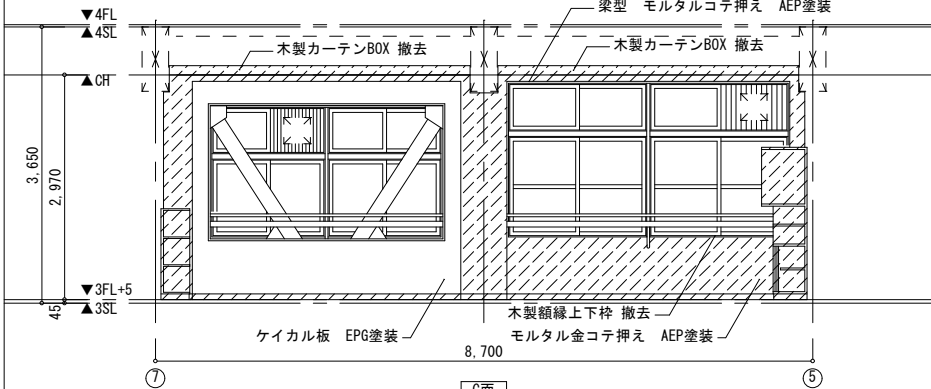
室名	第2図書室		
天井	仕上	t=9.0 岩綿吸音板（撤去）	
	下地	軽天下地（撤去）	
壁	仕上	A面 木下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木下地共撤去	
		B面 揭示板 ※木胴縁下地共撤去	
		C面 モルタル金コテ押え AEP塗装 （耐震補強部） LGS下地 t=8.0 ケイカル板EPG塗装	
		D面 木胴縁下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木胴縁下地共撤去 揭示板 ※木胴縁下地共撤去 梁型 モルタル金コテ押え AEP塗装	
巾木	仕上	木製巾木 H=70 OP塗装 ※撤去	
床	仕上	t=15.0 集成フローリング クラン2回塗り ※撤去	
	下地	t=2.0 クッションシート張の上、 t=12.0 構造用合板 ※撤去	
備考	※AEP塗装：アスベスト含有の為除去		




※FL：改修後の床高さを示す

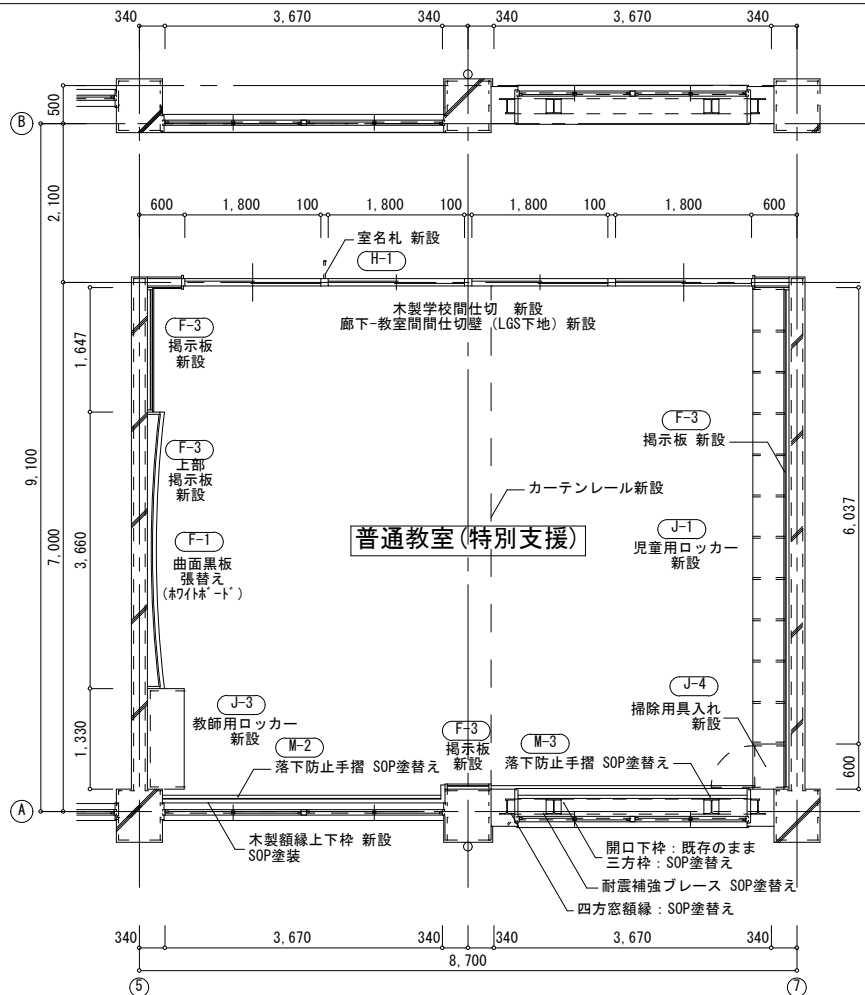


※FL：改修後の床高さを示す

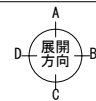


 : 撤去部分を示す

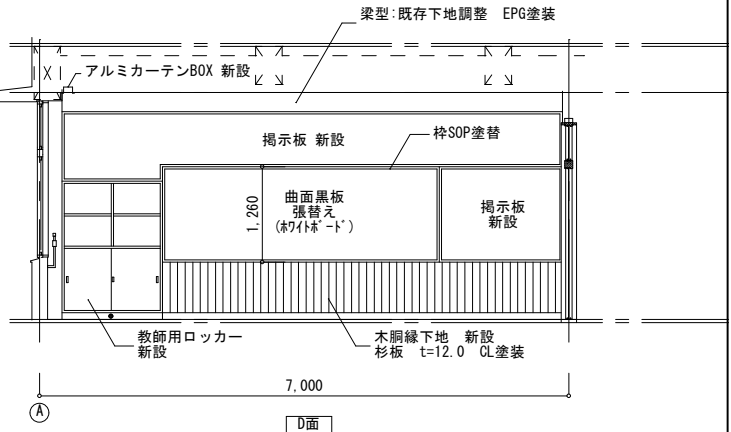
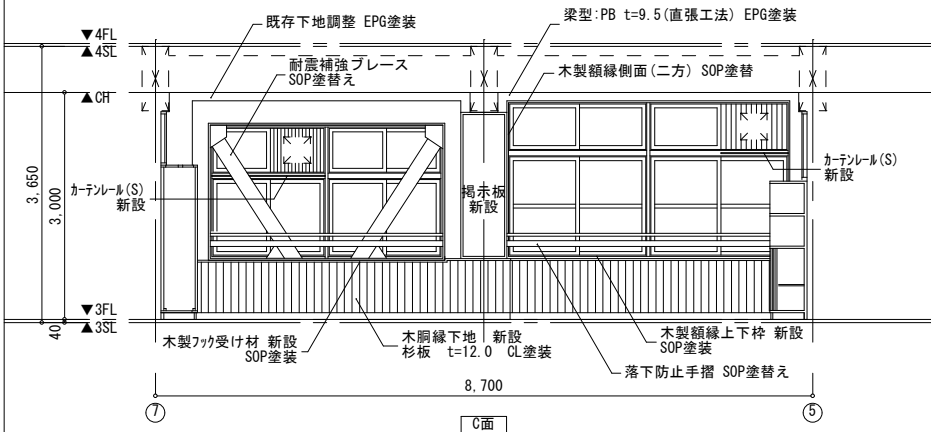
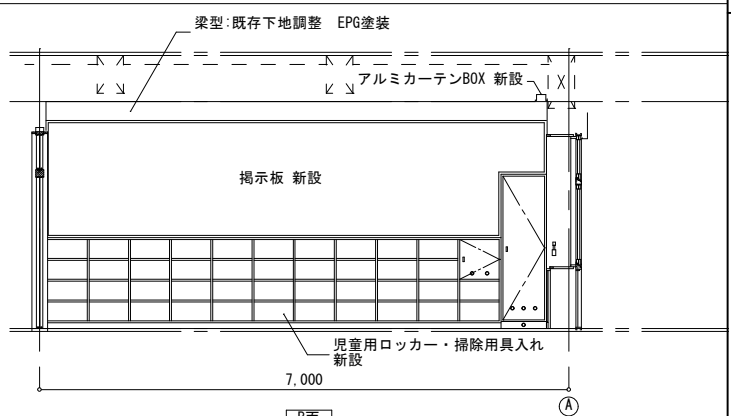
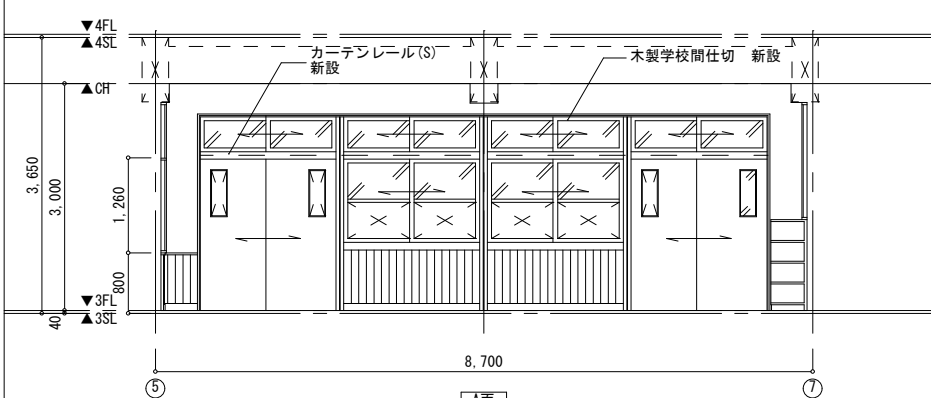
室名	普通教室（特別支援）	
天井	仕上	化粧PB t=9.5（準不燃）
	下地	LGS下地
壁	仕上	A面 （壁） LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイホル板 t=6.0 EPG塗装 （腰壁） LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイホル板 t=6.0 + 杉板 t=12.0 CL塗装
		B面 木胴縁新設 揭示板
		C面 （壁） 既存下地調整 EPG塗装
		（腰壁） 木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装
		（耐震補強部 壁） 既存ケイホル板下地調整 EPG塗装
		（耐震補強部 腰壁） 既存ケイホル板 + 杉板 t=12.0 CL塗装
		D面 （壁） 木胴縁新設 揭示板・黒板
		（腰壁） 木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装
		梁型・柱型 既存下地調整 EPG塗装
		梁型（外壁側） PB t=9.5（直張工法） EPG塗装
巾木	仕上	木製巾木 H=90 CL塗装
床	仕上	ビニル床シート t=2.0 （木目調）
	下地	既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切壁は スラブ下まで達せしめること ※既存流用: 曲面黒板 （一時撤去・復旧・ケイホルボードに張替え ・枠塗替え） ※設備備品取付下地は打合せのこと	



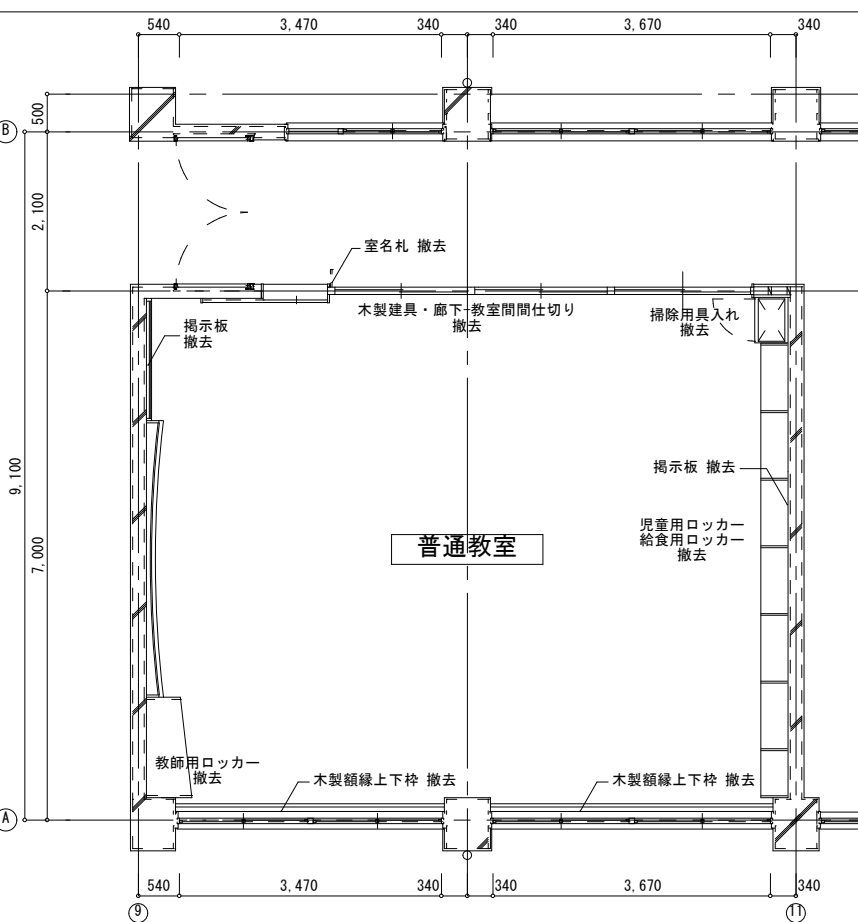
室名	普通教室（特別支援）	
天井	仕上	化粧PB t=9.5（準不燃）
	下地	LGS下地
壁	仕上	A面 （壁） LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイホル板 t=6.0 EPG塗装 （腰壁） LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイホル板 t=6.0 + 杉板 t=12.0 CL塗装
		B面 木胴縁新設 揭示板
		C面 （壁） 既存下地調整 EPG塗装
		（腰壁） 木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装
		（耐震補強部 壁） 既存ケイホル板下地調整 EPG塗装
		（耐震補強部 腰壁） 既存ケイホル板 + 杉板 t=12.0 CL塗装
		D面 （壁） 木胴縁新設 揭示板・黒板
		（腰壁） 木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装
		梁型・柱型 既存下地調整 EPG塗装
		梁型（外壁側） PB t=9.5（直張工法） EPG塗装
巾木	仕上	木製巾木 H=90 CL塗装
床	仕上	ビニル床シート t=2.0 （木目調）
	下地	既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切壁は スラブ下まで達せしめること ※既存流用: 曲面黒板 （一時撤去・復旧・ケイホルボードに張替え ・枠塗替え） ※設備備品取付下地は打合せのこと	



1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 2675, 2676, 2677, 2678, 26



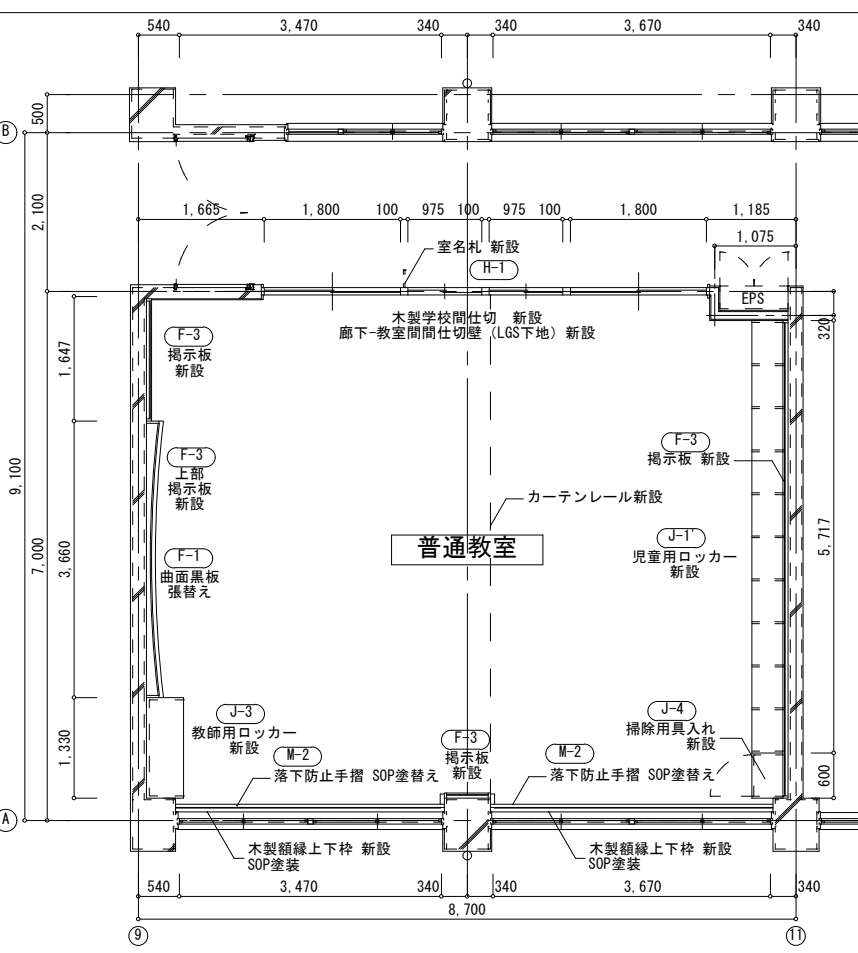
改修前 平面詳細図 X9-X11 (3・4階) 普通教室 S=1/100



室名	普通教室 X9-X11
天井	仕上 t=9.0 岩綿吸音板 (撤去) 下地 軽天下地 (撤去)
壁	仕上 A面 木下地 t=5.5 ペニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木下地共撤去 B面 掲示板 ※木胴縁下地共撤去 C面 モルタル金コテ押え AEP塗装 D面 木胴縁下地 t=5.5 ペニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木胴縁下地共撤去 掲示板 ※木胴縁下地共撤去 梁型 モルタル金コテ押え AEP塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=70 OP塗装 ※撤去
床	仕上 t=15.0 集成フローリング カキ2回塗り ※撤去 下地 t=2.0 クッションシート張の上、 t=12.0 構造用合板 ※撤去
備考	※AEP塗装：アスベスト含有の為除去



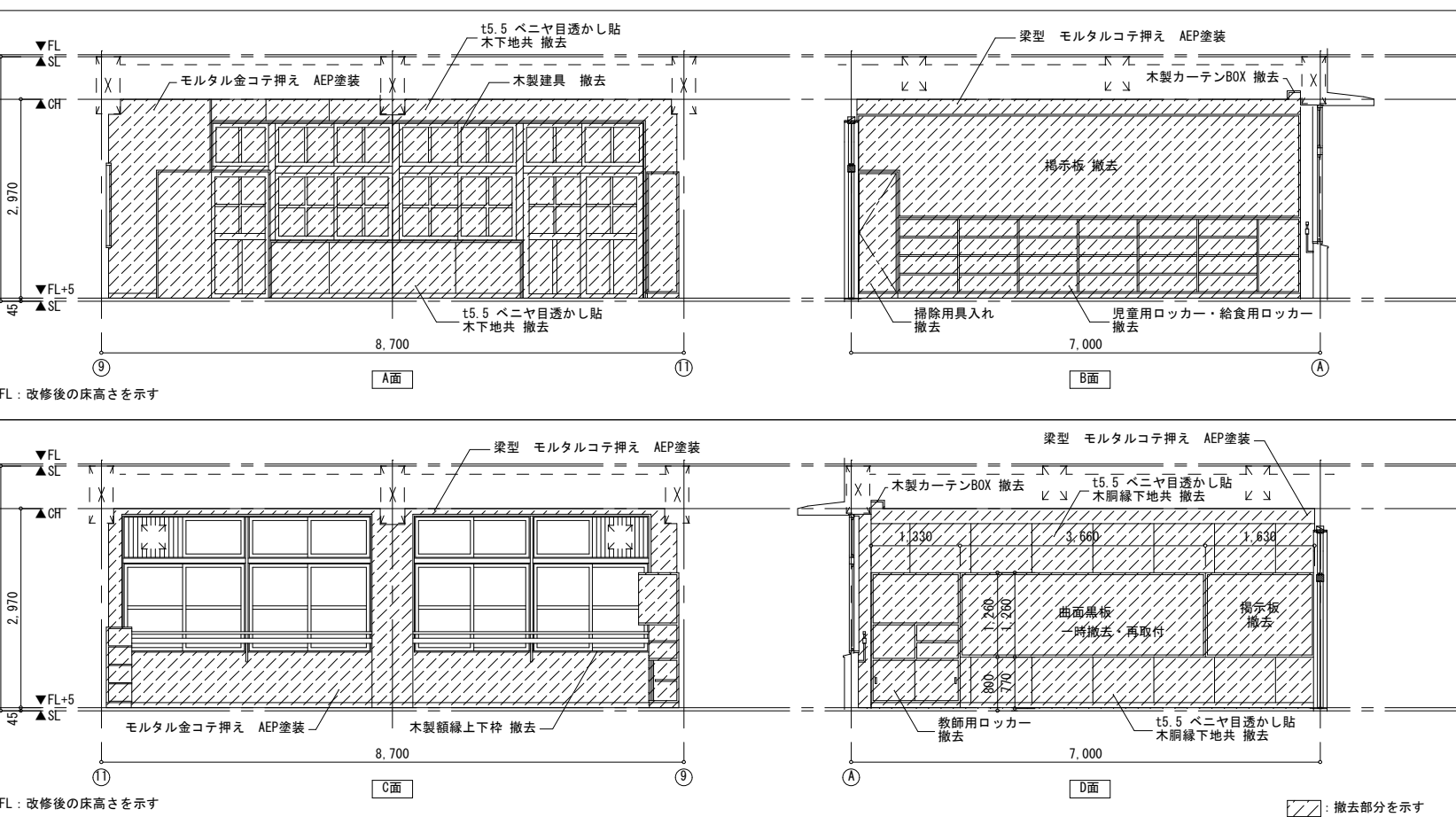
改修後 平面詳細図 X9-X11 (3・4階) 普通教室 S=1/100



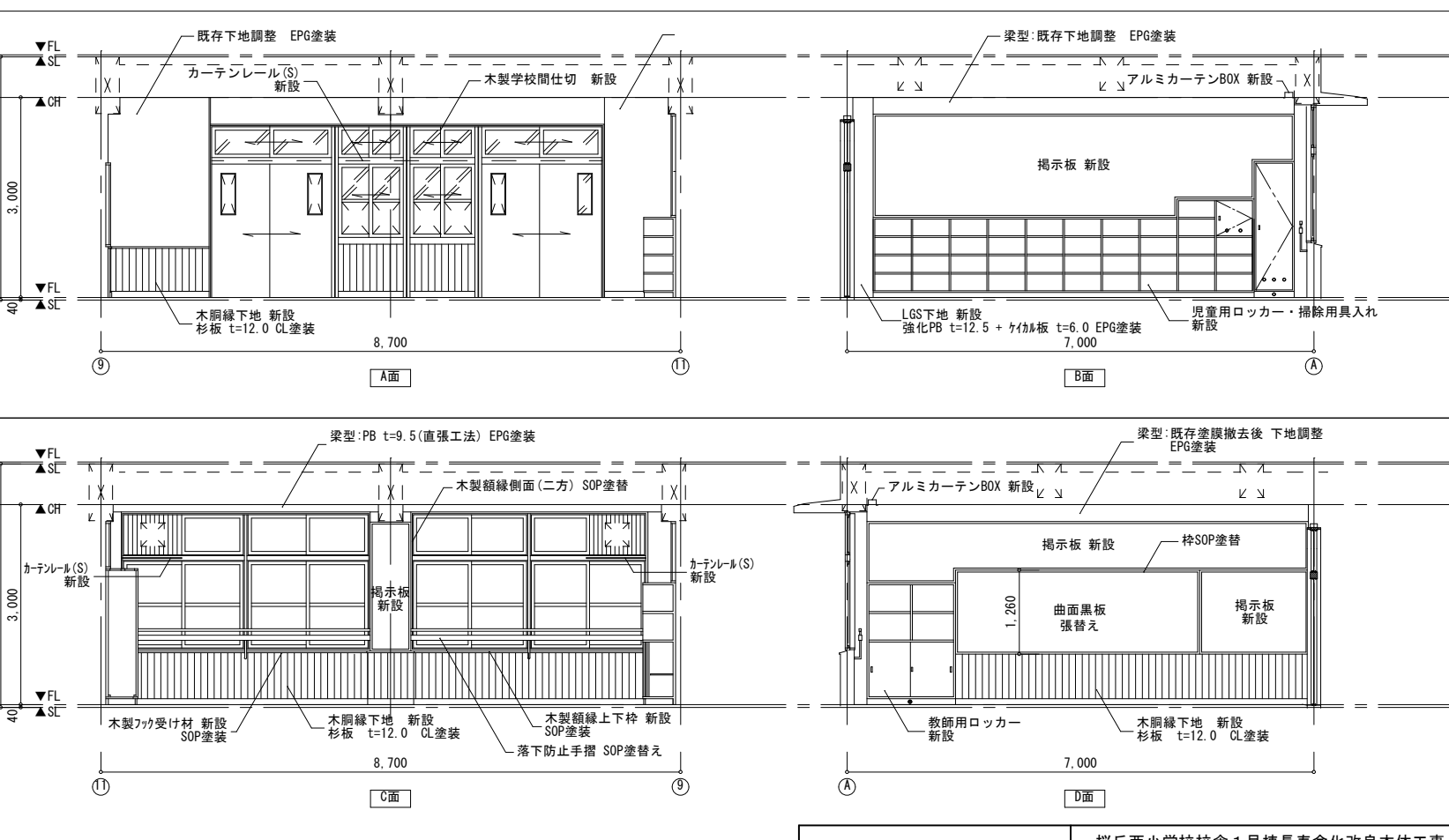
室名	普通教室 X9-X11
天井	仕上 化粧PB t=9.5 (準不燃) 下地 LGS下地
壁	仕上 A面 (壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイホル板 t=6.0 EPG塗装 一部:既存下地調整 EPG塗装 (腰壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイホル板 t=6.0 + 杉板 t=12.0 CL塗装 一部:木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装 (EPS部) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイホル板 t=6.0 + EPG塗装 B面 既存木下地調整 木胴縁新設 掲示板 C面 (壁) 既存下地調整 EPG塗装 (腰壁) 木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装 D面 (壁) 木胴縁新設 掲示板・黒板 (腰壁) 既存木下地調整 木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装 梁型・柱型 既存下地調整 EPG塗装 梁型 (外壁側) PB t=9.5 (直張工法) EPG塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=90 CL塗装
床	仕上 ビニル床シート t=2.0 (木目調) 下地 既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切壁は スラット構造としめること ※既存流用:曲面黒板 (一時撤去・復旧・張替え・枠塗替え) ※設備備品取付下地は打合せのこと



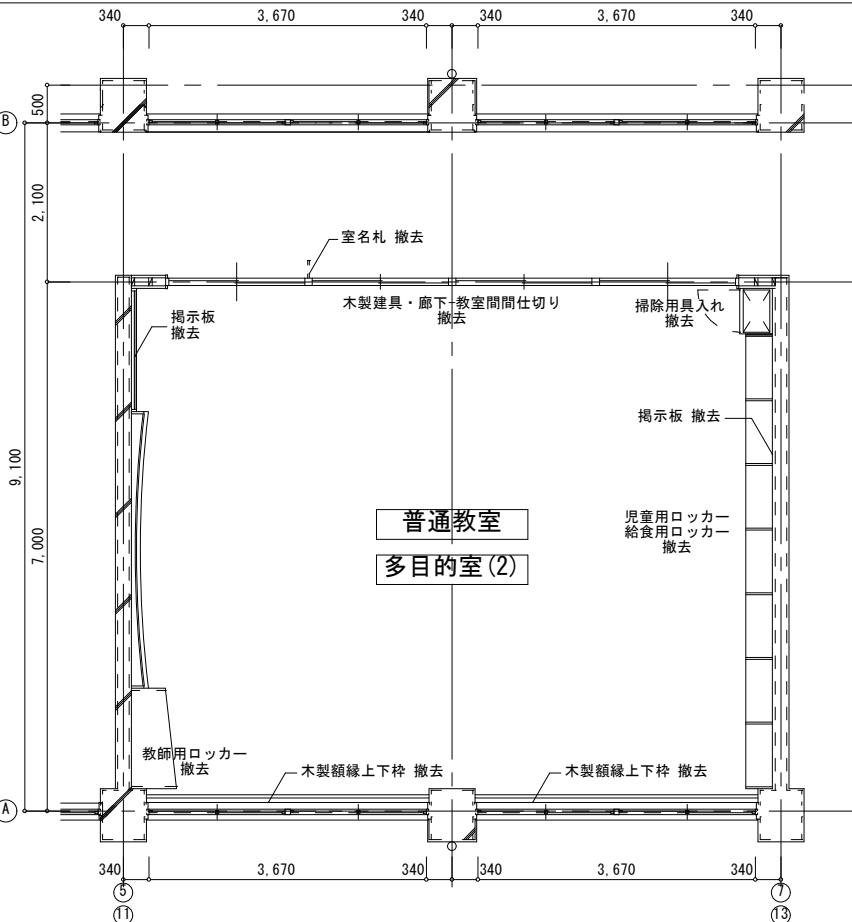
改修前 展開図 X9-X11 (3・4階) 普通教室 S=1/100



改修後 展開図 X9-X11 (3・4階) 普通教室 S=1/100



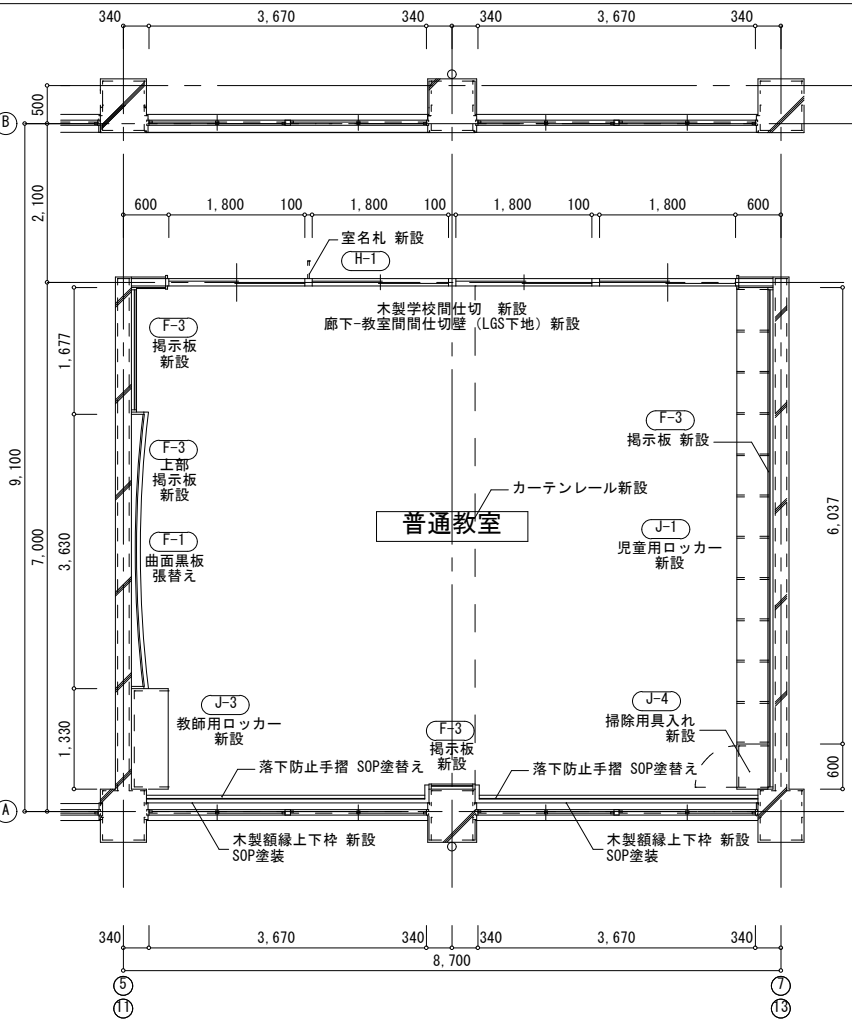
改修前 平面詳細図 X5-X7 (4階) 多目的(2) / X11-X13 (3・4階) 普通教室 S=100



室名	普通教室
天井	仕上 t=9.0 岩綿吸音板 (撤去) 下地 軽天下地 (撤去)
壁	仕上 A面 木下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木下地共撤去 B面 掲示板 ※木胴縁下地共撤去 C面 モルタル金コテ押え AEP塗装 D面 木胴縁下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木胴縁下地共撤去 掲示板 ※木胴縁下地共撤去 梁型 モルタル金コテ押え AEP塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=70 OP塗装 ※撤去
床	仕上 t=15.0 集成フローリング カキ2回塗り ※撤去 下地 t=2.0 クッションシート張の上、 t=12.0 構造用合板 ※撤去
備考	※AEP塗装：アスベスト含有の為除去



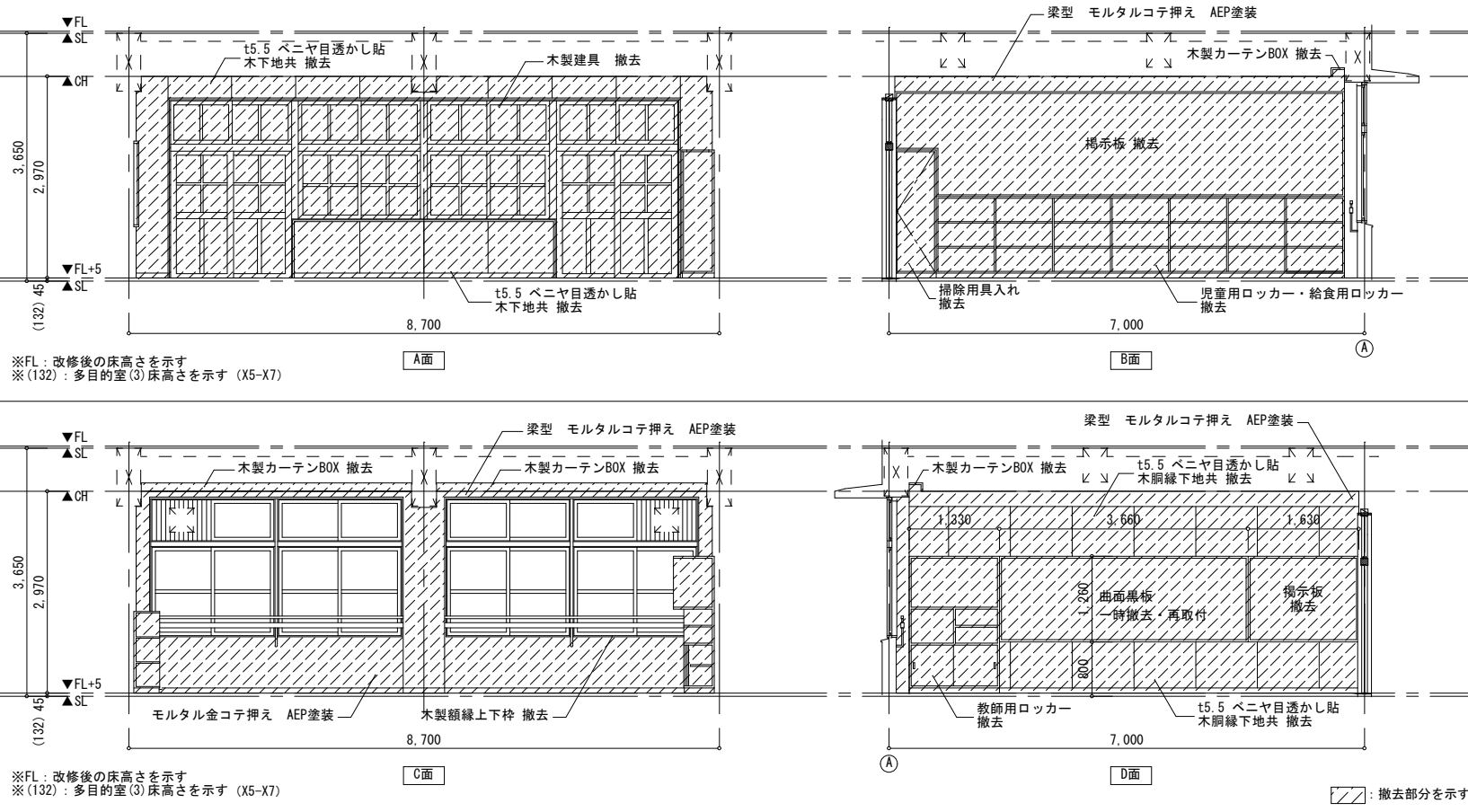
改修後 平面詳細図 X5-X7 (4階) X11-X13 (3・4階) 普通教室 S=1/100



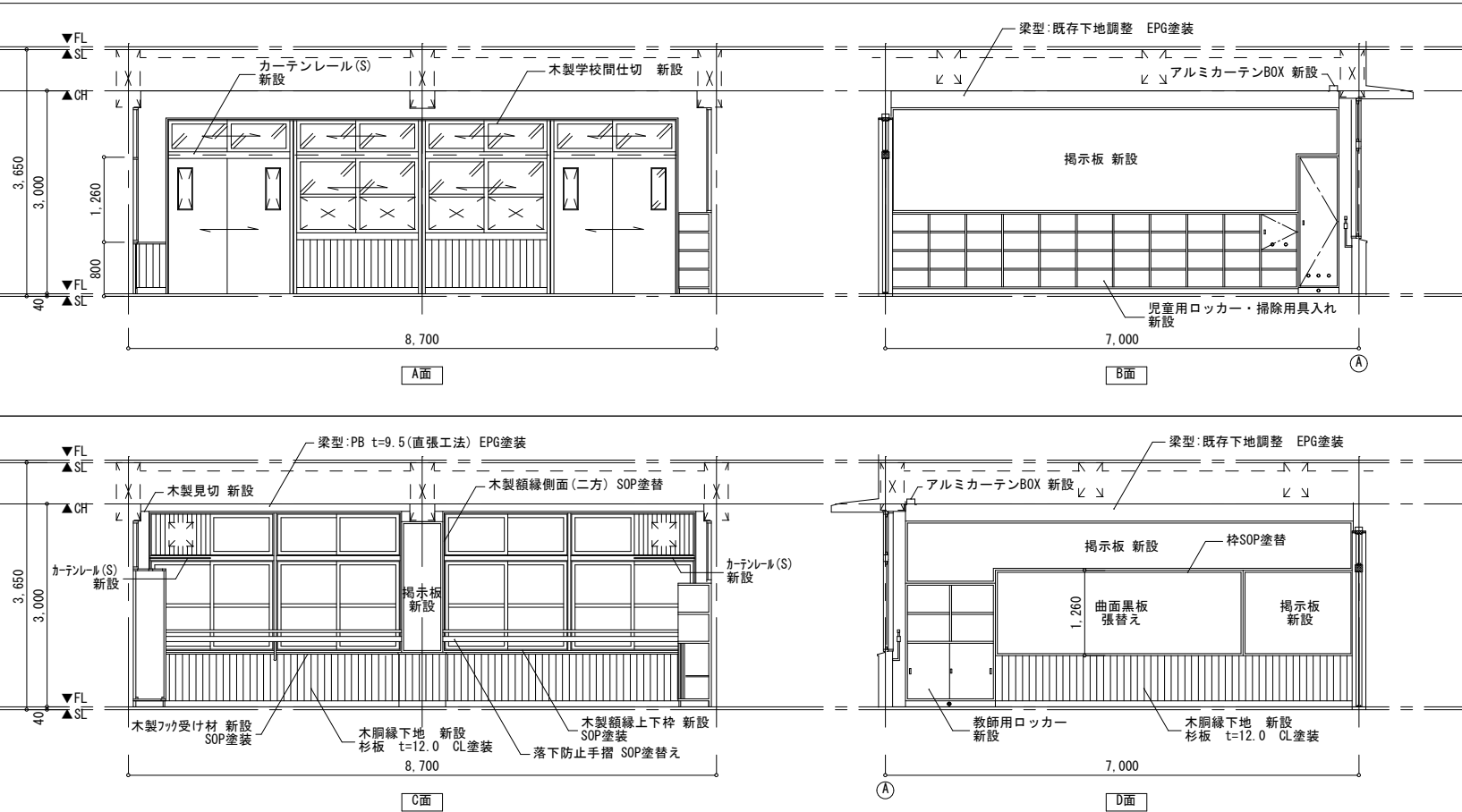
室名	普通教室
天井	仕上 化粧PB t=9.5 (準不燃) 下地 LGS下地
壁	仕上 A面 (壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケル板 t=6.0 + 杉板 t=12.0 CL塗装 B面 木胴縁新設 掲示板 C面 (壁) 既存下地調整 EPG塗装 (腰壁) 木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装 D面 (壁) 木胴縁新設 掲示板・黒板 (腰壁) 木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装 梁型・柱型 既存下地調整 EPG塗装 梁型 (外壁側) PB t=9.5 (直張工法) EPG塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=90 CL塗装
床	仕上 ビニル床シート t=2.0 (木目調) 下地 既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切壁は スラブ下まで達せしめること ※既存流用: 曲面黒板 (一時撤去・復旧・張替え・枠塗替え) ※設備品取付下地は打合せのこと



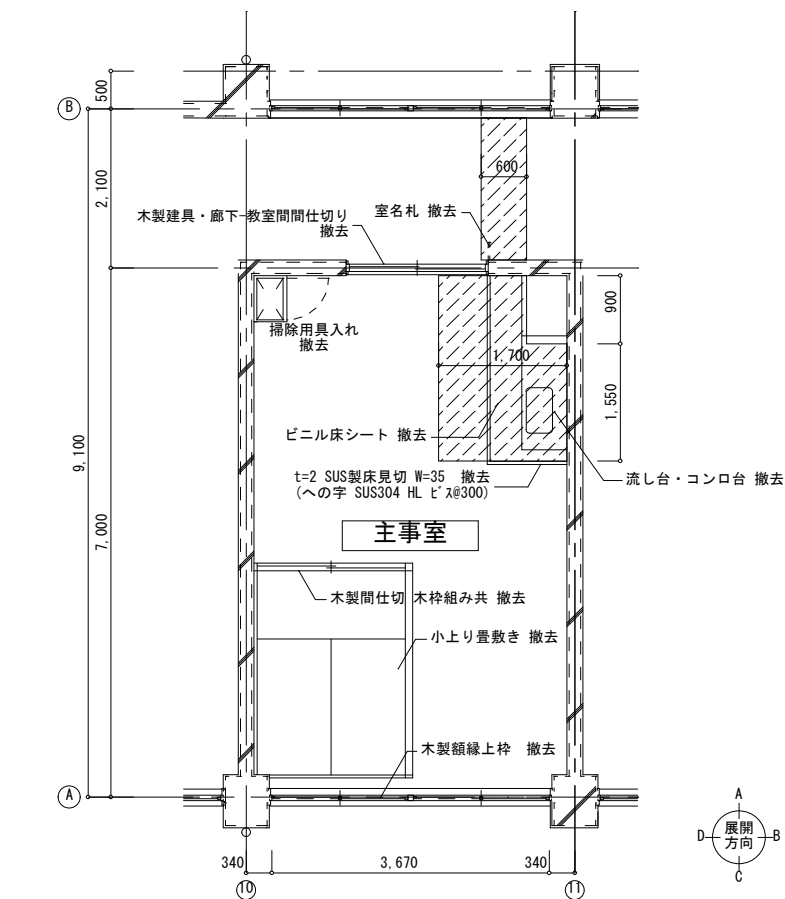
改修前 展開図 X5-X7 (4階) 多目的(2) / X11-X13 (3・4階) 普通教室 S=1/100



改修後 展開図 X5-X7 (4階) X11-X13 (3・4階) 普通教室 S=1/100



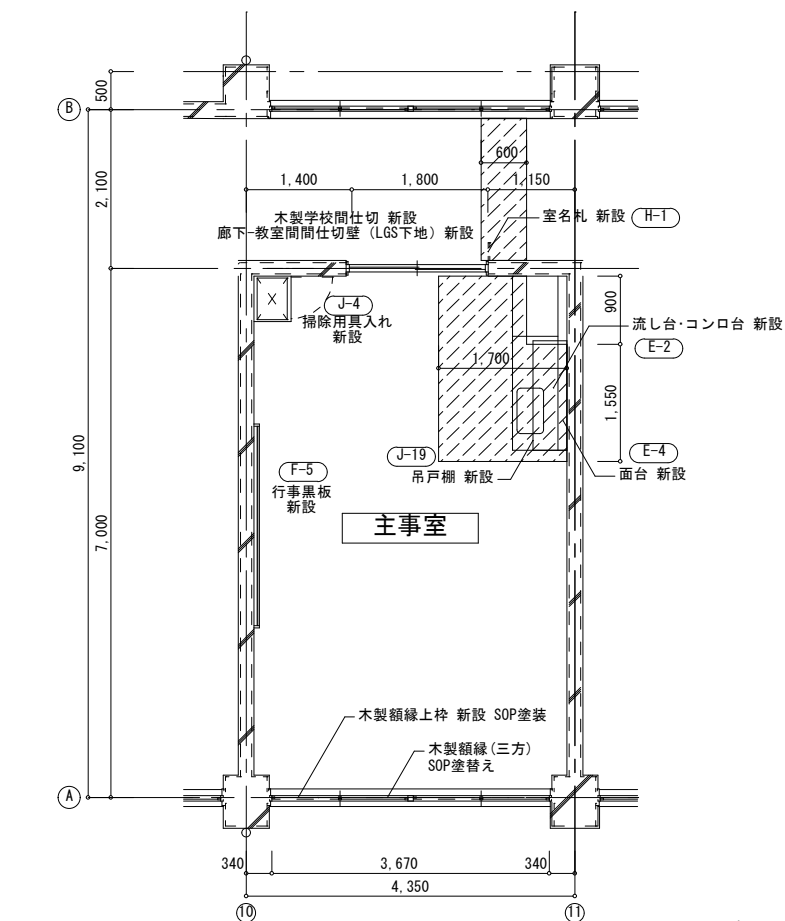
改修前 平面詳細図 主事室 S=1/100



室名	主事室
天井	仕上 t=9.0 岩綿吸音板 (撤去) 下地 軽天下地 (撤去)
壁	仕上 A面 モルタル金コテ押え AEP塗装 一部 100角タイル張 ※撤去 B面 モルタル金コテ押え AEP塗装 一部 100角タイル張 ※撤去 C面 モルタル金コテ押え AEP塗装 D面 モルタル金コテ押え AEP塗装 畳小上り木製枠組共 撤去
巾木	仕上 木製巾木 H=70 OP塗装 ※撤去
床	仕上 t=15.0 集成フローリング ウレタン2回塗り ※撤去 一部:ビニル床シート t=2.0 ※撤去 一部:小上り 畳敷 ※撤去 下地 t=2.0 クッションシート貼 t=12 構造用合板 一部:木床組下地
備考	※AEP塗装: アスベスト含有の為除去

既存土間撤去範囲

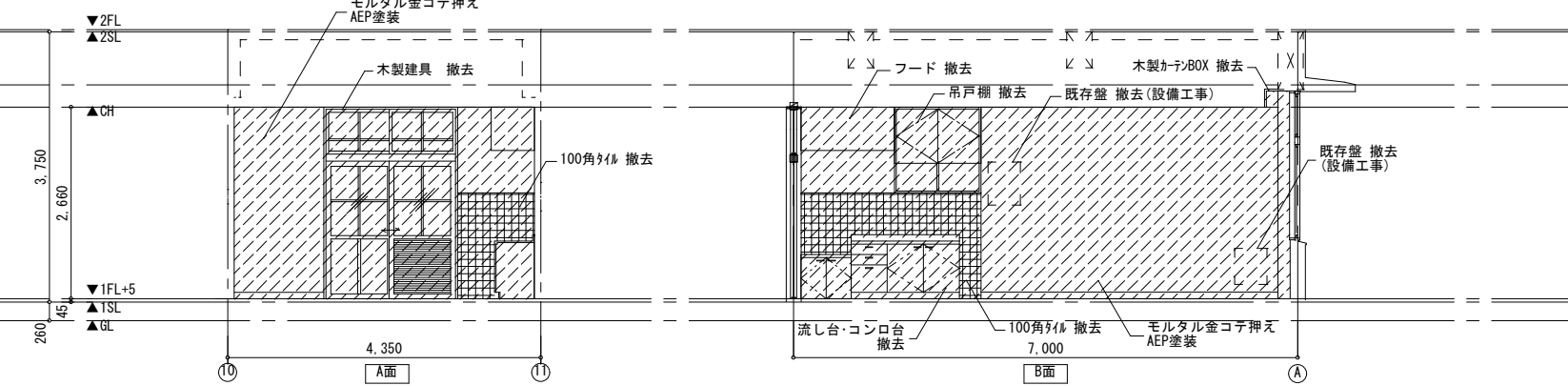
改修後 平面詳細図 主事室 S=1/100



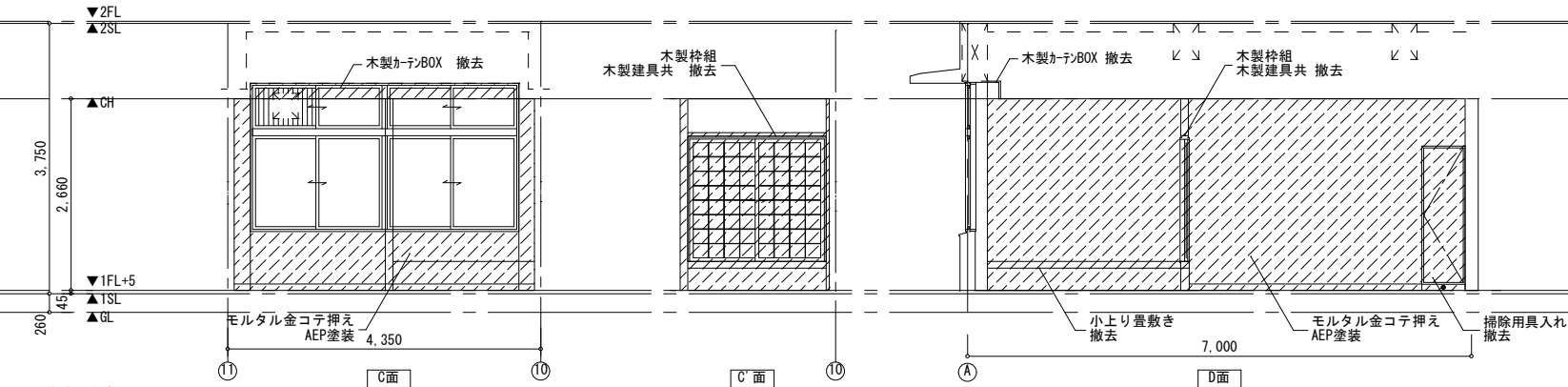
室名	主事室
天井	仕上 化粧PB t=9.5 (準不燃) 下地 LGS下地
壁	仕上 A面 既存下地調整 EPG塗装 B面 木脚縁新設 PB t=9.5 EPG塗装 C面 既存下地調整 EPG塗装 D面 木脚縁新設 行事黒板 木脚縁新設 PB t=9.5 EPG塗装 梁型 (外壁側) PB t=9.5 (直張工法) EPG塗装
巾木	仕上 ビニル巾木 H=75
床	仕上 アンダーレイシート t=5.0 ビニル床シート t=2.0 下地 既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切壁は スラブ下まで達せしめること ※設備品取付下地は打合せのこと

【新設土間範囲】 土間コンクリート t=120 (18-15-20) (D10-φ250 タテヨコ共)
ポリエチレンシート t=0.15
砂敷き t=30
再生クラッシューラン t=100

改修前 展開図 主事室 S=1/100



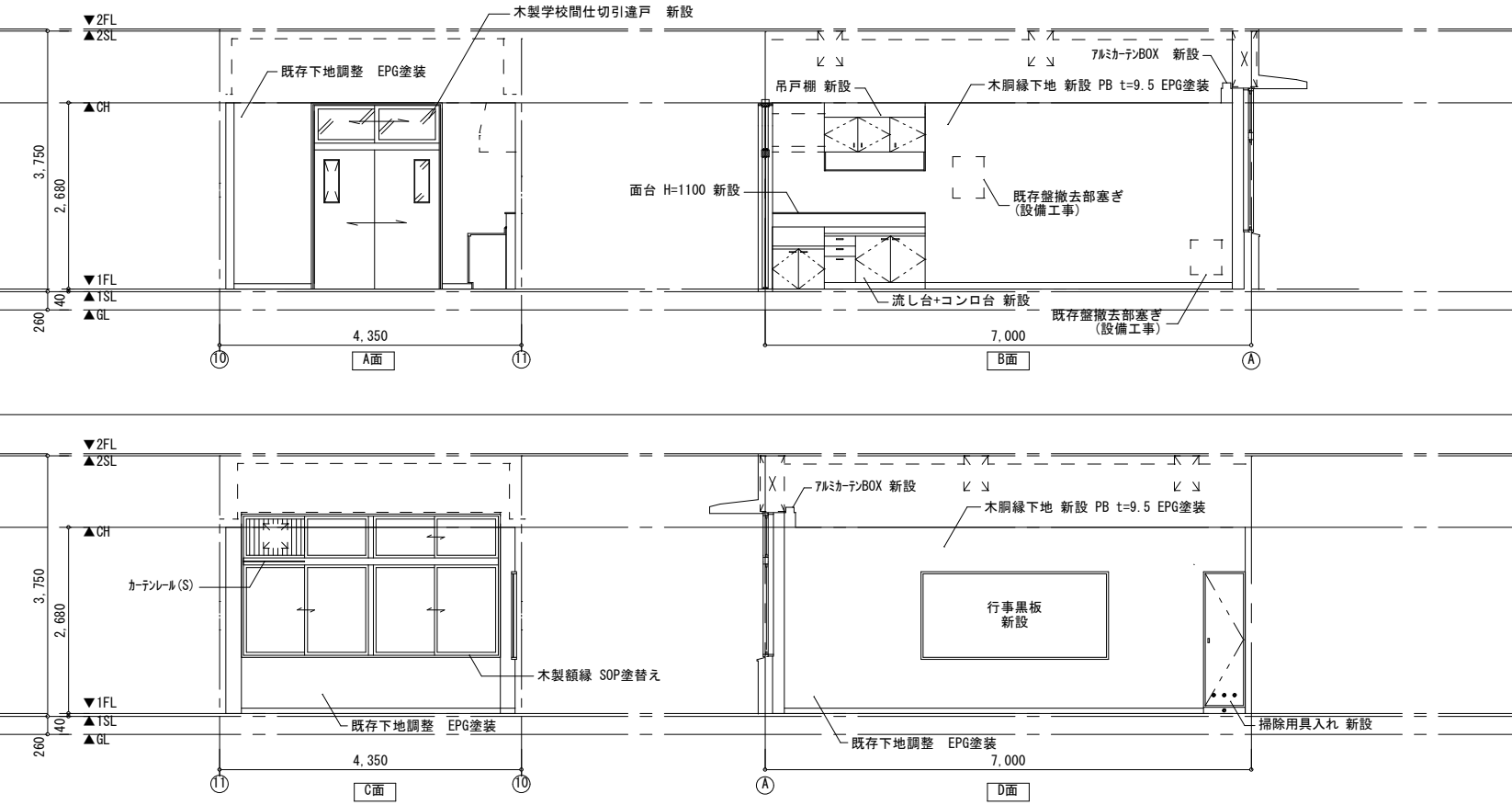
※FL: 改修後の床高さを示す



※FL: 改修後の床高さを示す


撤去部分を示す

改修後 展開図 主事室 S=1/100



株式会社 田代設計工房
一級建築士 第 145118 号
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事
主事室
平面詳細図・展開図 (改修前・改修後)
鹿児島市建設局建築部建築課

 : 既存土間撤去範囲

Architectural floor plan of a health room (保健室) showing various equipment and furniture layouts. The plan includes dimensions, room labels, and equipment specifications.

Room Labels:

- 保健室 (Health Room)
- 脱衣室 (Changing Room)
- 洗濯パン (Sinking Pan)
- 足洗い場 (Foot Washing Area)

Equipment and Furniture:

- EPS:有効W900, D300 (EPS: Effective W900, D300)
- EPS (EPS)
- 間仕切り壁 (LGS下地) 新設 (Partition Wall (LGS Substrate) New)
- 掃除用具入れ 新設 (Cleaning Tool Holder New)
- 薬品棚 新設 (Medicine Shelf New)
- J-4 (J-4)
- J-18 (J-18)
- J-17 (J-17)
- 布団収納棚 新設 (Mattress Storage Shelf New)
- J-17 (J-17)
- 布団収納棚 新設 (Mattress Storage Shelf New)
- J-17 (J-17)
- 布団収納棚 新設 (Mattress Storage Shelf New)
- カーテンレール (S) H=2,000 新設 (Curtain Rail (S) H=2,000 New)
- 木製額縁 SOP塗替え (Wooden Picture Frame SOP Repainting)
- H-1 (H-1)
- 室名札 新設 (Room Name Tag New)
- 木製学校間仕切り 新設 (Wooden School Partition New)
- 木製建具 (有効W800以上) 新設 (Wooden Fixture (Effective W800 or more) New)
- ±0 (±0)
- 間仕切り壁 LGS (W=100) 新設 (Partition Wall LGS (W=100) New)
- +150 (±0) (±0)
- 脱衣室 (Changing Room)
- CH=2,400 (CH=2,400)
- +150 (±0) (±0)
- シャワーユニット 新設 (Shower Unit New)
- F-5 (F-5)
- ホワイトボード 1860×960 新設 (Whiteboard 1860×960 New)
- E-4 (E-4)
- 面台 新設 (Sink New)
- 流し台 新設 (Sink New)
- E-3 (E-3)
- E-5 (E-5)
- 新設 足洗い場 (New Foot Washing Area)

Dimensions:

- Overall dimensions: 340, 3,670, 340, 340, 3,670, 340 (horizontal); 500, 2,100, 320, 9,100, 7,000, 320 (vertical).
- Room dimensions: 1,150, 400, 1,800, 100, 1,800, 100, 1,800, 1,550 (horizontal); 1,150, 1,625, 1,450, 1,380 (vertical).
- Other dimensions: 1,180, 8,700, 340, 3,670, 340, 340, 3,670, 340 (horizontal); 11, 13 (vertical).

Legend:

- 展開方向 (Expansion Direction)

【新設土間範囲】土間コンクリート t=120 (18-15-20)
(D10-@250 タテヨコ共)
ポリエチレンシート t=0.15
砂敷き t=30
再生クラッシャーラン t=100

Architectural drawings of a renovation project, showing four views: A面 (Front), B面 (Back), C面 (Side), and D面 (Side). The drawings include dimensions, level markers, and a legend for removal parts.

Legend: ※FL: 改修後の床高さを示す (※FL: Indicates the floor height after renovation)

View A (A面): Shows a room with a wooden floor and walls. Dimensions: 3.750, 2.970, 260, 8.700. Level markers: ▼2FL, ▲2SL, ▲CH, ▼1FL+5, ▲1SL, ▲GL. Removal parts: t5.5 ベニヤ目透かし貼 木下地共 撤去 (t5.5 Plywood mesh glue wood sub-base removal), 木製建具 撤去 (Wooden fixtures removal).

View B (B面): Shows a room with a wooden floor and walls. Dimensions: 7.000. Level markers: ▼2FL, ▲2SL, ▲CH, ▼1FL+5, ▲1SL, ▲GL. Removal parts: 梁型 モルタルコテ押え AEP塗装 (Beam type plaster pusher AEP coating), t5.5 ベニヤ目透かし貼 木胴縁下地共 撤去 (t5.5 Plywood mesh glue wood batten sub-base removal), 木製カーテンBOX 撤去 (Wooden curtain box removal), 行事黒板 撤去 (Event blackboard removal), 鏡撤去 (設備工事) (Mirror removal (equipment work)), 掃除具入れ 撤去 (Sweeping tool holder removal), 100角タイル貼・木見切 撤去 (100mm square tile glue wood trim removal).

View C (C面): Shows a room with a wooden floor and walls. Dimensions: 8.700. Level markers: ▼2FL, ▲2SL, ▲CH, ▼1FL+5, ▲1SL, ▲GL. Removal parts: 木製カーテンBOX 撤去 (Wooden curtain box removal), 梁型 モルタルコテ押え AEP塗装 (Beam type plaster pusher AEP coating), モルタル金コテ押え AEP塗装 (Plaster metal pusher AEP coating).

View D (D面): Shows a room with a wooden floor and walls. Dimensions: 7.000. Level markers: ▼2FL, ▲2SL, ▲CH, ▼1FL+5, ▲1SL, ▲GL. Removal parts: 梁型 モルタルコテ押え AEP塗装 (Beam type plaster pusher AEP coating), 木製カーテンBOX 撤去 (Wooden curtain box removal), t5.5 ベニヤ目透かし貼 木胴縁下地共 撤去 (t5.5 Plywood mesh glue wood batten sub-base removal).

Legend: 撤去部分を示す (Indicates removal parts)

Architectural drawings of the main body of the building, showing elevations A, B, C, and D. The drawings include dimensions, material specifications, and labels for various components like windows, doors, and structural elements.

Elevation A: Shows a section with a height of 3,750 mm and a width of 8,700 mm. It includes labels for "LGS下地強化PB t=12.5+ナイタル板 t=6.0 珪藻土塗" and "LGS下地 耐水PB t=9.5+珪藻土塗".

Elevation B: Shows a section with a height of 3,750 mm and a width of 7,000 mm. It includes labels for "梁型:既存下地調整 珪藻土塗", "7ミミカーテンBOX 新設", "ホワイトボード 新設", "面台 新設", "流し台 新設", "LGS下地 耐水PB t=9.5 珪藻土塗", and "既存下地調整 珪藻土塗".

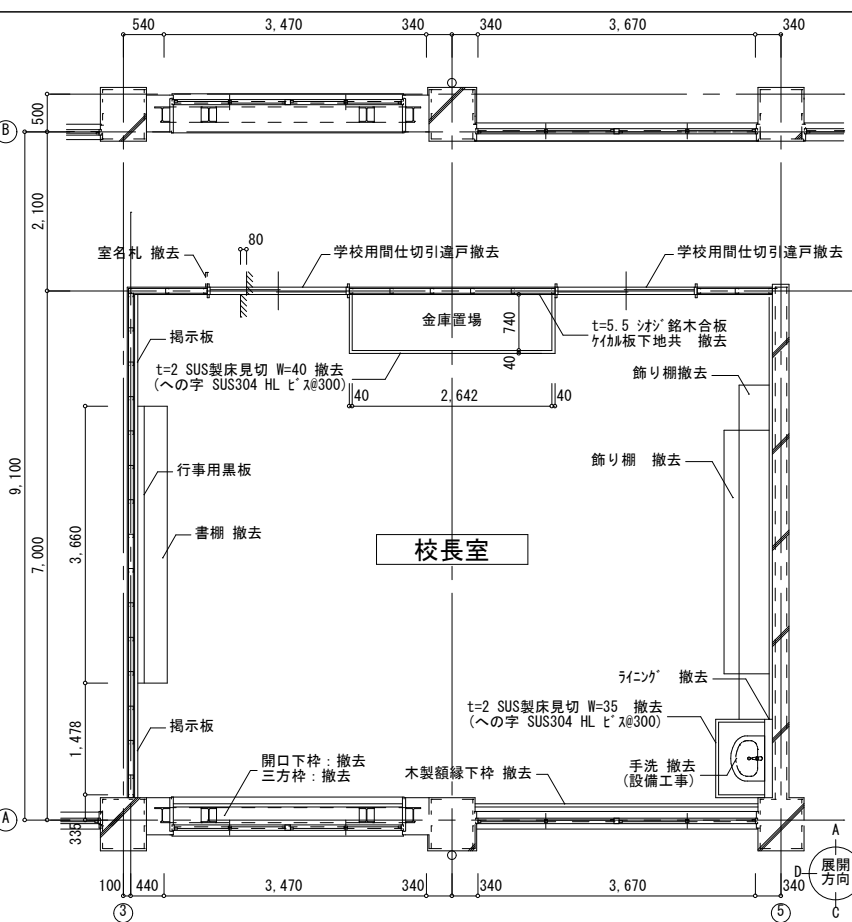
Elevation C: Shows a section with a height of 3,750 mm and a width of 8,700 mm. It includes labels for "梁型:PB t=9.5(直張工法) 珪藻土塗", "カーテンレール(S) 新設", "木製額縁 SOP塗替え", and "既存下地調整 珪藻土塗".

Elevation D: Shows a section with a height of 3,750 mm and a width of 7,000 mm. It includes labels for "梁型:既存下地調整 珪藻土塗", "7ミミカーテンBOX 新設", "布団棚 新設", "カーテンレール(S) H=2000 新設", "薬品棚 新設", "掃除入れ 新設", and "既存下地調整 珪藻土塗".

Detail: 脱衣室部分 (Changing Room Area): Shows a section with a height of 2,400 mm and a width of 1,150 mm. It includes labels for "(C・D面)LGS下地 新設 耐水PB t=9.5 EPG塗装" and "(B面)既存下地調整 EPG塗装".

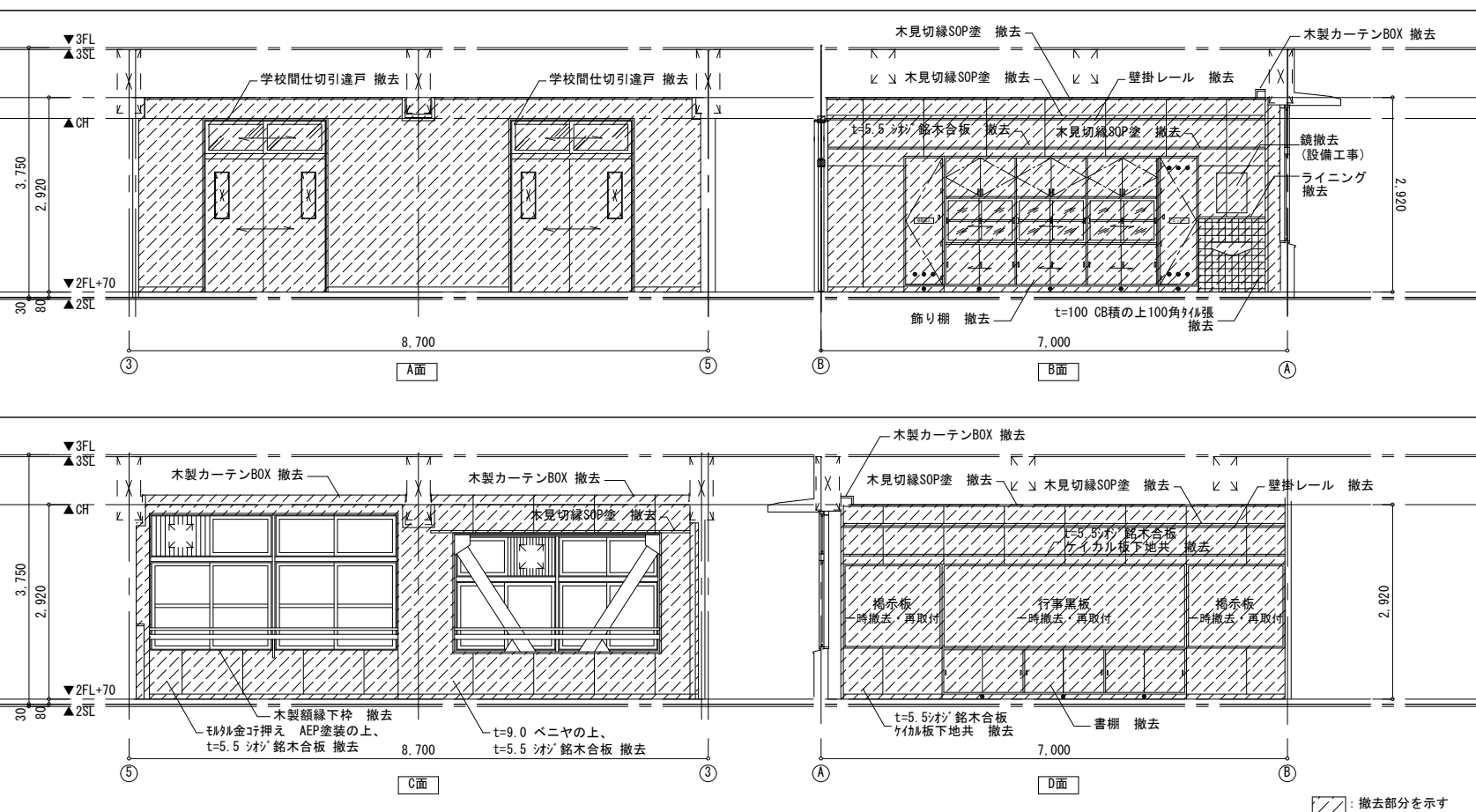
Table: A table with 2 columns and 2 rows. The first row contains "株式会社 田代設計工房" and "一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘". The second row contains "保健室" and "A-44".

改修前 平面詳細図 校長室 S=1/100

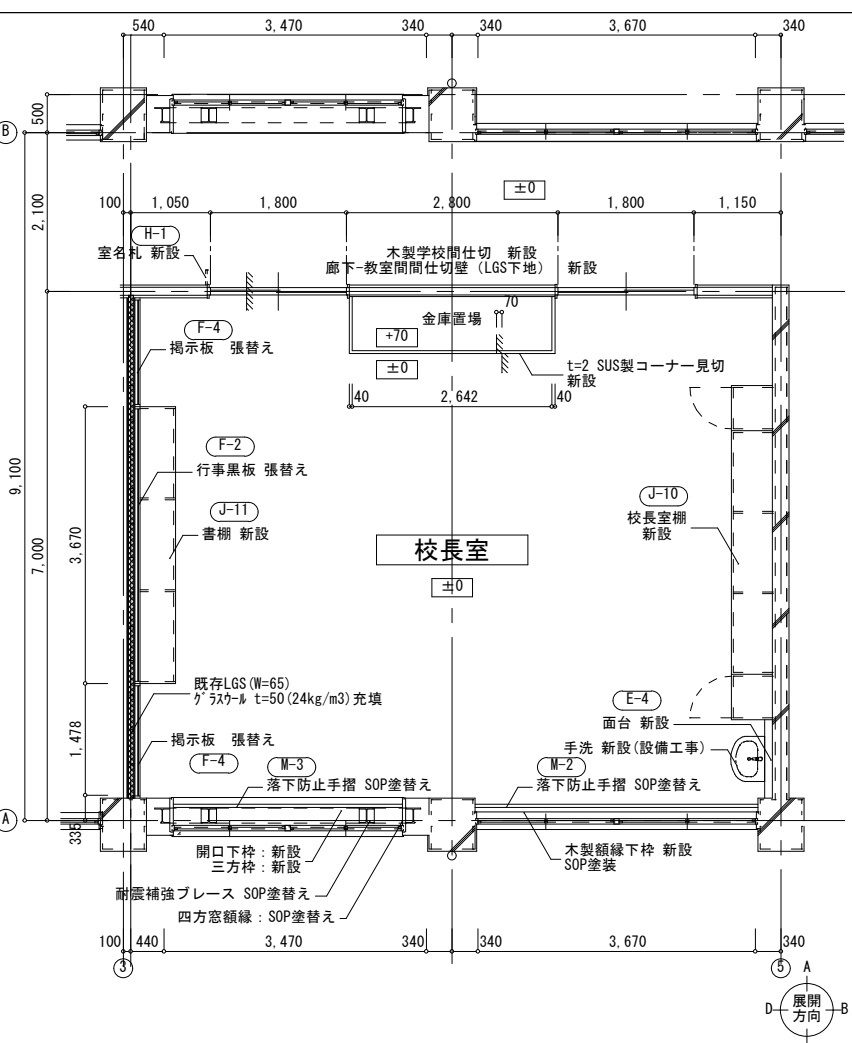


室名	校長室
天井	仕上 t=9.0 岩綿吸音板 (撤去) 下地 軽天下地 (撤去)
壁	A面 LGS下地 ケイカル板 + t=5.5 ショジ 銘木合板 撤去 B面 t=5.5 ショジ 銘木合板 ※木下地共撤去 t=100 CBの上100角タイル張 撤去 C面 t=5.5 ショジ 銘木合板 AEP塗装 t=5.5 ショジ 銘木合板 ※木下地共撤去 (耐震補強部) D面 LGS下地 t=9.0 ベニヤ t=5.5 ショジ 銘木合板 梁型 t=5.5 ショジ 銘木合板 壁掛けレール 木見切縁 ※ケイカル板下地共撤去
巾木	仕上 木製巾木 H=75 SOP塗装 ※撤去
床	仕上 t=15.0 集成フローリング ウレタン3回塗り 金庫置場 t=2.8 複合塩ビシート張 手洗い t=2.8 複合塩ビシート張 出入口下 100×80コンクリート打設 ※撤去
下地	床組 t=12.0 合板共 ※撤去 金庫置場・出入口 t=80 コンクリート打設 (既存のまま)
備考	※AEP塗装: アスベスト含有の為除去

改修前 展開図 校長室 S=1/100

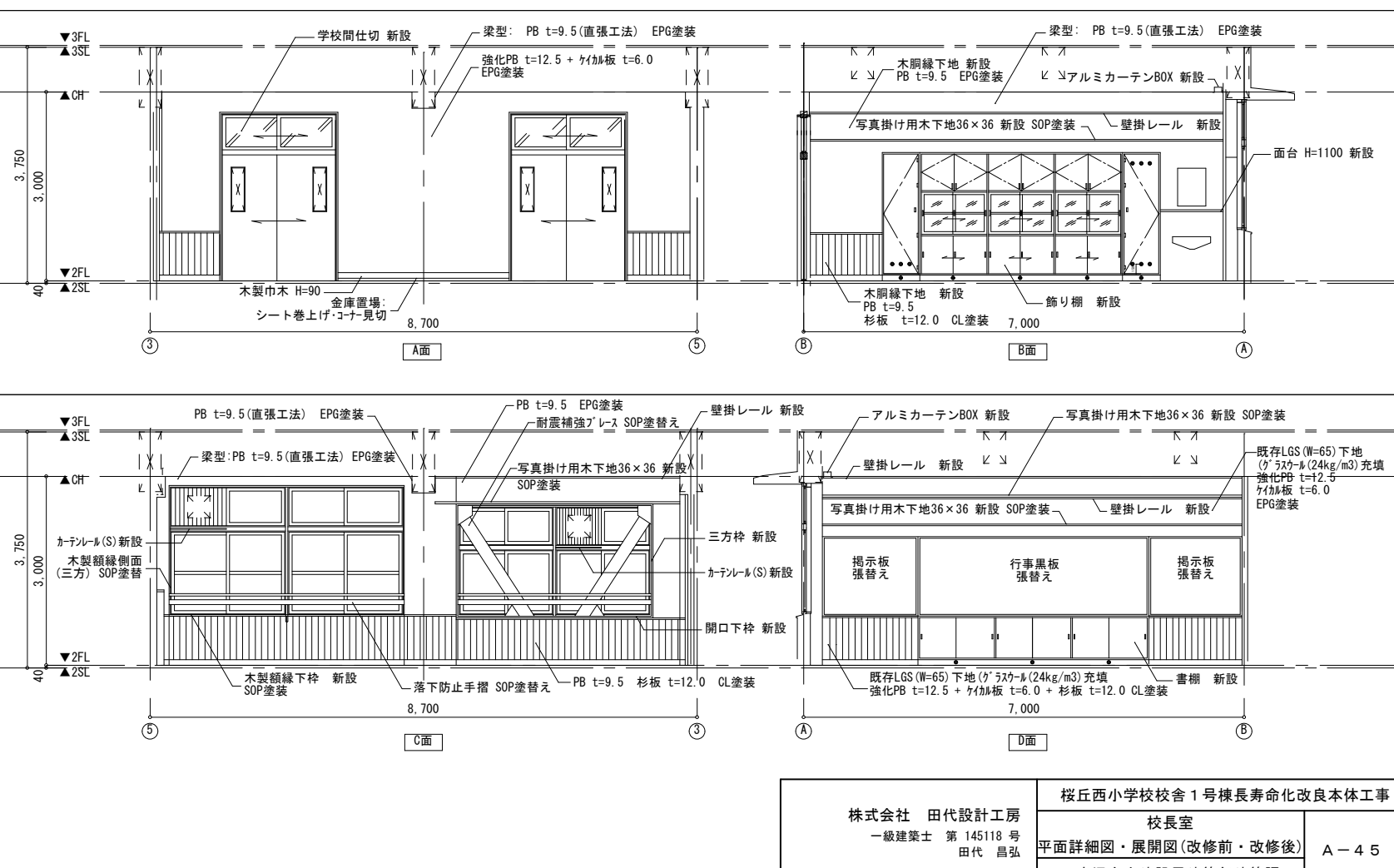


改修後 平面詳細図 校長室 S=1/100

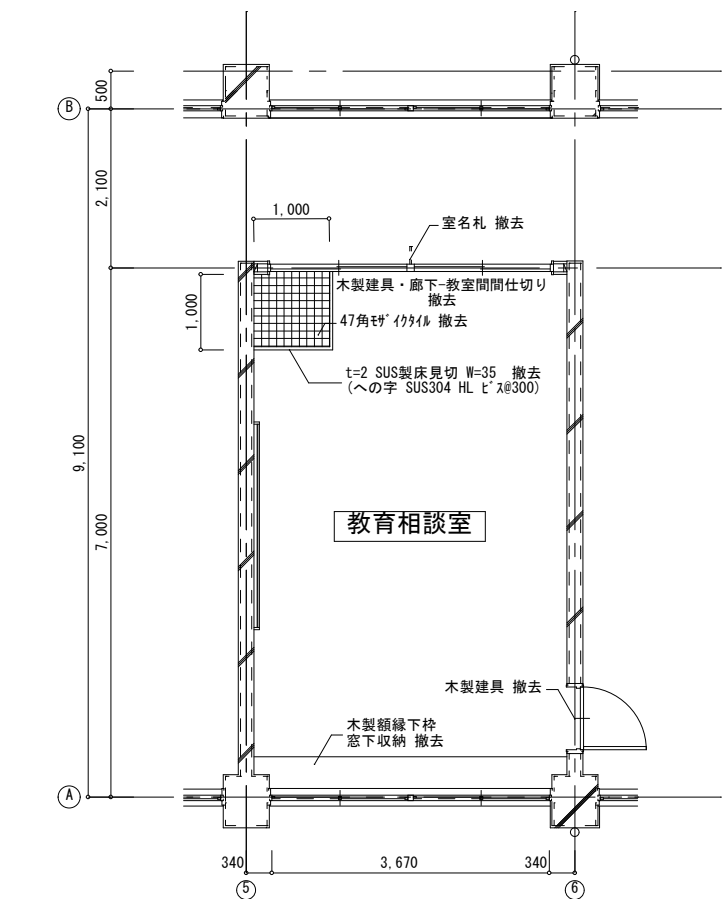


室名	校長室
天井	仕上 化粧PB t=9.5 (準不燃) 下地 LGS下地
壁	A面 (壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイカル板 t=6.0 + 杉板 t=12.0 CL塗装 B面 (壁) 木脚縁新設 PB t=9.5 EPG塗装 (腰壁) 木脚縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装 (耐震補強部 壁) PB t=9.5 EPG塗装 (耐震補強部 腰壁) PB t=9.5 杉板 t=12.0 CL塗装 C面 壁掛けレール 木見切縁 (壁) PB t=9.5 (直張工法) EPG塗装 (腰壁) 木脚縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装 (耐震補強部 壁) PB t=9.5 EPG塗装 (耐震補強部 腰壁) PB t=9.5 杉板 t=12.0 CL塗装 D面 (壁) 既存LGS (W=65) 下地 (ケイカル板 (24kg/m3) 充填 強化PB t=12.5 + ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁) 既存LGS (W=65) 下地 (ケイカル板 (24kg/m3) 充填 強化PB t=12.5 + ケイカル板 t=6.0 杉板 t=12.0 CL塗装 行事黒板 掲示板 壁掛けレール 木見切縁 梁型 (外壁側) PB t=9.5 (直張工法) EPG塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=90 CL塗装
床	仕上 ビニル床シート t=2.0 (木目調) 下地 既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切壁はスラブ下まで達せしめること ※既存流用: 行事黒板・掲示板 (一時撤去・復旧・張替え・枠塗替え) ※設備品取付下地は打合せのこと

改修後 展開図 校長室 S=1/100

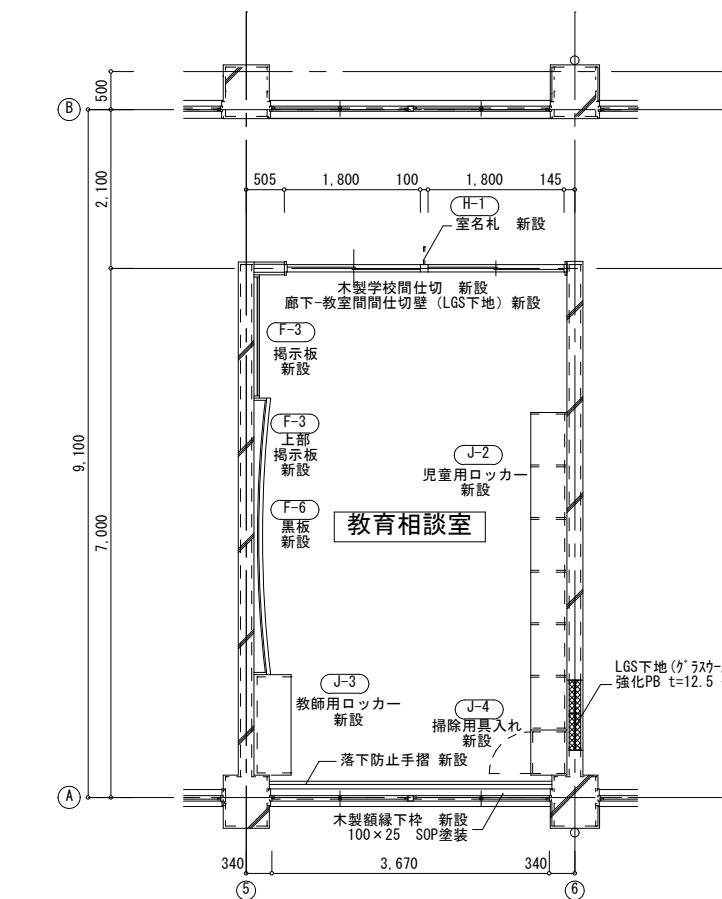


改修前 平面詳細図 教育相談室 S=1/100



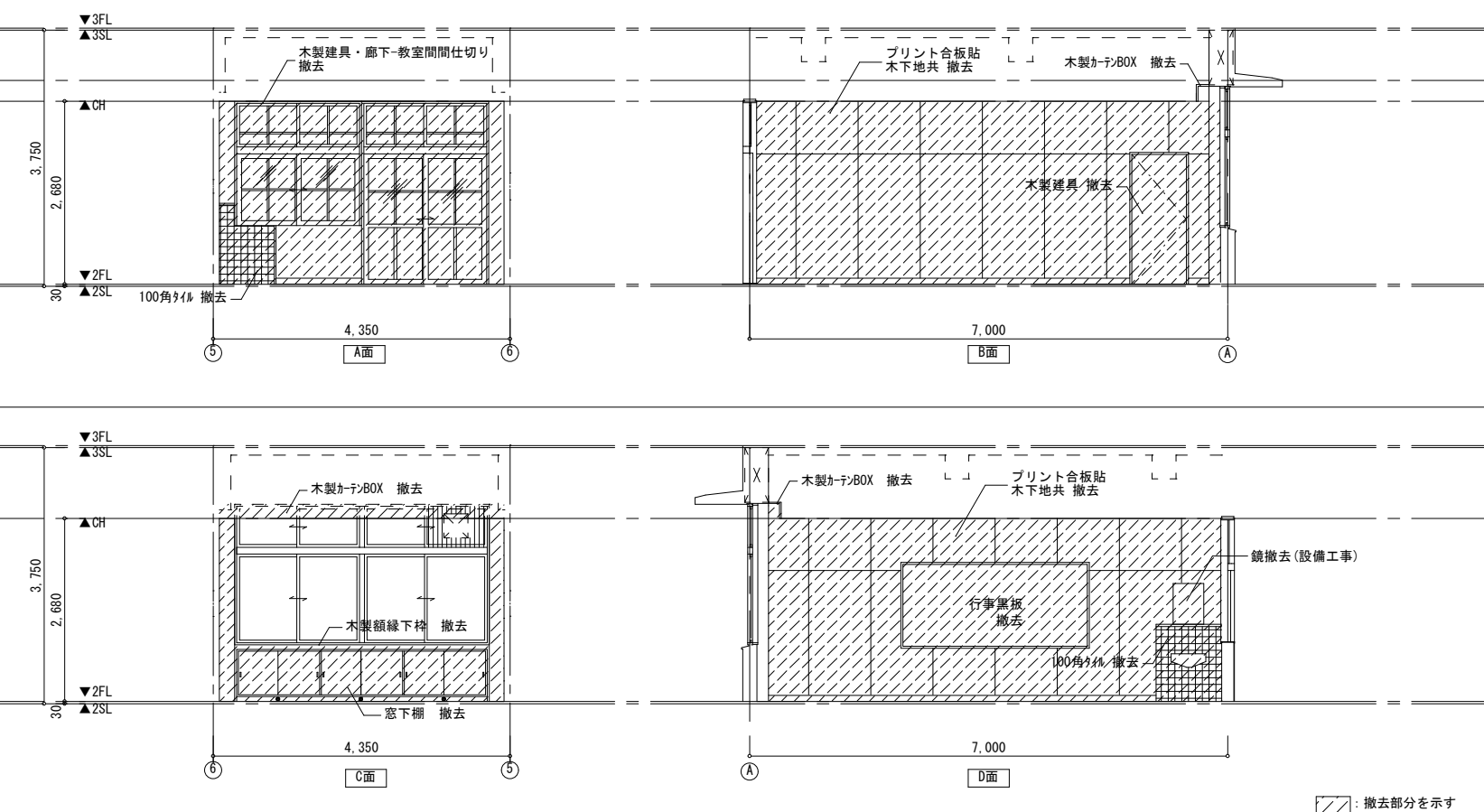
室名	教育相談室
天井	仕上 t=9.0 ジプトーン貼 (撤去) 下地 軽天下地 (撤去)
壁	仕上 A面 プリント合板貼 一部100角タイル貼 ※木下地共撤去 B面 プリント合板貼 ※木下地共撤去 C面 窓下棚 撤去 プリント合板貼 ※木下地共撤去 D面 行事黒板 プリント合板貼 一部100角タイル貼 ※木下地共撤去
巾木	仕上 木製巾木 H=90 OP塗装 ※撤去
床	仕上 ビニル床シート貼 (流し部) 47角モザイクタイル貼 ※撤去 下地 モルタルコテ押え下地
備考	

改修後 平面詳細図 教育相談室 S=1/100

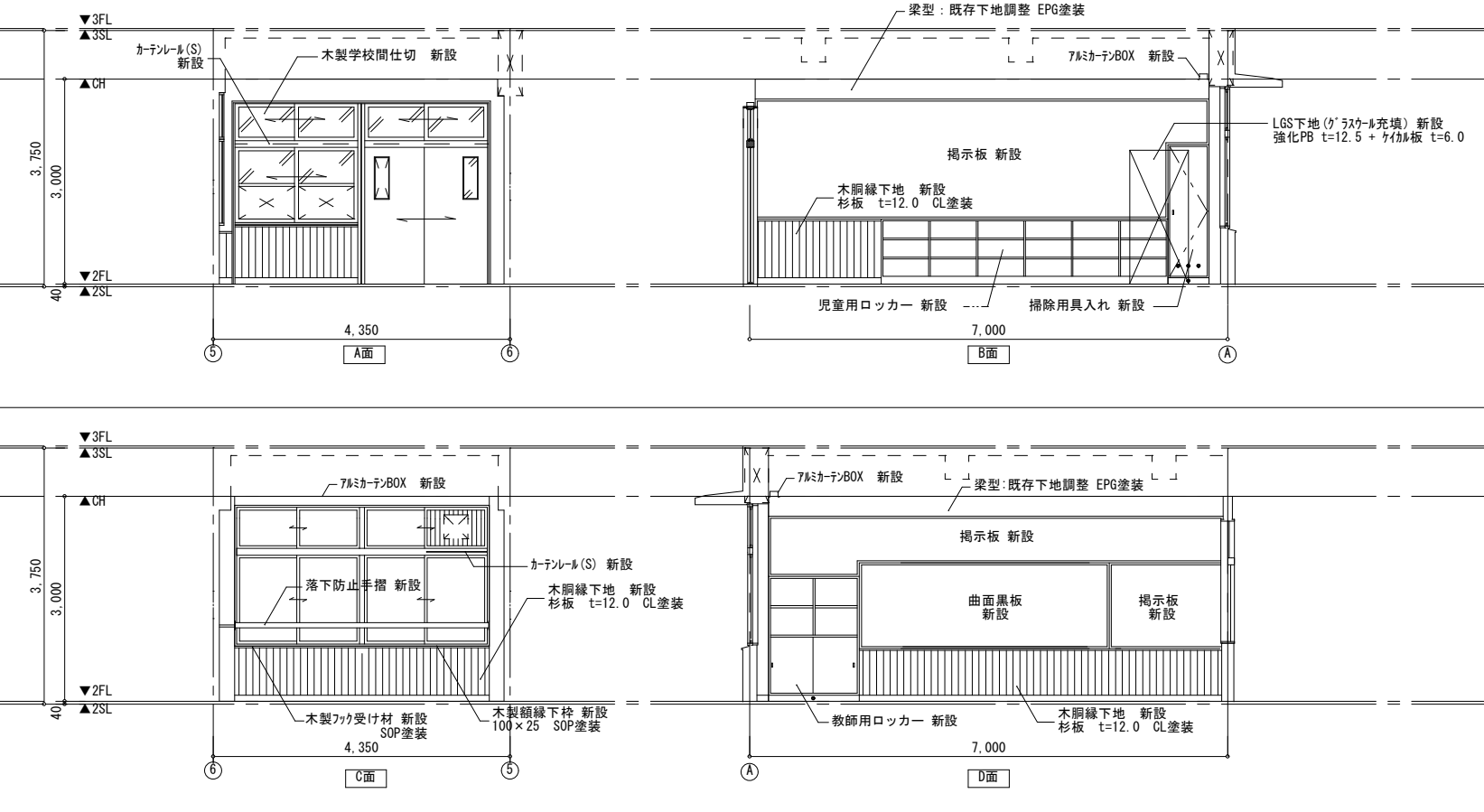


室名	教育相談室
天井	仕上 化粧PB t=9.5 (準不燃) 下地 LGS下地
壁	仕上 A面 (壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + タイル板 t=6.0 EPG塗装 (腰壁) LGS下地 強化PB t=12.5 + タイル板 t=6.0 + 杉板 t=12.0 CL塗装 B面 (壁) 木胴縁新設 掲示板 (腰壁) 木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装 C面 (腰壁) 木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装 D面 (壁) 木胴縁新設 黒板・掲示板 (腰壁) 木胴縁新設 杉板 t=12.0 CL塗装 柱・梁型 既存下地調整 EPG塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=90 CL塗装
床	仕上 ビニル床シート t=2.0 (木目調) 下地 既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切壁は スラブ下まで達せしめること ※設備品取付下地は打合せのこと

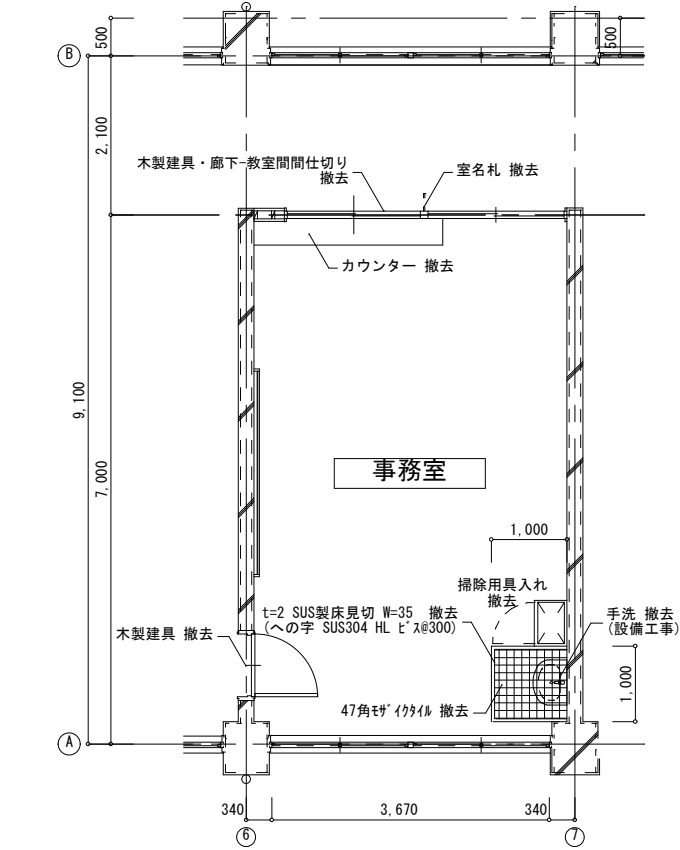
改修前 展開図 教育相談室 S=1/100



改修後 展開図 教育相談室 S=1/100



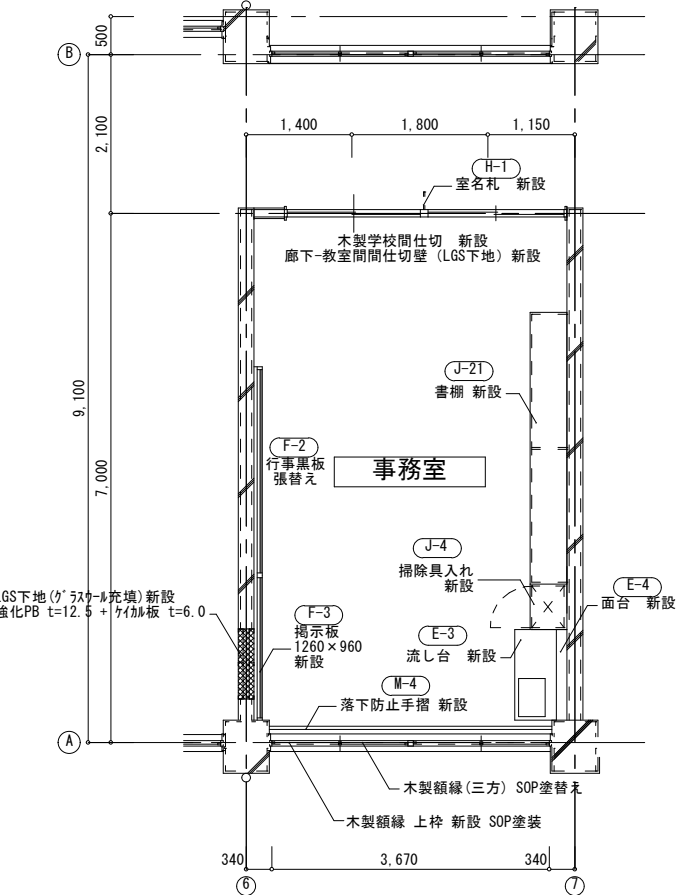
改修前 平面詳細図 事務室 S=1/100



室名	事務室
天井	仕上 t=9.0 岩綿吸音板 (撤去) 下地 軽天下地 (撤去)
壁	A面 木下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木下地共撤去 B面 木下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木下地共撤去 一部:100角タイル貼 ※撤去 C面 モルタル金コテ押え AEP塗装 一部:100角タイル貼 ※撤去 D面 行事黒板 木下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木下地共撤去
巾木	仕上 木製巾木 H=90 OP塗装 ※撤去
床	仕上 モザイクパーケット貼 フロアオイル2回塗 撤去 一部:モザイクタイル ※撤去 下地 モルタルコテ押え下地
備考	※AEP塗装: アスベスト含有の為除去



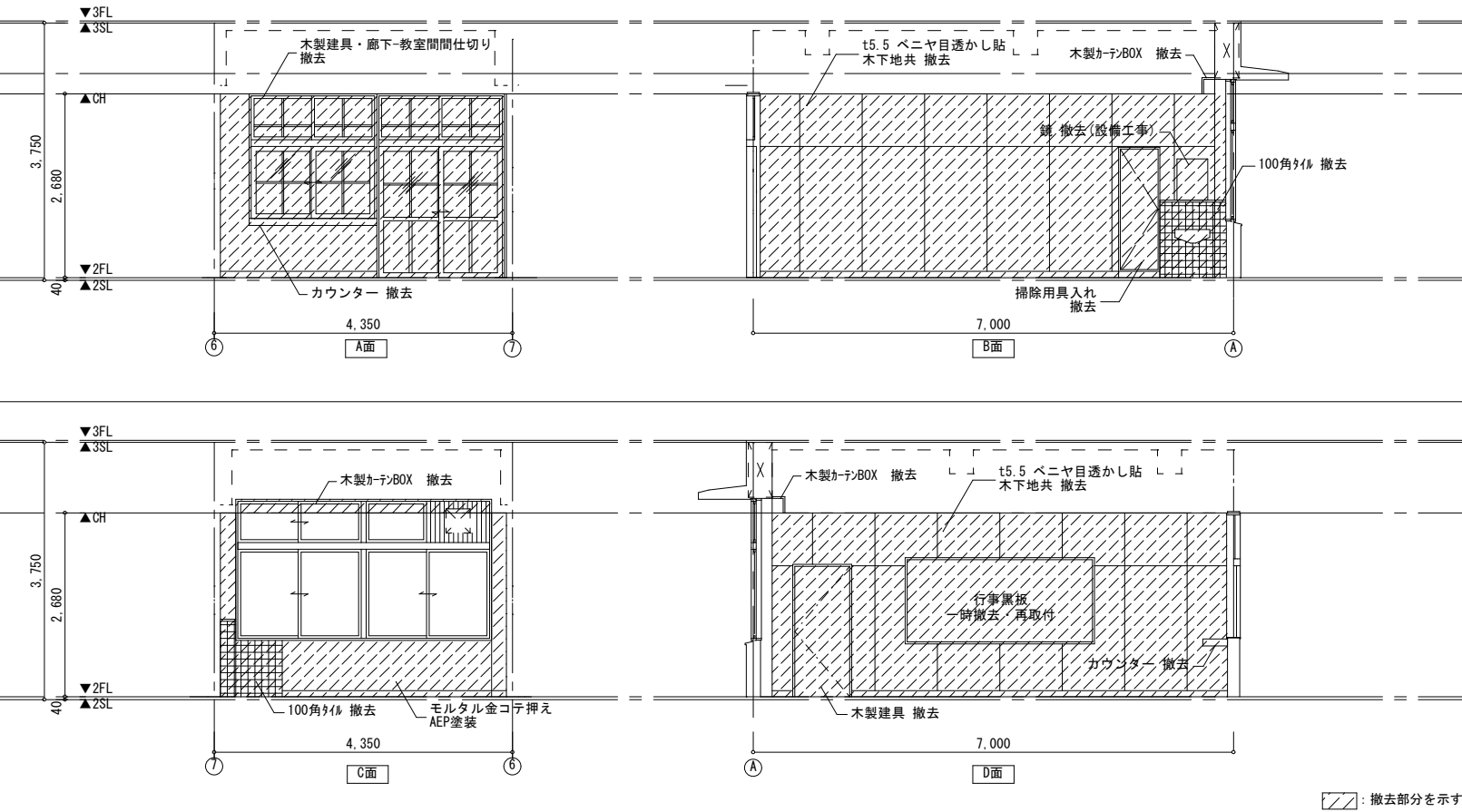
改修後 平面詳細図 事務室 S=1/100



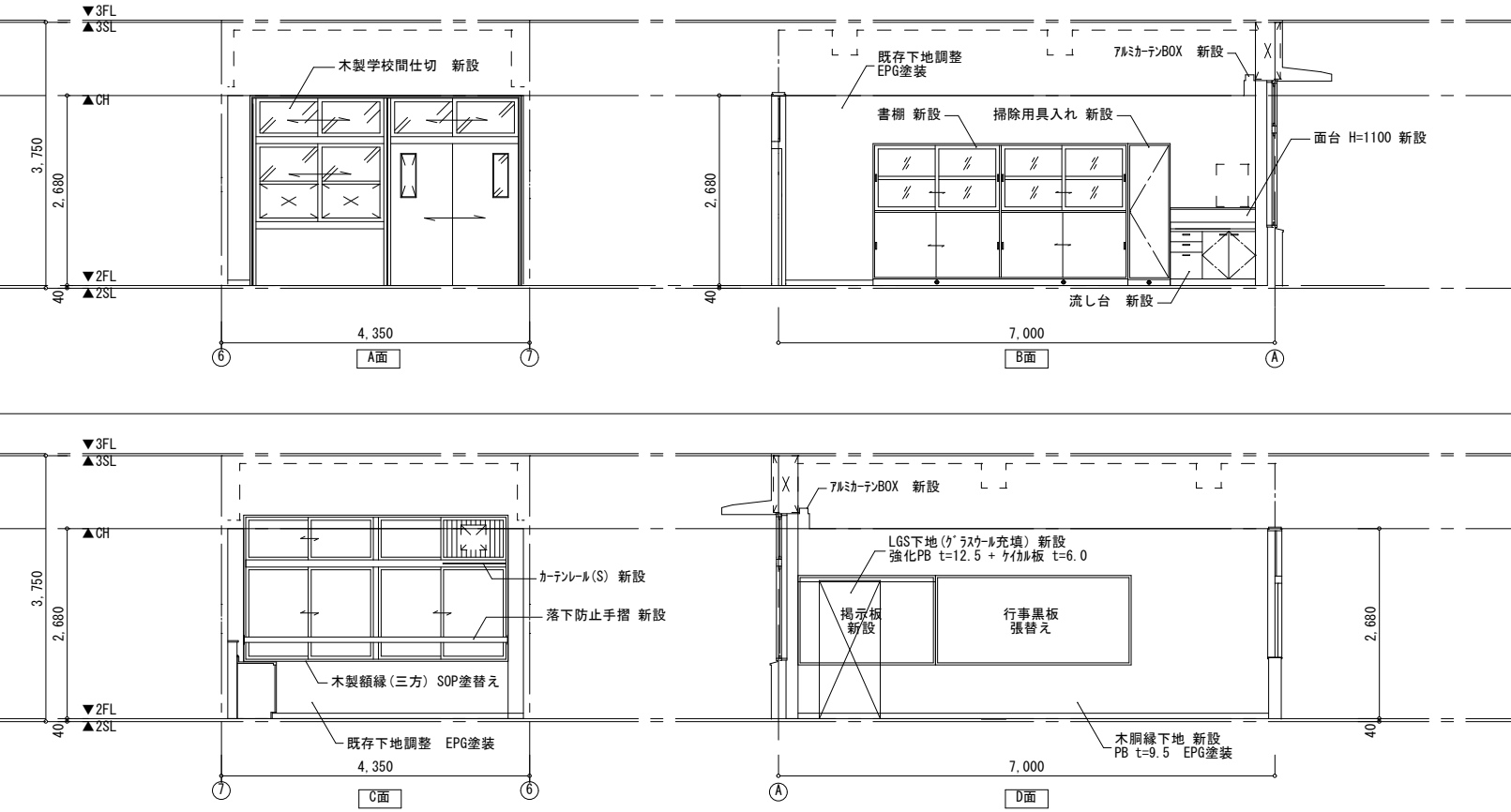
室名	事務室
天井	仕上 化粧PB t=9.5 (準不燃) 下地 LGS下地
壁	A面 LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイカル板 t=6.0 EPG塗装 B面 既存下地調整 EPG塗装 C面 既存下地調整 EPG塗装 D面 木脚縁新設 PB t=9.5 EPG塗装 木脚縁新設 行事黒板・掲示板 梁型 (外壁側) PB t=9.5 (直張工法) EPG塗装
巾木	仕上 ビニル巾木 H=75
床	仕上 ビニル床シート t=2.0 下地 既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切り壁は スラブ下まで達せしめること ※既存流用: 黒板 ※設備品取付下地は打合せのこと



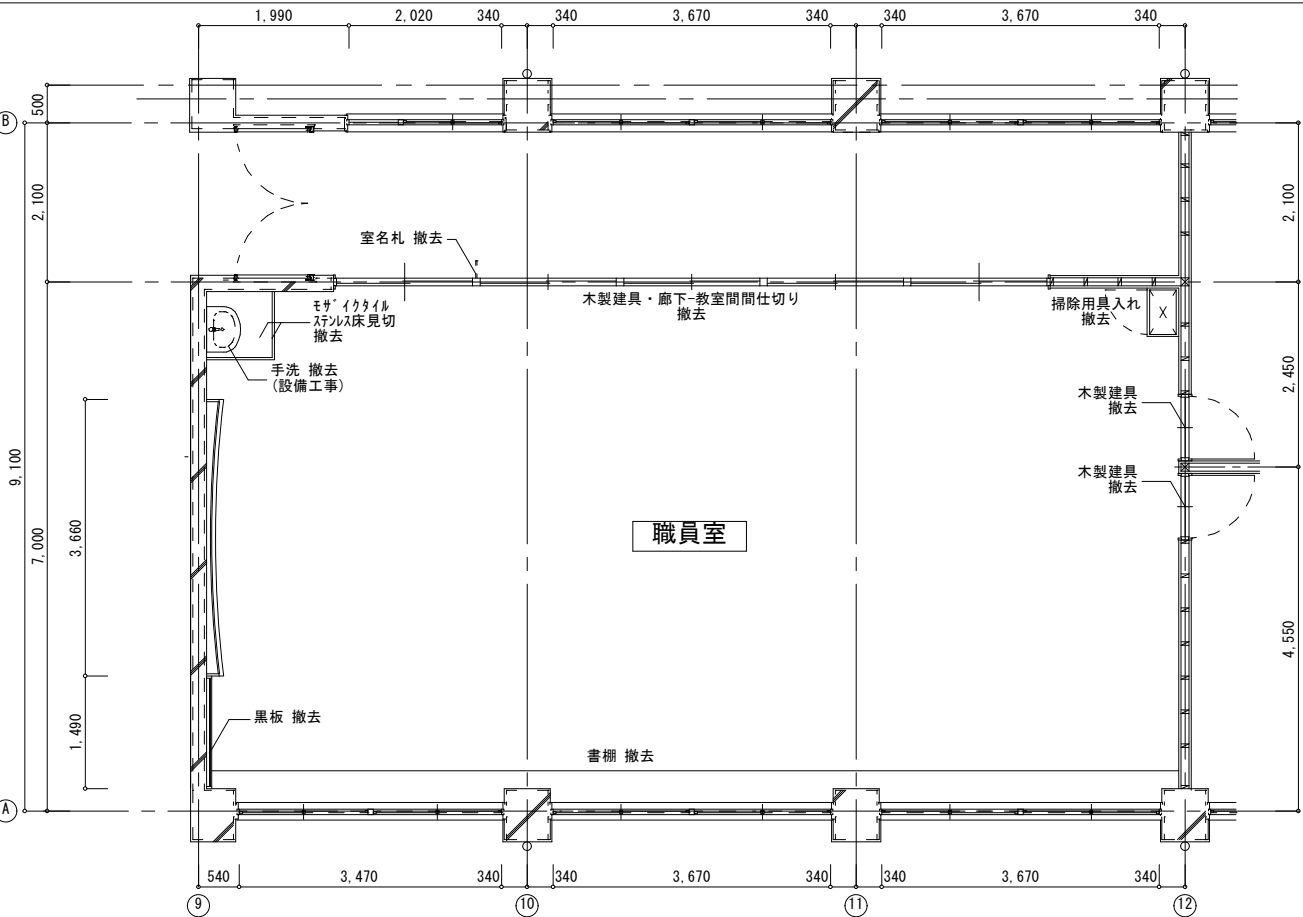
改修前 展開図 事務室 S=1/100



改修後 展開図 事務室 S=1/100

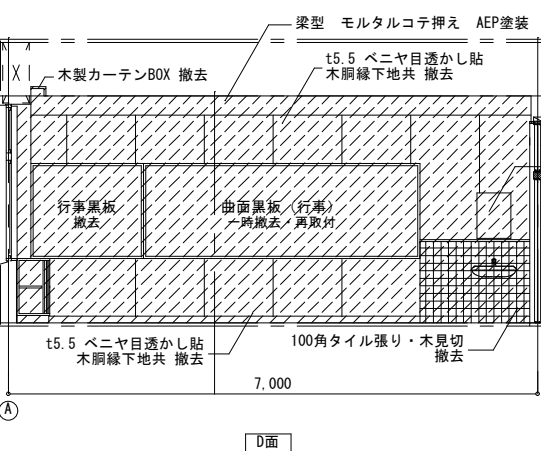
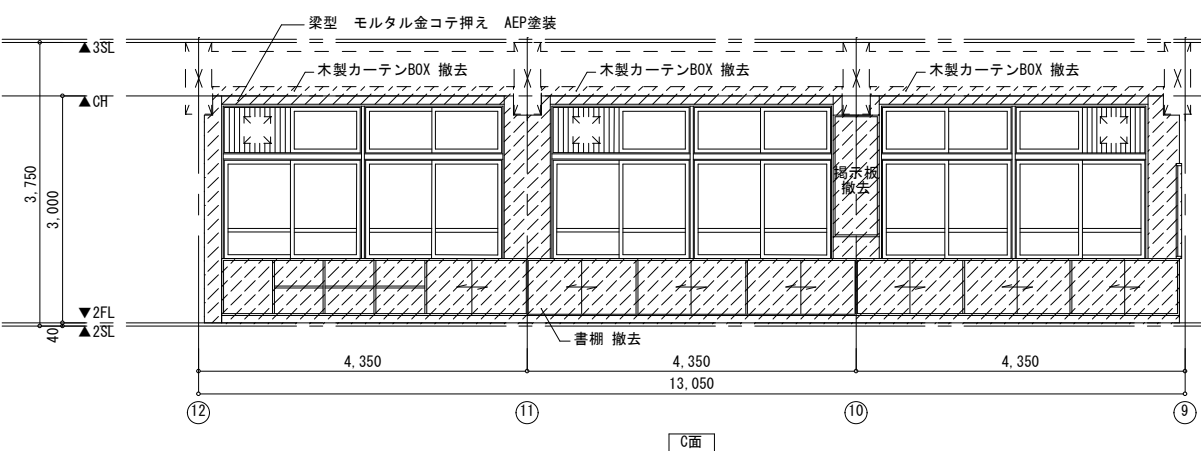
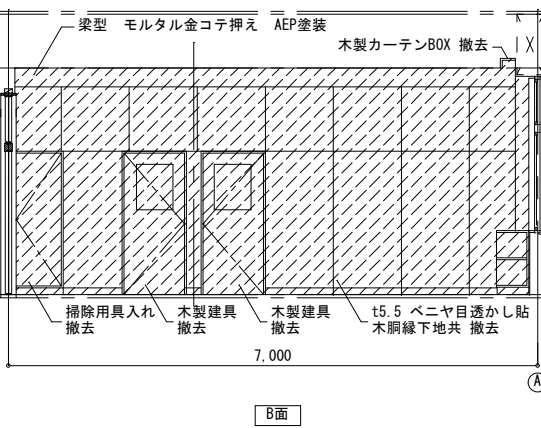
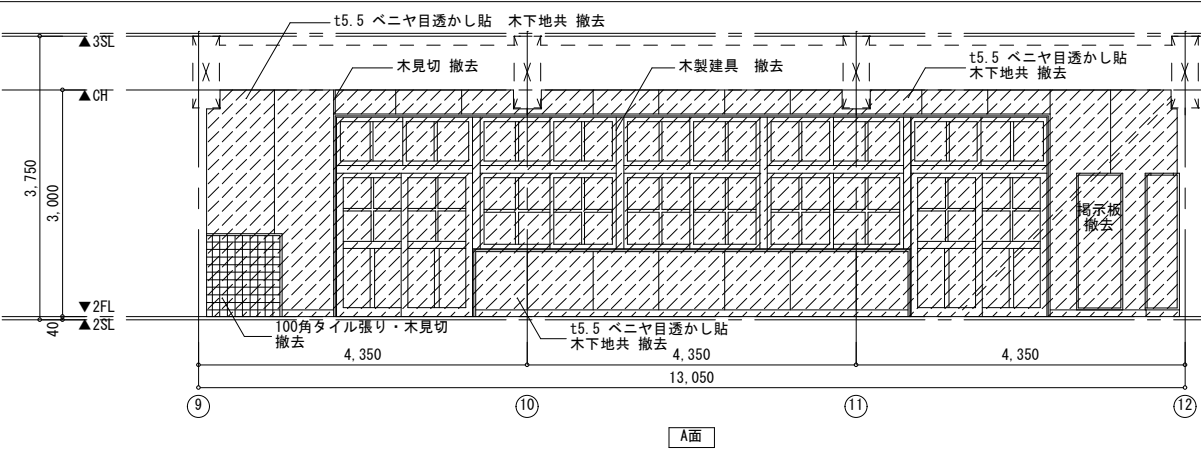


改修前 平面詳細図 職員室 S=1/100



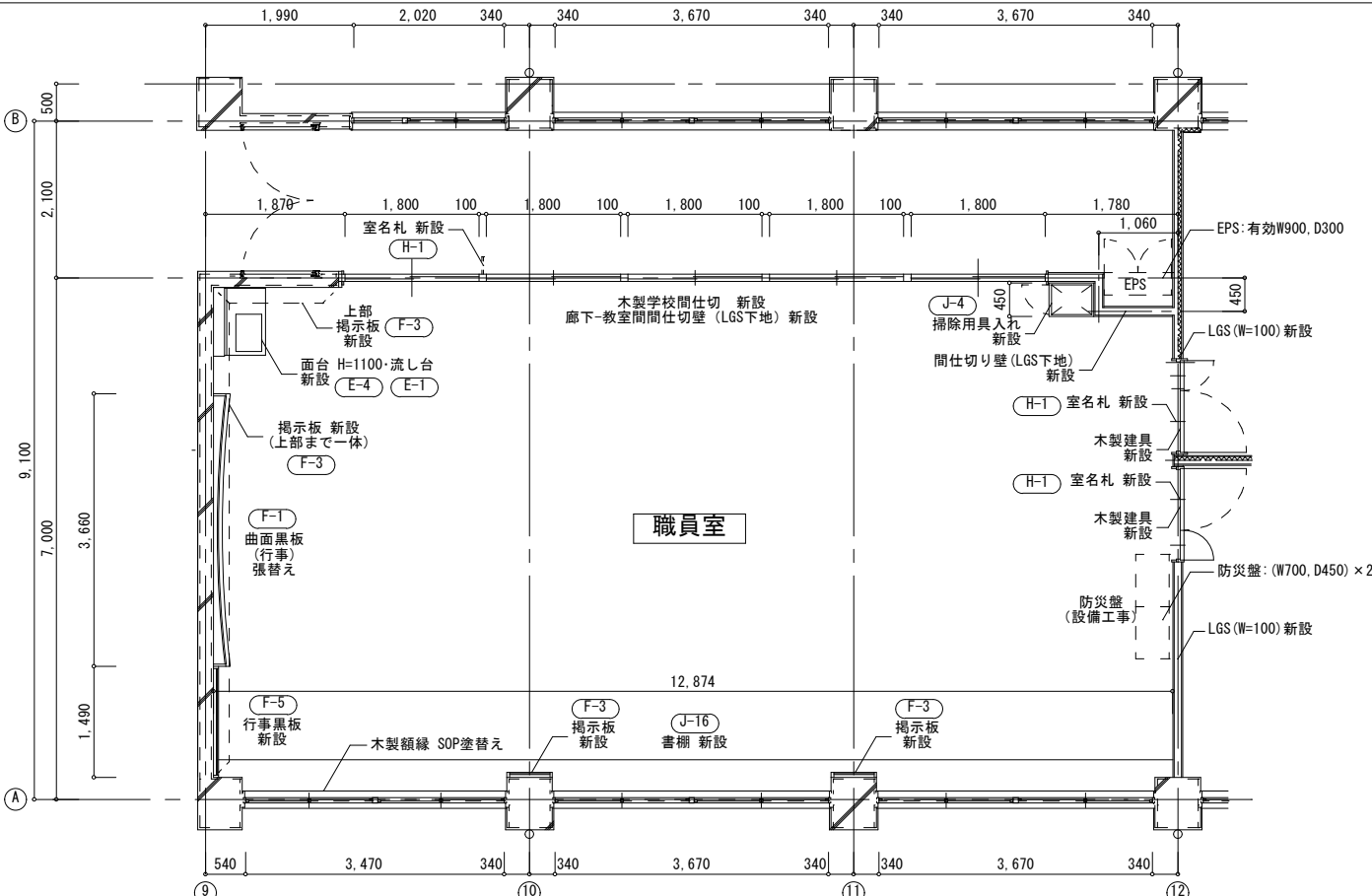
室名	職員室 (改修前)	
天井	仕上	t=9.0 岩綿吸音板 (撤去)
	下地	軽天下地 (撤去)
壁	仕上	A面 木下地 t=5.5 ペニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木下地共撤去 一部:100角タイル ※撤去
		B面 木胴縁下地 t=5.5 ペニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木胴縁下地共撤去
		C面 揭示板 ※木胴縁下地共撤去 モルタル金コテ押え AEP塗装
		D面 黒板 ※木胴縁下地共撤去 木胴縁下地 t=5.5 ペニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木胴縁下地共撤去 一部:100角タイル ※撤去 梁型・柱型 モルタル金コテ押え AEP塗装
巾木	仕上	木製巾木 H=90 OP塗装 ※撤去
床	仕上	モザイクパーケット貼 フローアール2回塗 ※撤去 一部:100角タイル ※撤去
	下地	モルタルコテ押え
備考	※AEP塗装: アスベスト含有の為除去	

改修前 展開図 職員室 S=1/100



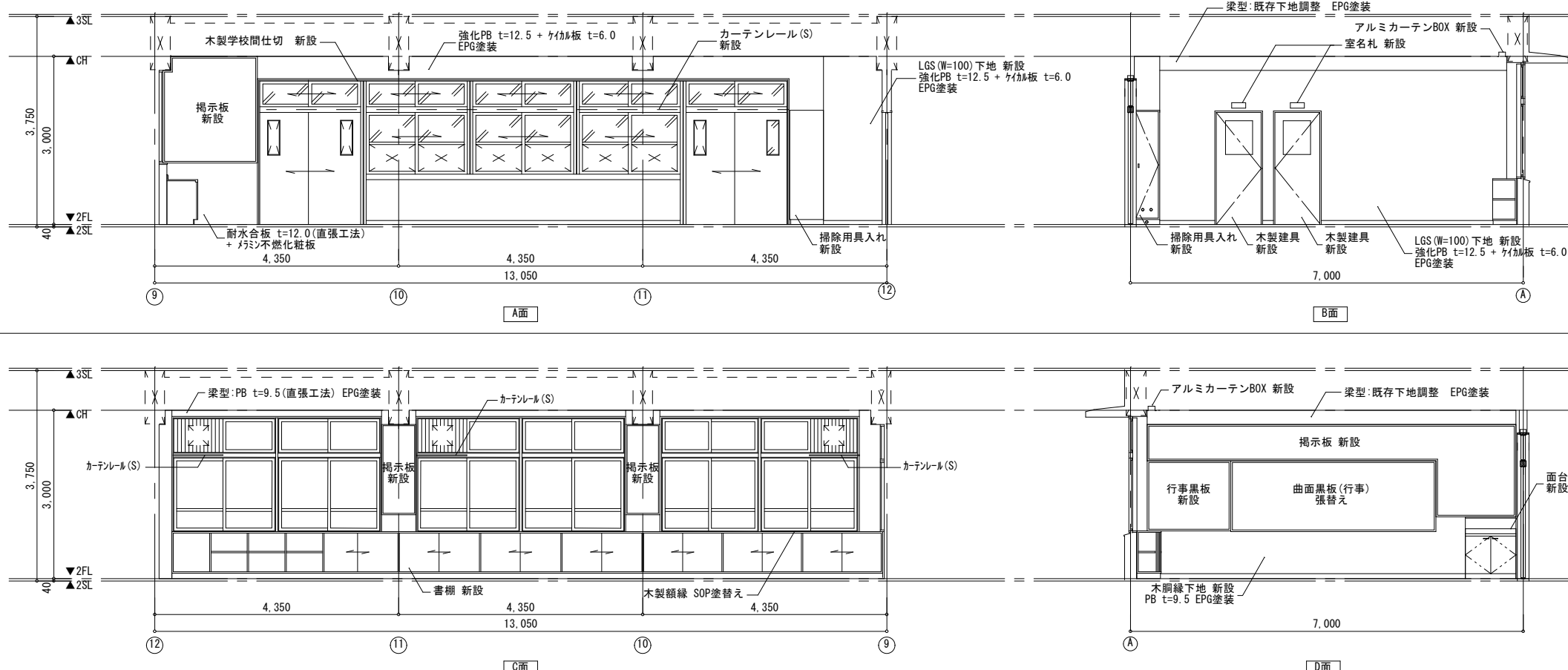
撤去部分を示す

改修後 平面詳細図 職員室 S=1/100

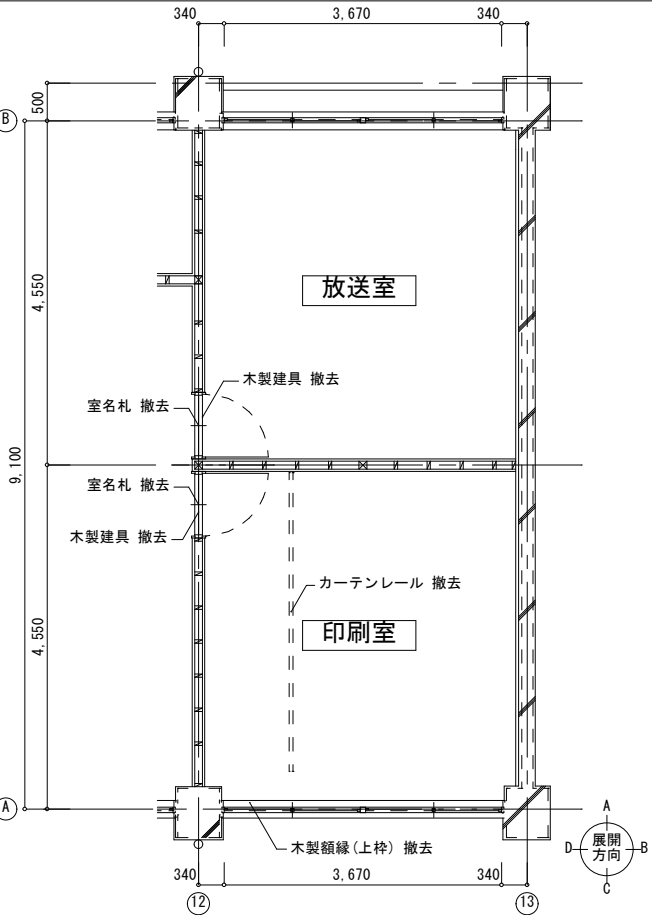


室名	職員室	(改修後)
天井	仕上	化粧PB t=9.5 (準不燃)
	下地	LGS下地
壁	仕上	A面 LGS下地 強化PB t=12.5 + ケイ加板 t=6.0 EPG塗装 一部:揭示板 一部:耐水合板 t=12.0(直張工法) メラミン不燃化粧板
		B面 LGS(W=100)下地 強化PB t=12.5 + ケイ加板 t=6.0 EPG塗装
		C面 揭示板 既存下地調整 EPG塗装
		D面 木調縁新設 PB t=9.5 EPG塗装 木調縁新設 黒板
		梁型・柱型 既存下地調整 EPG塗装 梁型(外壁側) PB t=9.5(直張工法) EPG塗装
巾木	仕上	ビニル巾木 H=75
床	仕上	ビニル床シート t=2.0
	下地	下地調整
備考	※防火上主要な間仕切壁は スラブ下まで達せしめること ※既存流用:曲面黒板 (一時撤去・復旧・張替え・枠塗替え) ※設備品取付下地は打合せのこと	

改修後 展開図 職員室 S=1/100



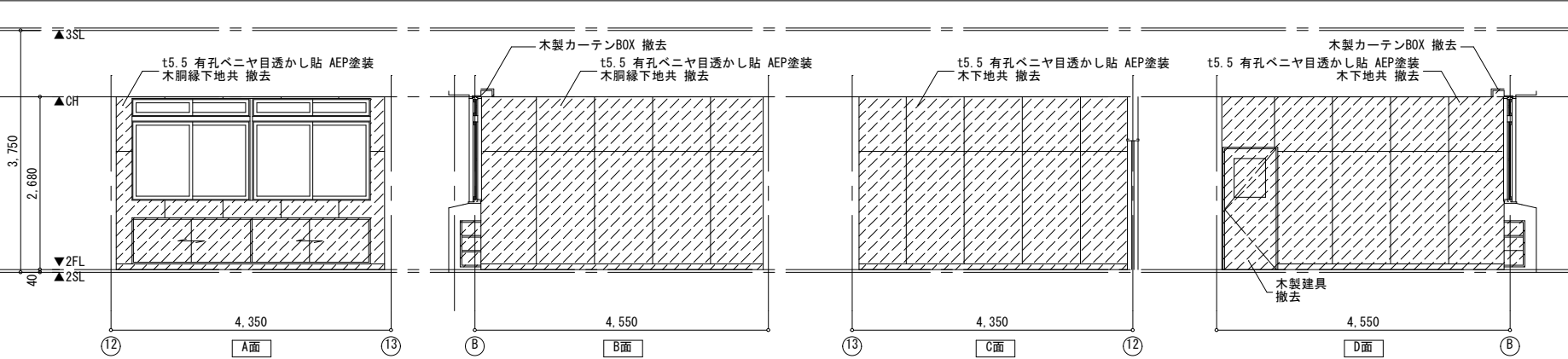
改修前 平面詳細図 放送室・印刷室 S=1/100



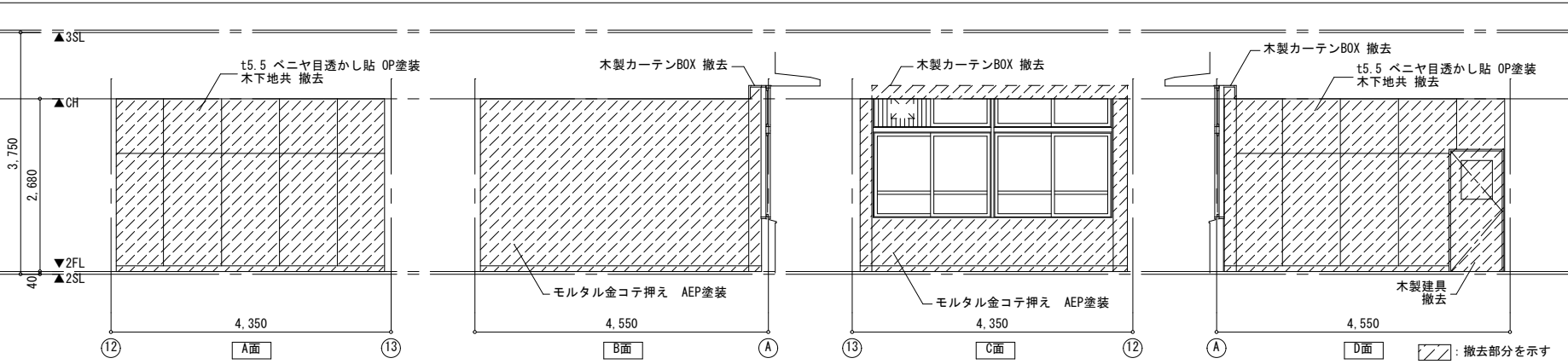
室名	放送室
天井	仕上 PB t=9.0 + 着色ヒル石吹付 (撤去) 下地 軽天下地 (撤去)
壁	仕上 A面・B面 木胴縁下地 t=5.5 有孔ベニヤ目透かし貼 AEP塗装 ※木胴縁下地共撤去 C面・D面 木下地 t=5.5 有孔ベニヤ目透かし貼 AEP塗装 ※木下地共撤去
巾木	仕上 木製巾木 H=90 OP塗装 ※撤去
床	仕上 モザイクパーケット貼 フロアーオイル2回塗 ※撤去 下地 モルタルコテ押え
備考	※AEP塗装: アスベスト含有の為除去

室名	印刷室
天井	仕上 t=9.0 岩綿吸音板 (撤去) 下地 軽天下地 (撤去)
壁	仕上 A面・D面 木下地 t=5.5 ベニヤ目透かし貼 OP塗装 ※木下地共撤去 B面・C面 モルタル金コテ押え AEP塗装 柱型 モルタル金コテ押え AEP塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=90 OP塗装 ※撤去
床	仕上 モザイクパーケット貼 フロアーオイル2回塗 ※撤去 下地 モルタルコテ押え
備考	※AEP塗装: アスベスト含有の為除去

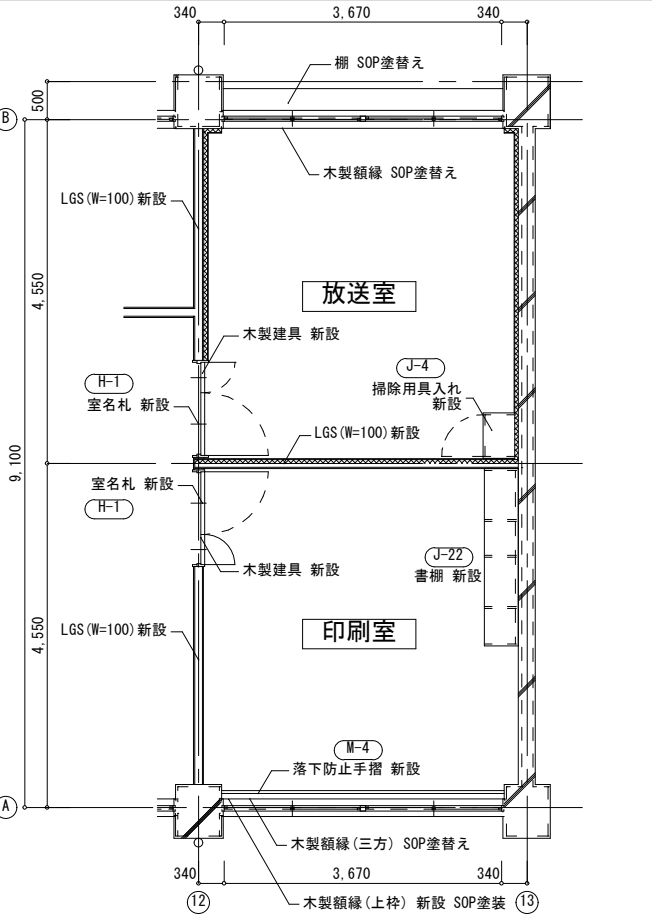
改修前 展開図 放送室



改修前 展開図 印刷室



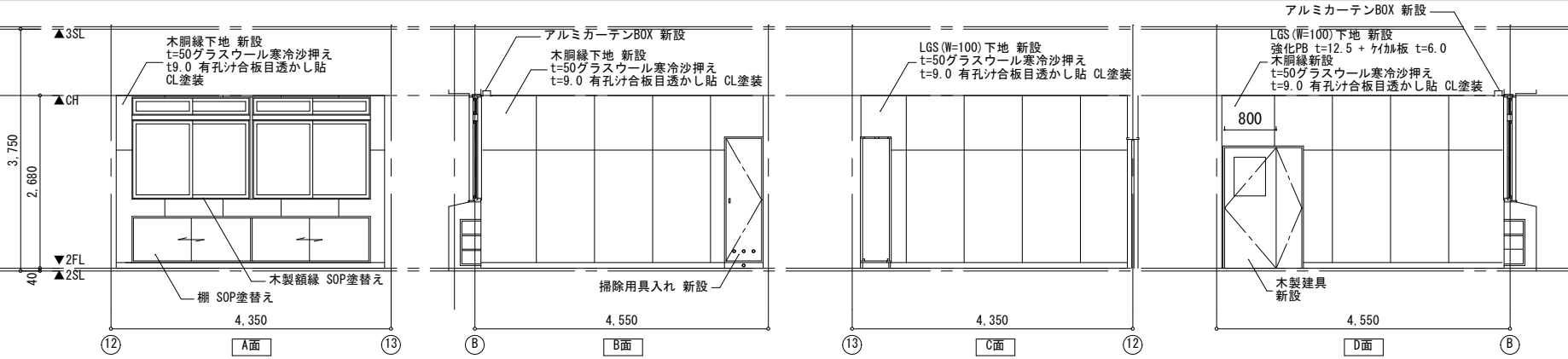
改修後 平面詳細図 放送室・印刷室 S=1/100



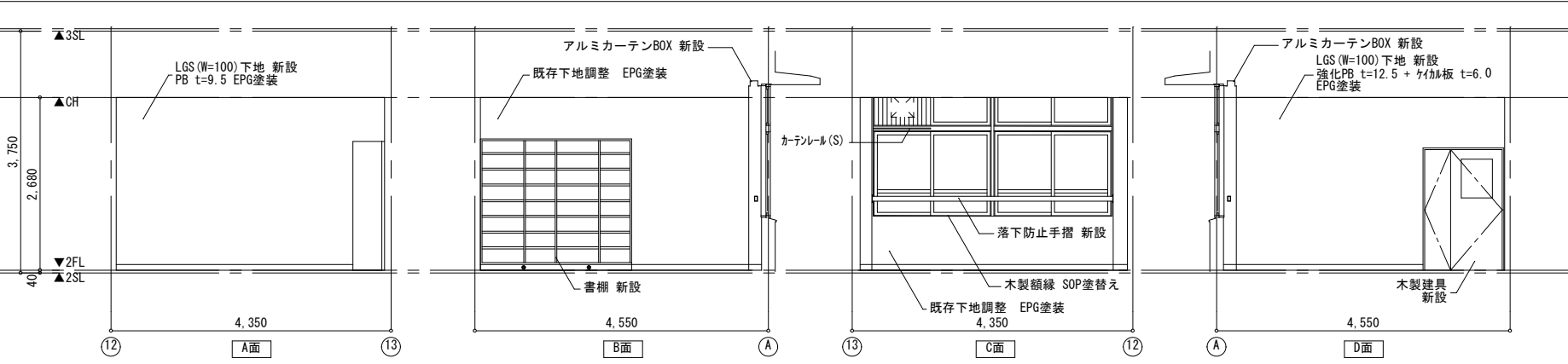
室名	放送室
天井	仕上 PB t=9.5 (準不燃) + 岩綿吸音板 t=9.0 下地 LGS下地
壁	仕上 A面・B面 木胴縁下地新設 t=50グラスウール寒冷沙押え t=9.0 有孔け合板目透かし貼 CL塗装 C面 LGS (W=100) 下地 t=50グラスウール寒冷沙押え t=9.0 有孔け合板目透かし貼 CL塗装 D面 LGS (W=100) 下地 強化PB t=12.5 + ケイ加板 t=6.0 木胴縁新設 t=50グラスウール寒冷沙押え t=9.0 有孔け合板目透かし貼 CL塗装
巾木	仕上 木製巾木 H=90 CL塗装
床	仕上 ビニル床シート t=2.0 下地 既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切壁は スラブ下まで達せしめること ※t=50グラスウール寒冷沙押え スラブ下まで達せしめること ※設備品取付下地は打合せのこと

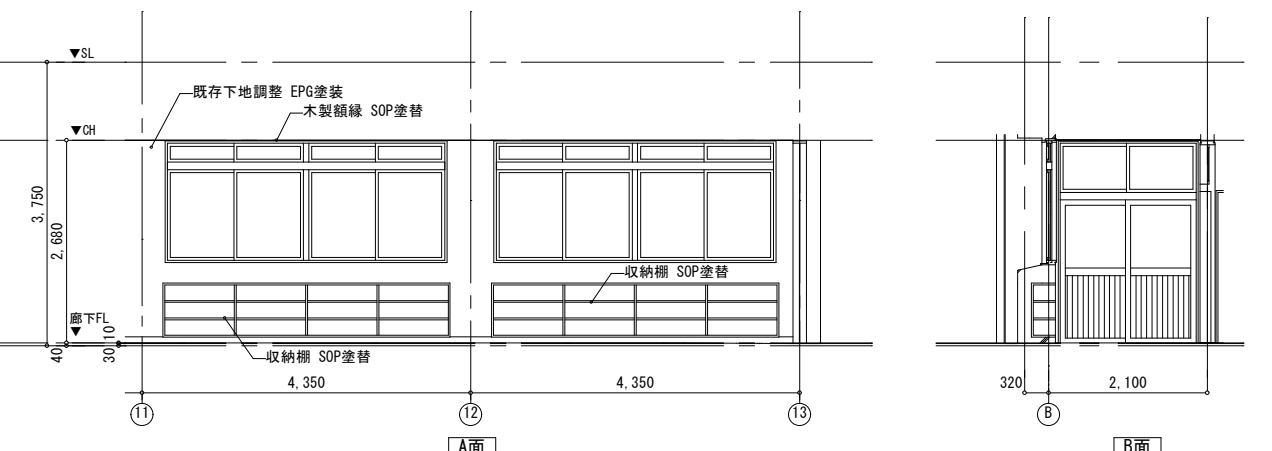
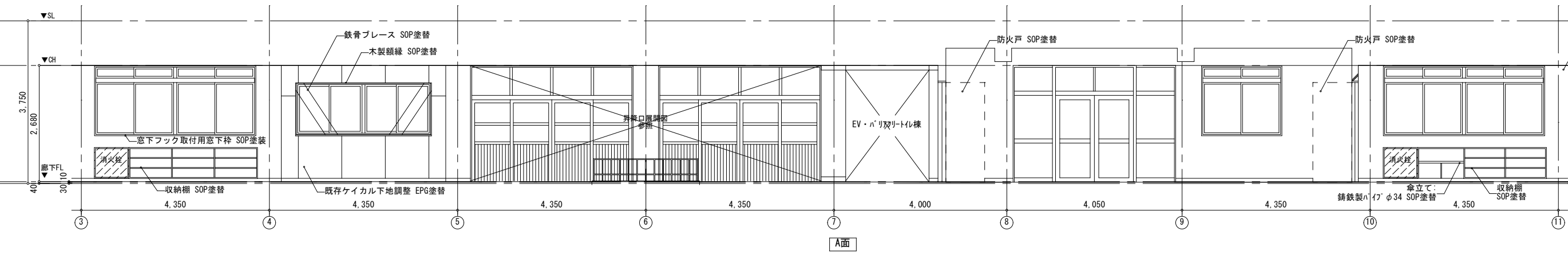
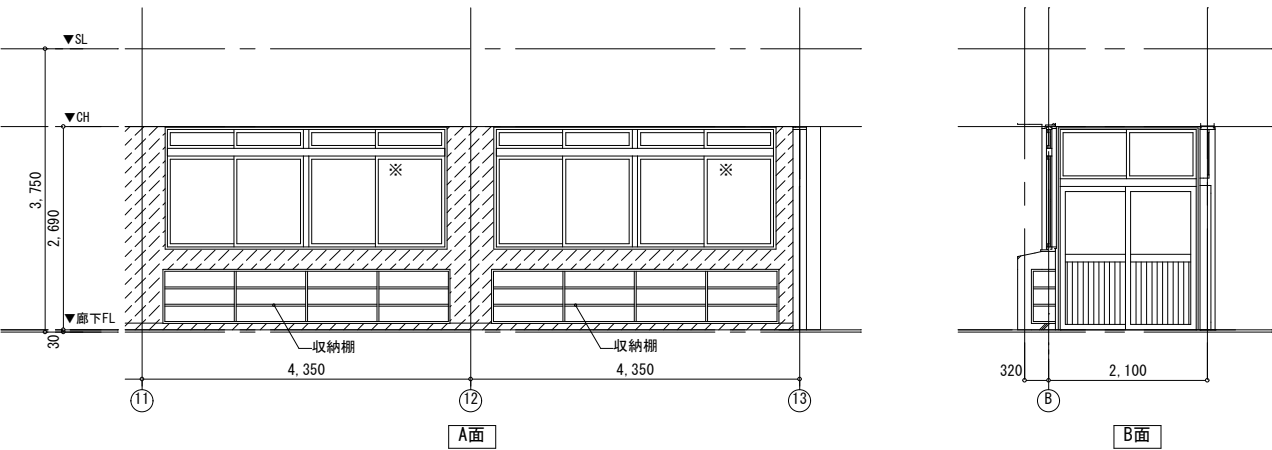
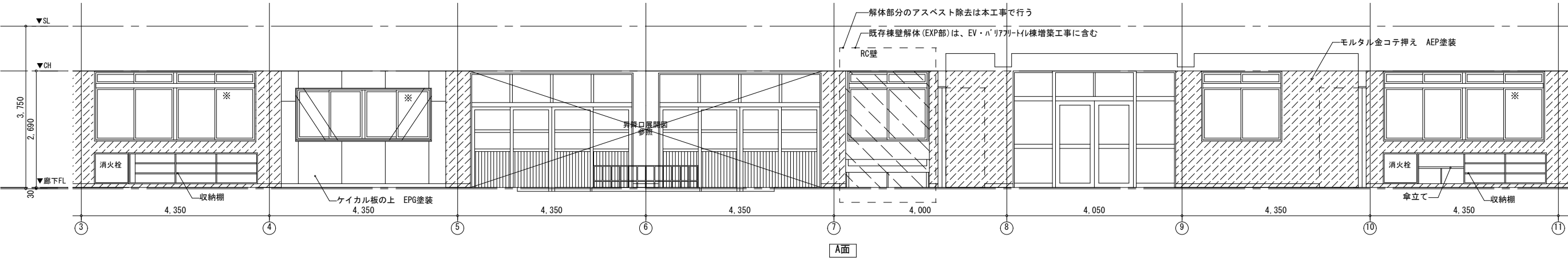
室名	印刷室
天井	仕上 化粧PB t=9.5 (準不燃) 下地 LGS下地
壁	仕上 A面 LGS (W=100) 下地 PB t=9.5 + EPG塗装 B面・C面 既存下地調整 EPG塗装 D面 LGS (W=100) 下地 強化PB t=12.5 + ケイ加板 t=6.0 EPG塗装 柱型 既存下地調整 EPG塗装 梁型 (外壁側) PB t=9.5 (直張工法) EPG塗装
巾木	仕上 ビニル巾木 H=75
床	仕上 ビニル床シート t=2.0 下地 既存下地調整
備考	※防火上主要な間仕切壁は スラブ下まで達せしめること ※設備品取付下地は打合せのこと

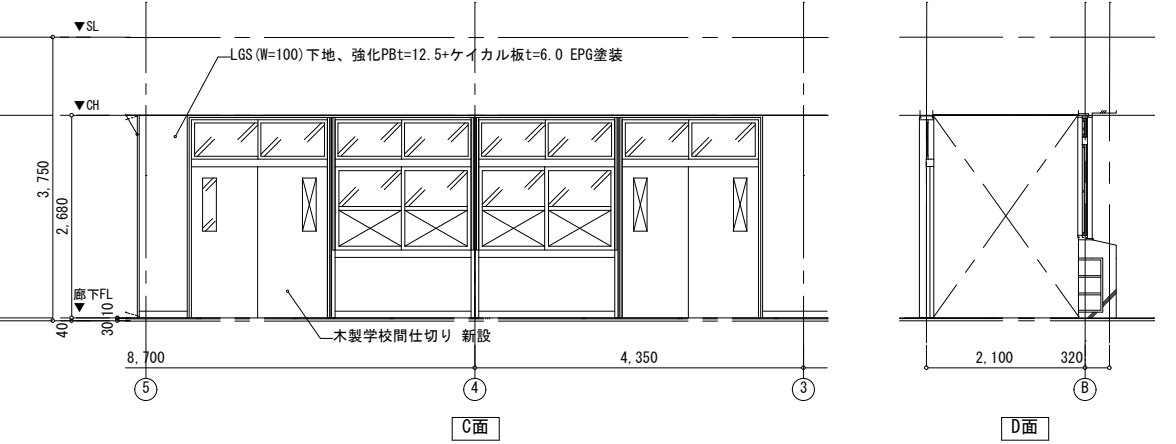
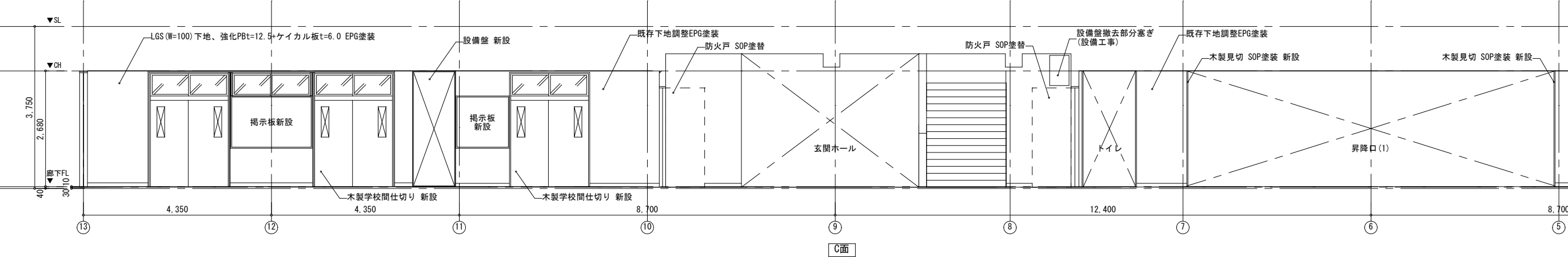
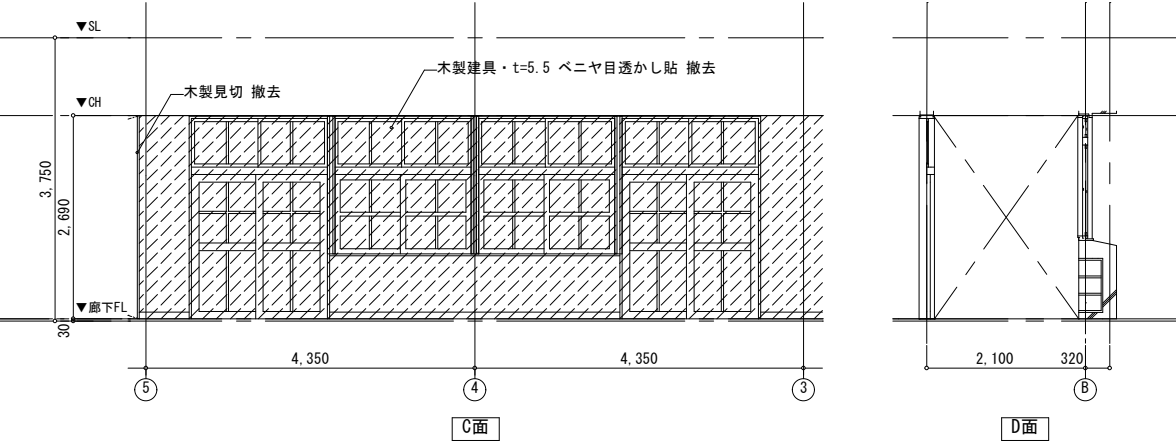
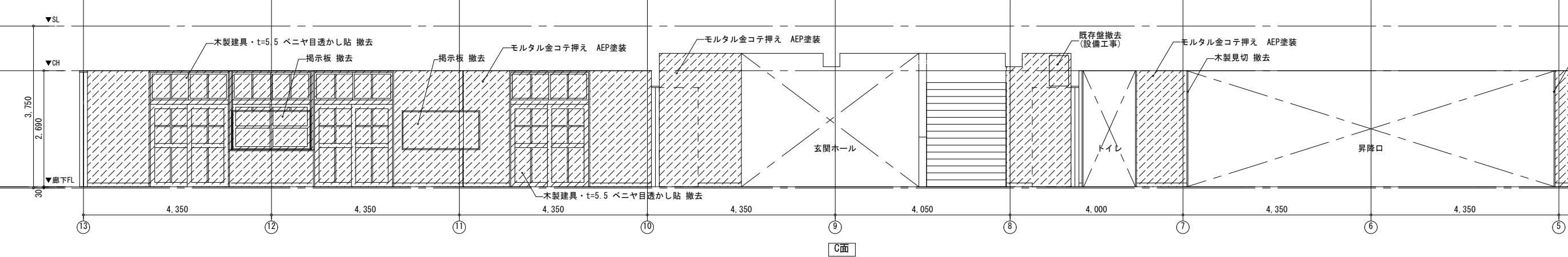
改修後 展開図 放送室

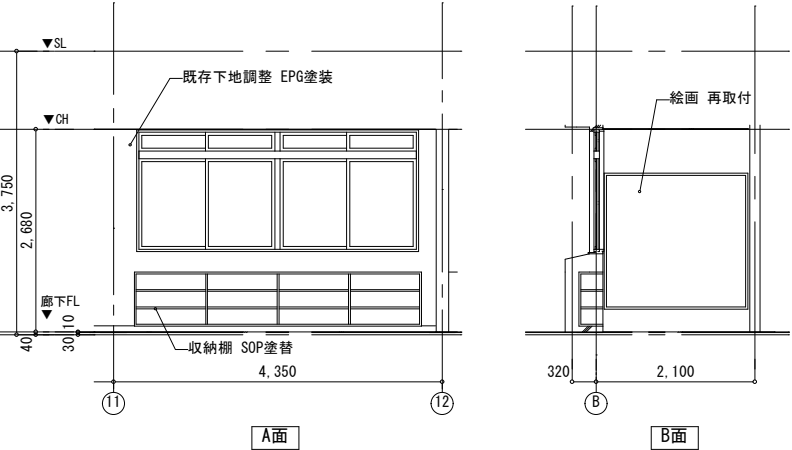
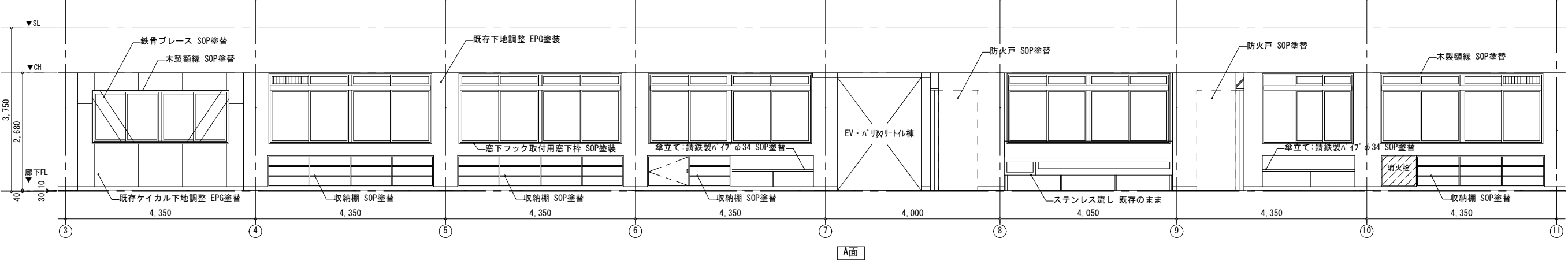
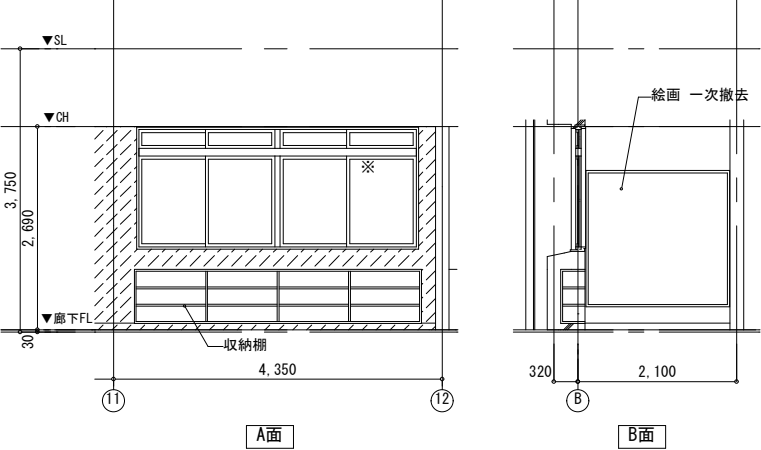
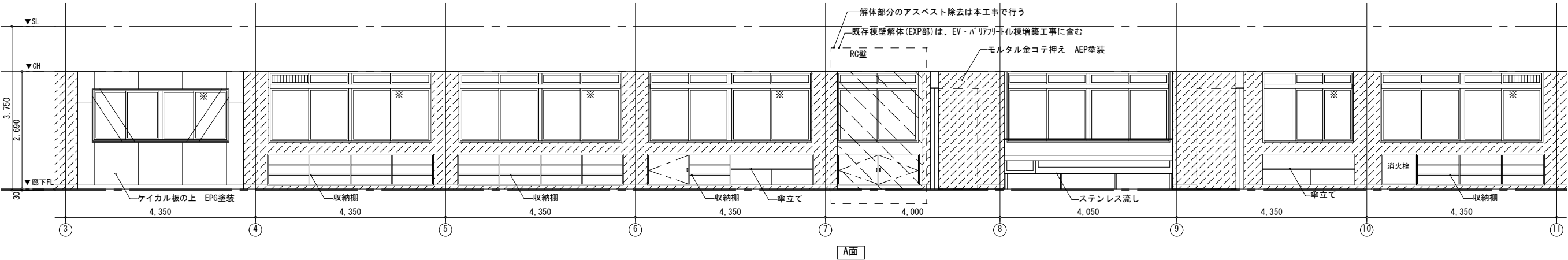


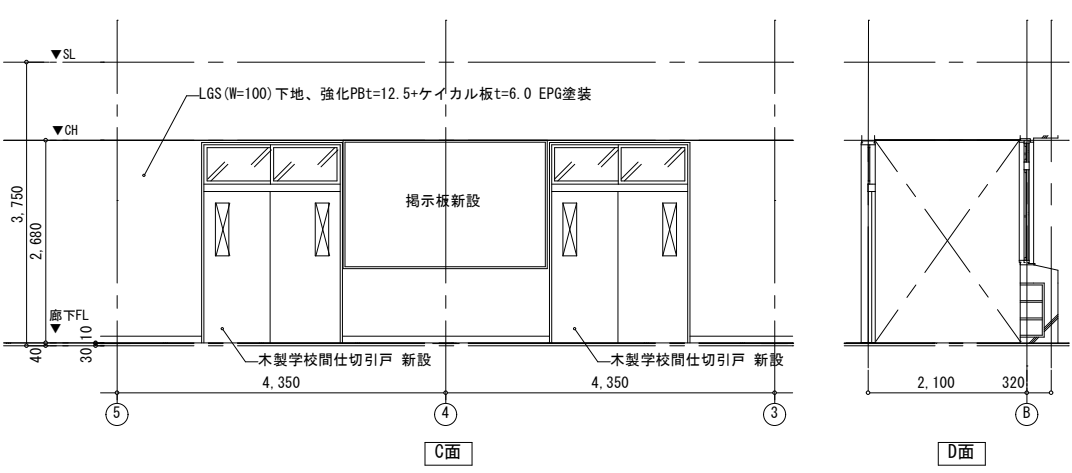
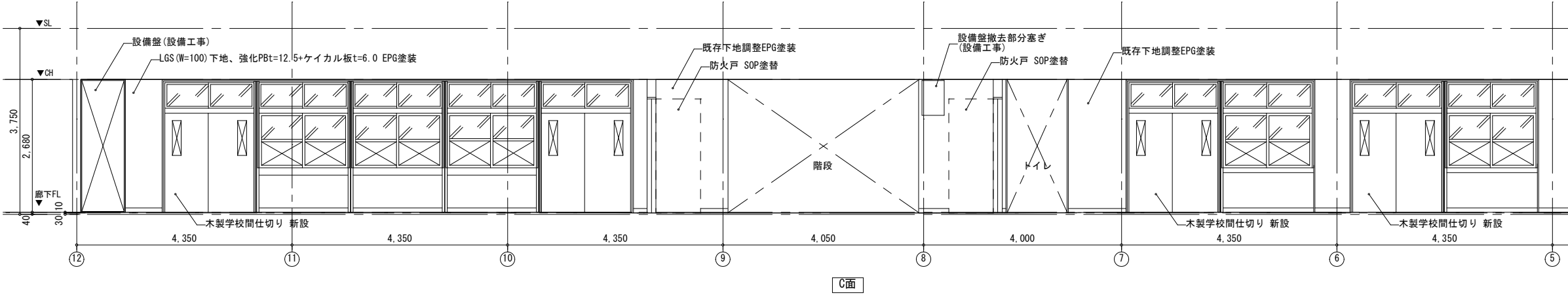
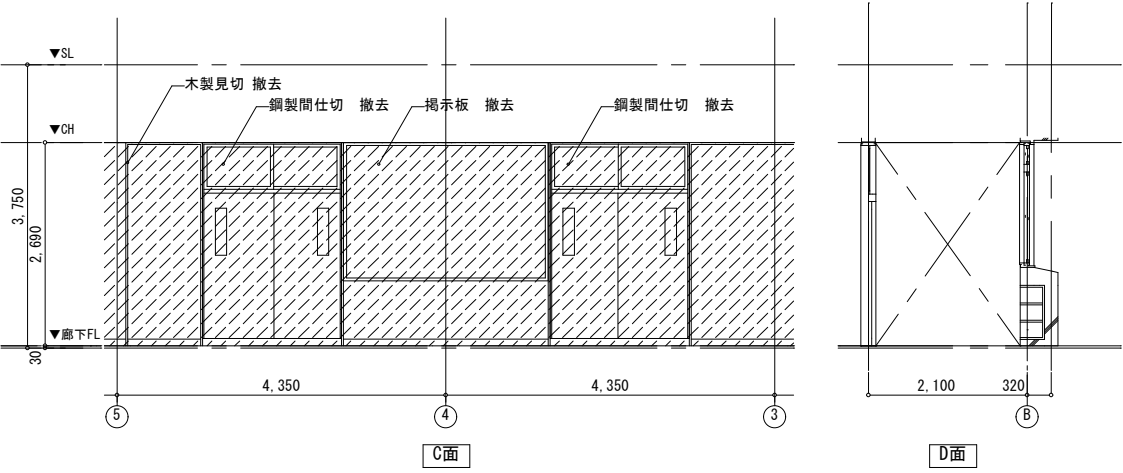
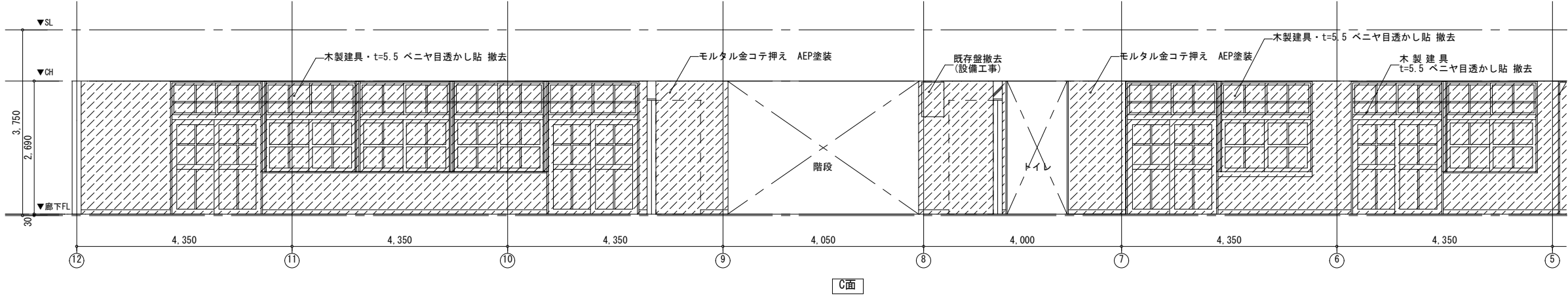
改修後 展開図 印刷室





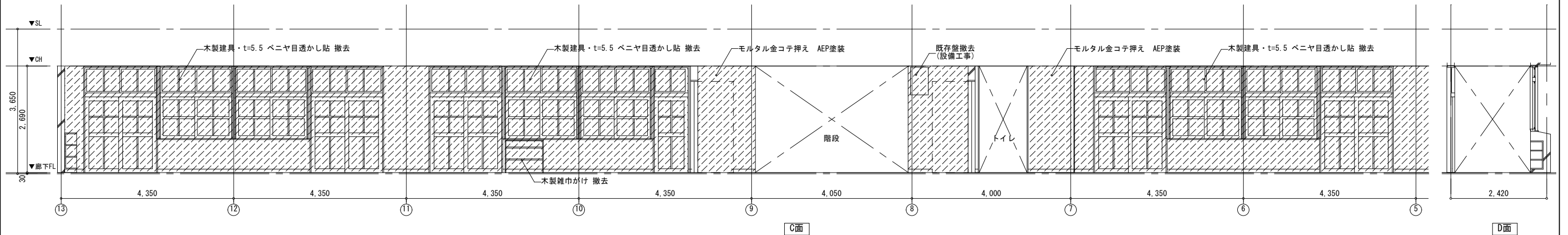
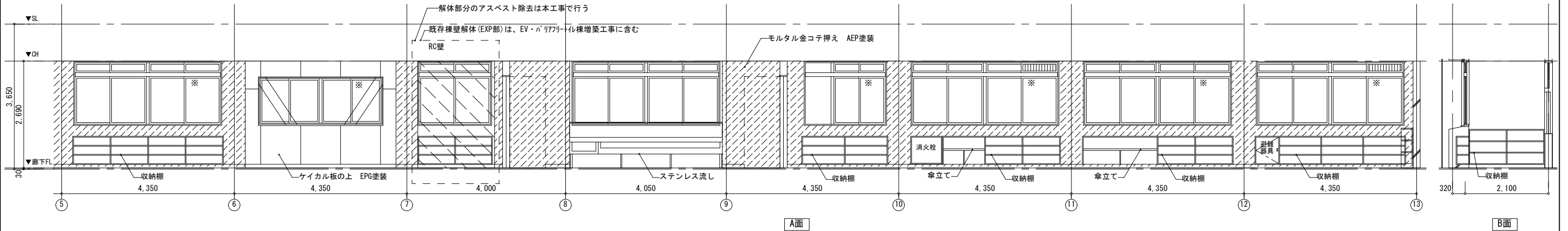




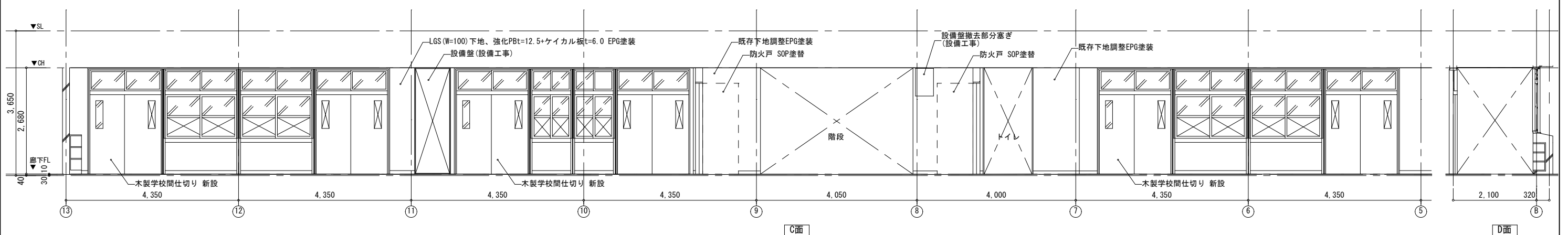
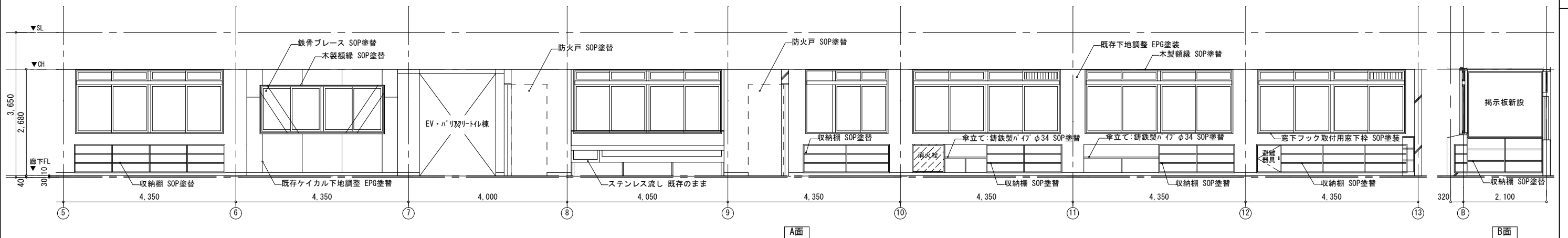


改修前 展開図 (S=1/100)

※印については降灰フィルター枠撤去を示す。 注：AEP塗装：アスベスト含有の為、除去

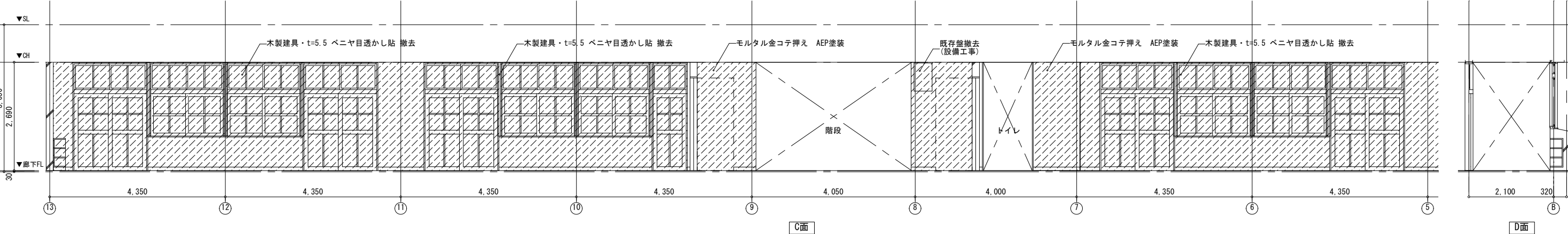
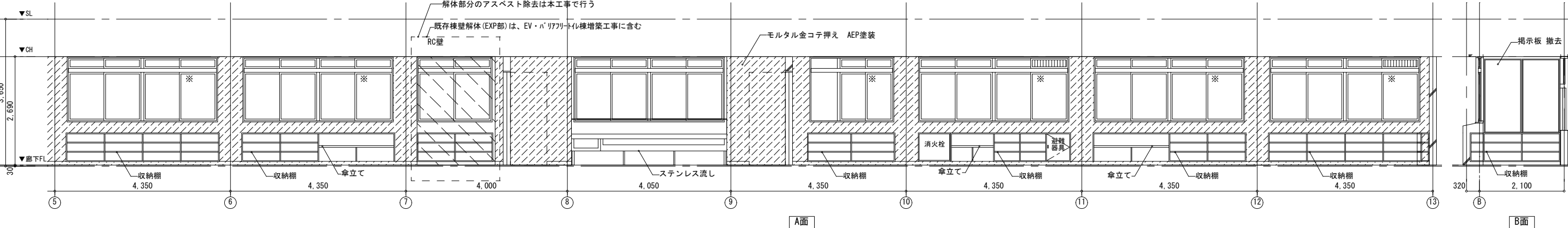


改修後 展開図 (S=1/100)

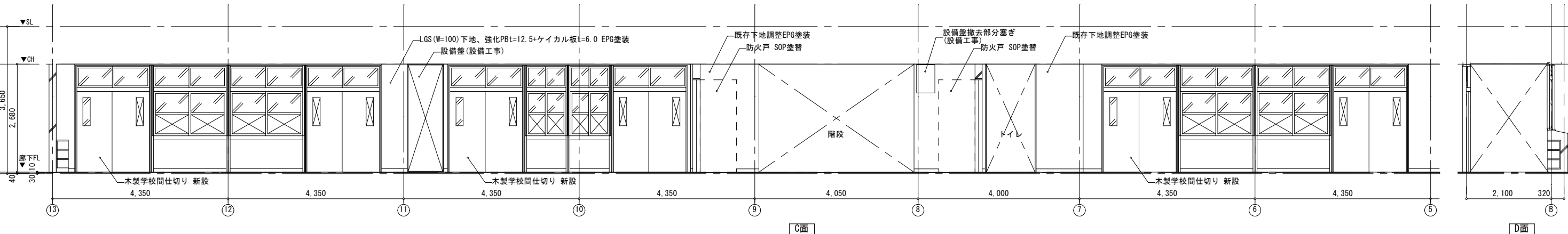
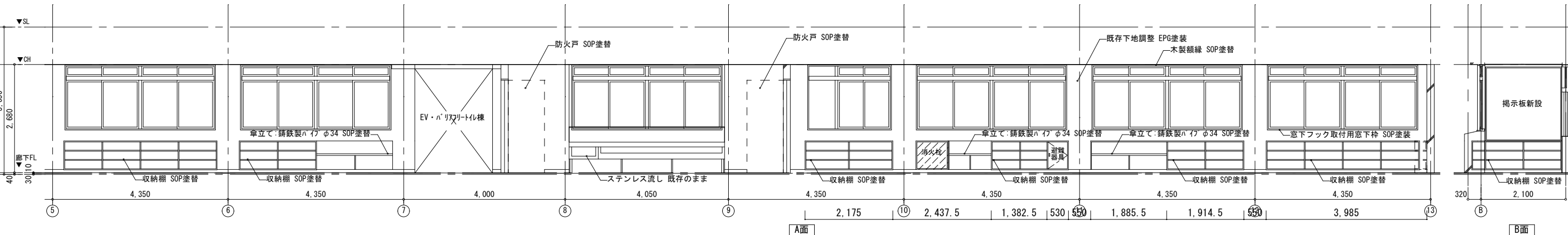


改修前 展開図 (S=1/100)

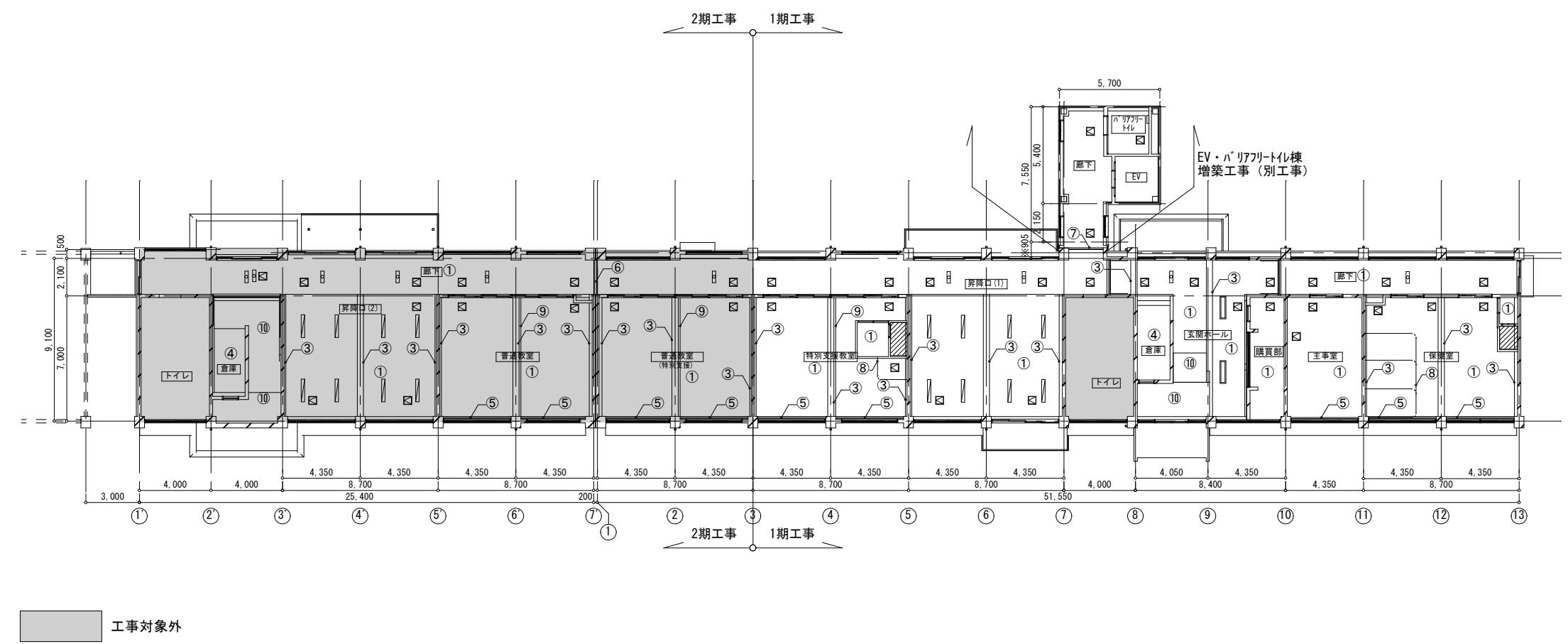
※印については降灰フィルター枠撤去を示す。 注：AEP塗装：アスベスト含有の為、除去



改修後 展開図 (S=1/100)



改修後 1階天井伏図 S=1/300

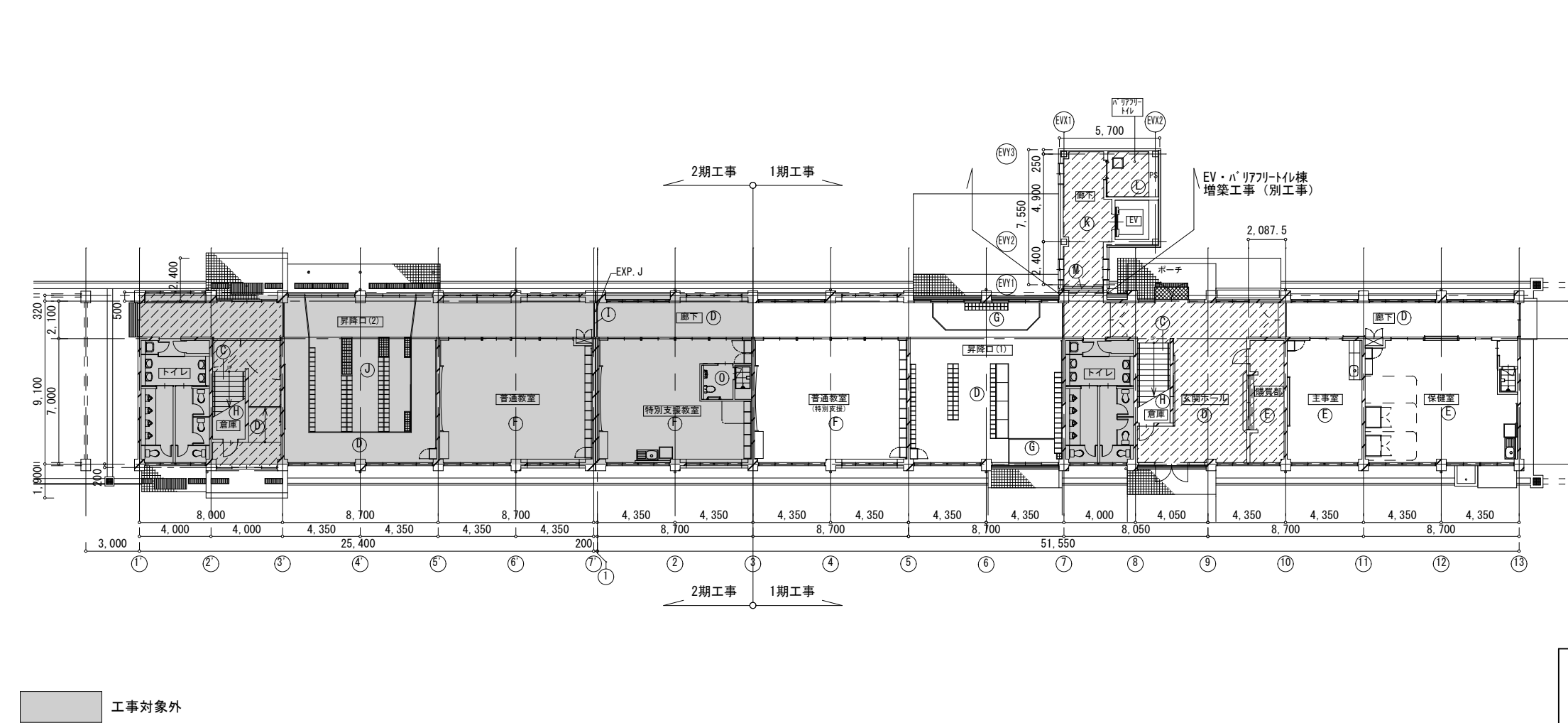


番号	概要	備考
①	仕上 化粧PB t=9.5(準不燃)	
	下地 LGS下地新設	
②	仕上 PB t=9.5(準不燃)の上 岩綿吸音板 t=9.0	
	下地 LGS下地新設	
③	仕上 EPG塗装	
	下地 既存下地調整	
④	仕上 既存のまま	
	下地 ----	
⑤	仕上 アルミ製カーテンボックス(Wカーテンレール付)	
	下地 ----	
⑥	仕上 EXP. J金物 既存のまま	
	下地 ----	
⑦	仕上 EXP. J金物 新設	
	下地 ----	
⑧	仕上 吊りカーテンレール	
	下地 ----	
⑨	仕上 カーテンレール	
	下地 ----	
⑩	仕上 内装薄塗材E吹付	
	下地 モルタル刷毛引きの上シリカ系リシン吹付	
☒	天井点検口 450角 アルミ製、仕上は天井仕上材と同じ	23ヶ所
凡例 変図 	壁点検口 300角 アルミ製、仕上は壁仕上材と同じ	0ヶ所
□	埋込照明器具開口補強 650×190	4ヶ所
▨	埋込照明器具開口補強 1270×190	8ヶ所
▩	埋込照明器具開口補強 1270×330	2ヶ所
⊠	空調室内機開口補強 1000×1000	0ヶ所

※天井点検口及び開口補強の位置は設備業者と打合せの上、監督員の承諾を得ること。
※天井見切縁は全て塩ビ製とする。

[既存天井点検口] 600角：1ヶ所 450角：10ヶ所 撤去

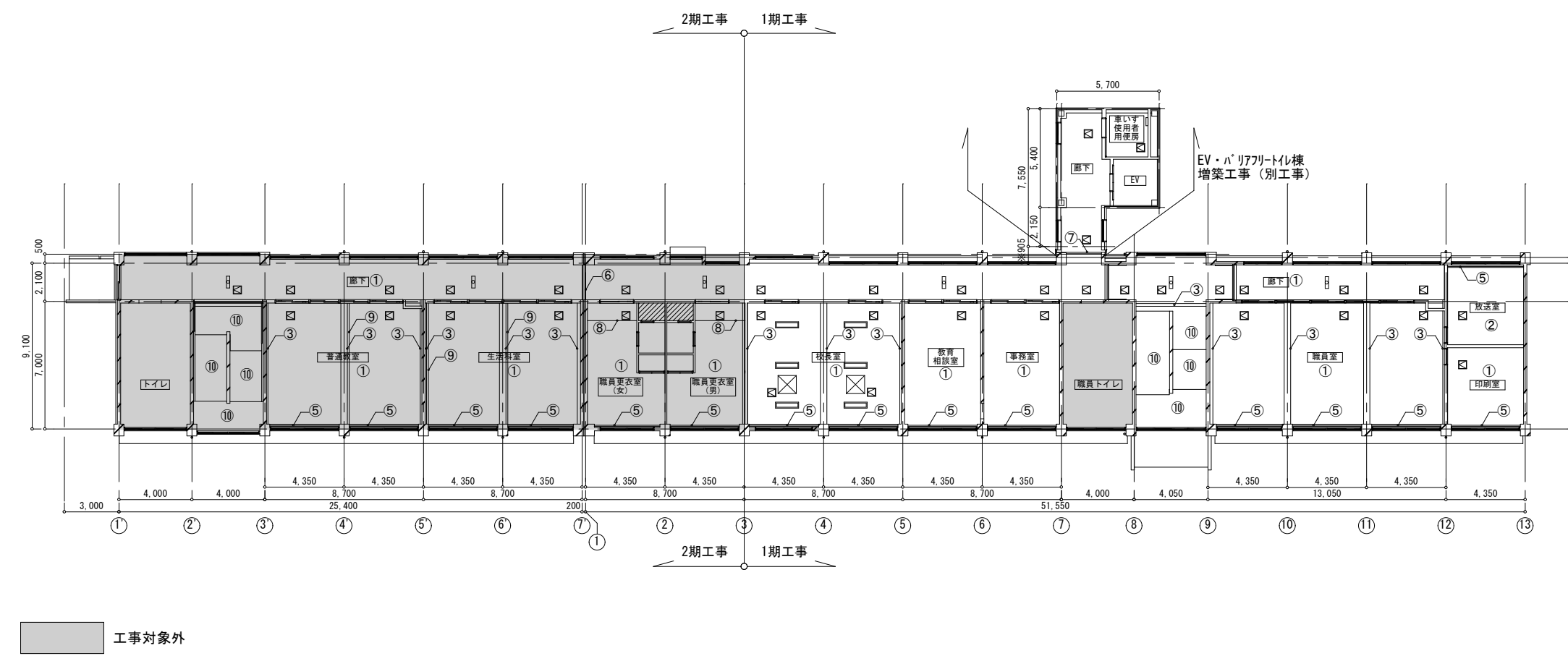
改修後 1階床伏図 S=1/300



番号	概要	備考
A	仕上 ビニル床シート t=2.0(木目調)	
	下地 既存床仕上撤去下地調整	
B	仕上 ビニル床シート t=2.0	
	下地 既存床仕上撤去下地調整	
C	仕上 防滑性ビニル床シート t=2.0	廊下中央部は ライン張り分け
	下地 既存床仕上撤去下地調整	
D	仕上 アンダーレイシート t=5.0+防滑性ビニル床シート t=2.0	廊下中央部は ライン張り分け
	下地 既存床仕上撤去下地調整	
E	仕上 アンダーレイシート t=5.0+ビニル床シート t=2.0	
	下地 既存床仕上撤去下地調整	
F	仕上 アンダーレイシート t=5.0+ビニル床シート t=2.0(木目調)	
	下地 既存床仕上撤去下地調整	
G	仕上 土間コンクリート増し打ち 100角磁器質タイル	
	下地 既存タイル(モルタル共)撤去下地調整	
H	仕上 既存のまま	
	下地 ----	
I	仕上 EXP. J金物 既存のまま	
	下地 ----	
J	仕上 100角磁器質タイル	
	下地 既存タイル撤去下地調整	
K	仕上 防滑性ビニル床シート t=2.0	
	下地 防水モルタル下地	
L	仕上 抗菌・防滑性ビニル床シート(トイレ用) t=2.0	
	下地 防水モルタル下地	
M	仕上 EXP. J金物 新設	
	下地 ----	
N	仕上 ビニル床シート t=2.0の上、置き畳	
	下地 既存床仕上撤去下地調整	
O	仕上 アンダーレイシート t=5.0+抗菌・防滑性ビニル床シート(トイレ用) t=2.0	
	下地 乾式床組	

□ : 床下点検口を示す。
▨ : FL=SL+30の範囲とする。
※その他特記なき限りFL=SL+40とする。
※フロア高さが変更となる部分は、段差解消の為、適宜下地調整を行う。

改修後 2階天井伏図 S=1/300

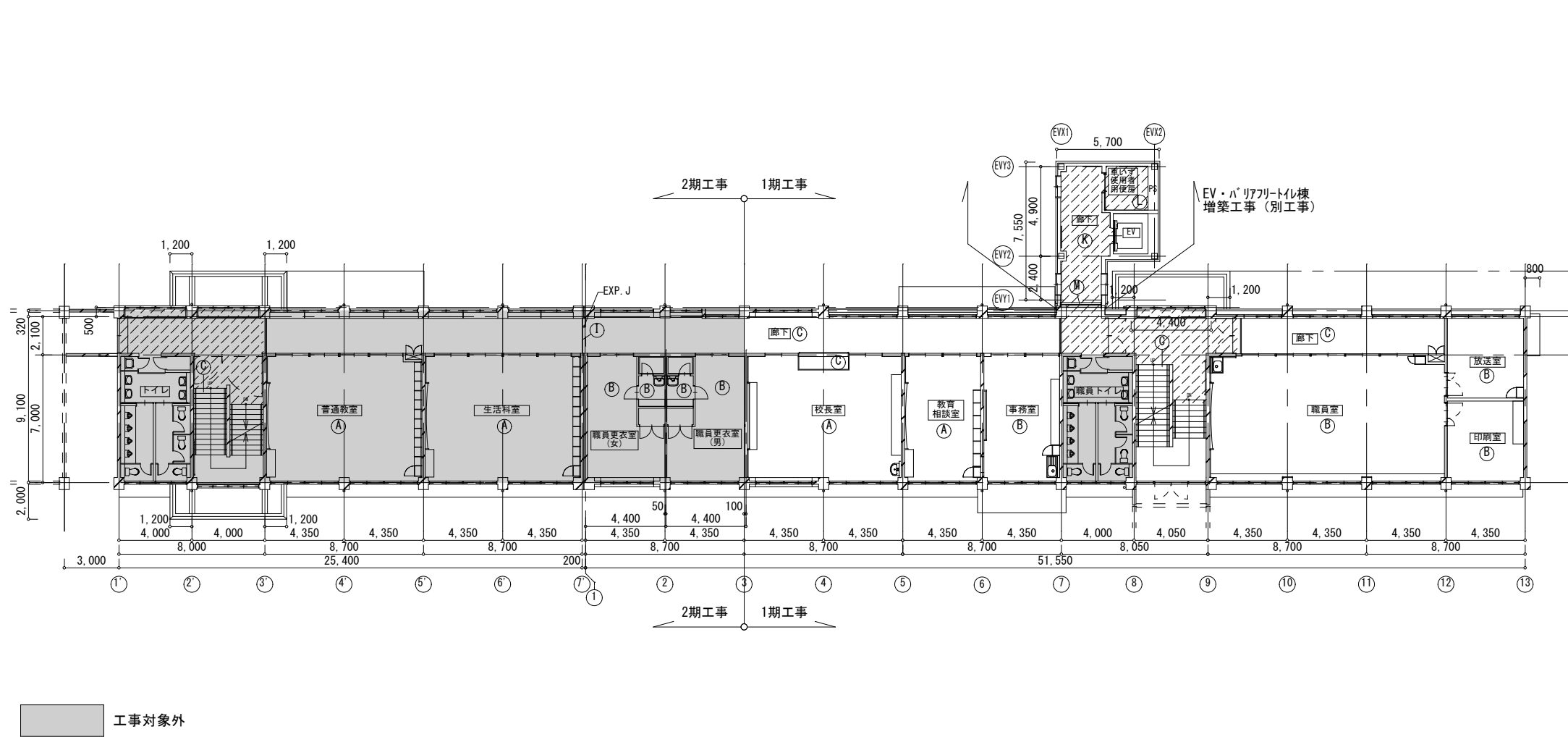


番号	概要	備考
①	仕上 化粧PB t=9.5(準不燃) 下地 LGS下地新設	
②	仕上 PB t=9.5(準不燃)の上 岩棉吸音板 t=9.0 下地 LGS下地新設	
③	仕上 EPG塗装 下地 既存下地調整	
④	仕上 既存のまま 下地 ----	
⑤	仕上 アルミ製カーテンボックス(Wカーテンレール付) 下地 ----	
⑥	仕上 EXP. J金物 既存のまま 下地 ----	
⑦	仕上 EXP. J金物 新設 下地 ----	
⑧	仕上 吊りカーテンレール 下地 ----	
⑨	仕上 カーテンレール 下地 ----	
⑩	仕上 内装薄塗材E吹付 下地 モルタル刷毛引きの上シリカ系リシン吹付	
□	天井点検口 450角 アルミ製、仕上は天井仕上材と同じ	22ヶ所
凡例 ①	壁点検口 300角 アルミ製、仕上は壁仕上材と同じ	0ヶ所
□	埋込照明器具開口補強 650×190	3ヶ所
□	埋込照明器具開口補強 1270×190	0ヶ所
□	埋込照明器具開口補強 1270×330	6ヶ所
□	空調室内機開口補強 1000×1000	2ヶ所

※天井点検口及び開口補強の位置は設備業者と打合せの上、監督員の承諾を得ること。
※天井見切縁は全て塩ビ製とする。

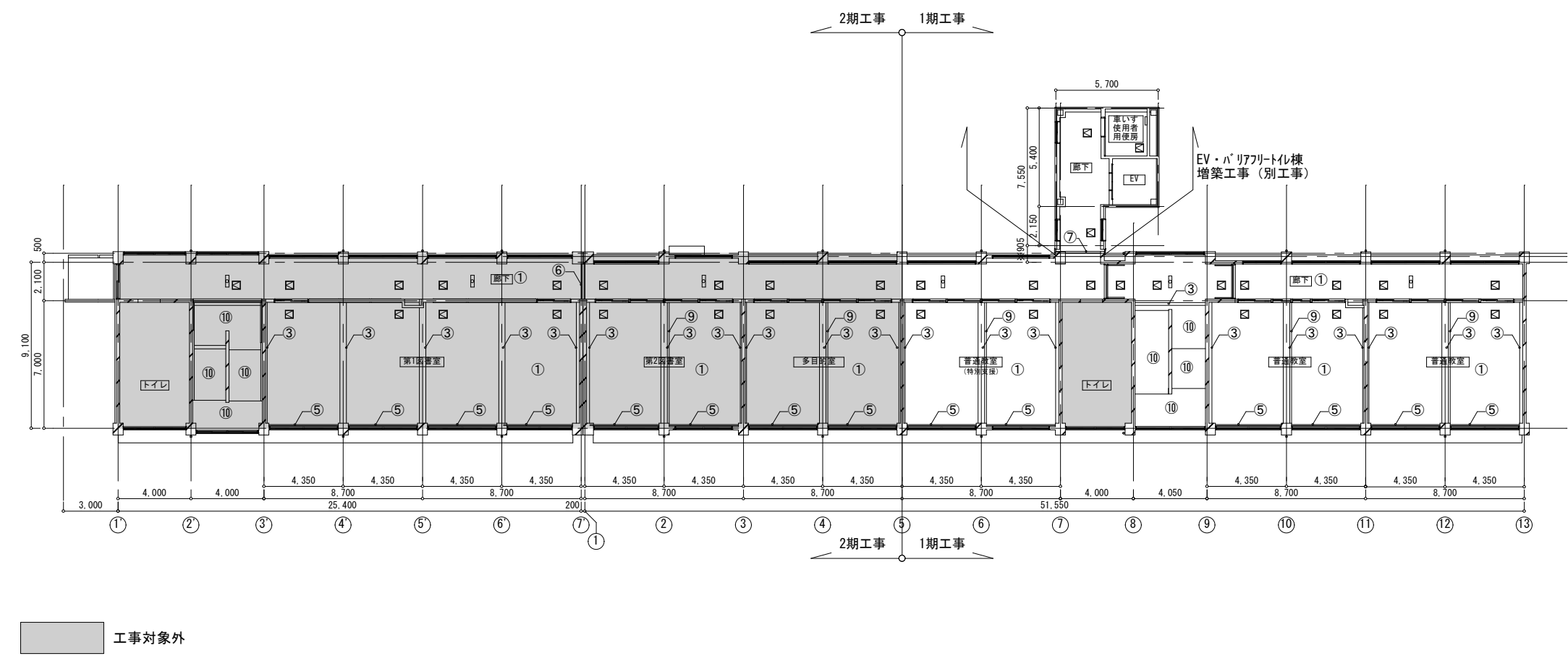
[既存天井点検口] 450角：8ヶ所 撤去

改修後 2階床伏図 S=1/300



番号	概要	備考
Ⓐ	仕上 ビニル床シート t=2.0(木目調) 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓑ	仕上 ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓒ	仕上 防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	廊下中央部は ライン張り分け
Ⓓ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	廊下中央部は ライン張り分け
Ⓔ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓕ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+ビニル床シート t=2.0(木目調) 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓖ	仕上 土間コンクリート増し打ち 100角磁器質タイル 下地 既存タイル(モルタル共)撤去下地調整	
Ⓗ	仕上 既存のまま 下地 ----	
①	仕上 EXP. J金物 既存のまま 下地 ----	
Ⓙ	仕上 100角磁器質タイル 下地 既存タイル撤去下地調整	
Ⓚ	仕上 防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 防水モルタル下地	
Ⓛ	仕上 抗菌・防滑性ビニル床シート(トイレ用) t=2.0 下地 防水モルタル下地	
Ⓜ	仕上 EXP. J金物 新設 下地 ----	
Ⓝ	仕上 ビニル床シート t=2.0の上、置き畳 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓤ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+抗菌・防滑性ビニル床シート(トイレ用) t=2.0 下地 乾式床組	
□	床下点検口を示す。	
□	FL=SL+30の範囲とする。 ※その他特記なき限りFL=SL+40とする。 ※フロア高さが変更となる部分は、段差解消の為、適宜下地調整を行う。	

改修後 3階天井伏図 S=1/300

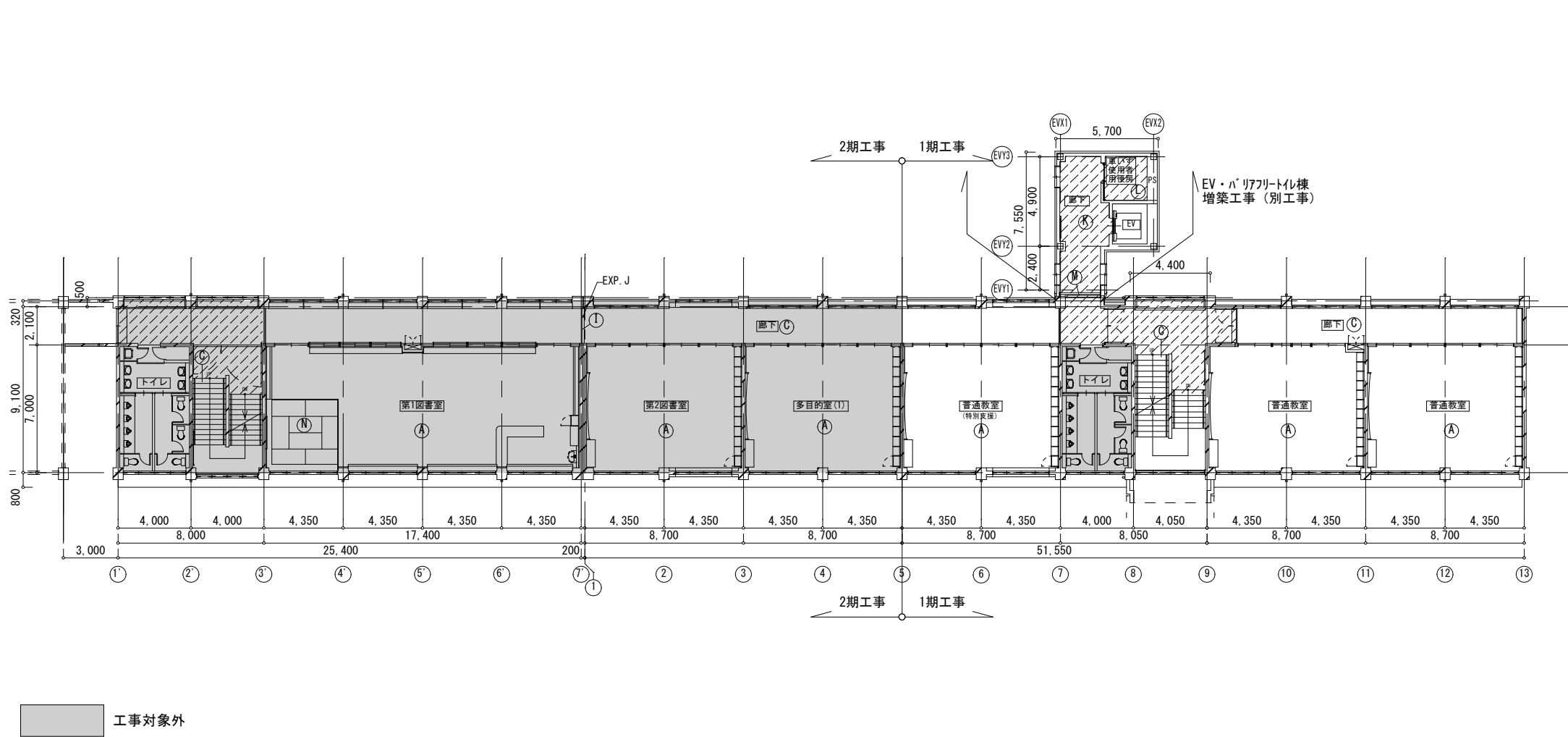


番号	概要	備考
①	仕上 化粧PB t=9.5(準不燃) 下地 LGS下地新設	
②	仕上 PB t=9.5(準不燃)の上 岩棉吸音板 t=9.0 下地 LGS下地新設	
③	仕上 EPG塗装 下地 既存下地調整	
④	仕上 既存のまま 下地 ---	
⑤	仕上 アルミ製カーテンボックス(Wカーテンレール付) 下地 ---	
⑥	仕上 EXP. J金物 既存のまま 下地 ---	
⑦	仕上 EXP. J金物 新設 下地 ---	
⑧	仕上 吊りカーテンレール 下地 ---	
⑨	仕上 カーテンレール 下地 ---	
⑩	仕上 内装薄塗材E吹付 下地 モルタル刷毛引きの上シリカ系リシン吹付	
☒	天井点検口 450角 アルミ製、仕上は天井仕上材と同じ	16ヶ所
凡例	壁面 壁点検口 300角 アルミ製、仕上は壁仕上材と同じ	0ヶ所
□	埋込照明器具開口補強 650×190	3ヶ所
▨	埋込照明器具開口補強 1270×190	0ヶ所
▨	埋込照明器具開口補強 1270×330	0ヶ所
☒	空調室内機開口補強 1000×1000	0ヶ所

※天井点検口及び開口補強の位置は設備業者と打合せの上、監督員の承諾を得ること。
※天井見切縁は全て塩ビ製とする。

〔既存天井点検口〕450角：11ヶ所 撤去

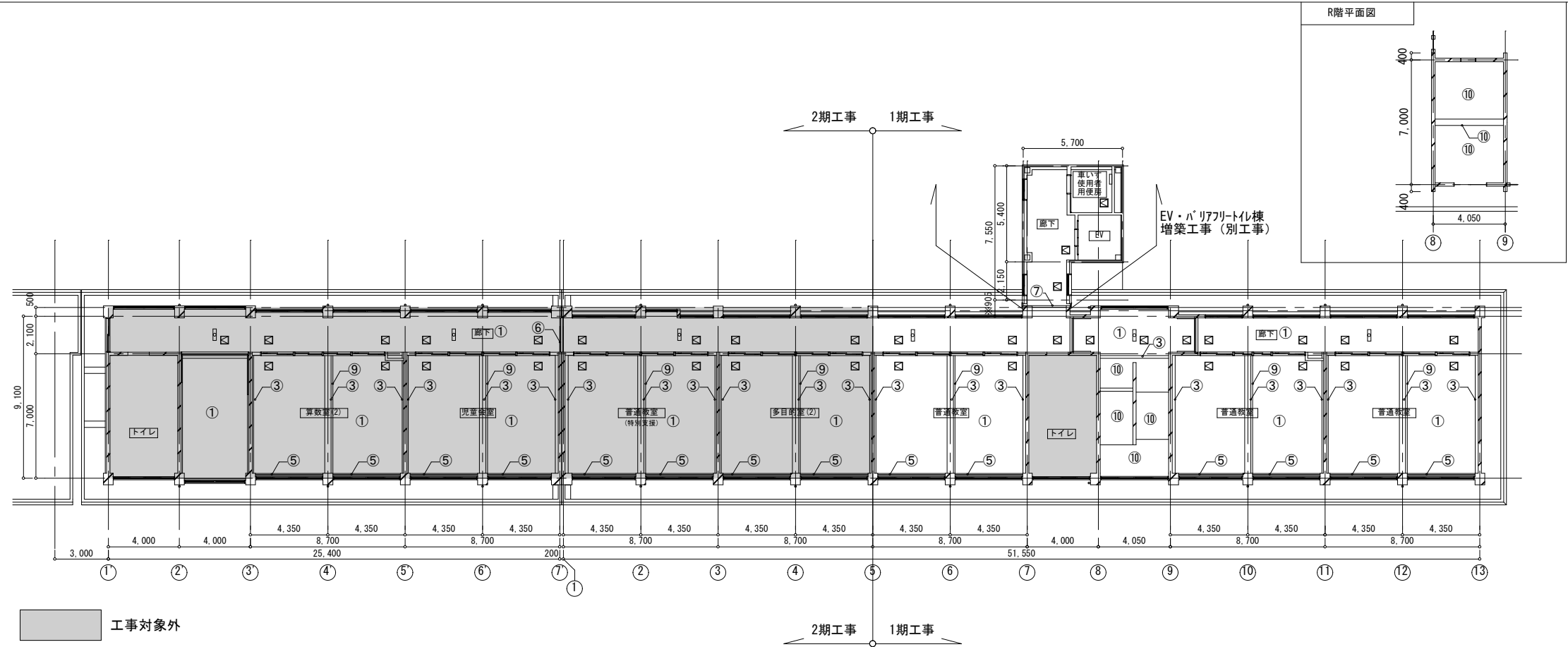
改修後 3階床伏図 S=1/300



番号	概要	備考
Ⓐ	仕上 ビニル床シート t=2.0(木目調) 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓑ	仕上 ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓒ	仕上 防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	廊下中央部は ライン張り分け
Ⓓ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	廊下中央部は ライン張り分け
Ⓔ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓕ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+ビニル床シート t=2.0(木目調) 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓖ	仕上 土間コンクリート増し打ち 100角磁器質タイル 下地 既存タイル(モルタル共)撤去下地調整	
Ⓗ	仕上 既存のまま 下地 ---	
Ⓘ	仕上 EXP. J金物 既存のまま 下地 ---	
Ⓙ	仕上 100角磁器質タイル 下地 既存タイル撤去下地調整	
Ⓚ	仕上 防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 防水モルタル下地	
Ⓛ	仕上 抗菌・防滑性ビニル床シート(トイレ用) t=2.0 下地 防水モルタル下地	
Ⓜ	仕上 EXP. J金物 新設 下地 ---	
Ⓝ	仕上 ビニル床シート t=2.0の上、置き畳 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓤ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+抗菌・防滑性ビニル床シート(トイレ用) t=2.0 下地 乾式床組	
□	床下点検口を示す。	
▨	FL=SL+30の範囲とする。 ※その他特記なき限りFL=SL+40とする。 ※フロア高さが変更となる部分は、段差解消の為、適宜下地調整を行う。	

株式会社 田代設計工房
一級建築士 第 145118 号
田代 昌弘

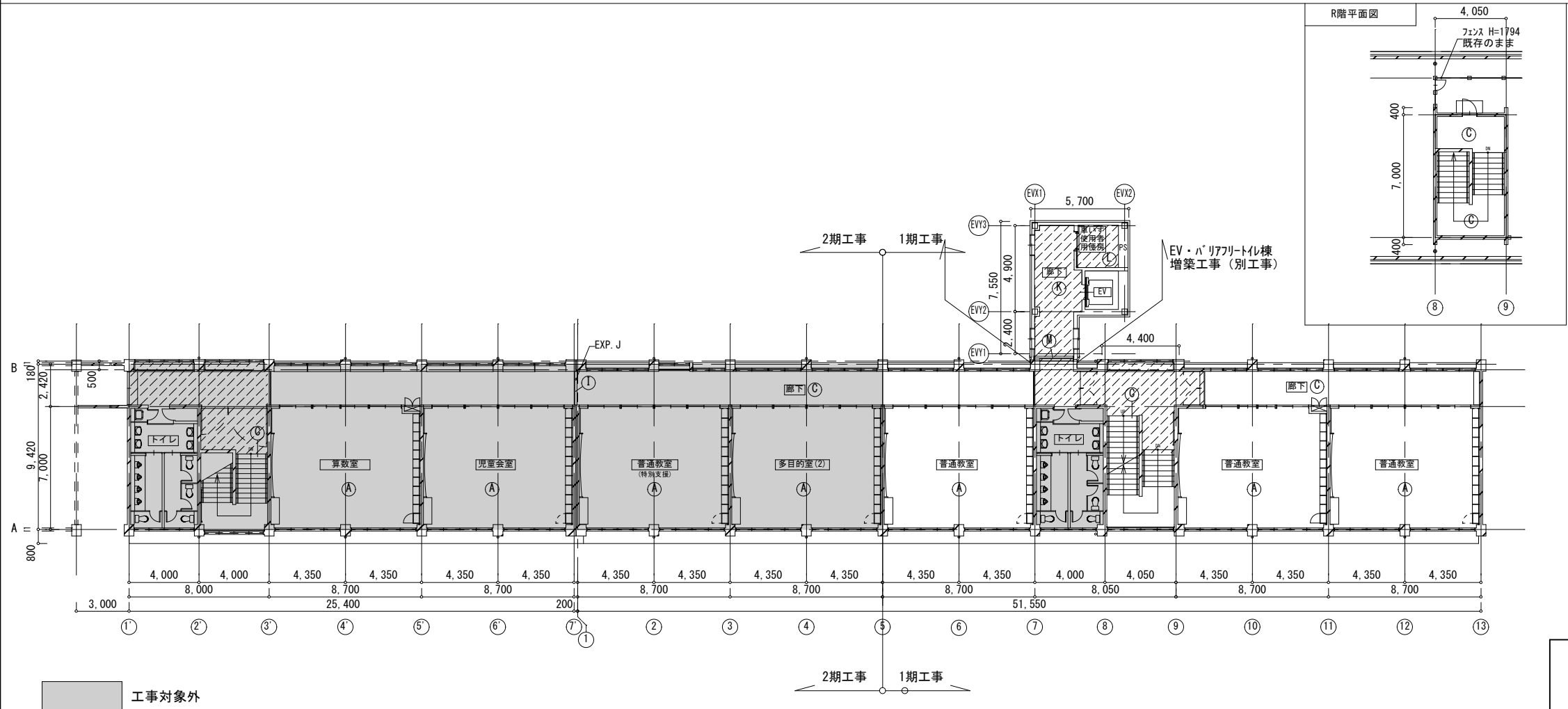
桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事
3階 天井伏図・床伏図
(改修後)
鹿児島市建設局建築部建築課
A-59



番号	概要	備考
①	仕上 化粧PB t=9.5(準不燃) 下地 LGS下地新設	
②	仕上 PB t=9.5(準不燃)の上 岩綿吸音板 t=9.0 下地 LGS下地新設	
③	仕上 EPG塗装 下地 既存下地調整	
④	仕上 既存のまま 下地 ---	
⑤	仕上 アルミ製カーテンボックス(Wカーテンレール付) 下地 ---	
⑥	仕上 EXP. J金物 既存のまま 下地 ---	
⑦	仕上 EXP. J金物 新設 下地 ---	
⑧	仕上 吊りカーテンレール 下地 ---	
⑨	仕上 カーテンレール 下地 ---	
⑩	仕上 内装薄塗材E吹付 下地 モルタル刷毛引きの上シリカ系リシン吹付	
☒	天井点検口 450角 アルミ製、仕上は天井仕上材と同じ	16ヶ所
凡例	壁面点検口 300角 アルミ製、仕上は壁仕上材と同じ	0ヶ所
□	埋込照明器具開口補強 650×190	3ヶ所
▨	埋込照明器具開口補強 1270×190	0ヶ所
▨	埋込照明器具開口補強 1270×330	0ヶ所
☒	空調室内機開口補強 1000×1000	0ヶ所

※天井点検口及び開口補強の位置は設備業者と打合せの上、監督員の承諾を得ること。
※天井見切縁は全て塩ビ製とする。

〔既存天井点検口〕450角：6ヶ所 撤去

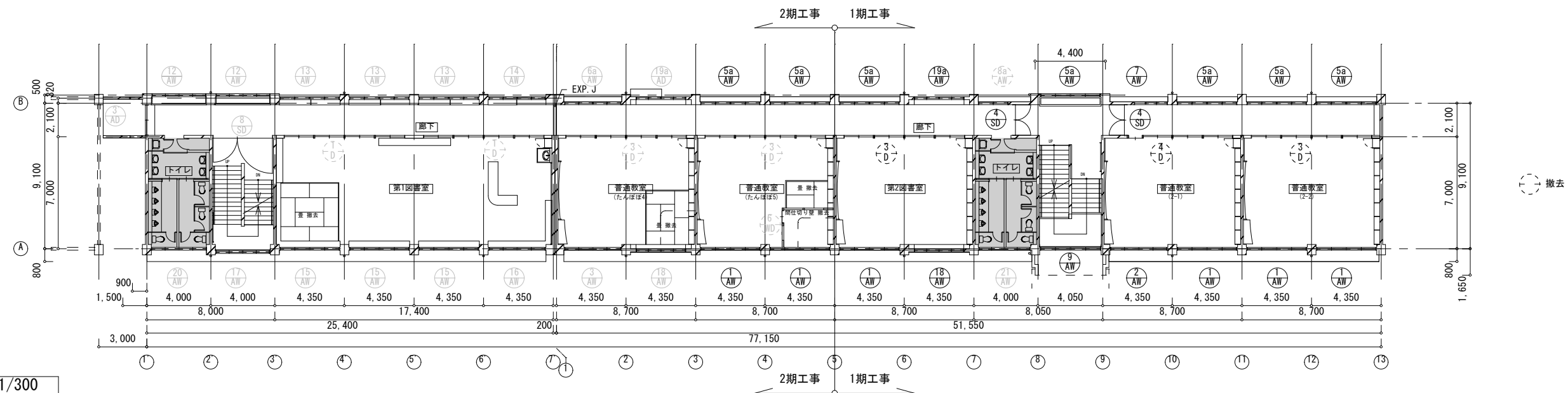


番号	概要	備考
Ⓐ	仕上 ビニル床シート t=2.0(木目調) 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓑ	仕上 ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓒ	仕上 防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	廊下中央部は ライン張り分け
Ⓓ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	廊下中央部は ライン張り分け
Ⓔ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+ビニル床シート t=2.0 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓕ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+ビニル床シート t=2.0(木目調) 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓖ	仕上 土間コンクリート増し打ち 100角磁器質タイル 下地 既存タイル(モルタル共)撤去下地調整	
Ⓕ	仕上 既存のまま 下地 ---	
Ⓖ	仕上 EXP. J金物 既存のまま 下地 ---	
Ⓖ	仕上 100角磁器質タイル 下地 既存タイル撤去下地調整	
Ⓖ	仕上 防滑性ビニル床シート t=2.0 下地 防水モルタル下地	
Ⓖ	仕上 抗菌・防滑性ビニル床シート(トイレ用) t=2.0 下地 防水モルタル下地	
Ⓖ	仕上 EXP. J金物 新設 下地 ---	
Ⓖ	仕上 ビニル床シート t=2.0の上、置き畳 下地 既存床仕上撤去下地調整	
Ⓖ	仕上 アンダーレイシート t=5.0+抗菌・防滑性ビニル床シート(トイレ用) t=2.0 下地 乾式床組	

□：床下点検口を示す。

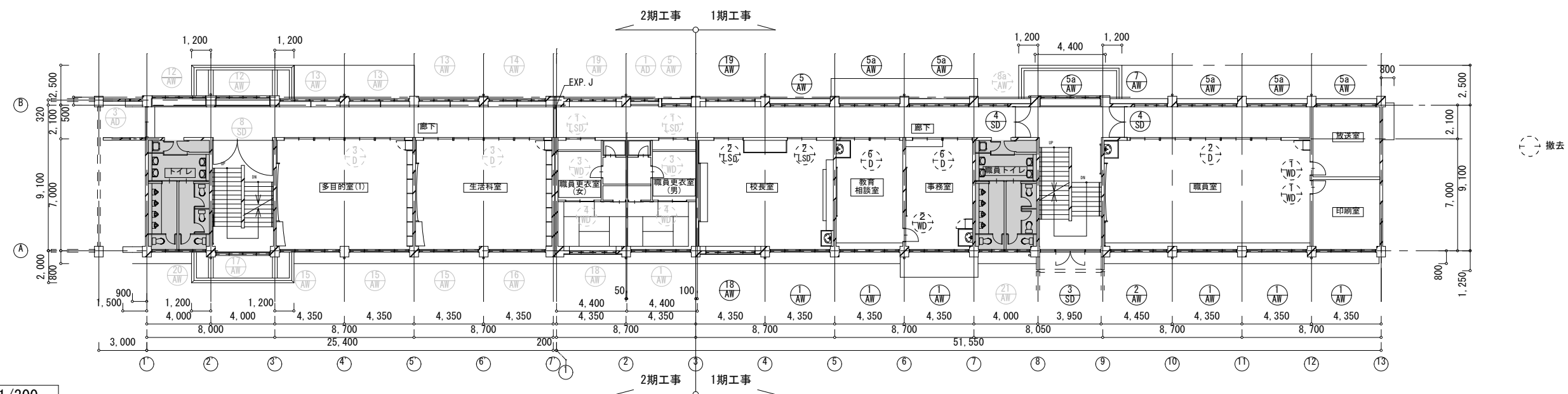
▨：FL=SL+30の範囲とする。

※その他特記なき限りFL=SL+40とする。
※フロア高さが変更となる部分は、段差解消の為、適宜下地調整を行う。

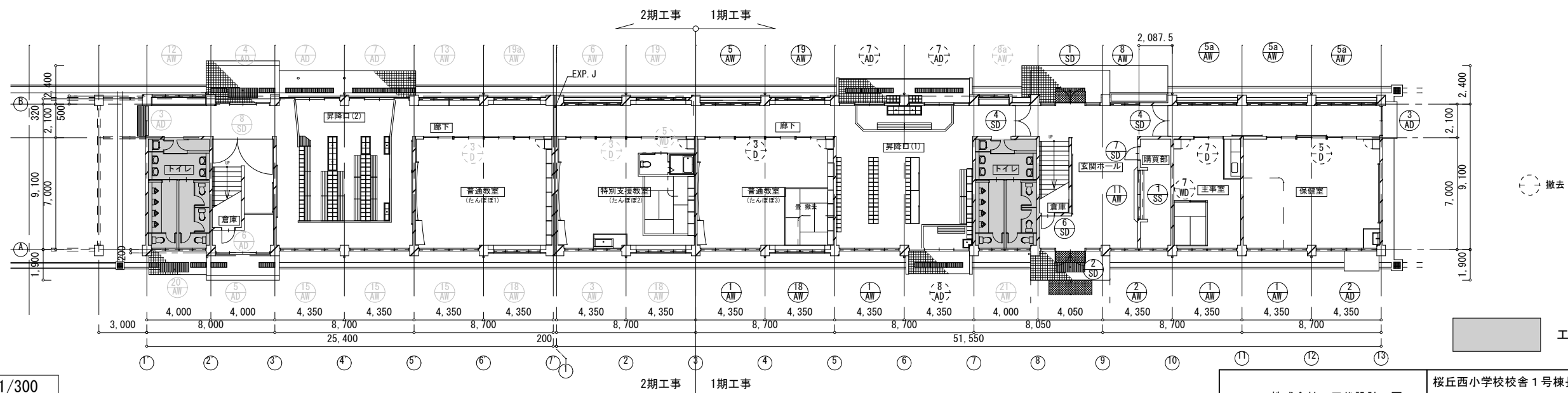


3階平面図 S=1/300

X3-X5通りの外壁面のガラス交換については、1期工事で行う



2階平面図 S=1/300

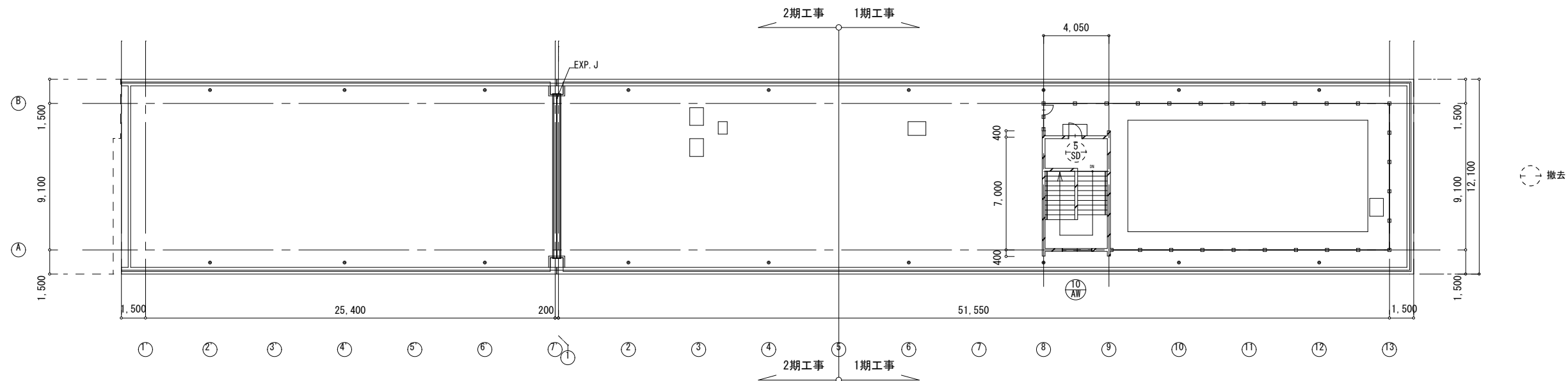


1階平面図 S=1/300

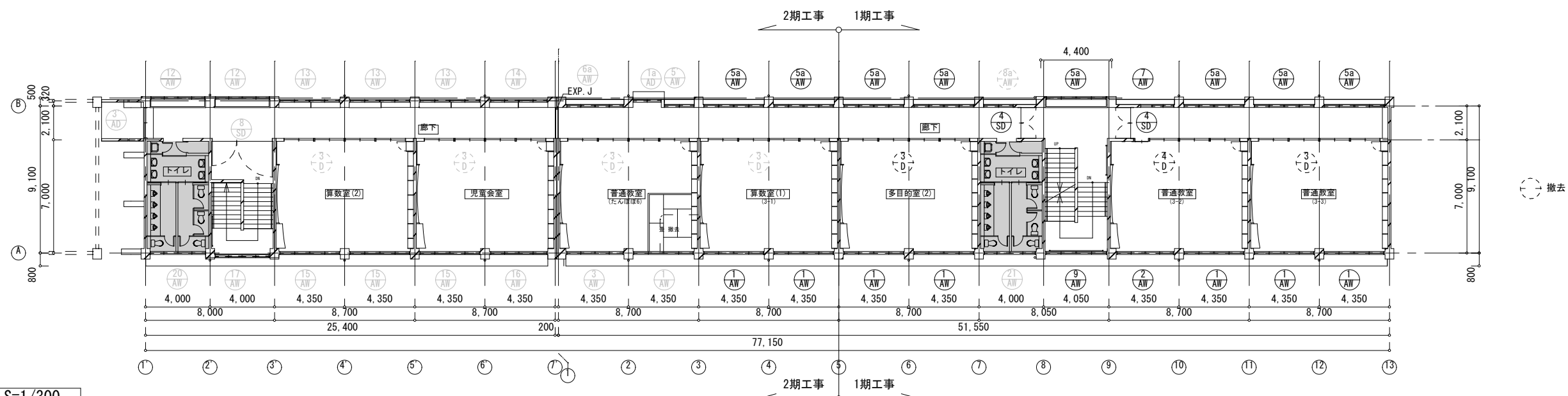
工事対象外

株式会社 田代設計工房
一級建築士 第 145118 号
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事
1階～3階建具キープラン
(改修前)
鹿児島市建設局建築部建築課



R階平面図 S=1/300



4階平面図 S=1/300

X3-X5通りの外壁面のガラス交換については、1期工事で行う

工事対象外

株式会社 田代設計工房
一級建築士 第 145118 号
田代 昌弘

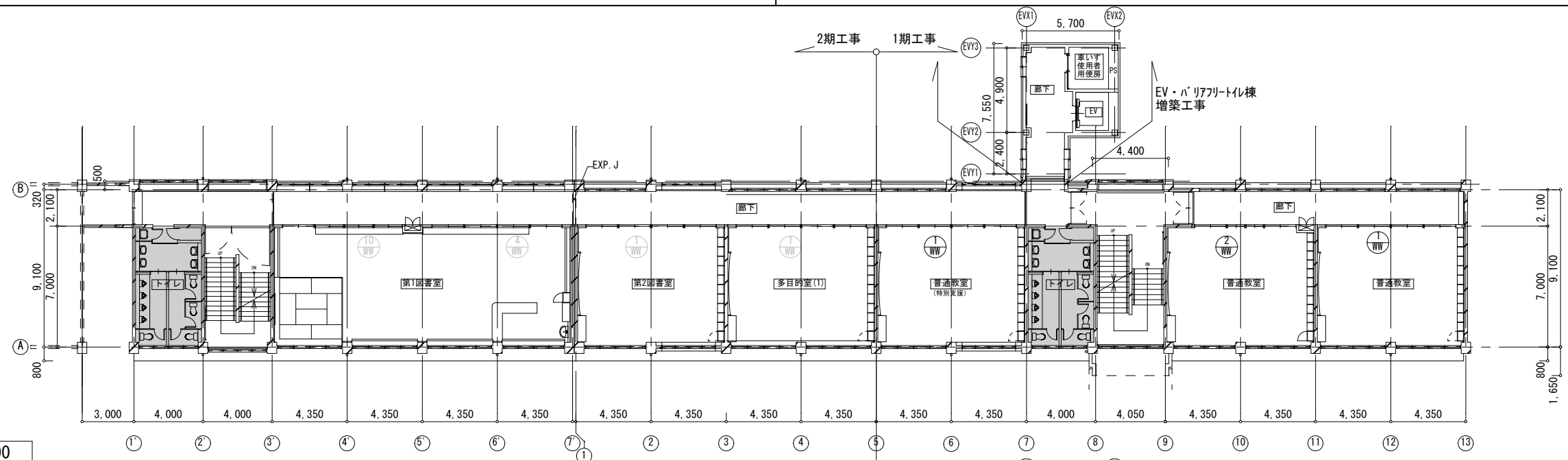
桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事
4階・R階建具キープラン
(改修前)
鹿児島市建設局建築部建築課

[illegible]

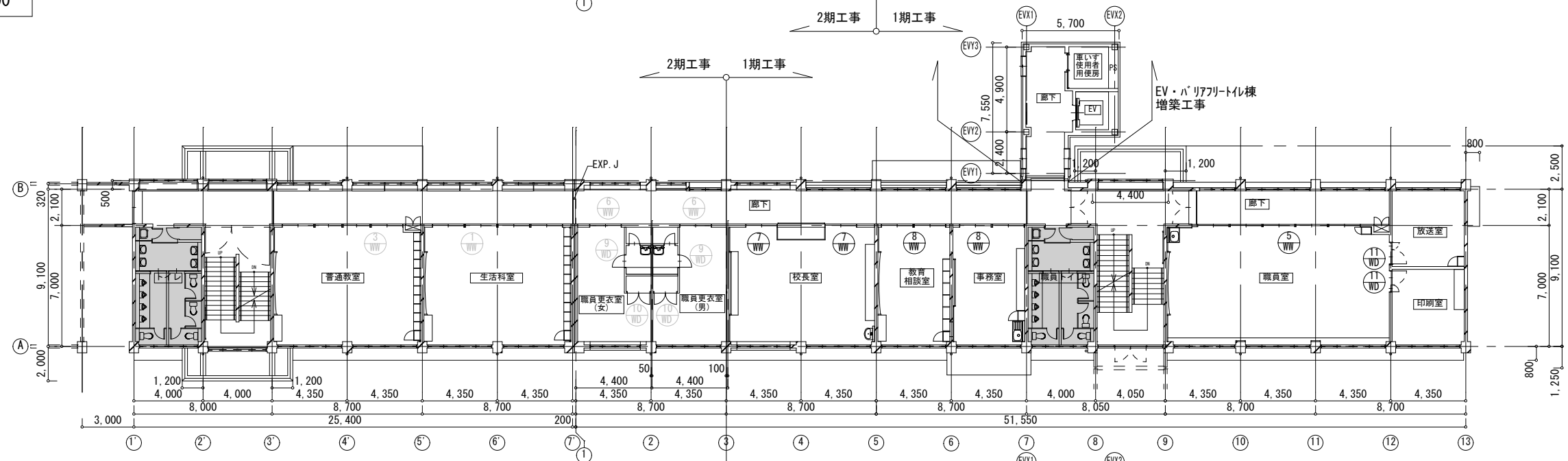
記号・数量	<div>3SD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>4SD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>5SD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>6SD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>7SD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>8SD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計												
		(1期)	0	1	0	0	0	1			(1期)	2	2	2	2	0			8	(1期)	0	0	0	0			1	1	(1期)	1	0	0			0	0	1	(1期)	1	0			0	0	0	1	(1期)	0	0	0	0	0	0							
		(2期)	0	0	0	0	0	0			(2期)	0	0	0	0	0			0	(2期)	0	0	0	0			0	0	(2期)	0	0	0			0	0	0	(2期)	0	0			0	0	0	0	(2期)	1	1	1	1	0	4							
図・寸法		※アタッチメント付ペアガラスへ取替：3.0(Low-E)+A6.0+4.0(強化) ランマ：3.0(Low-E)+A6.0+3.0 ※SOP塗装								※既存流用 (SOP塗装)								※撤去								※既存流用 (SOP塗装)								※既存流用 (SOP塗装)								※既存流用 (SOP塗装)																		
		※アタッチメント付ペアガラスへ取替：3.0(Low-E)+A6.0+4.0(強化) ランマ：3.0(Low-E)+A6.0+3.0 ※SOP塗装									※既存流用 (SOP塗装)									※撤去									※既存流用 (SOP塗装)									※既存流用 (SOP塗装)																						
形式・数量	両袖FIX嵌め殺しランマ付 両開きドア									両開き甲種防火戸									片開き戸(両面フラッシュ)									片開き戸(両面フラッシュ)									片開き戸(両面フラッシュ)									潜り戸付親子両開き戸														
建具見込・枠見込	100									100									85									85									85									100														
仕上	スチールSOP									スチール t=1.6 SOP									スチール t=1.6 SOP									スチール t=1.6 SOP									スチール t=1.6 SOP									スチール t=1.6 SOP														
ガラス	バラライン																		ラフワイヤー																											付属金物一式、防火戸用フローアーヒンジ、ケースハンドル														
金物	付属金物一式、アングル、ステンレス押板、シリンダー錠									付属金物一式、防火戸用フローアーヒンジ、ケースハンドル									付属金物一式、シリンダー錠、ドアチェック、ピボットヒンジ									付属金物一式、シリンダー錠、ドアチェック、ピボットヒンジ									付属金物一式、シリンダー錠、ドアチェック、ピボットヒンジ									付属金物一式、防火戸用フローアーヒンジ、ケースハンドル														
備考										煙感連動装置()ヒューズ装置、電磁レリーズ装置(別途)																																				煙感連動装置()ヒューズ装置、電磁レリーズ装置(別途)														
記号・数量	<div>1SS</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>1LSD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>2LSD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>1WD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>1WD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>1WD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計												
		(1期)	1	0	0	0	0	1			(1期)	0	0	0	0	0			0	(1期)	0	2	0	0			0	2	(1期)	0	2	0			0	0	2	(1期)	0	2			0	0	0	2	(1期)	0	2	0	0	0	2							
		(2期)	0	0	0	0	0	0			(2期)	0	2	0	0	0			2	(2期)	0	2	0	0			0	2	(2期)	0	0	0			0	0	0	(2期)	0	0			0	0	0	0	(2期)	0	0	0	0	0	0							
図・寸法		※既存流用 (SOP塗装)								※撤去								※撤去								※撤去								※撤去																										
		※既存流用 (SOP塗装)									※撤去									※撤去									※撤去									※撤去																						
形式・数量	軽量電動シャッター																		ランマ付片引き戸									ランマ付引き違い戸、ランマ付引き違い窓									片開き戸(両面フラッシュ)																							
建具見込・枠見込	スラッド									80									33																		36																							
仕上	スチールSOP																		木製 SOP																		木製 片面：プリント合板製 片面：T1ベニヤ t=4 SOP																							
ガラス										溶融亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装)心材：ハニカム7 厚3ミリ板ガラス(セーリング)									ランマ透明ガラスt=2、腰窓透明ガラスt=2、他スリガラスt=2									透明ガラス									透明ガラス																							
金物	付属金物一式、ガイドレール、マグサ、座板：ステンレス加工									引手、戸車、ステンレスフローアーレール厚2mm、SL錠錠 換気が可能									ステンレス引手(舟底形)、真鍮極太差込錠																		t=90 3枚吊り丁番、シリンダー錠																							
備考	施錠付、スイッチ、シャッターケース付									セント外付属金物一式、マスター合せ																																																		
記号・数量	<div>2WD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>3WD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>4WD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>5WD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>6WD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>7WD</div>	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計												
		(1期)	0	1	0	0	0	1			(1期)	0	0	0	0	0			0	(1期)	0	0	0	0			0	0	(1期)	0	0	0			0	0	0	(1期)	0	0			0	0	0	0	(1期)	1	0	0	0	0	1	(1期)	1	0	0	0	0	1
		(2期)	0	0	0	0	0	0			(2期)	0	2	0	0	0			2	(2期)	0	2	0	0			0	2	(2期)	1	0	0			0	0	1	(2期)	0	0			1	0	0	1	(2期)	0	0	0	0	0	0							
図・寸法		※撤去								※撤去								※撤去								※撤去								※撤去								※撤去																		

株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘		桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事		
		建具表 (3) (改修前)		1/100
		A-65		
		鹿児島市建設局建築部建築課		

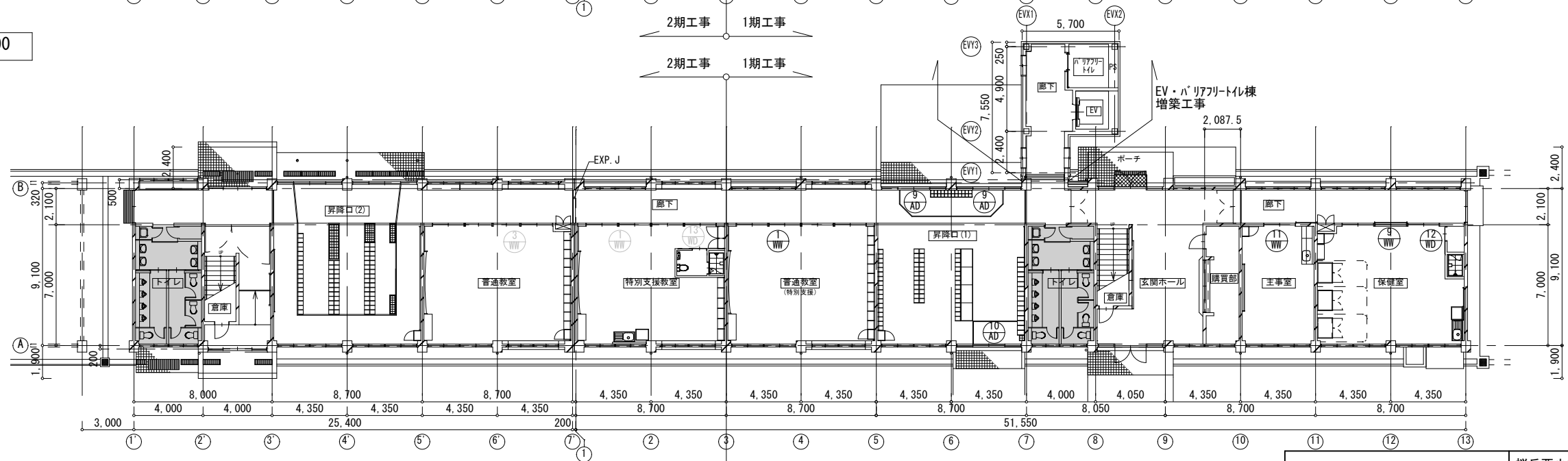
記号・数量		① D	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	② D	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	③ D	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	④ D	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計																														
			(1期)	0	0	0	0	0	0		(1期)	0	1	0	0	0	1		(1期)	1	0	2	2	0	5		(1期)	1	0	2	2	0	5																														
			(2期)	0	0	2	0	0	2		(2期)	0	0	0	0	0	0		(2期)	0	0	2	2	4	0		(2期)	2	2	2	4	0	10																														
姿 図・寸 法																																																															
	1,800 100 1,800 100 1,800 100 1,800 7,500										1,800 100 1,800 100 1,800 100 1,800 9,400										1,800 100 1,800 100 1,800 100 1,800 7,500																																										
	※撤去										2 段 4 連引き違い窓及び引き違い戸										2 段 4 連引き違い窓及び引き違い戸																																										
	形 式・数 量 ランマ付引き違い戸, ランマ付引き違い窓										33										33																																										
	建具見込・枠見込 33										木製 SOP										木製 SOP																																										
仕 上 木製 SOP										ランマ透明ガラスt=2, 腰窓透明ガラスt=2, 他スリガラスt=2, ステンレス引手 (舟底形), 真鍮極太差込錠										ランマ透明ガラスt=2, 腰窓透明ガラスt=2, 他スリガラスt=2, ステンレス引手 (舟底形), 真鍮極太差込錠																																											
金 物 ランマ透明ガラスt=2, 腰窓透明ガラスt=2, 他スリガラスt=2, ステンレス引手 (舟底形), 真鍮極太差込錠										ステンレス甲丸レール, ステンレス脇建レール, 出入口1箇所は、シリンダー極太差込栓錠										ランマ透明ガラスt=2, 腰窓透明ガラスt=2, 他スリガラスt=2, ステンレス引手 (舟底形), 真鍮極太差込錠																																											
備 考 ステンレス甲丸レール, ステンレス脇建レール, 出入口1箇所は、シリンダー極太差込栓錠										ステンレス甲丸レール, ステンレス脇建レール, 出入口1箇所は、シリンダー極太差込栓錠										ステンレス甲丸レール, ステンレス脇建レール, 出入口1箇所は、シリンダー極太差込栓錠																																											
記号・数量		④ D	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	⑤ D	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	⑥ D	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	⑦ D	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計																														
			(1期)	0	0	1	1	0	2		(1期)	1	0	0	0	0	1		(1期)	0	2	0	0	0	2		(1期)	1	0	0	0	0	1																														
			(2期)	0	0	0	0	0	0		(2期)	0	0	0	0	0	0		(2期)	0	0	0	0	0	0		(2期)	0	0	0	0	0	0																														
姿 図・寸 法																																																															
	850 100 1,750 100 1,750 100 1,800 6,450										1,800 100 1,800 100 1,800 5,600										1,800 100 1,800 3,700										1,800																																
	※撤去										2 段 4 連引き違い窓及び引き違い戸										2 段 2 連引き違い窓及び引き違い戸										ランマ付引き違い戸, ランマ付引き違い窓																																
	形 式・数 量 2 段 4 連引き違い窓及び引き違い戸										33										33										33																																
	建具見込・枠見込 33										木製 SOP										木製 SOP										木製 SOP																																
仕 上 木製 SOP										ランマ透明ガラスt=2, 腰窓透明ガラスt=2, 他スリガラスt=2, ステンレス引手 (舟底形), 真鍮極太差込錠										ランマ透明ガラスt=2, 腰窓透明ガラスt=2, 他スリガラスt=2, ステンレス引手 (舟底形), 真鍮極太差込錠										ランマ透明ガラスt=2, 腰窓透明ガラスt=2, 他スリガラスt=2, ステンレス引手 (舟底形), 真鍮極太差込錠																																	
金 物 ランマ透明ガラスt=2, 腰窓透明ガラスt=2, 他スリガラスt=2, ステンレス引手 (舟底形), 真鍮極太差込錠										ランマ透明ガラスt=2, 腰窓透明ガラスt=2, 他スリガラスt=2, ステンレス引手 (舟底形), 真鍮極太差込錠										ランマ透明ガラスt=2, 腰窓透明ガラスt=2, 他スリガラスt=2, ステンレス引手 (舟底形), 真鍮極太差込錠										ランマ透明ガラスt=2, 腰窓透明ガラスt=2, 他スリガラスt=2, ステンレス引手 (舟底形), 真鍮極太差込錠																																	
備 考																																																															
記号・数量																																																															
姿 図・寸 法																																																															
形 式・数 量																																																															
建具見込・枠見込																																																															
仕 上																																																															
ガ ラ ス																																																															
金 物																																																															
備 考																																																															
株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘																																桜丘西小学校校舎 1 号棟長寿命化改良本体工事																															
																																建具表 (4) (改修前)																1/100				A - 6 6											
																																鹿児島市建設局建築部建築課																															



3階平面図 S=1/300



2階平面図 S=1/300

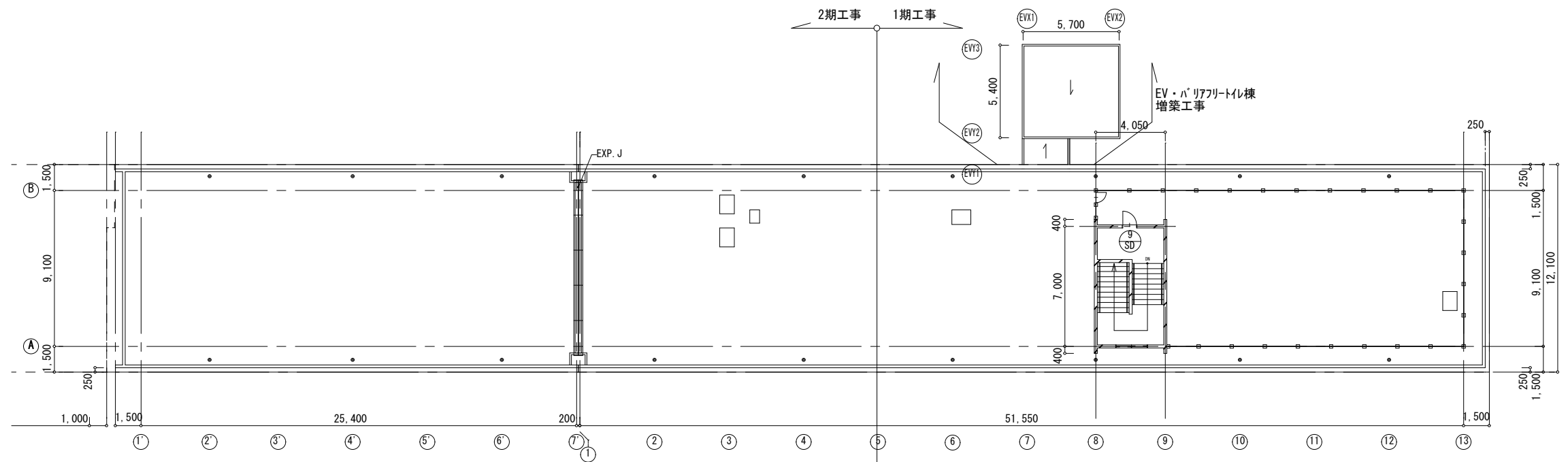


1階平面図 S=1/300

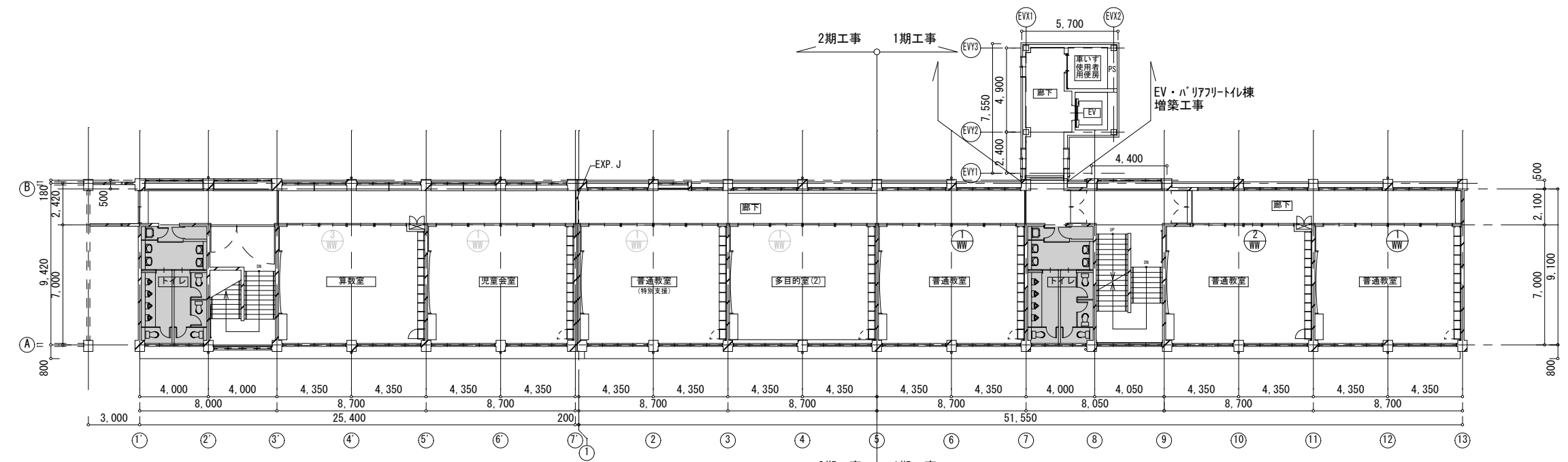
工事対象外

株式会社 田代設計工房
一級建築士 第 145118 号
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎 1 号棟長寿命化改良本体工事
1階～3階建具キープラン (改修後)
鹿児島市建設局建築部建築課



R階平面図 S=1/300



4階平面図 S=1/300

工事対象外

株式会社 田代設計工房
一級建築士 第 145118 号
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎 1 号棟長寿命化改良本体工事
4階・R階建具キープラン (改修後)
鹿児島市建設局建築部建築課

A-68

記号・数量	<div><div>9</div><div>AD</div></div> 昇降口(1)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>10</div><div>AD</div></div> 昇降口(1)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>1</div><div>WW</div></div> 普通教室→特別支援教室→児童会室→多目的室→第2図書室→生活科室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>2</div><div>WW</div></div> 普通教室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計																								
		(1期)	2	0	0	0	0	2		(1期)	1	0	0	0	0	1		(1期)	1	0	2	2	0	5		(1期)	0	0	1	1	0	2																								
		(2期)	0	0	0	0	0	0		(2期)	0	0	0	0	0	0		(2期)	1	1	2	3	0	7		(2期)	0	0	0	0	0	0																								
姿 図・寸 法																																																								
	両袖ランマFIX引分戸								両袖ランマFIX引分戸								ランマ付引違い戸+ランマ付き引違い腰高窓								ランマ付引違い戸+ランマ付き引違い腰高窓																															
建具見込・枠見込	100								100								枠見込：157、窓：33、引戸：36								枠見込：157、窓：33、引戸：36																															
仕 上	アルミシルバー								アルミシルバー								杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装、腰壁：(廊下側)シナ合板 t=5.5 CL塗装、(教室側)杉羽目板 t=12.0 CL塗装								杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装、腰壁：(廊下側)シナ合板 t=5.5 CL塗装、(教室側)杉羽目板 t=12.0 CL塗装																															
ガ ラ ス	ランマ：透明ガラスt=3.0 (Low-E) +A6.0+強化ガラス t=4.0 下段：アルミパネルt=3 上段：透明ガラスt=3.0 (Low-E) +A6.0+強化ガラス t=4.0								ランマ：透明ガラスt=3.0 (Low-E) +A6.0+透明ガラス t=3.0 下段：アルミパネルt=3 上段：透明ガラスt=3.0 (Low-E) +A6.0+強化ガラス t=4.0								透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0								透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0																															
金 物	引戸用サムターン、ステンレス押し棒、ステンレス下枠、フラッターレール、付属金物一式								引戸用シリンドー錠、ステンレス押し棒、ステンレス下枠、フラッターレール、付属金物一式								引違い戸 フラッシュ戸 心材：中骨式 下枠：ステンレス t=1.5、ステンレス戸車(非脱輪仕様)、指詰防止付き、引違い戸錠 引違い窓：クレセント、アルミV型レール、付属金物一式								引違い戸 フラッシュ戸 心材：中骨式 下枠：ステンレス t=1.5、ステンレス戸車(非脱輪仕様)、指詰防止付き、引違い戸錠 引違い窓：クレセント、アルミV型レール、付属金物一式																															
備 考	マシキ付在来型=標準								マシキ付在来型=標準																																															
記号・数量	<div><div>3</div><div>WW</div></div> 普通教室・算教室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>4</div><div>WW</div></div> 第1図書室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>5</div><div>WW</div></div> 職員室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>6</div><div>WW</div></div> 職員更衣室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>7</div><div>WW</div></div> 校長室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>8</div><div>WW</div></div> 事務室・教育相談室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div><div>9</div><div>WW</div></div> 保健室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計
		(1期)	0	0	0	0	0	0		(1期)	0	0	0	0	0	0		(1期)	0	0	0	0	0	0		(1期)	0	1	0	0	0	1		(1期)	0	0	1	1	0	2																
		(2期)	1	1	0	1	0	3		(2期)	0	0	1	0	0	1		(2期)	0	0	1	0	0	1		(2期)	0	0	0	0	0	0		(2期)	0	0	0	0	0	0																
姿 図・寸 法																																																								
	ランマ付引違い戸+ランマ付き引違い腰高窓								ランマ付引違い戸+ランマ付き引違い腰高窓								ランマ付引違い戸+ランマ付き引違い腰高窓								ランマ付片引き戸																															
建具見込・枠見込	枠見込：157、窓：33、引戸：36								枠見込：157、窓：33、引戸：36								枠見込：157、窓：33、引戸：36								枠見込：157、引戸：36																															
仕 上	杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装、腰壁：(廊下側)シナ合板 t=5.5 CL塗装、(教室側)杉羽目板 t=12.0 CL塗装								杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装、腰壁：シナ合板 t=5.5 CL塗装								杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装、腰壁：シナ合板 t=5.5 CL塗装								杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装																															
ガ ラ ス	透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0								透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0								透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0								スリガラス t=3.0																															
金 物	引違い戸 フラッシュ戸 心材：中骨式 下枠：ステンレス t=1.5、ステンレス戸車(非脱輪仕様)、指詰防止付き、引違い戸錠 引違い窓：クレセント、アルミV型レール、付属金物一式								引違い戸 フラッシュ戸 心材：中骨式 下枠：ステンレス t=1.5、ステンレス戸車(非脱輪仕様)、指詰防止付き、引違い戸錠 引違い窓：クレセント、アルミV型レール、付属金物一式								引違い戸 フラッシュ戸 心材：中骨式 下枠：ステンレス t=1.5、ステンレス戸車(非脱輪仕様)、指詰防止付き、引違い戸錠 引違い窓：クレセント、アルミV型レール、付属金物一式								下枠：ステンレス t=1.5、ガラリ、ステンレス戸車(非脱輪仕様)、指詰防止付き、引違い戸錠																															
備 考																																																								

記号・数量	<div>10</div> WW第1図書室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>11</div> WW主事室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>9</div> WD職員更衣室(脱衣室)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>10</div> WD職員更衣室(収納)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>11</div> WD放送室・印刷室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計		
		(1期)	0	0	0	0	0	0		(1期)	1	0	0	0	0	0		1	(1期)	0	0	0	0	0		0	(1期)	0	0	0	0	0		0	(1期)	0	2	0	0	0	0	2
		(2期)	0	0	1	0	0	1		(2期)	0	0	0	0	0	0		0	(2期)	0	2	0	0	0		0	2	(2期)	0	2	0	0		0	0	2	(2期)	0	0	0	0	0

姿 図・寸 法	<div>スリガラス t=3.0を示す</div>								<div>スリガラス t=3.0を示す</div>																																																																																						
	1,8001001,6001001,6001001,6006,900								1,800								700								1,330								4008001,200																																																														
	形 式・数 量								ランマ付引違い戸+ランマ付き引違い腰高窓								形 式・数 量								ランマ付引違い戸								形 式・数 量								片開きフラッシュドア								形 式・数 量								両開きフラッシュドア								形 式・数 量								親子開きフラッシュドア																						
	建具見込・枠見込								枠見込：157、窓：33、引戸：36								建具見込・枠見込								枠見込：157、引戸：36								建具見込・枠見込								扉：36								建具見込・枠見込								扉：36								建具見込・枠見込								扉：36																						
	仕 上								杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装、腰壁：(廊下側)シナ合板 t=5.5 CL塗装								仕 上								杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装								仕 上								木製 トイレ側：珪藻土化粧合板 教室側：CL塗装								仕 上								木製 シナ合板 t=4.0 枠：CL塗装								仕 上								木製 シナ合板 t=4.0 枠：CL塗装																						
ガ ラ ス								透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0								ガ ラ ス								透明ガラス t=3.0、スリガラス t=3.0								ガ ラ ス								木製 トイレ側：珪藻土化粧合板 教室側：CL塗装								ガ ラ ス								木製 シナ合板 t=4.0 枠：CL塗装								ガ ラ ス								透明ガラス t=3.0																							
金 物								引違い戸 ブラッシュ戸 心材：中骨式 下枠：ステンレス t=1.5、ステンレス戸車(非脱輪仕様)、指詰防止付き、引違い戸錠 引違い窓：クレセント、アルミV型レール、付属金物一式								金 物								下枠：ステンレス t=1.5、ガラリ、ステンレス戸車(非脱輪仕様)、指詰防止付き、引違い戸錠								金 物								SUS丁番、戸当り、ドアチェック、レバーハンドル、表示錠、ガラリ、付属金物一式								金 物								SUS丁番、戸当り、取手、付属金物一式								金 物								親子開きフラッシュドア																							
備 考																備 考																備 考																備 考																備 考																備 考															

記号・数量	<div>12</div> WD保健室(脱衣室)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>13</div> WD特別支援教室(トイレ)	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計	<div>9</div> SDR階 階段室	数量	1F	2F	3F	4F	RF	合計														
		(1期)	1	0	0	0	0	1		(1期)	0	0	0	0	0	0		(1期)	0	0	0	0	1	1	(2期)	0	0	0	0	0	0	(2期)	0	0	0	0	0	0
		(2期)	0	0	0	0	0	0		(2期)	1	0	0	0	0	0		1	(2期)	0	0	0	0	0	0													

姿 図・寸 法																																																																
	800								800								850																																															
	形 式・数 量								片引き戸								形 式・数 量								片引き戸								形 式・数 量								片開き戸								形 式・数 量															
	建具見込・枠見込								36								建具見込・枠見込								36								建具見込・枠見込								85								建具見込・枠見込															
	仕 上								木製 脱衣室側：珪藻土化粧合板 保健室側：CL塗り								仕 上								木製 トイレ側：珪藻土化粧合板 教室側：CL塗り								仕 上								スチール(扉：熔融亜鉛メッキ鋼板焼付塗装品)(枠：熔融亜鉛メッキ鋼板 SOP塗装)								仕 上															
ガ ラ ス								厚3 複板ガラス(シーリング)								ガ ラ ス								厚3 複板ガラス(シーリング)								ガ ラ ス								透明ガラス 3.0(Low-E)+A6.0+3.0								ガ ラ ス																
金 物								引手、戸車、ステンレスフロッターレール厚2mm、SL鎌錠 換気が可								金 物								引手、戸車、ステンレスフロッターレール厚2mm、SL鎌錠 換気が可								金 物								SUS丁番、戸当り、ドアチェック、レバーハンドル、シンダー本締め錠、付属金物一式								金 物																
備 考																備 考																備 考																備 考																

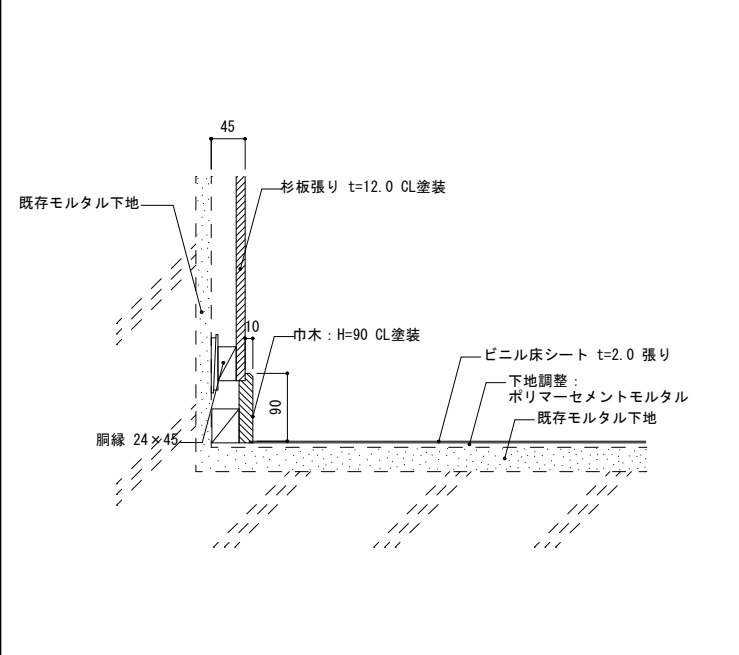
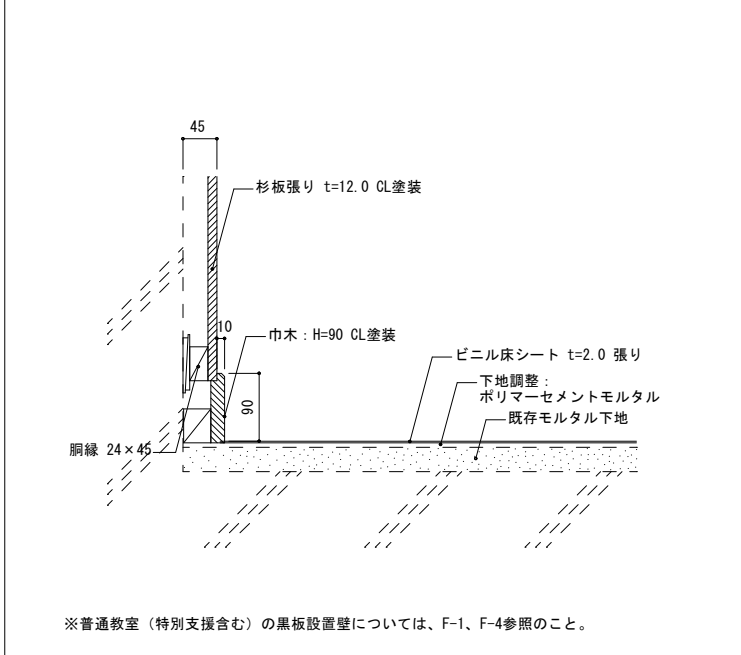
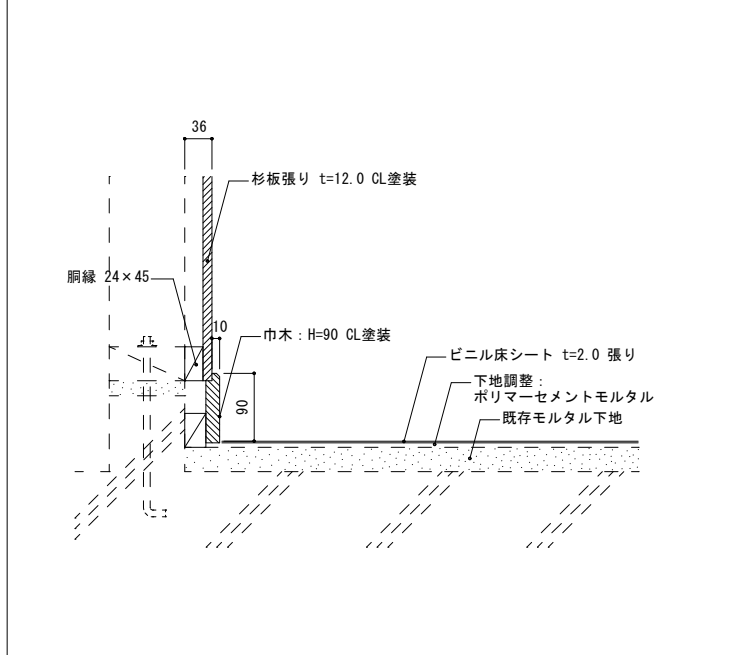
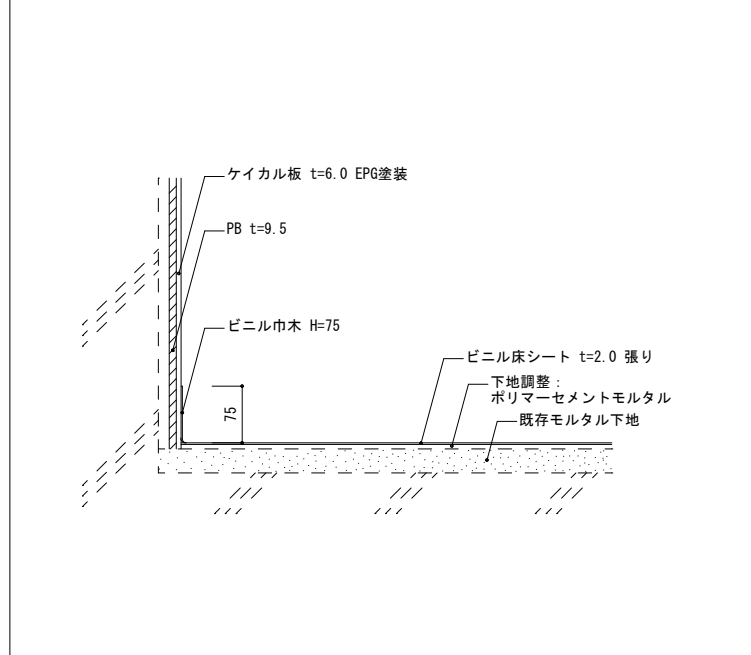
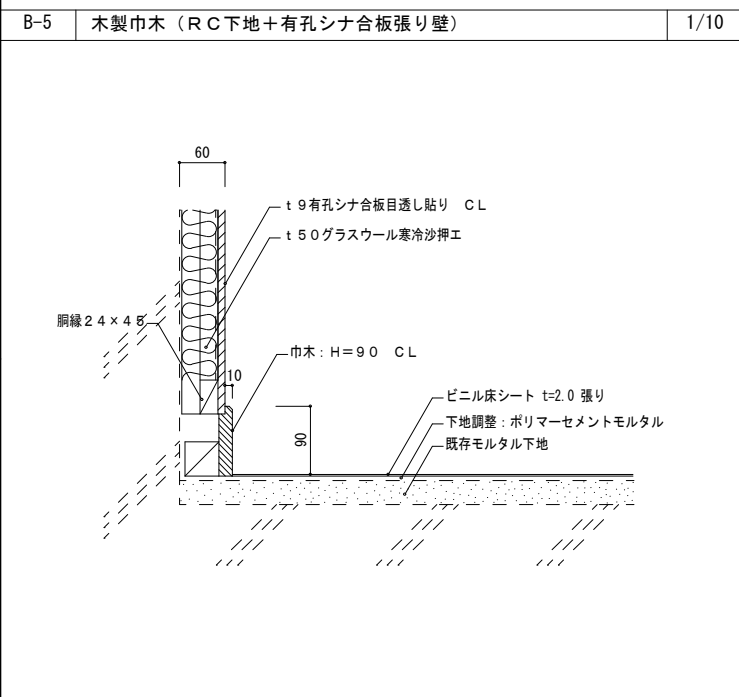
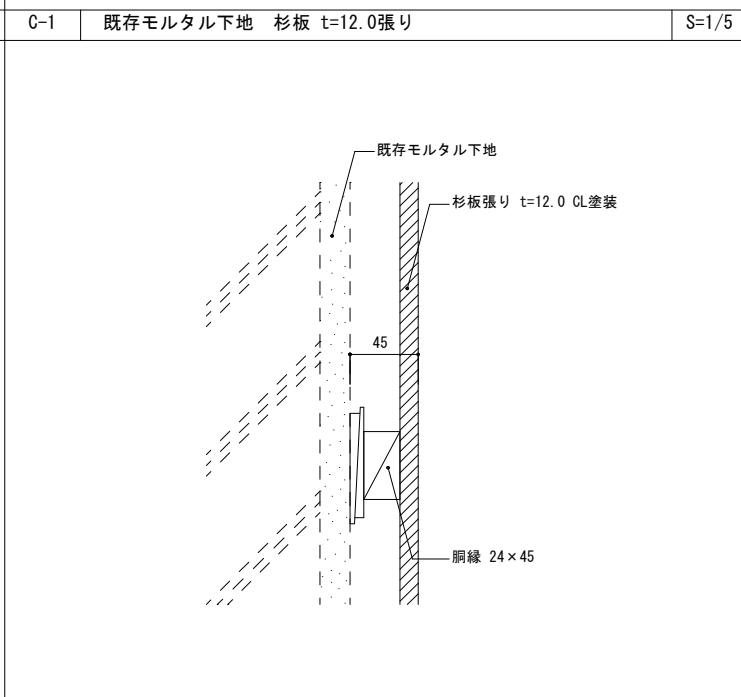
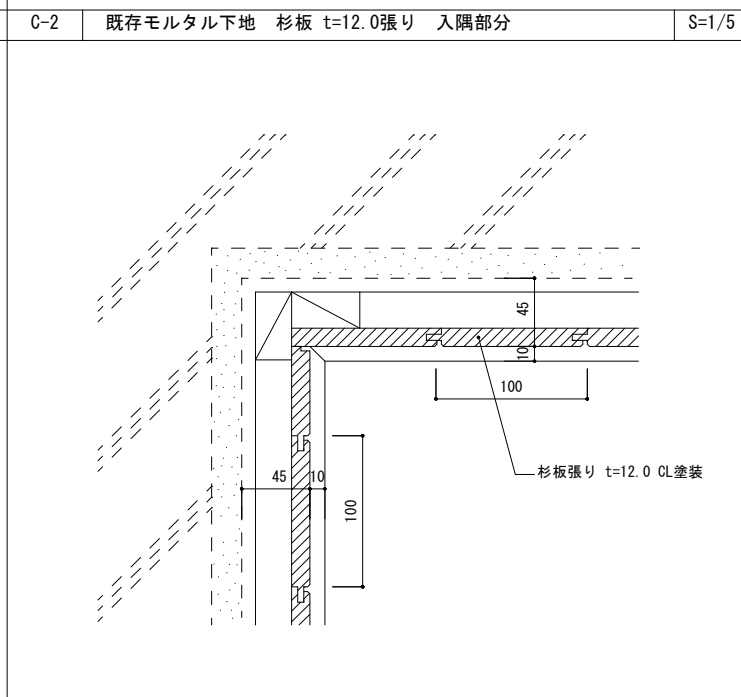
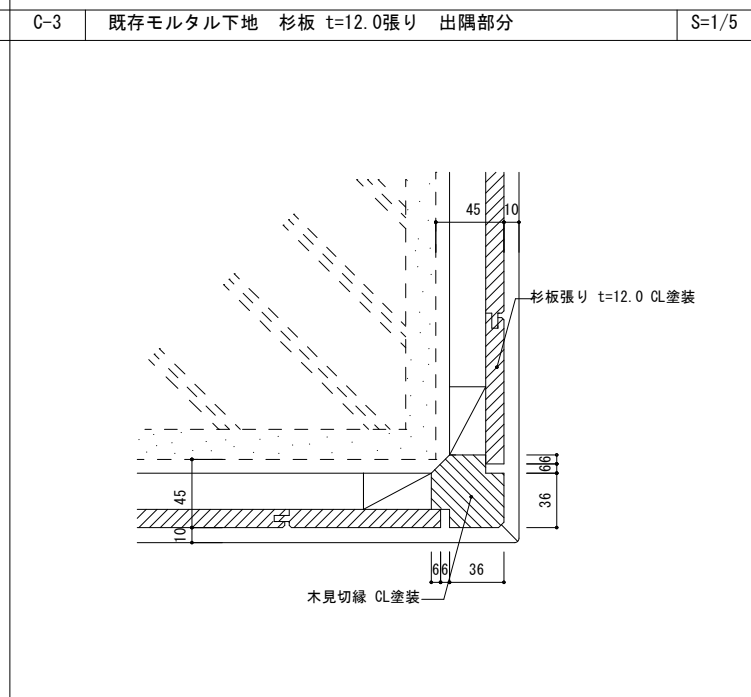
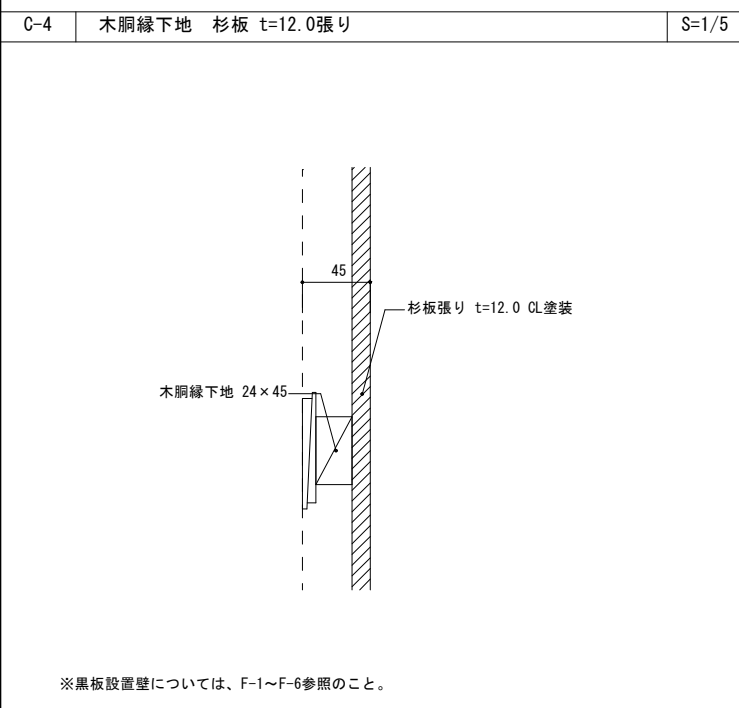
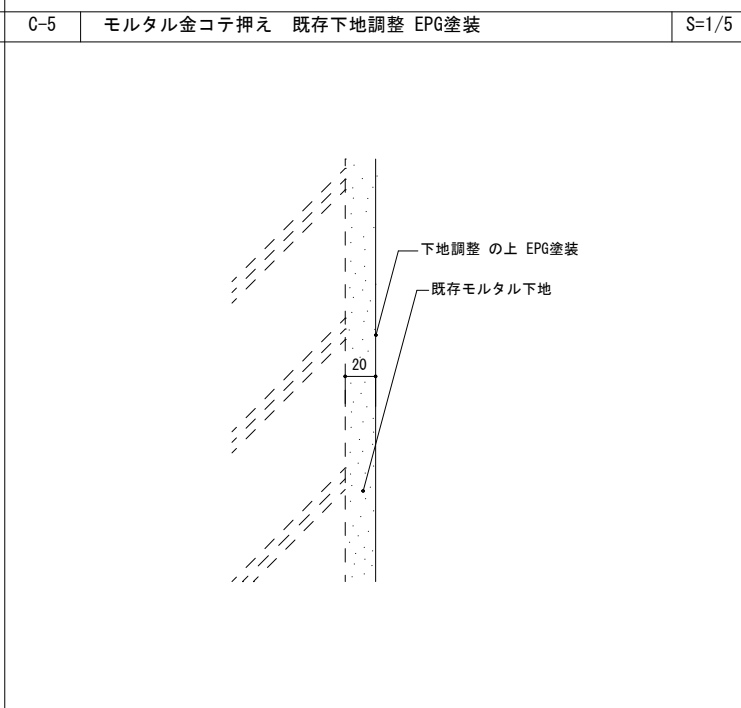
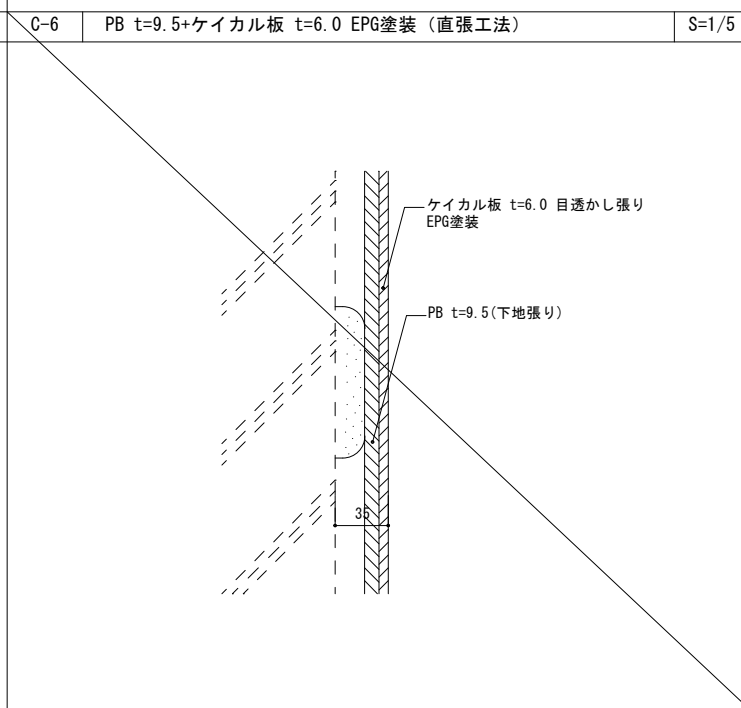
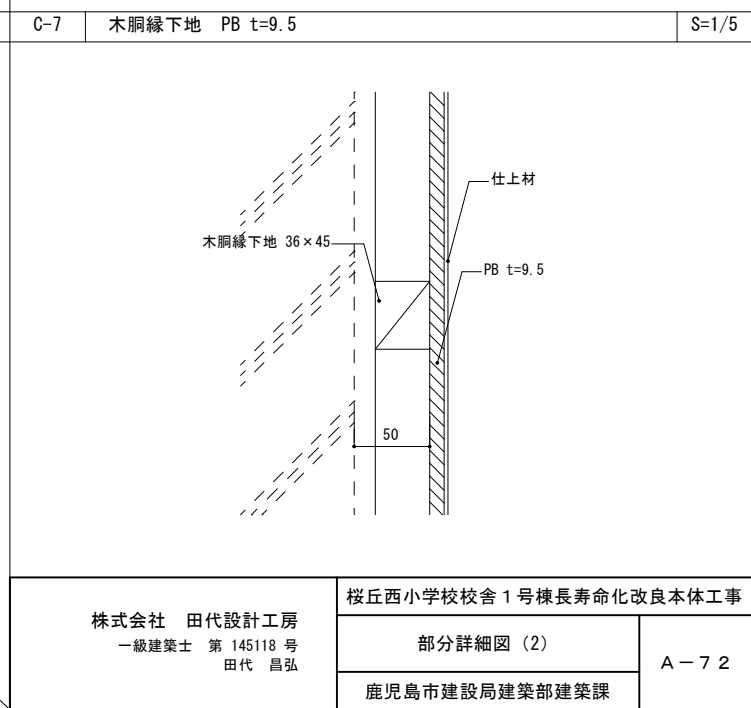
記号・数量																																
姿 図・寸 法																																
形 式・数 量																																
建具見込・枠見込																																
仕 上																																
ガ ラ ス																																
金 物																																
備 考																																

株式会社 田代設計工房
一級建築士 第 145118 号
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事
建具表 (2) (改修後) 1/100
鹿児島市建設局建築部建築課

A-70

A-1 床シート張り（既存モザイクパーケット張り撤去）		S=1/10	A-2 床シート張り（既存ビニル床シート撤去）		S=1/10	A-3 床シート張り（既存集成フローリング木床組下地撤去）		S=1/10	A-4 床シート張り（既存集成フローリングt12構造用合板下地撤去）		S=1/10
職員室、売店、事務室			校長室、第一図書室			校長室、第一図書室			校長室、第一図書室		
<div>現況</div>			<div>現況</div>			<div>現況</div>			<div>現況</div>		
<div>改修後</div>			<div>改修後</div>			<div>改修後</div>			<div>改修後</div>		
・ビニル床シートは、児童が使用する室は木目調、廊下等は防滑性とする			・ビニル床シートは、児童が使用する室は木目調、廊下等は防滑性とする			・ビニル床シートは、児童が使用する室は木目調、廊下等は防滑性とする			・ビニル床シートは、児童が使用する室は木目調、廊下等は防滑性とする		
A-5 床シート張り（昇降口2 人研ぎ上り框）		S=1/10	A-6 磁器質タイル貼り（昇降口1 人研ぎ上り框）		S=1/10	A-7 ステンレス床見切縁		S=1/10	A-8 ステンレスノンスリップ		S=1/4
<div>現況</div>			<div>現況</div>			<div>防火扉周リ</div>			<div>防火扉周リ</div>		
<div>改修後</div>			<div>改修後</div>			<div>防火扉周リ</div>			<div>防火扉周リ</div>		
※寸法：防火戸周りの床			※寸法：防火戸周りの床			・ビニル床シートは、児童が使用する室は木目調、廊下等は防滑性とする			・ビニル床シートは、児童が使用する室は木目調、廊下等は防滑性とする		
A-9 床シート張り（床モザイクタイル撤去）		S=1/10	A-10 床シート張り（脱衣室）		S=1/10	A-11 コーナー床見切（シート巻上）		S=1/10			
<div>現況</div>			<div>現況</div>			<div>校長室（金庫置き場）</div>					
<div>改修後</div>			<div>改修後</div>			<div>改修後</div>					
・ビニル床シートは、児童が使用する室は木目調、廊下等は防滑性とする			・ビニル床シートは、児童が使用する室は木目調、廊下等は防滑性とする			・ビニル床シートは、児童が使用する室は木目調、廊下等は防滑性とする					

B-1	木製巾木（既存モルタル下地+杉板張り壁）	S=1/10	B-2	木製巾木（既存RC壁・木胴縁下地+杉板張り壁）	S=1/10	B-3	木製巾木（既存木間仕切壁・木胴縁下地+杉板張り壁）	S=1/10	B-4	ビニル巾木（壁PB t=9.5）（直張工法）	S=1/10
			 <p>※普通教室（特別支援含む）の黒板設置壁については、F-1、F-4参照のこと。</p>								
B-5	木製巾木（RC下地+有孔シナ合板張り壁）	1/10	C-1	既存モルタル下地 杉板 t=12.0張り	S=1/5	C-2	既存モルタル下地 杉板 t=12.0張り 入隅部分	S=1/5	C-3	既存モルタル下地 杉板 t=12.0張り 出隅部分	S=1/5
											
C-4	木胴縁下地 杉板 t=12.0張り	S=1/5	C-5	モルタル金コテ押え 既存下地調整 EPG塗装	S=1/5	C-6	PB t=9.5+ケイカル板 t=6.0 EPG塗装（直張工法）	S=1/5	C-7	木胴縁下地 PB t=9.5	S=1/5
 <p>※黒板設置壁については、F-1～F-6参照のこと。</p>											
株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘									桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事 部分詳細図（2） 鹿児島市建設局建築部建築課		
									A-72		

D-1		アルミ製カーテンボックス		S=1/10	D-2		アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)		S=1/10
<div>※X1' ~X7' 通り</div> <div>現況</div> <div>天井仕上材</div> <div>既存塗膜撤去 (AEP塗装)</div> <div>アルミカーテンボックス</div> <div>改修後</div> <div>天井仕上材</div> <div>下地調整の上 EPG塗装</div> <div>アルミカーテンボックス(既存のまま)</div>					<div>※X1~X13通り</div> <div>現況</div> <div>天井仕上材</div> <div>木製カーテンボックス 撤去</div> <div>モルタル撤去</div> <div>木製額縁上枠撤去</div> <div>改修後</div> <div>アルミ製カーテンボックス</div> <div>天井仕上材</div> <div>PB t=9.5 EPG塗装 (直張工法)</div> <div>木製額縁上枠新設 25×60 SOP塗装</div>				
D-3		アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠SOP塗装)		S=1/10	D-4		アルミ製カーテンボックス(木製額縁上枠新設)		S=1/10
<div>※放送室</div> <div>現況</div> <div>天井仕上材</div> <div>木製カーテンボックス 撤去</div> <div>改修後</div> <div>アルミ製カーテンボックス</div> <div>天井仕上材</div> <div>木製額縁上枠SOP塗装</div>					<div>※主事室、印刷室、事務室 (1期工事) ※職員更衣室 (2期工事)</div> <div>現況</div> <div>モルタル撤去</div> <div>木製額縁上枠撤去</div> <div>天井仕上材</div> <div>木製カーテンボックス 撤去</div> <div>改修後</div> <div>アルミ製カーテンボックス</div> <div>天井仕上材</div> <div>木製額縁上枠取替え 25×60 SOP塗装</div> <div>既存モルタル撤去後 PB t=9.5 EPG塗装 (直張工法)</div> <div>化粧PB t=9.5</div> <div>見切縁(塩ビ製)</div>				
D-5		天井下がり部分		S=1/10	D-6		天井見切縁 (壁ボード仕上の場合)		S=1/5
<div>野縁受け</div> <div>溶接</div> <div>天井仕上材</div> <div>見切り縁：塩ビ製</div> <div>指定仕上げ材</div> <div>野縁 150以内</div> <div>野縁受け</div> <div>溶接</div> <div>野縁受け</div> <div>見切り縁：塩ビ製</div> <div>天井仕上材</div> <div>□-19×19×1.6</div> <div>1期：昇降口 H=320 2期：昇降口 H=320</div>					<div>天井仕上材</div> <div>見切縁(塩ビ製)</div> <div>壁仕上材</div>				
					<div>天井仕上材</div> <div>見切縁(塩ビ製)</div> <div>既存モルタル下地</div>				
					<div>株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘</div>				
					<div>桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事 部分詳細図 (4) 鹿児島市建設局建築部建築課</div>				
					A-74				

※職員室

シーリングの範囲を示す。

流し台立上り

900

800

正面図 S=1/30

550

800

側面図 S=1/30

▽ : シーリングを示す。

指定仕上げ材

流し台立上り

部分詳細図 S=1/3

▽ : シーリングを示す。

※主事室

コンロ台バックガード (BL同等品以上)

シーリングの範囲を示す。

コンロ台設置

流し台立上り

750

1,450

800

正面図 S=1/30

550

800

側面図 S=1/30

▽ : シーリングを示す。

指定仕上げ材

流し台立上り

部分詳細図 S=1/3

▽ : シーリングを示す。

※保健室、事務室 (1期工事)
※特別支援 (2期工事)

指定仕上げ材

流し台立上り

部分詳細図 S=1/3

▽ : シーリングを示す。

シーリングの範囲を示す。

流し台立上り

1,200

800

正面図 S=1/30

550

800

側面図 S=1/30

▽ : シーリングを示す。

ライニング面台
メラミンポストフォーム

120

20

H

メラミン不燃化粧板
耐水合板 t=12.0
LGS下地 W=100

▽ : シーリングを示す

※設備工事による衛生器具取付下地補強完了後、
耐水合板を施工すること。

ライニング面台
メラミンポストフォーム

120

20

H

メラミン不燃化粧板
耐水合板 t=12.0
LGS下地 W=100

▽ : シーリングを示す

※背面開口部額縁より立ち上がる場合

階	室名 (改修後)	H	数量
1階	保健室	1,100	1
1階	主事室	1,100	1
2階	職員室	1,100	1
2階	校長室	1,100	1
2階	事務室	1,100	1

足洗い場

1,000

150

150

モルタル下地 50角タイル張り
コンクリート (D10 @200 (縦横))

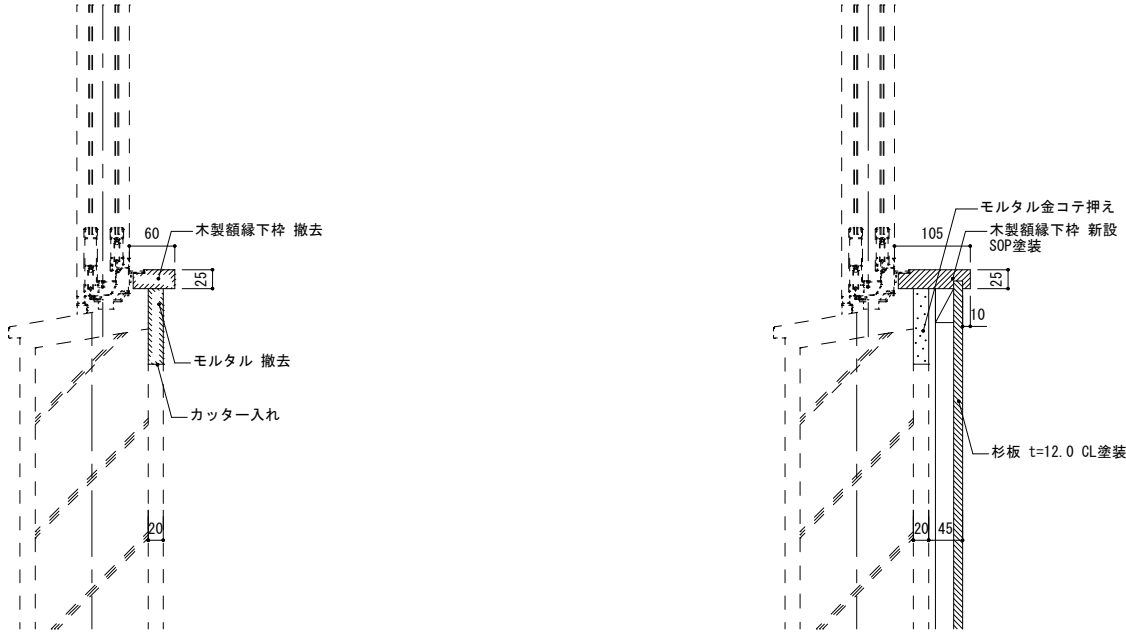
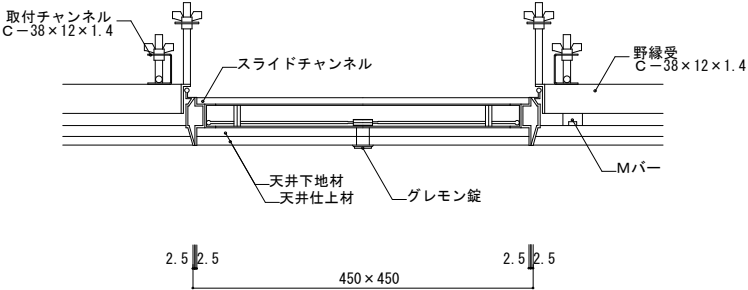
モルタル下地
50角タイル張り

1,000

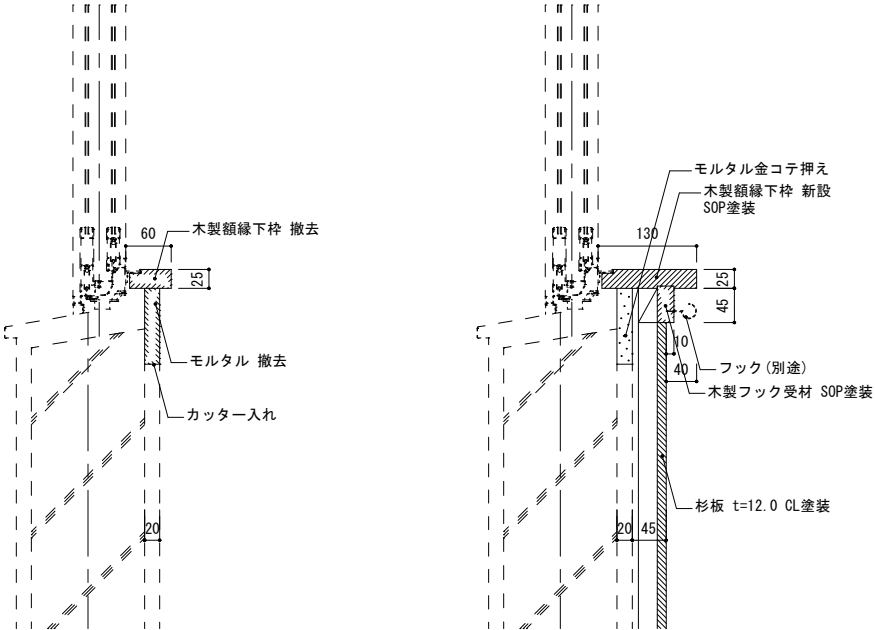
150

コンクリート
(D10 @200 (縦横))

参考図



改修前

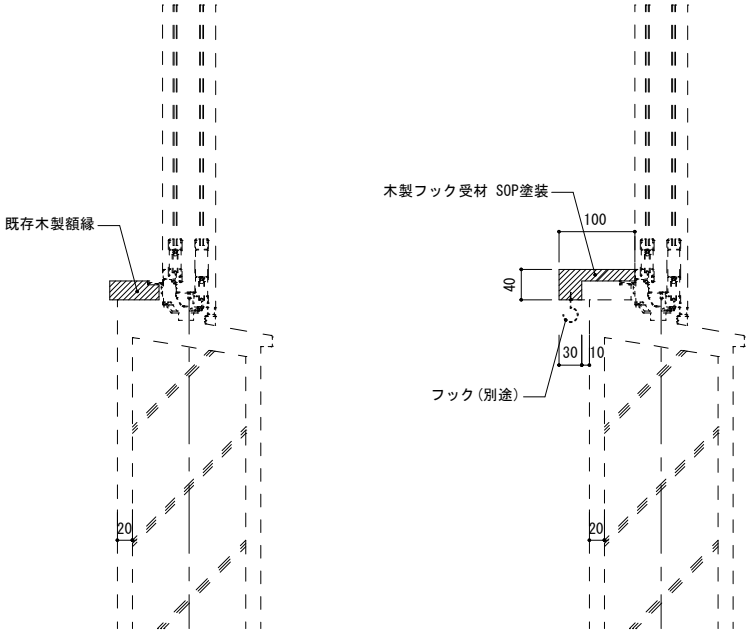


改修前



改修後

※木製額縁下枠の手すり支柱干渉部分は
額縁くり抜き加工のこと



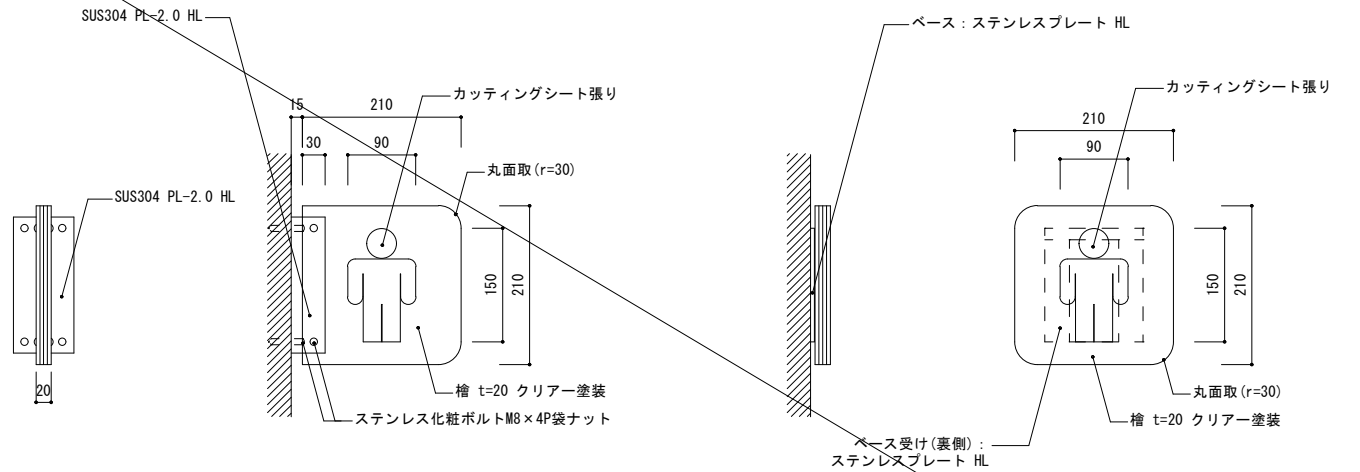
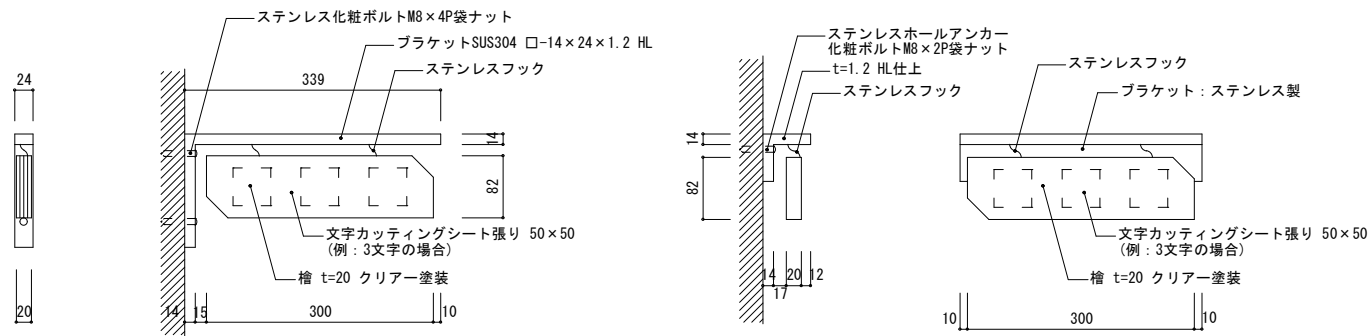
改修前



改修後

室名札

ピクトサイン



工事は取付文字を含む。文字はカッティングシート張りとし、色は監督員の指示による。字体は丸ゴシック。

檜板・無節・CL塗装（木材コーナーは面取りとする。）

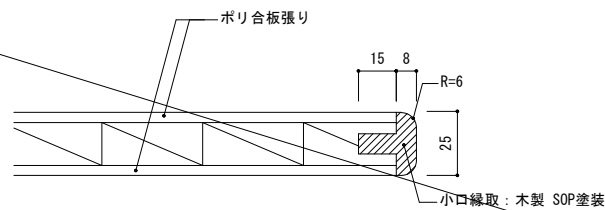
各室1ヶ所の取付とし、取付場所は監督員の指示により最終決定のこと。

各ピクトサインカッティングシートの内容については、監督員の指示により最終決定のこと。

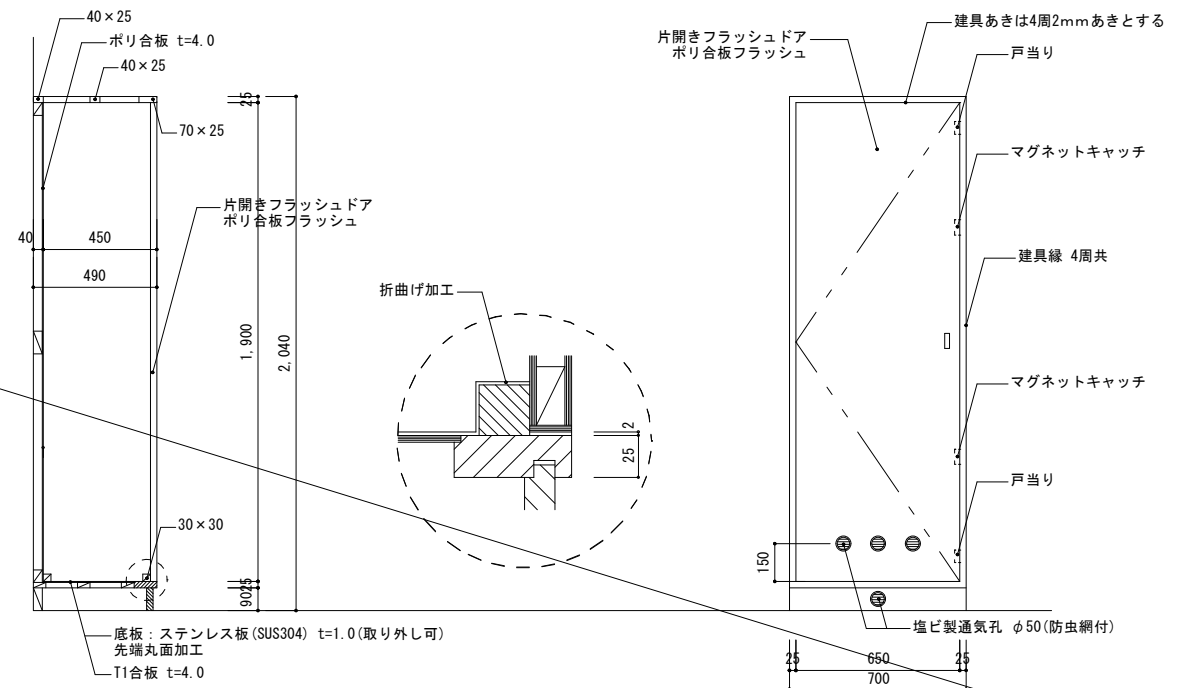
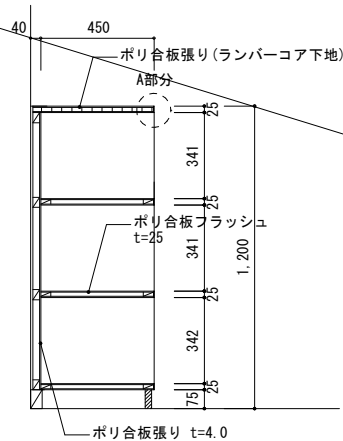
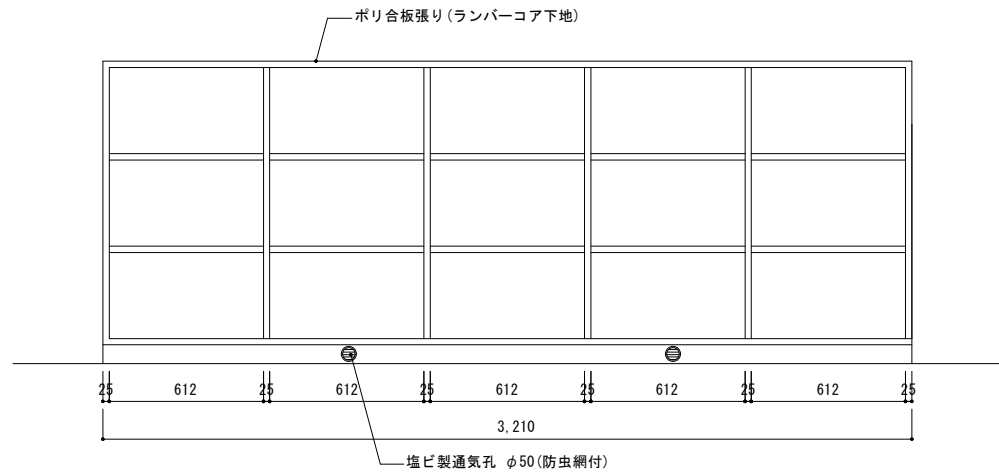
1-1	児童用ロッカー（特別支援）
-----	---------------

$$S=1/3$$
$$S=1/30$$

I-2	整理棚（特別支援）
-----	-----------

 $S=1/3$ $s=1/30$ 

A 小口納まり詳細図 S=1/3



フラッシュ戸：見込24 厚4.0 ポリ合板フラッシュ、取手（裏まで貫通させること）、丁番（3個）、マグネットキャッチ（2ヶ所、金属ケース入）
アームストッパー（扉側：貫通ボルト止め）

小口は全て面取りとする

塩ビ製通気孔 50φ (防虫網付) 2ヶ所

木部見え掛りは全てポリ合板張りとする（内部共）

底板：ステンレス板(SUS304)t=1.0（取り外し可）

塩ビ製換気孔50φ（防虫網付）4ヶ所

木部見え掛りは全てポリ合板張りとする（内部共）

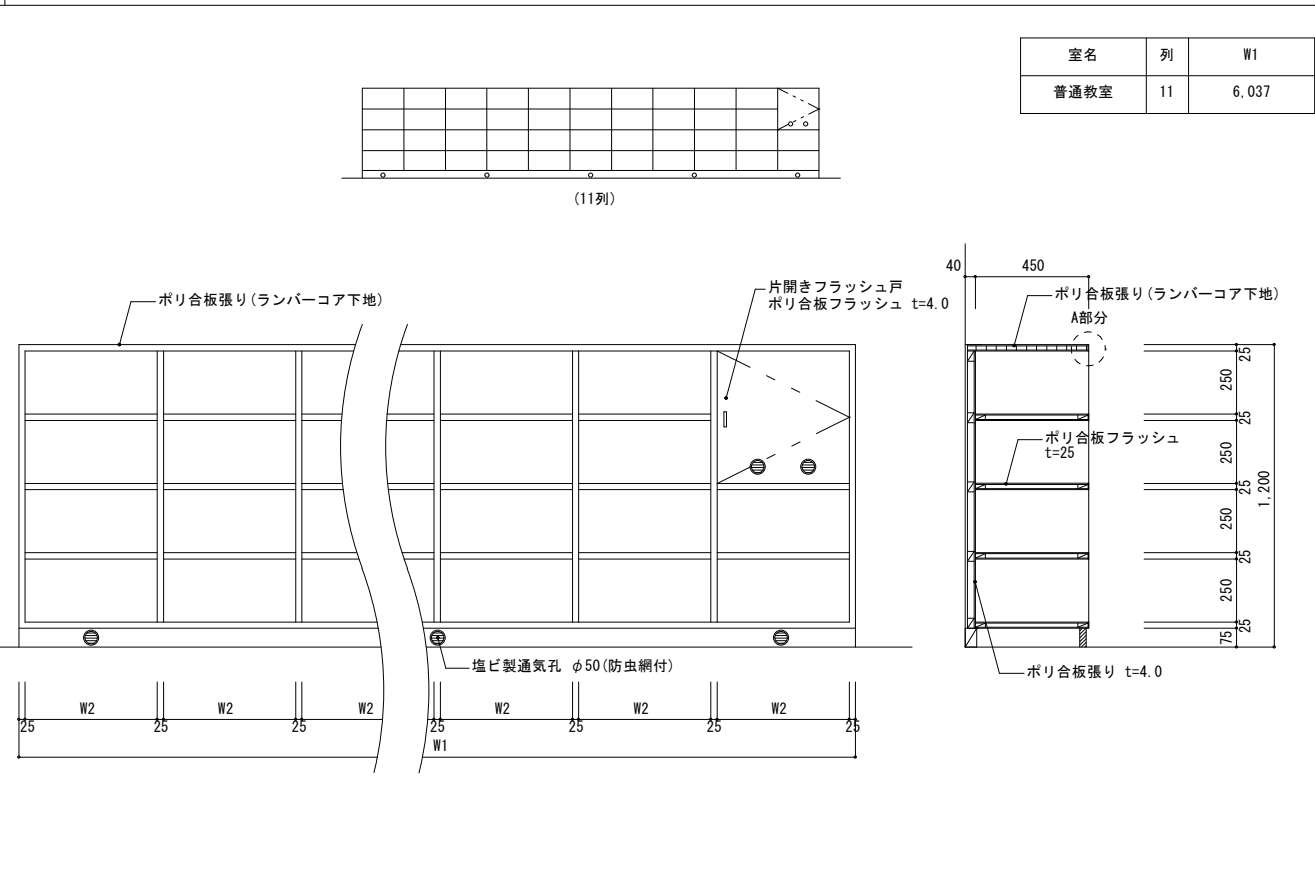
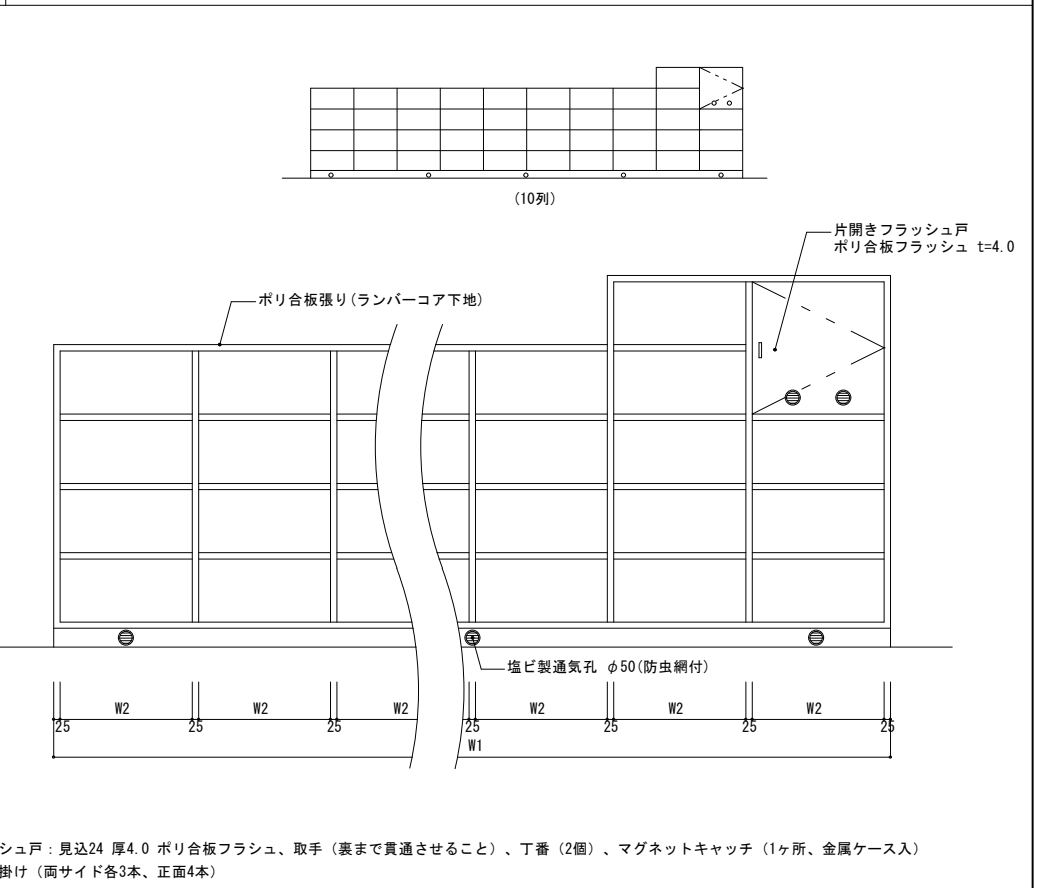
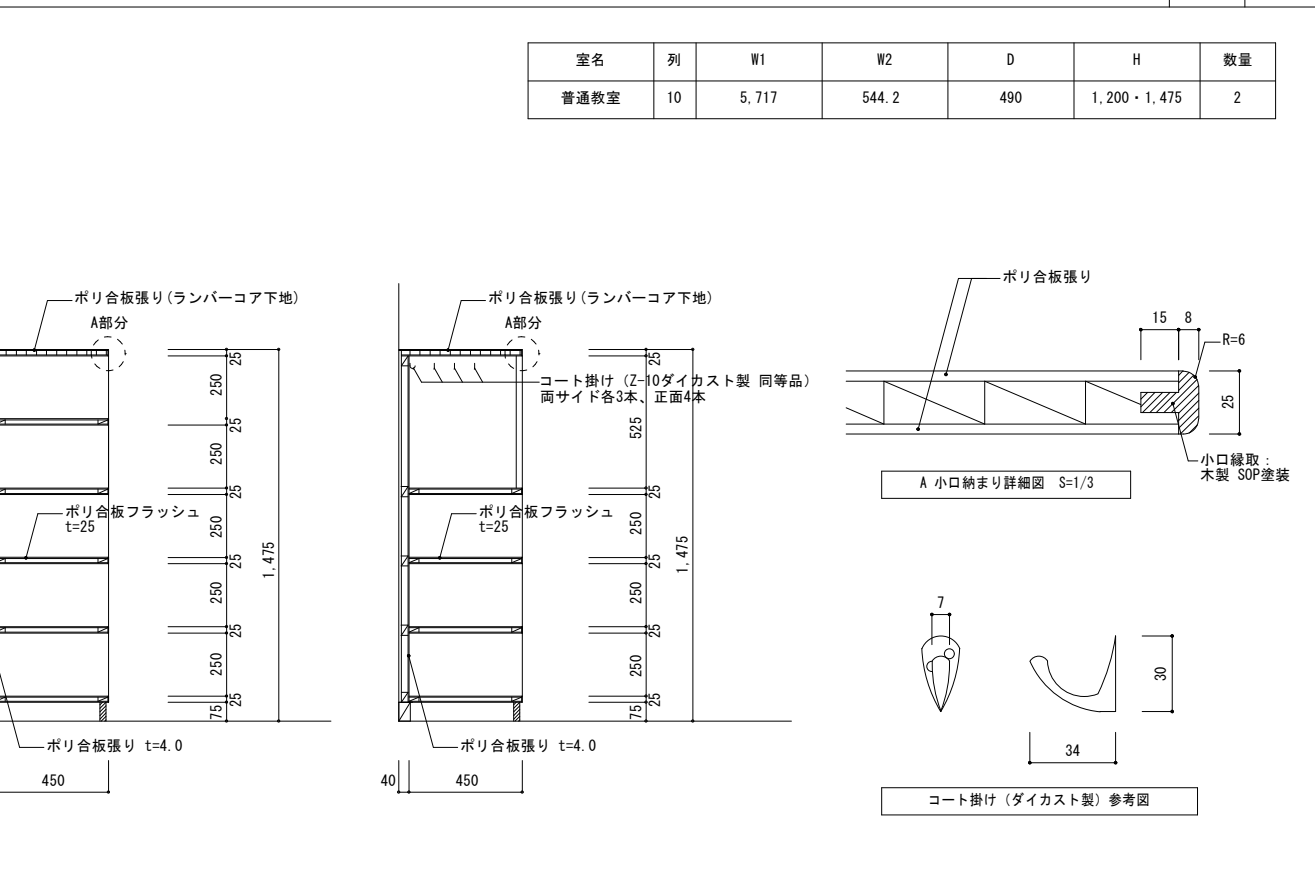
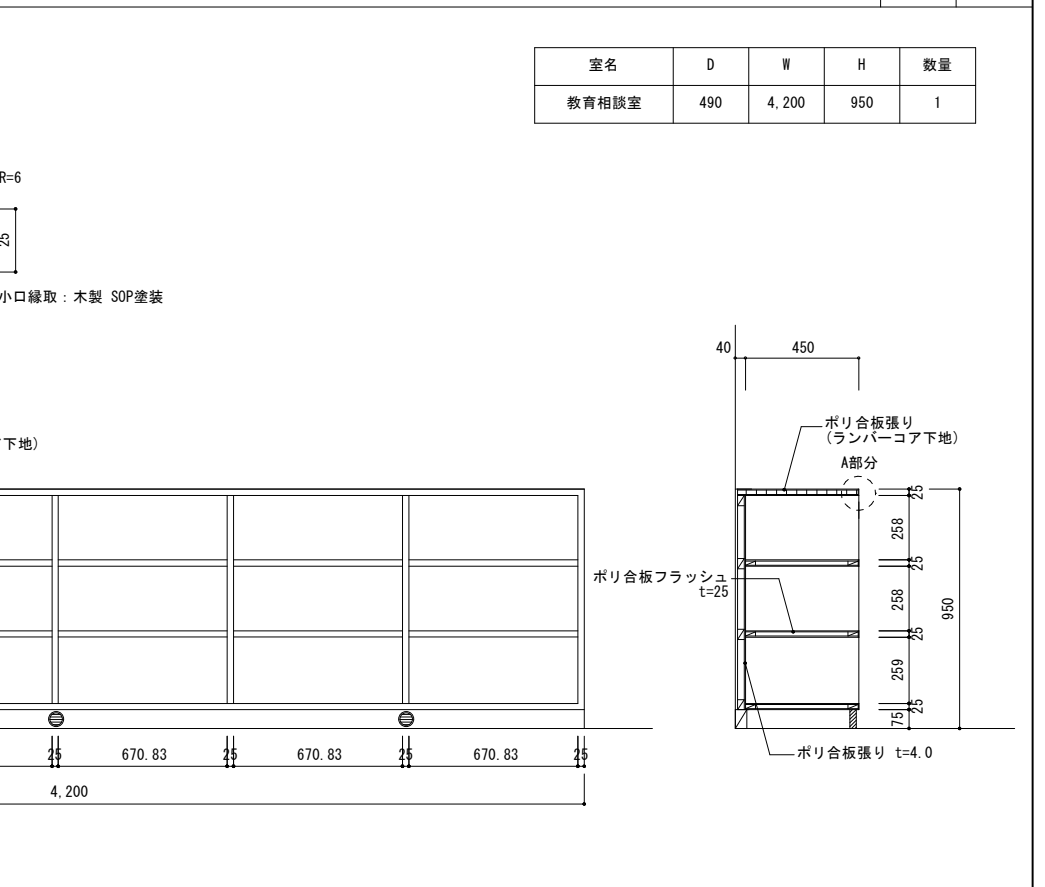
株式会社 田代設計工房
一級建築士 第 145118 号
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事

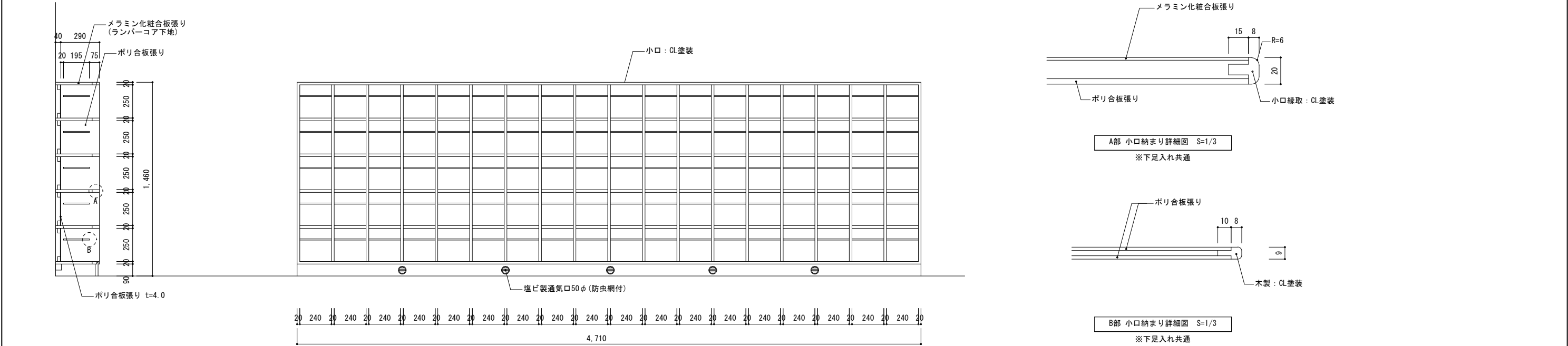
部分詳細図 (8)

鹿兒島市建設局建築部建築課

A - 7 8

J-1	児童用ロッカー	S=1/3	S=1/30	J-1'	児童用ロッカー
					
	小口は全て面取りとする				小口は全て面取りとする
	フラッシュ戸：見込24 厚4.0 ポリ合板フラッシュ、取手（裏まで貫通させること）、丁番（2個）、マグネットキャッチ（1ヶ所、金属ケース入）、コート掛け（両サイド各3本、正面4本）				フラッシュ戸：見込24 厚4.0 ポリ合板フラッシュ、取手（裏まで貫通させること）、丁番（2個）、マグネットキャッチ（1ヶ所、金属ケース入）、コート掛け（両サイド各3本、正面4本）
	塩ビ製通気孔 50φ（防虫網付）6ヶ所				塩ビ製通気孔 50φ（防虫網付）6ヶ所
	木部見え掛りは全てポリ合板張りとする（内部共）				木部見え掛りは全てポリ合板張りとする（内部共）
		S=1/3	S=1/30	J-2	児童用ロッカー（教育相談室）
					
	小口は全て面取りとする				小口は全て面取りとする
	塩ビ製通気孔 50φ（防虫網付）3ヶ所				塩ビ製通気孔 50φ（防虫網付）3ヶ所
	木部見え掛りは全てポリ合板張りとする（内部共）				木部見え掛りは全てポリ合板張りとする（内部共）
					<div> <div>株式会社 田代設計工房</div> <div>一級建築士 第 145118 号</div> <div>田代 昌弘</div> </div> <div> <div>桜丘西小学校校舎 1号棟長寿命化改良本体工事</div> <div>部分詳細図（9）</div> <div>鹿児島市建設局建築部建築課</div> </div> <div>A - 7 9</div>

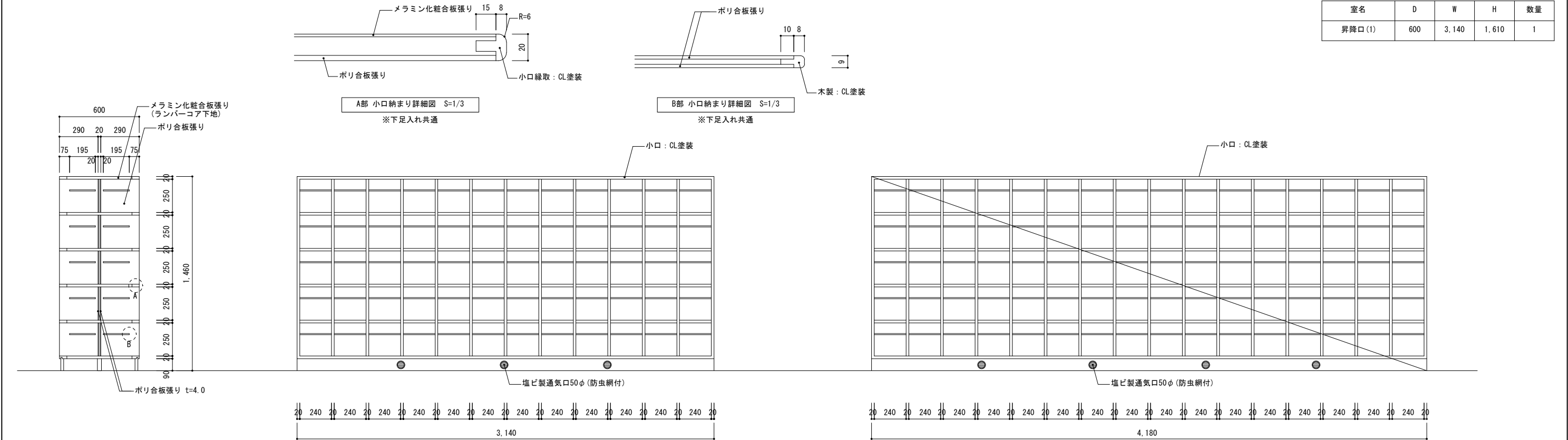
室名	D	W	H	数量
昇降口 (1)	330	4,710	1,610	1



小口は全て面取りとする

塩ビ製通気孔 50φ (防虫網付) 4ヶ所

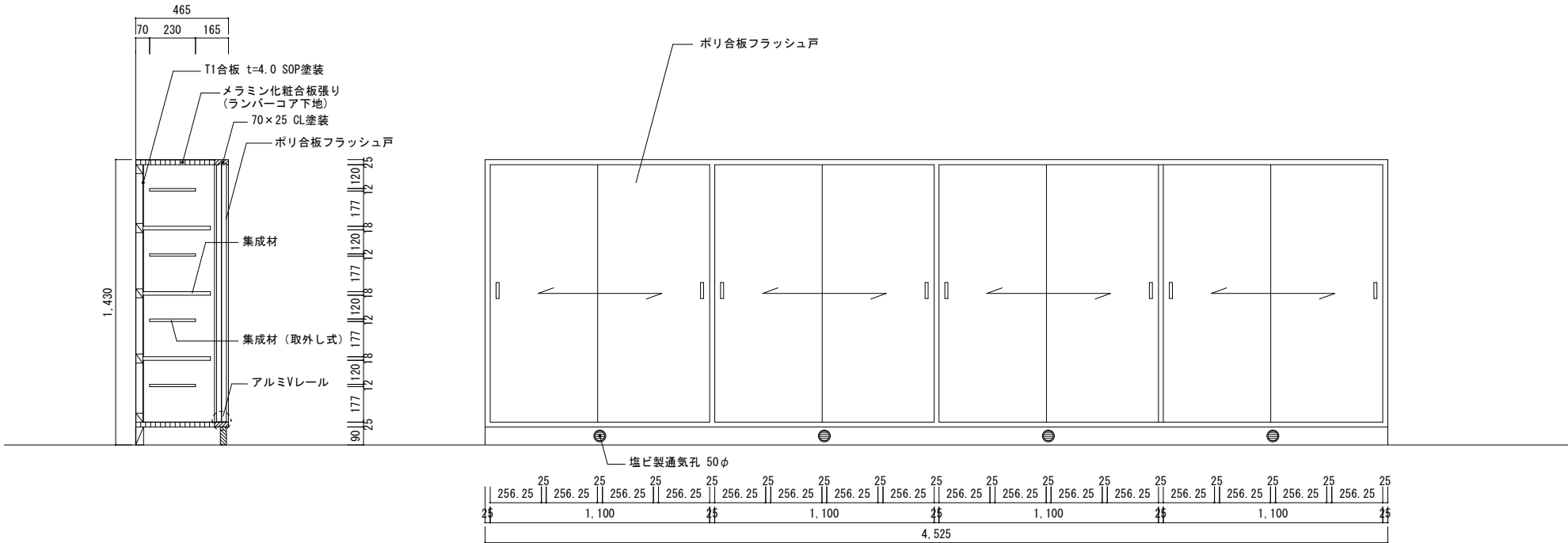
室名	D	W	H	数量
昇降口 (1)	600	3,140	1,610	1



小口は全て面取りとする

塩ビ製通気孔 50φ (防虫網付) 4ヶ所

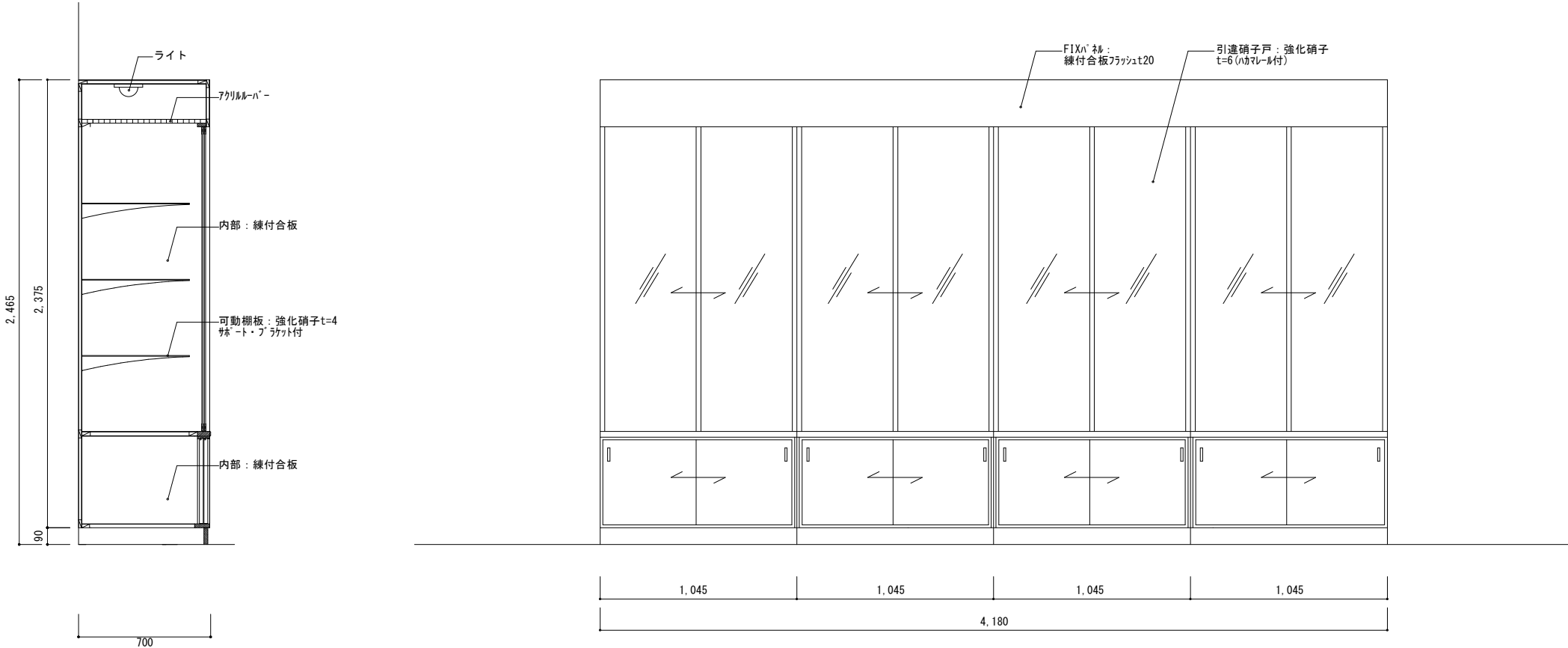
室名	D	W	H	数量
昇降口 (1)	330	4, 525	1, 610	1

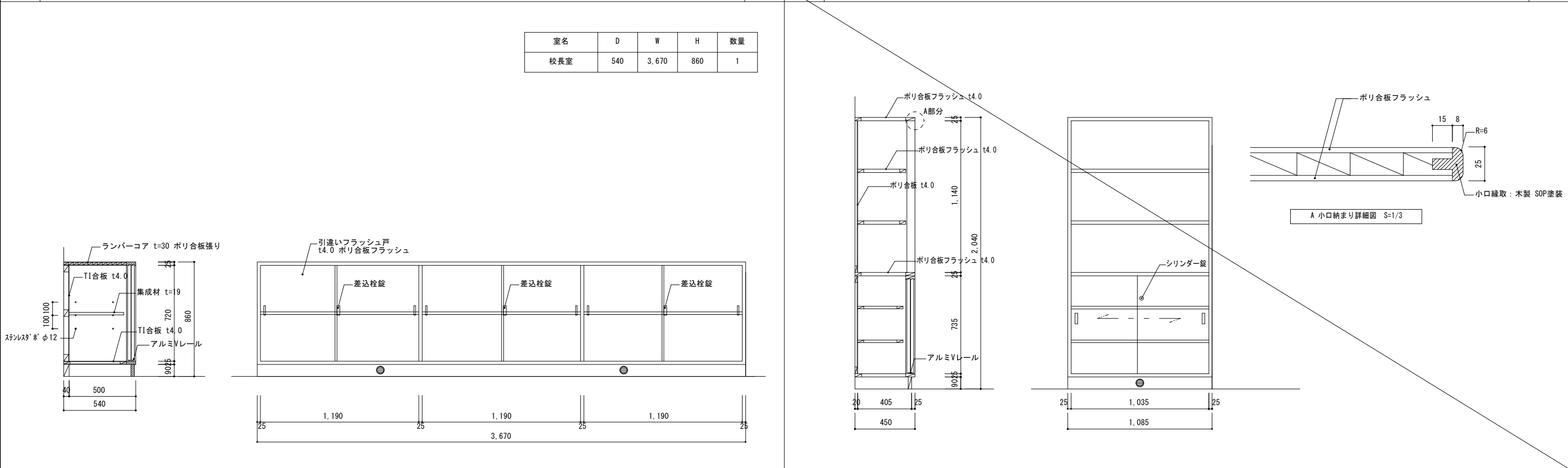
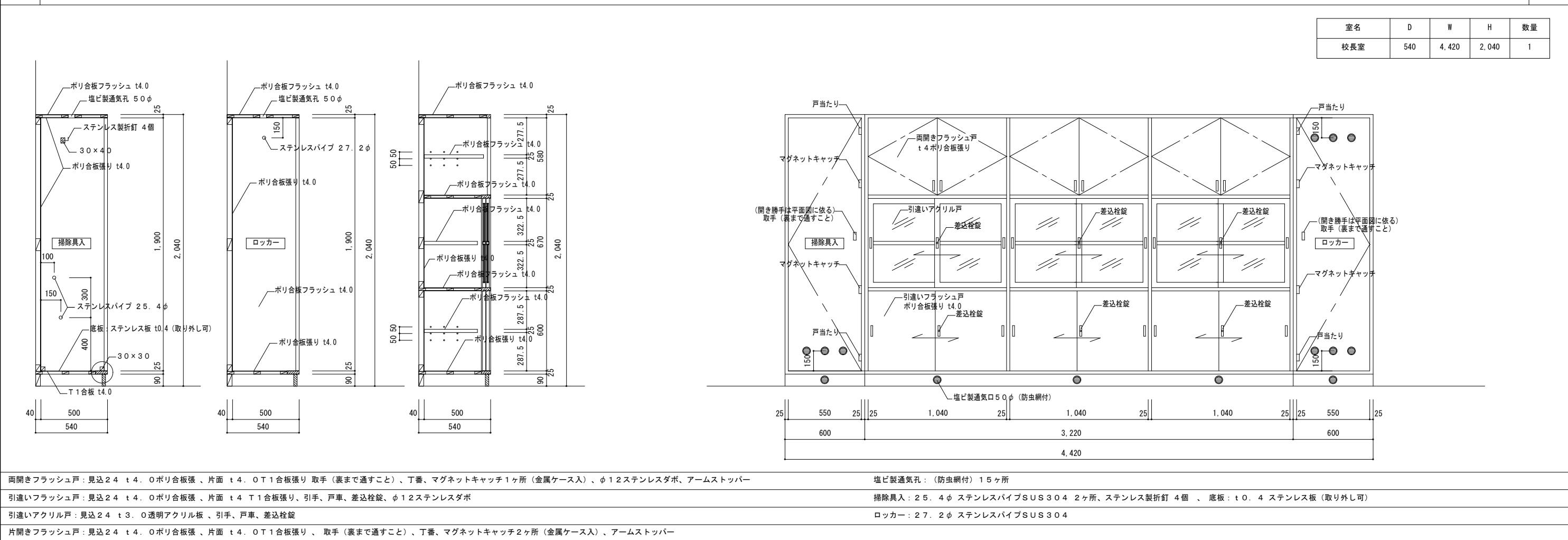


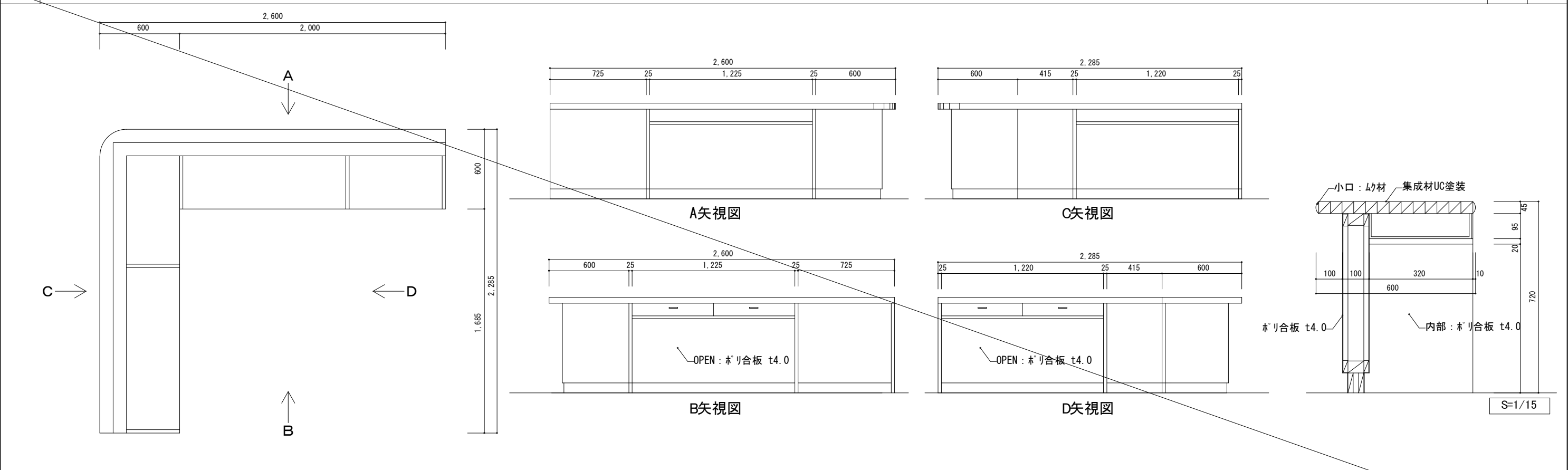
小口は全て面取りとする

塩ビ製通気孔 50φ（防虫網付）4ヶ所

室名	D	W	H	数量
昇降口 (1)	700	4, 180	2, 465	1

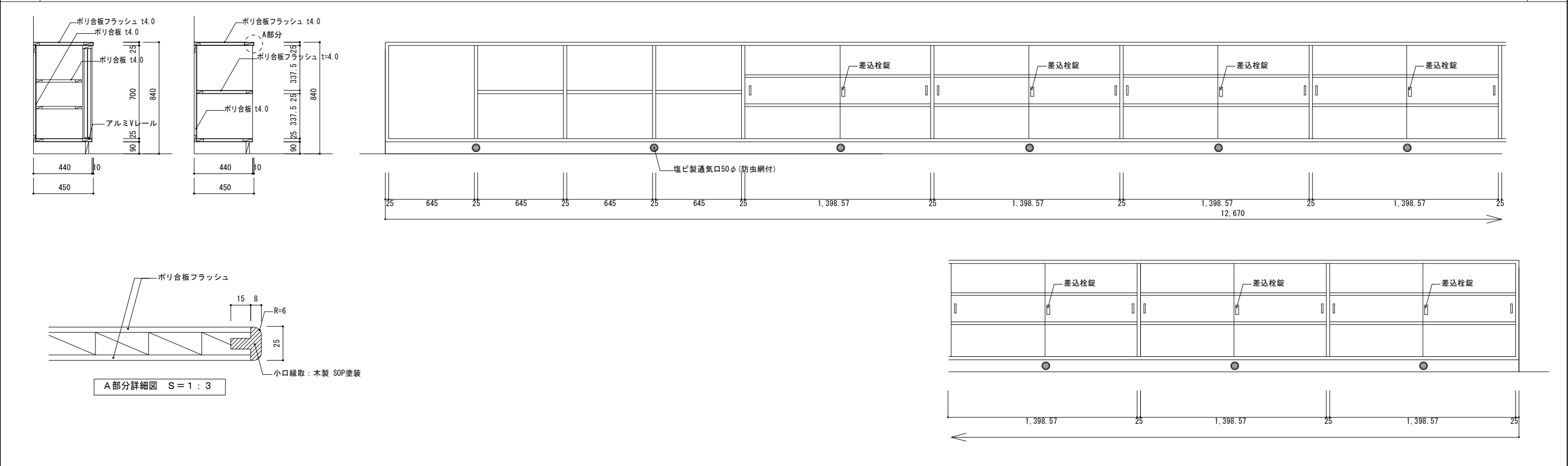






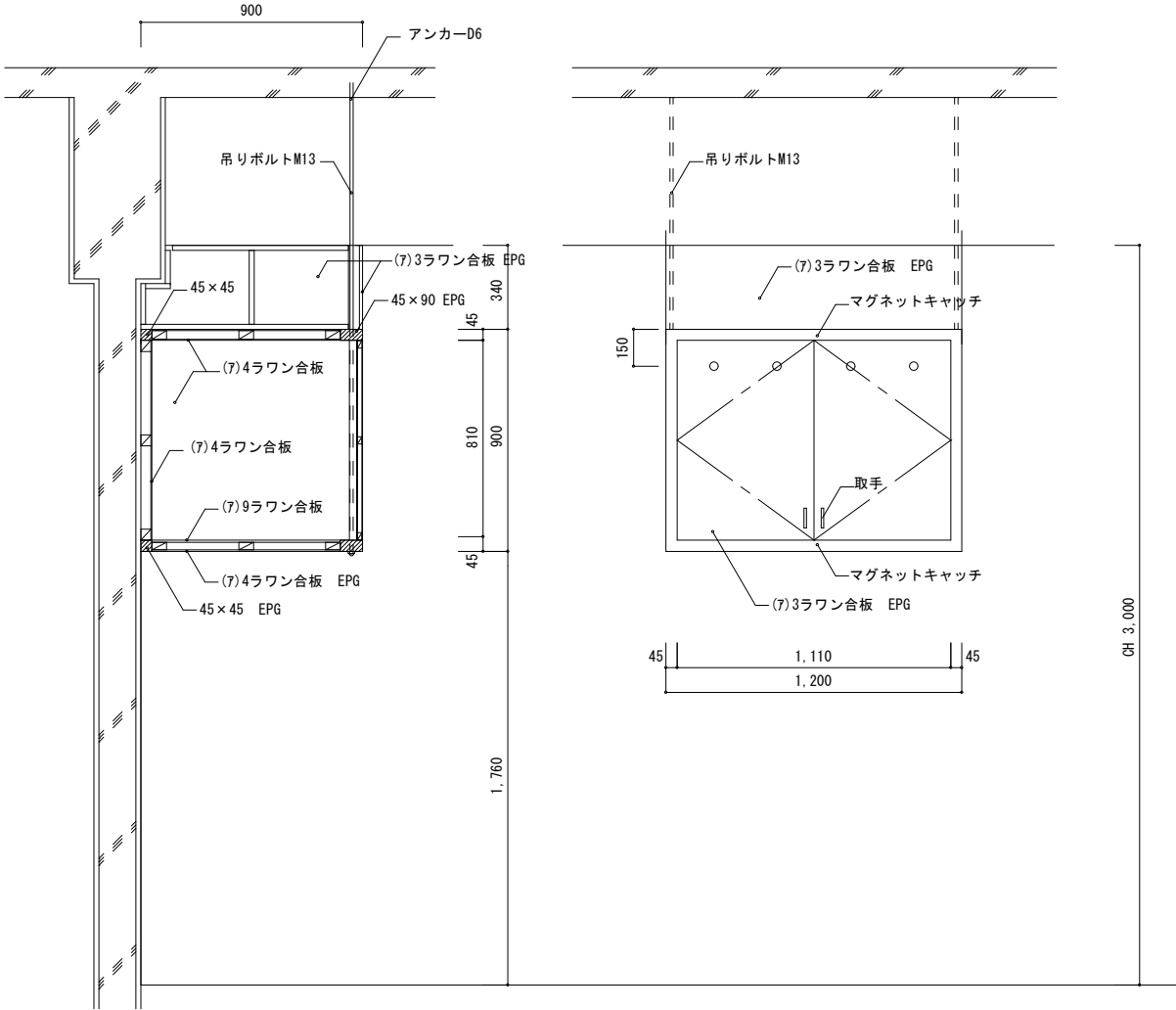
カウンター天板：集成材UC塗装

引出し：取っ手、スライドレール

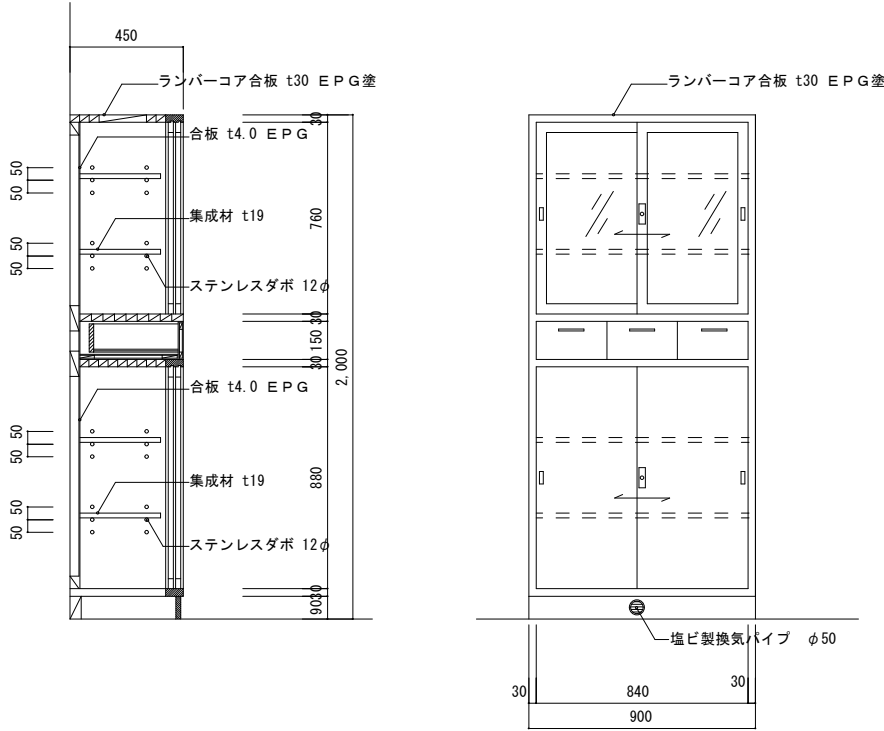


戸車、アルミVレール、彫込引手、差込栓錠	株式会社 田代設計工房 一級建築士 第 145118 号 田代 昌弘	桜丘西小学校校舎 1 号棟長寿命化改良改本体工事	
小口は全て面取りとする		部分詳細図 (14)	A - 8 4
塩ビ製通気孔 50φ (防虫網付) 9ヶ所			
木部見え掛りは全てポリ合板張りとする (内部は素地のまま。棚板のレール部分まで塗装を行うこと)			

室名	D	W	H	数量
保健室	900	1,200	1,300	3



室名	D	W	H	数量
保健室	450	900	2,000	1



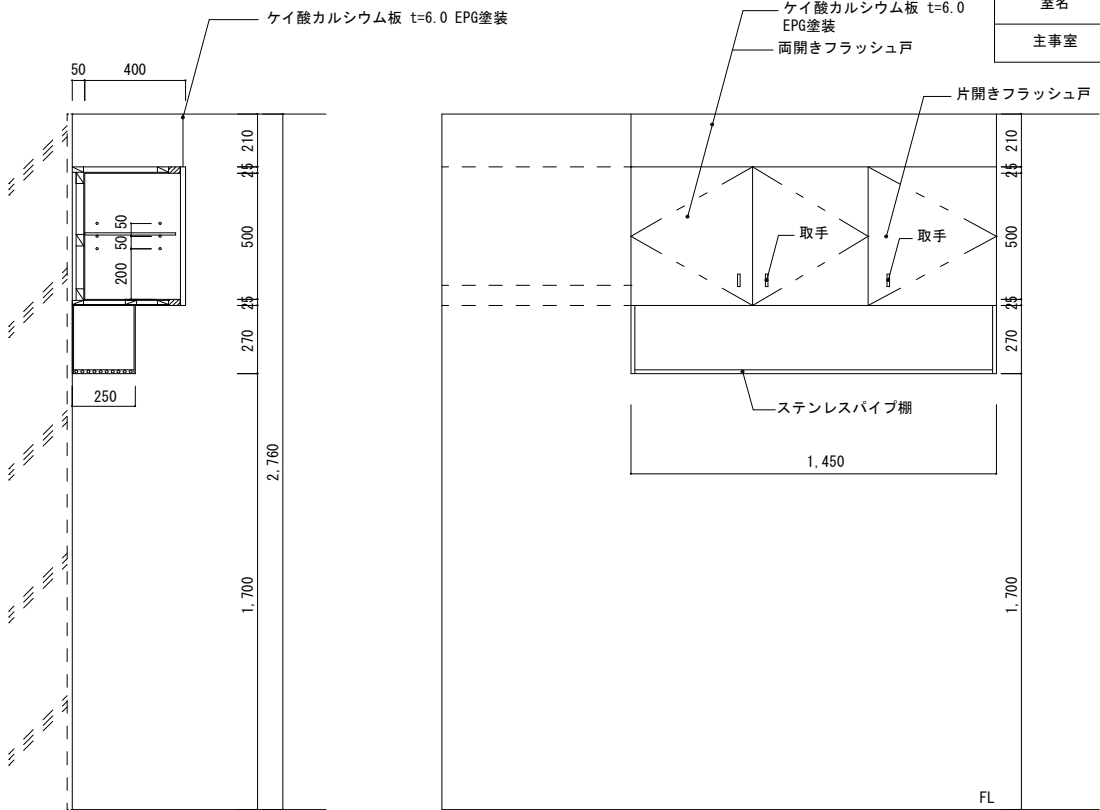
引違いフラッシュ戸：見込24 (7) 4 耐水合板フラッシュ EPG塗 引手 戸車 Φ12ステンレスダボ 差込栓錠

引違いガラス戸：見込24 厚3透明亚克力板 引手 戸車 Φ12ステンレスダボ 差込栓錠

引出し：取っ手、スライドレール

φ50塩ビ製通気孔 1ヶ所（防虫網付） ※ 木部見掛りは全てEPG塗とする（内部共）

室名	D	W	H	数量
主事室	450	1,450	850	1



扉：見込24 (7) 3ラワン合板フラッシュ両開き戸 EPG塗

通気孔φ35 4ヶ所、取手（裏まで通す事）、マグネットキャッチ（金属ケース入り）、ステンレス丁番

※見掛りは全てEPG塗りとする（内部の塗装は不要。ただし、棚扉の小口まで塗装を行うこと）

扉：見込24 耐水合板フラッシュ t=3.0 SOP塗装

取手（裏まで通すこと。）、ステンレス丁番

※見掛りは全てSOP塗りとする。（内部の塗装は不要。ただし、棚扉の小口まで塗装を行うこと。）

株式会社 田代設計工房
一級建築士 第145118号
田代 昌弘

桜丘西小学校校舎1号棟長寿命化改良本体工事

部分詳細図 (15)

鹿児島市建設局建築部建築課

A-85

Technical drawing of a staircase railing system, showing side and end elevations with dimensions and material specifications.

Side Elevation (Left):

- Overall width: 3,750 (3,550)
- Overall height: 1,100
- Top rail height from floor: 1,100
- Handrail height from top rail: 140
- Handrail diameter: $\phi 30$ SOP 塗装
- Material specifications:
 - $\square 40 \times 40 \times 1.6$ SOP 塗装
 - $\square 31 \times 31 \times 1.6$ SOP 塗装
 - $\square 75 \times 45 \times 3.2$ SOP 塗装

End Elevation (Right):

- Overall height: 1,100
- Handrail height from floor: 1,100
- Handrail diameter: $\phi 30$ SOP 塗装
- Material specifications:
 - $\square 40 \times 40 \times 1.6$ SOP 塗装
 - $\square 75 \times 45 \times 3.2$ SOP 塗装

Labels:

- 柱面 (Column Surface)
- 柱面 (Column Surface)
- ▽FL (Finish Level)

階	室名 (改修後)	L	L	備考
2階	校長室	X3-X4 -	X4-X5 3.750	
3階	普通教室 X5-X7	X5-X6 3.750	X6-X7 -	
3階	普通教室 X9-X11	X9-X10 3.550	X10-X11 3.750	
3階	普通教室 X11-X13	X11-X12 3.750	X12-X13 3.750	
4階	普通教室 X5-X7	X5-X6 3.750	X6-X7 3.750	
4階	普通教室 X9-X11	X9-X10 3.550	X10-X11 3.750	
4階	普通教室 X11-X13	X11-X12 3.750	X12-X13 3.750	

□-31 x 31 x 1.6 SOP 塗装

□-40 x 40 x 1.6 SOP 塗装

□-75 x 45 x 3.2 SOP 塗装

3,400

階	室名 (改修後)	L	備考
2階	校長室	X3-X4 耐震	
3階	普通教室 X5-X7	X6-X7 耐震	

Technical drawing of a handrail bracket (hand support) showing side and top views with dimensions and labels.

Labels and Dimensions:

- ※プレート取付部についてはモルタル充填のこと** (Regarding the plate mounting part, it is for mortar filling.)
- プレート周囲シーリング** (Sealing around the plate)
- 金属拡張アンカー 2-M8 (袋ナット)** (Metal expansion anchor 2-M8 (lock nut))
- 手摺: 75 × 45 × 2.3 SOP塗装** (Handrail: 75 × 45 × 2.3 SOP coating)
- ベースプレート t=4.5** (Base plate t=4.5)
- ※1,150** (Height dimension)
- ※手摺高さは、原則として1,150とすること。(最低でも1,100以上は確保すること。)** (Handrail height is原则上 1,150 (ensure at least 1,100 or more).)

Bottom Right Text:

株式会社 田代設計
一級建築士 第 1451

Bottom Center Box:

各部取付詳細図 S=1/10

印刷室・事務室・教育相談室 各1ヶ所